

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



## SERVICE Above Self 超我の奉仕

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740  
国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



IR会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー夫妻と握手する本城好春ガバナー夫妻(アナハイムにて2月)



### 2005.7.1 VOL. 1

#### ●CONTENTS

RI会長のメッセージ	1
ガバナーのメッセージ	3
新ガバナーへのメッセージ	5
ガバナー補佐メッセージ	6
ガバナー公式訪問日程	11
地区主要行事日程	12

報告のしおり	14
送金のしおり	15
クラブ会長幹事名簿	16
文庫通信	18
地区予算	19
地区組織図	21

## 2005-2006年度 RIテーマ SERVICE Above Self 超我の奉仕

2005年-2006年度 国際ロータリー会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



朋友ロータリアンの皆さん2005-06年度、私たちは、確固たる基盤および羅針盤となる過去の成功の数々、そして意欲を引き出す豊かな歴史とともに、ロータリーの奉仕の第2世紀へと踏み出しました。私たちは過去の栄光に閉じこもるべきではありませんが、そこから学ぶことは、将来への確かな前進のエネルギーとなるはずで

す。このことを念頭に置きながら、私は、自分の重要な使命を的確に表すテーマを選ぶべく、これまでの世紀にロータリアンが書き記してきた数々の叢智に満ちた言葉に目を向けました。私たちの思考を導き、行動を促すあらゆる感動的なメッセージの中でも、ロータリーの標語「超我の奉仕」の5文字ほど、的確にロータリーとロータリアンの精神を言い表している言葉はありませんでした。

私たちがロータリーの第2の百年の第1章を書き始める今年度に、国際ロータリーの会長となることができ、大変光栄に思います。この重要な年度のテーマとして「超我の奉仕」を選ぶことは、ロータリアンを鼓舞する最も意義深い言葉を使いたいという私の願望を反映しています。しかし、私はまた、ロータリーでの日々を簡素に保つ努力、すなわち、過去からの継続を維持しつつ、未来に向けてまっすぐな道のりを据えることが必要であるとの思いからも、このテーマを提案いたします。従って、私は、これまでに絶大な成果を上げてきた、人類の基本的ニーズを表す諸分野に焦点を当てたいと望んでいます。

このような分野の一つに、識字率向上と教育があります。一対一の取り組みから大規模な識字率向上プログラムに至るまで、ロータリー・クラブは、読み書きを学ぶ人々を助けるための数多くの素晴らしいプロジェクトを実施してきました。学校に教材を提供し、教

師を教育し、子供たちに通学に必要な衣服や本を提供してきました。そして世界中の地域社会においては、ロータリアンが学校を訪問し、子供たちに本を読んで聞かせ、その逆に子供たちが本を読むのを聞いてあげてきました。これら数多くの成功にもかかわらず、未だ無数の成人が、簡単な文の読み書きができず、実用的な識字能力を備えていません。つまり、通常の業務や毎日の生活に必要な読み書きや計算を行うことができないのです。この問題によって、自分をはじめ家族を養う上で非常に多くの人々に制約が課せられており、この問題への取り組みに、ロータリーの豊かな経験と継続的活動が必要とされているのは明白です。

2005-06年度を通じて、私は、世界各地でロータリアンが効果的に取り組んでいる問題、すなわち水保全に関連する活動も継続するようロータリアンに奨励していきます。ロータリー・クラブによる無数の水プロジェクトのおかげで、何十万もの人々が今や水を手に入れることができ、飲用水や適切な衛生環境による多くの保健上の恩恵を受けています。しかし、未だ多くの課題が残されているのも事実です。あまりに多くの人々が、安全な水の供給を受けられず、適切な衛生環境に恵まれていません。その結果、予防できるはずの水を介在とした感染症によって死ぬ必要のない多くの人々が死亡しています。水保全問題はまた、食糧供給にも影響を与えています。1人の人間が必要とする毎日の食事を生産するためには、2,000から5,000リットルもの水が必要とされているからです。国連は、この世界的な水の危機を「経済発展、貧困緩和、環境、そして平和と安全への脅威」と表現しています。飢餓を軽減し、この重要な資源が奪われている人々の保健と福祉を改善するため

に、ロータリアンの継続した活動が是非にも必要とされているのです。識字率向上と水保全が注目すべき二つの緊要な問題であると私は確信していますが、その一方で、ロータリー・クラブもまたこれに優るさまざまな重要問題に取り組んでいることを承知しています。ロータリーの素晴らしさは、奉仕の機会を数多く提供してくれることにあります。クラブは地元地域社会のニーズを見極め、それを叶えるためにいかにしてその人材源や資源を生かすことができるかを判断します。この草の根の参加がロータリーの成功の特徴であり、私は、地元や海外の地域社会にとって最も有益となる奉仕を引き続き行っていただくよう、すべてのクラブに奨励したいと思います。

しかしながら、これは一人で実行できることではありません。多くの場合、私たちは同じ理想や目標を共有する他団体と協力して活動することによって、地域社会のために多くを成し遂げることができます。年度の奉仕計

画を立てられるにあたり、他団体と協力関係を結ぶことによって、クラブの活動をいかに広げることができるかを検討してみてください。1911年、ロータリアンは「超私の奉仕」という標語を熱意をもって採択しました。それは、この標語が、生まれたばかりの組織が発展の途上にある中、その理想を巧みに言い表していたからです。それから95年間、この標語は、私たちが人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和のために活動する上で、根底をなす動機となってきました。私たちの生活に内在するあらゆる事象と同じように、この標語を私たちは自然に受け入れることができます。来たる年度、すべてのロータリアンに「超私の奉仕」の真の意味をじっくりと考えていただく機会が与えられます。そして、この思いやりと寛容の精神に満ちた普遍的メッセージに、新たな思いを抱かれることになると思います。

## 2005年-2006年度国際ロータリー会長

### カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏 略歴

スウェーデン、イエーテボリ

2004-05年度 RI会長エレクト

1997-98年度 RI財務委員会委員長

1998-00年度 RI監査運営審査委員会委員

1996-98年度 国際ロータリー理事

1997-98年度 RI監査委員会副委員長

1987-88年度 地区ガバナー

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏は、国際的な製品の食品ブローカーであり、ガスト F. フラット社の元オーナーです。ビジネスで活躍していた頃、ステンハマー氏は世界中を回りました。さらに、同氏は数社の理事および地元の私立学校の理事長を務めてきました。

ステンハマー氏は、1974年以来のロータリアンです。氏は入会後すぐにロータリーのあらゆるレベルの活動に参加し、クラブ、地区、そして国際レベルで数多くの役職をこなしてきました。地区では、青少年交換委員会、会員選考委員会、スウェーデン・ロータリー青少年交換財団などの委員長を歴任しました。また、氏が所属する地区の国際ロータリー奨学金財団の会計を担当し、1987-88年度には地区ガバナーを務めました。

青少年奉仕委員会に任命された1991年、同氏はロータリーへの国際奉仕を開始し、1993年には同委員会の委員長、そして青少年奉仕実行グループの地域コーディネーターを歴任し、数々の国際ロータリー研究会のモデレーターも務めました。

同氏は、フィンランドからアフリカまでの地域、米国、そしてインドまで、数多くの地区大会にRI会長代理として派遣されました。1996-98年度にはRI理事を務め、それ以来、執行委員会のメンバーや財務委員会委員長、監査委員会の副委員長などを歴任しました。

1998-2000年度にはRIの監査運営審査委員会の委員に、2001年にはサンアントニオ国際大会委員会の委員となりました。同氏はまた、1999-2000年度地域雑誌編集者セミナーのモデレーター、2000-04年度ヨーロッパおよびRI B | 恒久基金委員会の委員長、ストックホルムで開かれた2003年度会長主催祝賀会議の議長、2003-04年度識字および教育推進グループの総コーディネーター、国別ポリオ・プラス担当顧問、およびポリオ撲滅提唱グループのメンバーを務めました。

ステンハマー氏は、1935年1月16日、スウェーデンのイエーテボリに生まれました。1962年にモニカ夫人と結婚し、2人の息子、そして2人の孫息子と孫娘が1人います。ステンハマー氏はロータリー財団の大口寄付者およびベネファクターです。

June 2004

## ガバナー就任の挨拶

2005年—2006年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 本城好春



国際ロータリー第2740地区のロータリーアンの皆様、愈々2005—06年度が始まりました。

今年からGETS（ガバナー・エレクト・トレーニング・ゼミナー）が東京、広島の国内で2回、アメリカ アナハイムの国際協議会で3回目があり、漸くガバナーとして就任致しました。アメリカでの一週間は極めてハードで、終了した時は、共に耐え抜いた戦友、仲間として、急速に仲が良くなりました。

帰国して今では日本全国から情報が飛び交い、更にアメリカを始め全世界から情報のシャワーです。

皆様には帰国早々、地区チームリーダー研修会、PETS（クラブ会長エレクト研修ゼミナー）、地区協議会その他の研修会で度々お会いして居りますが、7月からの公式訪問で更に各クラブの皆様には親しくお会いしてお話する機会があるのを楽しみにして居ります。

今年のテーマは、RI会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏（スウェーデン）がロータリー創立1905年から僅か数年たった1911年に採択された有名な「SERVICE ABOVE SELF」（超我の奉仕）を再び提唱されました。創立以来、僅か100年間で4人から全世界166ヶ国、3200クラブ、120万人の会員を擁するまでに発展しました。余りにも急速に増大した結果、いろんな「歪み」が出て来て居ります。

全世界の民族、国家、宗教、人種、言語の違いを超えて、一つのテーマ僅か五文字「超我の奉仕」「SERVICE ABOVE SELF」の元に集まり、奉仕活動をする姿は、まさに壮大であります。

設定されて95年間、この五文字はいろんな論理的、倫理的に膨大な解釈がありますが、複雑多岐に解釈せず、唯一「人への思いや

り」と解釈するのが最も妥当であろうと云われました。

人類だけが幾多の戦争、殺戮を越えて、今日の繁栄を遂げたのは、「人への思いやり」があったからこそと言われて居ります。人間は一人では生きて行けない、互に助け合って、群れをなして生きて行く動物です。

全世界の人類が、このテーマの元に集まり、奉仕するのは、人類の本能であり生存する為の知恵だと思われます。

過去の100周年の栄光を振り返り、新たな101年の未来を展望する時、原点に立ち帰り、先ず足元から再出発する必要があると述べられました。

ややもすれば、ロータリーに入ると金がかかり過ぎると云う声がありますが、原点に戻り、簡素に地元地域社会のニーズを見極め、草の根運動に参加して下さい。他の理想や目標を同じくする団体と協力して活動して下さい。

又、徒らに増強拡大ばかり云わず、地道に志を同じくする良質な会員を入会させて、退会しないようなクラブを作り、仲の良いクラブ、活力あるクラブにして下さい。

勿論、人類愛から創立されたロータリー運動ですから人類の基本的ニーズの2つは例年通り、引き続き人道支援して行きます。

### ① 識字率向上と教育

### ② 水保全

これらは世界社会奉仕としてロータリー財団の主な仕事になって居ります。ロータリー財団への協力も大事な奉仕活動です。

口先ばかりではなく、先ず行動を起こして下さい。

記念すべきロータリーの再出発の年に遭遇した私達の幸福を喜び合いましょう。

地区方針

① 国際ロータリーのテーマ(標語)

Service Above Self 『超我の奉仕』

1911年採択され95年間、人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和の為に活動する上で根底をなす動機となって来ました。

『思いやりと寛容』の精神に満ちた普遍的メッセージに新たな思いを抱いて下さい。

② ロータリーの第2の百年の第一章を書き始める今年度はロータリーでの日々を簡素に保つ努力をして下さい。

③ 人類の基本的ニーズは  
 ★ 識字率向上と教育  
 ★ 水保全 に関連する活動の継続です。

④ これは一人で実行出来るものではありません  
 同じ理想や目標を共存する他団体と協力して活動して下さい。

⑤ クラブは地元地域社会のニーズを見極めていかにして、その人材源や資源を生かすか草の根の参加がロータリーの成功の特徴です。

2005～2006年度国際ロータリー

第2740地区ガバナー 本城好春 略歴

生年月日 昭和6年7月1日  
 現住所 唐津市刀町1537-4

職歴

昭和37年 4月 熊本大学医学部 文部教官  
 昭和37年 9月 国家公務員佐世保共済病院  
 耳鼻咽喉科部長  
 昭和39年 9月 佐賀県唐津市 開業  
 平成5年 9月 医療法人 本城耳鼻咽喉科医院 理事長  
 平成11年 5月 日本耳鼻咽喉科医会連合会 副会長  
 平成13年 6月 特定非営利活動法人 日本耳鼻咽喉科医会 副理事長

ロータリー歴

昭和44年 6月 ロータリークラブ入会  
 昭和54年 7月 クラブ幹事  
 昭和59年 7月 クラブ会長  
 昭和60年 7月 第1分区代理  
 平成6年 3月 唐津中央ロータリークラブ特別代表  
 昭和49年 9月 ポール ハリス・フェロー  
 昭和54年 12月 米山功労者

## 新ガバナーへのメッセージ

2004～2005年度ガバナー

栗林英雄



2005～2006年のガバナー年度となり、本城好春ガバナーの本領発揮の機会が到来したという感じがしています。私の後を継いでガバナーにご就任になられました。すでにノミニエの時代より、色々な会合の度に同席する事が多く、隣り合わせに座席が決められる事もあって、ロータリーのことに限らず社会万般の事も親しくお話をしました。そのお人柄は温厚、篤実で、すべてに研究熱心です。粗野な私とは比較になりません。私より2年先輩という人生経験豊かなお方ですから、これからのガバナーの重責を美事にやり遂げられると確信致しております。

ガバナーは昭和44年に唐津RCに入会です。36年間のロータリー歴を有しておられ、昭和60年7月には第1分区の分区代理、平成6年3月には唐津中央RCの特別代表としてロータリーの拡大にも大きな貢献を果たしておられます。

又、日本耳鼻咽喉科医会の副理事長を務めておられますので、大きな組織の運営は如何にすれば支障なく機能するのか、その辺の充分なる識見、経験を身に付けておいでです。その事はこれからの2740地区の地区の運営に存分に活かされることでしょう。

先日も月信担当の数名の方々をわがガバナー事務所に派遣され、現担当者との熱心な引き継ぎ、打合せをなさる等、その用意周到なご指示はさすがだなあと感心致しました。様々な作業に対する事前の気配り、完璧主義を貫かれる執念を感じずにはおられません。唐津ではかつて宮島氏がガバナーとして輩出されている地区でもあり、ロータリー運営についてはその過去の実績や資料も残されている事と思われまますので、それらを活用してゆかれることと思ひます。

ロータリー創立100周年を終えて、ほっと一息付く間もなく、ステンハマーR I会長からロータリーの真髓に迫る年次テーマ「超我の奉仕」が提示され、ロータリアンは皆一様に驚きと共に納得した心境になっているところです。ロータリーの新たな2世紀に向けての最初の一年目でもありますし、そのスタート時のロータリーの姿勢は大変重要だと認識していますので、やゝ低調が噂されている昨今のロータリーの有り方についても厳しい対応が求められるかも知れません。

しかし、この2740地区58RCは昨年度ガバナー公式訪問で全部を回った印象では、実に気持ちのよい、そして協力的なクラブばかりです。ガバナーのご意向に沿ってお仕事を進められれば、充分にそれに応じてくれるものと信じております。

ガバナーエレクト時代も含めると、2年余りのこのロータリーの拘束は確かに心身には大きな負担となります。平のロータリアンであった時代と比較して、重要な会議への出席が度々要請されたりしますが、思わぬ所で一期一会の余得にあずかることもありますので、どうかそれを楽しみにガバナーの職務に当られますように。

ドクターに対して失礼ですが、老婆心ながらどうか健康には呉々も留意されて、長丁場であるガバナーの任務を全うされますことをお祈りしております。



第1グループ  
ガバナー補佐  
**中島 一 峯**  
(多久RC)

2005～2006年度 第1グループ補佐としての委託を受け、役の重さを感じながら勉強会に出席しております。日頃より不勉強な私ですが、勉強会を通し、5クラブの会員の方々や会長・幹事の皆様との出会いの中から学んでいきたと思います。

2740地区2005～2006年度 地区方針である、「超我の奉仕」「思いやりと寛容」「識字率向上と教育」「水保全」が達成できるように、微力ながら努力していきたくと思います。同じ理想、目標を共存する多くの仲間がいることを心強く感じながら、本城ガバナーの方針に基づき、皆様の良きパイプ役になれるよう、努力してゆきたいと思います。グループの皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。



第2グループ  
ガバナー補佐  
**宮地 勝 朗**  
(神埼RC)

2005～2006年度地区協議会で国際ロータリー第2740地区 本城好春ガバナーは、アナハイムに於きまして更なる101年目の新たな第一歩を踏み出す門出に際し、1911年に採択された、次年度RI会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏のテーマSERVICE ABOVE・SELF(超我の奉仕)は難しく考えずに素直に「思いやりを寛容の精神」と理解する。以上の事を報告されました。そして、地区の方針にも識字率向上と教育・水保全 同じ理想や目標を共存する他団体と協力して活動する事を指示されました。昨年12月には2005～2006年度地区運営について発表され (1)ガバナー地区運営の基本方針 (2)会員増強目標 (3)ロータリー財団目標 (4)米山記念奨学会年間寄付目標 上記、大綱を2005～2006年度 本城好春ガバナーの方針に従って力不足未熟ではありますが、第2グループガバナー補佐に小生が任命され微力を傾注いたしたく各クラブロータリアンの皆様ご協力ご指導宜しく願いいたします。第2グループ5クラブ(180有余名)それぞれ運営のスタイル活動方針も出来上がりつつあると思いますので、会長・幹事・各担当者と吉田ガバナー補佐のご指導を仰ぎながら、現在迄各クラブ2回程度の訪問させて頂いておりますが、期間中あと2回～3回訪問し気軽なコミュニケーションの場を設け、いつか横須賀西の宮城英雄様は「ロータリーは品位ある高級の道楽である」と表現されました。

ロータリーをエンジョイしながら第2グループガバナー補佐としての任務を遂行したいと思っております。

略 歴

生年月日 1931年9月18日  
職 業 (株)中島製作所 代表取締役会長  
ロータリー歴 1993年7月 入会  
2002年 副会長  
2003年 会長  
ポールハリス、フェロー  
マルチプルポールハリス、フェロー

略 歴

生年月日 1933年8月3日  
職 業 宮地商店 東肥前商業開発(株) 代表取締役  
ロータリー歴 1986年5月13日入会  
1988年会長



第3グループ  
ガバナー補佐  
**松山 進**  
(大町RC)

この度ガバナー補佐を仰せつかり困惑しておりましたが、本城ガバナーより事前研修を受け、本年度の方針を伺い、これは頑張るしかないと思えました。

最近会員の減少が表面化しているようですが、考えてみると、我々ロータリークラブは一週間に一度、仲間と会い食事をしながら会話が出来る、こんな素晴らしい組織はそう多くはないと思います。

仕事に追われる日々であってもその一時間を有効に活かすことが大切ではないでしょうか。何故なら“時”は誰にでも平等に与えてくれているからです。私達の例会場でも楽しくユーモラスに人の話を聞きそして語り時を過ごすことが出来れば例会出席の意義が有ると思えます。

ロータリアンの皆様そして第3グループの皆様、今年度お世話になります。よろしく願い申し上げます。



第4グループ  
ガバナー補佐  
**前田 拓郎**  
(伊万里RC)

隅田達夫ベストガバナーの伊万里での地区大会の折、前田拓郎君がショパンのピアノ協奏曲を弾き、司会を致しましたのが私、前田拓郎でしたと申しましたら、思い出していただけるでしょうか。彼はその後にも研鑽を重ね、今年にはポーランドでのショパンコンクールに挑戦します。思いがけなくも、急逝された前田利昭さまに代わってガバナー補佐を勤めることとなりました。ロータリーに関しては、特別の勉強も致しておりませんでした私に大役が務まりますかどうか、心細い限りですが、ともかくも頑張ります。もともと思い付きだけは、吹き出る泉の如くとはゆきませんが、とんでもないことが、飛び出す恐れあり、その点、寛容なお許しを。唐津中学OBとして、この機会に唐津の方々にお会いできますことは望外の喜びです。宮島パストガバナー始め、先輩方も多くおいでのまえて、心振るえることですが、どうぞお力を貸して下さい。

**略 歴**

生年月日 1941年2月9日  
職 業 料亭 松山  
ローター歴 1976年2月12日 入会  
1984年7月 幹事  
1998年7月 会長

**略 歴**

生年月日 1932年3月3日  
職 業 前田病院 内科医師(健康管理科)  
ローター歴 1984年12月19日 入会  
2003~2004年度 会長  
1991年 ポールハリス、フェロー



第5グループ  
ガバナー補佐  
**安 福 鴻之助**  
(佐世保RC)

資格が無いのを承知の上で、諸般の事情により止むを得ずガバナー補佐を務めさせて頂く事になりました。各方面にご迷惑をおかけした事誠に心苦しく申し訳なく思っています。この原稿を書いている時点で任期をまだ2ヶ月残している現職のクラブ会長であり、まだガバナー補佐としての抱負など述べる立場にありませんが、ガバナーのメッセンジャーボーイ程度なら勤まるかなと思っています。

ともあれ私達ロータリアンにとってまず第1に重要なことは「綱領」を大切にすることでしょう。会員一人一人が各々業務の道徳的水準を高め社会に奉仕する、そしてその為に必要な事を例会に出席して各自学ぶということを皆さんと共に確認して行きたいと思っています。そして更にステンハマーRI会長による新年度のテーマ、SERVICE Above Self(超我の奉仕)についても。



第6グループ  
ガバナー補佐  
**浦 本 忠 男**  
(佐世保東RC)

この度、第6グループのガバナー補佐としてご指名を頂き、この大役に責任の重大さを痛感しております。各クラブの会長様始め幹事様 会員の皆様方この一年間宜しくご指導賜りますようお願い申し上げます。

私は佐世保東ロータリークラブに入会して16年になりますがロータリーについては全く不勉強で唯々時の流れに流され無為に過ごした自分に未だ後悔している所があります。しかしながらご指名を受けたからには浅学非才ではありますが一生懸命努力して職務を果たしたいと思っております。

さて、本年度のRI会長エレクト ステンハマー氏のテーマは「超我の奉仕」です。ロータリーが生まれて僅か6年目に生まれたと言われるこのテーマは95年間のロータリー運動の根底になっていきます。ロータリーとは何ですかと問われたときもっとも簡潔な答えはこの五文字の標準語です。言い古された言葉だけにいろいろな解釈解説がされてきましたが、簡潔な言葉だけにその心はと問われた時は難しい解釈をせず「人への思いやり」と答えてくださいと云われるのが本年度本城ガバナーの答えです。そんな中でガバナー補佐の役割は一体どんな事をやったら良いのだろうと研修を受け乍らも考えてきましたが、結論から申しますと補佐の役割はガバナー・地区そして各クラブの連絡調整にあり、各クラブの皆様のご意見を拝聴させていただき各クラブが少しでも活性化出来る様努力することであり、ガバナーと各クラブの間で廻る歯車の潤滑油のようなものと理解し始めております。何はともあれ、この一年ロータリーが目指す超我の奉仕を最大限に理解し最善の奉仕活動に邁進すべく努力したいものだと思っております。

どうか皆様方のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

略 歴

生年月日	1939.9.22
職 業	(株)中央館チェーン
ローター歴	1978年7月1日入会
	2004~2005 佐世保RC会長
	1997~1998 ローターアクト委員長
	2002~2003 クラブ奉仕委員長
	マルチプル・ポールハリスフェロー
	米山功労者

略 歴

生年月日	1938年1月3日
職 業	備トップリカーズ佐世保店 代表取締役社長
家 族	1989年3月佐世保東ロータリークラブ入会
ローター歴	1996~1997年度 同クラブ幹事
	2003~2004年度 同クラブ会長
	1997年 ポールハリス、フェロー
	2003年、2004年 マルチプル・ポール・ハリスフェロー
	2003年、2004年 米山功労者



第7グループ  
ガバナー補佐  
**日向 啓**  
(島原南RC)

ガバナー補佐という大役をおおせつかりましたが、どうして自分なのか、いまだに解りません。他に、立派な方が大勢いらっしゃる中で、自薦、他薦すべきではないでしょうか。順番ではありまじょうが、弱小クラブからは荷が重すぎると思います。しかし、引き受けたからにはやるしかありません。

今年度の方針は、『超我の奉仕』その要点は

1.識字率の向上と教育 2.人道支援としての水保全 の二つです。本城ガバナーは次のように話されています。地元、地域のニーズを見極め、草の根運動に参加してください。しかしながら、一人でできるものでもありません。他の団体と協力して活動してください。『超我の奉仕』は「思いやりと寛容の精神」と理解してください。今年度は「原点にもどり」先ず考えると共に行動してください。

以上のことが実践できるよう手伝うつもりでおりますが、何処から手を付けるか、思案中です。ガバナーの意向は、しっかり伝達し、パイプが詰まらないようにしてゆきたいと考えております。一年間宜しくお願い致します。

**略 歴**

生年月日 1946年12月23日  
職 業 株式会社日向海運 代表取締役  
ローター歴 1987年5月入会  
1996～1997年度 幹事  
2001～2002年 会長  
ポールハリス、フェロー



第8グループ  
ガバナー補佐  
**烏山 紀男**  
(諫早RC)

ロータリーが誕生してから101年新しい第一歩を踏み出す年度であり、原点に帰る年度でもある。人間は独りでは生きて行けない、群れをなして生きて行く、群れをなして行くにはお互いに思いやりを持たなければならないと本城ガバナーの方針が示されました。この年度にガバナー補佐を仰せつかり大変戸惑い、責任の重大さを痛感しているところです。

昨年9月初旬に会長より次年度ガバナー補佐は諫早クラブより選出することに決定した旨報告があり、会長職が終わったばかりで他人事のように聞いておりました所、選考委員長より次年度ガバナー補佐を引き受けて欲しいと言われ、大変驚き、会長経験者が多く居られ辞退したところ、諫早クラブでは、断ることはご法度であり、クラブとして全面的に協力するとの事であり、又早田ガバナー補佐は高校の同窓生であり、ロータリーの関係で借りがあったので引き受けた次第です。

本城ガバナーより委嘱状を頂きIMにて次年度ガバナー補佐として紹介を受け、その後の研修セミナーを受けるにつけ不安が増しているのが現実です。

経験は貴重な財産だと思います。だが、ややもすると「以前やってみたがだめだった」「それは、こうしたからうまくいった」という経験が、新しい発想を妨げているときがありはしないでしょうか。過去の体験にとらわれていたのでは、時代に取り残されてしまうのでは、事をなすに当たっては、常識や前例を大事にしつつもこれにとらわれず、まずは白紙で当たりたいと思っています。皆様のご支援・ご指導を戴きながら1年間ガバナー補佐としての任務を果たす所存ですので宜しくお願いします。

**略 歴**

生年月日 1941年1月9日  
職 業 自動車学校  
ローター歴 1984年6月 入会  
1993～1994年度 幹事  
1994年4月 米山功労者  
1995年5月 ポール・ハリス・フェロー  
2003～2004年度 会長



第9グループ  
ガバナー補佐  
**渡 邊 修 志**  
(長崎西RC)

この度、はからずも第9グループ、ガバナー補佐の大役を拝命致しましたが、浅学非才の私にこの重責を果すことが出来るのか大変不安に思います。しかしながらお受けした以上は一生懸命務めさせて頂く所存でありますので、御協力の程よろしくお願い致します。

さて、RIは新たなる101年の第一歩を踏み出し、95年前に採択された「超我の奉仕」というテーマを再び揚げ、ロータリーを見直すべく原点回帰、脚下照顧の理念のもとに歩み出すことになりました。再度提唱された「SERVICE ABOVE SELF」は難しく考えずに素直に「思いやりと寛容の精神」と理解をして下さいとのことでもあります。ロータリーのより良き発展のために、私の役割はRI・地区ガバナーとグループ内クラブとの連絡調整役でありますので、会員の皆様からの忌憚のない御意見を頂くと共に合わせて御教示頂ければ幸いです。何卒 絶大なる御支援と御協力を御願い申し上げます。



第10グループ  
ガバナー補佐  
**西 岡 英 一**  
(東長崎RC)

この度、第10グループのガバナー補佐を仰せつかりました。ちゃんと出来るかどうか不安でいっぱいですが、皆様の好意と友情に甘えて、何とか乗り切れたらと思っています。

昨年12月18日のガバナー補佐打ち合わせ会、3月12日の地区研修セミナー、3月27日のクラブ会長エレクト研修セミナー、4月24日の地区協議会、と計4回唐津に行って研修を受けて参りましたが、ロータリーは奥が深く、まだまだ良くわかりません。

皆様のクラブに回って来た時は、どうかお手柔らかにお願いします。今年度の本城ガバナーは優しく、ソフトで、少しおもしろい方ですから、ガバナー公式訪問は楽しみにして頂いて下さい。

**略 歴**

生年月日 1935年2月26日  
職 業 歯科医師 渡辺歯科医院院長  
家 族 1984年10月2日入会  
ロータリー歴 1996～1997年 会長

**略 歴**

生年月日 1947年9月4日  
職 業 有限会社 長崎新光ガス 社長  
家 族 1989年8月8日入会  
ロータリー歴 2002～03年度 会長

RI2740地区 2005-2006年度

## ガバナー公式訪問・クラブ協議会日程表

グループ	クラブ名	クラブ協議会	公式訪問	グループ	クラブ名	クラブ協議会	公式訪問
第1グループ	佐賀	8月4日(木)	8月11日(木) 夜	第6グループ	佐世保南	9月2日(金)	9月9日(金)
	小城	7月20日(水)	7月27日(水)		佐世保東	9月1日(木)	9月8日(木)
	牛津	7月22日(金)	7月29日(金) 夜		佐世保北	8月1日(月)	8月8日(月) 夜
	多久	7月28日(木)	8月11日(木)		佐世保中央	8月25日(木)	9月8日(木) 夜
	佐賀大和	8月9日(火)	8月23日(火) 夜		佐世保東南	8月31日(水)	9月9日(金)
第2グループ	佐賀西	9月12日(月)	9月26日(月)	HTB佐世保	8月9日(火)	8月23日(火)	
	佐賀北	7月20日(水)	7月27日(水) 夜	第7グループ	大村	9月13日(火)	9月20日(火) 夜
	佐賀南	7月12日(火)	7月19日(火) 夜		島原	8月2日(火)	8月9日(火)
	神崎	7月26日(火)	8月2日(火) 夜		雲仙	8月27日(土)	9月3日(土)
	佐賀空港	7月13日(水)	8月10日(水)		大村北	9月7日(水)	9月14日(水) 夜
有田	7月26日(火)	8月2日(火)	島原南		8月3日(水)	8月9日(火)	
第3グループ	武雄	8月1日(月)	8月8日(月)	大村東	8月22日(月)	8月29日(月)	
	鹿島	7月12日(火)	7月19日(火)	第8グループ	諫早	8月12日(金)	8月26日(金)
	嬉野	7月22日(金)	7月29日(金)		諫早北	7月28日(木)	8月4日(木)
	大町	7月14日(木)	7月21日(木)		諫早西	9月7日(水)	9月14日(水)
	白石	9月14日(水)	9月21日(水)		諫早多良見	9月13日(火)	9月20日(火)
	太良	7月14日(木)	7月21日(木) 夜		諫早南	8月8日(月)	8月26日(金)
唐津	9月20日(火)	9月27日(火)	第9グループ		長崎	9月15日(木)	9月22日(木)
伊万里	7月20日(水)	7月28日(木)		福江	7月15日(金)	7月22日(金)	
唐津東	9月8日(木)	9月15日(木)		長崎北東	8月24日(水)	9月6日(火)	
唐津西	8月24日(水)	8月31日(水)		福江中央	7月12日(火)	7月22日(金) 夜	
伊万里西	7月21日(木)	7月28日(木)		長崎西	8月23日(火)	9月6日(火)	
唐津中央	9月9日(金)	9月16日(金) 夜		長崎琴海	9月8日(木)	9月22日(木)	
第5グループ	佐世保	7月27日(水)	8月3日(水)	第10グループ	長崎北	8月8日(月)	8月22日(月)
	平戸	8月18日(木)	8月25日(木)		長崎南	8月24日(水)	9月7日(水)
	佐世保西	7月26日(火)	8月3日(水)		長崎東	8月5日(金)	8月19日(金)
	北松浦	7月19日(火)	8月30日(火)		東長崎	8月23日(火)	9月7日(水)
	松浦	9月9日(金)	9月16日(金)		長崎中央	8月1日(月)	8月22日(月)
	生月	8月17日(水)	8月25日(木) 夜		長崎出島	7月29日(金)	8月19日(金)

**地区主要行事予定表**

年月	強調月間	日付	ガバナー事務所	日付	地区委員会
2006	R理解推進月間	14	第3回 ガバナー補佐会		
1月		26	第3回 諮問委員会		
	世界理解月間			5	米山記念奨学生選考会
2月					
	R雑誌月間			5	米山記念奨学生終了式・歓送会
3月					
	R雑誌月間			9	R財団奨学生壮行会
4月					
	親睦活動月間	25	第4回 諮問委員会	14	米山記念奨学生オリエンテーション
5月					
	親睦活動月間	10	第4回 ガバナー補佐会	3	ローターアクト年次大会
6月				4	
	親睦活動月間			4	R財団国際親善奨学生選考会

## 報告のしおり

報告の種類	報告期日	期 限	摘 要
半期報告	前期 05年7月1日 後期 06年1月1日	RI事務所から送付された用紙を使用	RI日本事務局奉仕室
次年度会長・幹事 決定報告 (公式名簿掲載資料)	05年12月31日	RI事務所から送付された用紙を使用	RI日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ガバナーエレクト事務所
次年度クラブ事務所 通知(変更の場合)	06年4月末日	書式自由	RI日本事務局奉仕室 ガバナーエレクト事務所 ロータリーの友事務所
会員の入金・退会・ 変更	都度速やかに	日本事務局 所定の用紙を使用	RI日本事務局奉仕室 ガバナー事務所
会長・幹事変更、 例会日時・場所等	都度速やかに	書式自由	RI日本事務局奉仕室 ガバナーエレクト事務所 ロータリーの友事務所
クラブ月報Ⅰ	毎月8日	所定の用紙	ガバナー事務所
クラブ月報Ⅱ	毎月16日	所定の用紙	ガバナー事務所
国際大会信任状	06年4月末日	RI事務所から送付された用紙を使用、 会長、幹事の署名が必要	ガバナー事務所

### 《報告先》

#### ◇国際ロータリー日本事務局

〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階  
 (財団室) Tel. 03-3903-3192  
 Fax. 03-3903-3781  
 (奉仕室) Tel. 03-3903-3161  
 Fax. 03-3903-3781  
 (資料室) Tel. 03-3903-3194  
 Fax. 03-3903-3781

#### ◇ガバナー事務所

〒847-0012 唐津市大名小路1-54  
 唐津商工会館5階  
 Tel. 0955-75-1371  
 Fax. 0955-75-1372

#### ◇ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階  
 ロータリーの友の会事務所  
 Tel. 03-3436-6651  
 Fax. 03-3436-5965

**送金のしおり**

	送金資金の種類	金額	期限	振込先	
人頭分 地区 資金 等	RI人頭分担金 前期 05年7月1日現在会員 後期 06年1月1日現在会員	(年額US \$43.00) US \$ 21.50 US \$ 21.50 ※注1	05年7月1日及び 06年1月1日の会 員数を基準に7日 以内に送金手続 きを完了する	【三井住友銀行】 新宿御苑前支店 (普)6733244 国際ロータリー 日本事務局 事務局長 大島 四郎	
	中途入会会員RI人頭分担金 前期 (7/2~9/30入会者) 後期 (1/2~3/31入会者)	US \$ 10.75 US \$ 10.75	05年10月1日 06年 4月1日		
	規定審議会の為の 追加人頭分担金	US \$ 1.00	05年 7月1日 ※注2		
	地区 資金 等	地区 資 金	年間 6,200円 (半期 3,100円)	05年7月1日及び 06年1月1日の会 員数を基準に7日 以内に送金手続 きを完了する	【唐津信用金庫】 本店営業部 (普)1199799 国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所 会計長 大串 重幸
		ロータリー文庫協力金	年間 300円 (半期 150円)		
		全国ガバナー会運営費	年間 200円 (半期 100円)		
		G S E 分 担 金	年間 500円 (半期 250円)		
		世界社会奉仕資金	年間 360円 (半期 180円)		
		ガバナー事務所費	年間 3,200円 (半期 1,600円)		
		ガバナー月信購読料	年間 1,900円 (半期 950円)		
国際青少年交換資金		年間 2,000円 (半期 1,000円)			
小 計	年間 14,660円 (半期 7,330円)				
地区 大会 分 担 金	年間 6,000円	05年10月1日			
寄 付 金	ロータリー財団寄付金 ※負税 個人は、200万円まで 寄付金より1万円引いた分	一括20万円以上の 年次寄付と 恒久基金寄付	随 時	【三井住友銀行】本店営業部 (普)8719834 国際ロータリー日本事務局 日本ロータリー奨学金委員会 所長 大島 四郎	
		10万円以上 20万円未満 の年次寄付のみ	随 時	【東京三菱銀行】赤羽支店 (普)1568210 特定非営利活動法人 ロータリー日本財団 理事 岩井 敏	
		上記以外の寄付	随 時	【東京三菱銀行】本店 (普)1528228 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四郎 ----- 【三井住友銀行】本店営業部 (普)0968049 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四郎	
米山記念奨学会寄付金	(普通寄付) 金額×会員数 (7月1日、1月1日現在)	05年 7月1日 06年 1月1日	随 時	【三井住友銀行】 京橋支店 (普)0920373 (財)ロータリー 米山記念奨学会	
	(普通寄付) 米山功労賞 10万円以上 準米山功労法人 5万円以上 35万円未満 米山功労法人 35万円以上				
そ の 他	ザ・ロータリアン誌購読料	1部・半期分 US \$ 6.00	05年 7月1日 06年 1月1日	RI人頭分担金と同じ	
	「ロータリーの友」購読料	1部・半期分 1,200円(消費税別)	05年 7月1日 06年 1月1日	【三井住友銀行】 浜松町支店 (普)6326314 ロータリーの友事務所	
	文 献 資 料 代	表示価格	随 時		

※注1 規定審議の結果により変更の可能性があります。

※注2 06年7月1日の会員数を基準にRI人頭分担金と同時処理

2005~06年度会長・幹事

グループ	クラブ名	会 長	勤務先電話番号	幹 事	勤務先電話番号
第1グループ	佐 賀	野 口 清	0952-31-5548	大 坪 恵 介	0952-23-4548
	小 城	馬 場 實	0952-72-4066	橋 村 剛	0952-72-3091
	牛 津	森 山 寿美男	0952-66-0105	江 口 武	0952-66-5858
	多 久	丸 山 忠 宏	0952-75-2837	藤 川 範 史	0952-75-2223
	佐賀大和	田 代 祐 照	0952-98-2343	金 子 智 則	0952-62-5889
第2グループ	佐賀西	吉 野 徳 親	0952-28-2121	藤 島 敏 雄	0952-24-3211
	佐賀北	福 元 裕 二	0952-31-3001	山 口 誠 二	0952-29-3333
	佐賀南	吉 村 正	0952-45-5131	園 田 嘉 生	0944-87-3580
	神 埼	山 崎 清 二	0952-52-7777	瀬 戸 島 久 司	0942-82-4523
	佐賀空港	船 津 健次郎	0952-31-8141	栗 田 博 昭	0954-63-1164
第3グループ	有 田	西 山 泰 雄	0955-46-2821	西 山 典 秀	0955-43-3107
	武 雄	原 英 彦	0954-28-2555	井 手 静 雄	0954-23-0920
	鹿 島	辻 野 正 勝	0954-62-6119	中 尾 廣 次	0954-63-5381
	嬉 野	村 島 秀 典	0954-43-0260	中 島 陽 一 郎	0954-42-0372
	大 町	前 山 正 博	0952-82-2579	山 口 政 雄	0954-63-0129
	白 石	池 上 司	0952-84-2856	川 崎 涉	0952-84-6212
	太 良	木 下 徳 範	0954-68-2583	牟 田 則 雄	0954-67-1333
第4グループ	唐 津	井 上 東 也	0955-77-2131	長 野 眞 知	0955-75-2121
	伊 万 里	田 尻 徳 麿	0955-28-0123	樋 渡 徳 美	0955-23-5465
	唐 津 東	古 藤 弘 武	0955-72-5266	小 島 浩 彦	0955-77-1751
	唐 津 西	馬 場 正 人	0955-72-4931	平 田 正 廣	0955-72-3865
	伊万里西	田 中 秀 徳	0955-23-3263	竹 田 敏 之	0955-28-2888
	唐津中央	中 里 文 子	0955-77-1471	米 田 均	0955-72-8654
第5グループ	佐世保	山 縣 義 道	0956-24-8937	梅 村 良 輔	0956-32-3111
	平 戸	吉 澤 裕 輔	0952-23-2460	墨 谷 泉	0950-57-3434
	佐世保西	岩 崎 英 喜	0956-48-8102	福 蘭 英 智	0956-31-1101
	北 松 浦	御 厨 増 尚	0956-63-2220	岩 屋 和 俊	0956-76-2150
	松 浦	岩 藤 一 人	0956-74-0048	勝 山 善 文	0956-72-5760
	生 月	大 石 均	0950-53-0218	門 川 峯 高	0950-53-1391

**2005～06年度会長・幹事**

グループ	クラブ名	会 長	勤務先電話番号	幹 事	勤務先電話番号
第6グループ	佐世保南	圓 田 治	0956-25-6336	岡 崎 公 一	0956-24-8888
	佐世保東	伊 藤 正 春	0956-33-3333	橋 口 正	0956-26-5255
	佐世保北	二ノ宮 健	0956-22-6540	緒 方 信 行	0956-33-8178
	佐世保中央	橋 口 佳 周	0956-32-1248	田 代 博 之	0956-38-0001
	佐世保東南	谷 山 政 彦	0956-33-5156	古 川 幸 造	0956-23-6772
	HTB佐世保	村 上 英 世	0956-38-1026	松 尾 京 子	0956-32-2582
第7グループ	大 村	久 松 清 彦	0957-52-3442	中 島 悟	0957-54-1930
	島 原	森 利 市	0957-62-3892	荒 木 尚 武	0957-62-5111
	雲 仙	福 田 宥 晃	0957-73-3422	金 澤 秀三郎	0957-74-5556
	大村北	比 良 孝 蔵	0957-53-4101	山 口 弥太郎	0957-52-3437
	島原南	永 田 博	0957-86-3222	永 橋 秀 光	0957-85-4205
	大村東	為 永 伸 夫	0957-53-5175	野 田 孝 則	0957-55-8440
第8グループ	諫 早	犬 尾 博 治	0957-22-0245	根 来 博 文	0957-26-3177
	諫 早 北	武 田 義 憲	0957-22-1350	深 川 寛	0957-22-3328
	諫 早 西	森 由 有	0957-21-2121	池 松 和 彦	0957-25-1400
	諫早多良見	桑 田 隆 朗	0957-43-3119	北 島 良 樹	0957-22-3094
	諫 早 南	田 淵 隆 良	0957-22-4966	大 砂 悟	0957-24-6572
第9グループ	長 崎	安 達 一 蔵	095-822-0161	嵩 下 明 伸	0957-74-3191
	福 江	川 上 保 明	0959-72-6181	向 原 広 勝	0959-72-2591
	長崎北東	町 田 憲 明	095-845-3742	野 口 俊 治	095-824-0522
	福江中央	郡 家 信 晴	0959-72-2436	森 眞 敏	0959-72-3732
	長 崎 西	栗 原 博 志	095-823-3232	山 川 晃	095-822-5889
	長崎琴海	渡 辺 力	095-884-1427	梶 原 亮 謙	095-884-2005
第10グループ	長 崎 北	阿 部 芳 男	095-821-2111	崎 永 剛	095-825-8343
	長 崎 南	蒔 本 恭	095-826-8186	岩 隈 弘	095-822-5181
	長 崎 東	島 崎 静 夫	095-849-2820	吉 川 祐 介	095-828-8500
	東長崎	尾 上 重 道	095-839-2751	田 中 良 光	095-837-8111
	長崎中央	原 田 尚 紀	095-847-2329	河 野 英 雄	095-825-4139
	長崎出島	服 部 一 弘	095-864-4527	岡 万里子	095-848-8215

# 文庫通信 (213号)

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には、常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、[ロータリー文庫]は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、35年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお待ちしております。

## ☆利用方法☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合わせも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

(文庫資料をご希望の場合は)

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービスを致します。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ビデオテープは有料でダビングを致します。

(貸出し)

- ・視聴覚資料(スライド・フィルム)は予約制(申し込み用紙有)で貸出し致します。

(登録資料の紹介)

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

(ご寄贈)

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせていただきます。

## \*ロータリー文庫\*

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

1. 地区関係資金人頭分担金

① 地区資金						
地区資金	地区大会 分担金	日本SC分担金		特別会計繰入金		小計
		ロータリー文庫協力金	全国ガバナー会運営費	GSE分担金	世界社会奉仕資金	
6,200円	6,000円	300円	200円	500円	360円	13,560円

2. 地区資金一般会計

収入の部		支出の部	
項目	05～06年度予算	項目	05～06年度予算
(1)地区資金	16,740,000	(1)ガバナー関係費	6,450,000
(2)地区大会分担金	16,200,000	GN国際協議会	1,200,000
(3)日本SC分担金		全国G.PG会議費	2,500,000
ロータリー文庫協力金	810,000	地区G.PG会議費	1,300,000
全国ガバナー会運営費	540,000	各種委員会会議費	900,000
(4)特別会計繰入金		ガバナー記念品代	100,000
GSE分担金	1,350,000	渉外費・広報費	450,000
世界社会奉仕資金	972,000	(2)地区活動費 補助金	19,400,000
収入合計	36,612,000	地区大会	16,200,000
		地区協議会	700,000
		PETS	300,000
		地区チーム研修セミナー	300,000
		IM	0
		インターアクト助成金	700,000
		ローターアクト助成金	800,000
		RYLA助成金	300,000
		R財団学友会	100,000
		(3)ガバナー補佐費	1,500,000
		(4)地区委員会費	5,000,000
		クラブ奉仕関係委員会	500,000
		職業奉仕関係委員会	350,000
		社会奉仕関係委員会	150,000
		新世代関係委員会	1,200,000
		国際奉仕関係委員会	2,800,000
		ロータリー100周年委員会	0
		(5)日本サービスセンター分担金	1,350,000
		ロータリー文庫協力金	810,000
		全国ガバナー会運営費	540,000
		(6)特別会計繰入金	2,522,000
		GSE分担金	1,350,000
		世界社会奉仕資金	972,000
		規定審議会積立金	200,000
		(7)予備費	390,000
		支出合計	36,612,000

〈地区委員会内訳〉

地区委員会名	05～06年度予算
クラブ奉仕関係委員会	500,000
クラブ奉仕委員会	100,000
出席委員会	100,000
拡大・会員増強委員会	100,000
ロータリー情報・広報委員会	100,000
ロータリー女性委員会	100,000
職業奉仕委員会	350,000
社会奉仕・環境保全委員会	150,000
ロータリー100周年委員会	0
新世代関係委員会	1,200,000
新世代委員会	100,000
ローターアクト委員会	550,000
インターアクト委員会	450,000
ライラ委員会	100,000
国際奉仕関係委員会	2,800,000
国際奉仕委員会	100,000
ロータリー財団委員会	500,000
米山記念奨学委員会	400,000
財団奨学・学友委員会	400,000
国際青少年交換委員会	1,300,000
GSE委員会	100,000

## 地区関係予算

② ガバナー事務所資金			③ 国際青少年 交換資金	合 計	平均会員数
ガバナー事務所 分担金	月 信 費	小 計			
3,200円	1,900円	5,100円	2,000円	20,660円	2,700名

### 3. ガバナー事務所会計予算

(2,700人)

収 入 の 部		支 出 の 部	
G事務所分担金 @3,200×人数	8,640,000	公 式 訪 問 旅 費	400,000
月信費 @1,900×人数	5,130,000	人 件 費	2,900,000
R I 補助金	1,500,000	月 信 費	5,100,000
雑収入	0	通 信 費	900,000
		消 耗 品 費	1,200,000
		室料および会議費	1,200,000
		旅 費 交 通 費	400,000
		ガバナーノミニー費	3,000,000
		直 前 ガ バ ナ ー 費	100,000
		予 備 費	700,000
収 入 合 計	15,270,000	支 出 合 計	15,270,000

### 4. 国際青少年交換資金会計

(2,700人)

収 入 の 部		支 出 の 部	
国際青少年交換資金 @2,000	5,400,000	学 生 滞 在 費 補 助	2,900,000
地区資金より補助	1,300,000	学 生 合 同 旅 行	1,100,000
クラブ負担金収入	0	オリエンテーション費用	1,400,000
その他	0	学 生 歓 送 迎 会 費 他	80,000
		委 員 会 費・全 国 委 員 会 費	600,000
		印 刷 費 他	200,000
		通 信 費	300,000
		予 備 費	120,000
収 入 合 計	6,700,000	支 出 合 計	6,700,000

## 国際ロータリー第2740区 2004～2005年度地区組織図

<b>ガバナー指名委員会</b>		<b>諮問委員会</b>		<b>ガバナーエレクト</b>		<b>ガバナー補佐 (前期補佐推薦)</b>	
PG 逸見 嘉彦 (佐世保南)	PG 逸見 嘉彦	(長 崎)		第1グループ	佐賀・小城・牛津 多久・佐賀大和		
PG 宮島 傳兵衛 (唐津東)	PG 宮島 傳兵衛			第2グループ	佐賀西・佐賀北・佐賀南 神埼・佐賀空港		
PG 市瀬 久米嘉 (佐世保東)	PG 市瀬 久米嘉	<b>地区研修リーダー</b>		第3グループ	有田・武雄・鹿島・嬉野 大町・白石・太良		
PG 佐古 亮尊 (大村北)	PG 佐古 亮尊	栗林 英雄 (諫早北)		第4グループ	唐津・伊万里・唐津東 唐津西・伊万里西・唐津中央		
PG 牟田 勝輔 (武 雄)	PG 牟田 勝輔	<b>地区拡大委員会</b>		第5グループ	佐世保・平戸・佐世保西 北松浦・松浦・生月		
PG 辻 洋三 (佐世保南)	PG 辻 洋三	隅田 達男 (伊万里)		第6グループ	佐世保南・佐世保東・佐世保北 佐世保中央・佐世保東南・HTB佐世保		
PG 野崎 元治 (長 崎)	PG 野崎 元治	安部 直樹 (佐世保)		第7グループ	大村・島原・雲仙 大村北・島原南・大村東		
PG 草場 立太郎 (佐賀西)	PG 草場 立太郎	栗林 英雄 (諫早北)		第8グループ	諫早・諫早北・諫早西 諫早多良見・諫早南		
PG 武井 洋一 (佐世保)	PG 武井 洋一	<b>ロータリーの友</b>		第9グループ	長崎・福江・長崎北東 福江中央・長崎西・長崎琴海		
PG 福井 順 (長崎南)	PG 福井 順	石松 憲一郎 (唐 津)		第10グループ	長崎北・長崎南・長崎東 東長崎・長崎中央・長崎出島		
PG 隅田 達男 (伊万里)	PG 隅田 達男						
PG 安部 直樹 (佐世保)	PG 安部 直樹						
PG 栗林 英雄 (諫早北)	PG 栗林 英雄						
G 本城 好春 (唐 津)							

<b>クラブ奉仕委員会</b>	
委員長 小松 重昭 (唐津中央)	
委員 野村 安伸 (長崎北東)	
委員 金ヶ江 亮子 (多 久)	
委員 緒里 勇三郎 (諫早西)	

<b>拡大・会員増強委員会</b>	
委員長 野村 安伸 (長崎北東)	
委員 溝上 善造 (大 村)	
委員 福園 英智 (佐世保西)	

<b>ロータリー情報・広報委員会</b>	
委員長 小松 重昭 (唐津中央)	
委員 福谷 健吉 (大村北)	
委員 中尾 直弘 (武 雄)	

<b>ロータリー女性委員会</b>	
委員長 金ヶ江 亮子 (多 久)	
委員 助村 房子 (諫早南)	
委員 宇野 久子 (唐津中央)	

<b>出席委員会</b>	
委員長 緒里 勇三郎 (諫早西)	
委員 西村 和郎 (神 埼)	
委員 増本 恒彦 (HTB佐世保)	

<b>社会奉仕委員会</b>	
委員長 服巻 芳史 (小 城)	
委員 白川 十郎 (伊万里)	
委員 川原 俊也 (長崎北)	
委員 野田 弘之 (諫早北)	

<b>ライラ委員会</b>	
委員長 吉村 正則 (佐賀大和)	
委員 枝國 五雄 (佐賀空港)	
委員 高木 栄 (大村東)	
委員 劉 濟昌 (長崎西)	

<b>国際奉仕委員会</b>	
委員長 前田 博憲 (佐賀西)	
委員 松尾 英機 (佐世保中央)	
委員 久保 元治 (諫 早)	
委員 田中 克憲 (長崎西)	
委員 本田 圭助 (長崎南)	

<b>ロータリー財団委員会</b>	
委員長 松尾 英機 (佐世保中央)	
委員 (G1) 飯盛 康登 (多 久)	
委員 (G2) 正島 隆夫 (佐賀北)	
委員 (G3) 木寺 幸生 (武 雄)	
委員 (G4) 鈴木 謙一 (唐 津)	
委員 (G5) 古賀 誠 (北松浦)	
委員 (G6) 井上 亮 (佐世保中央)	
委員 (G7) 石坂 和彦 (大 村)	
委員 (G8) 柴田 克博 (諫早多良見)	
委員 (G9) 友岡 純一 (長崎琴海)	
委員 (G10) 高田 昌一郎 (長崎中央)	

<b>米山記念奨学委員会</b>	
委員長 前田 博憲 (佐賀西)	
委員 (G1) 音成 日佐男 (佐 賀)	
委員 (G2) 藤井 義博 (佐賀南)	
委員 (G3) 山本 武 (大 町)	
委員 (G4) 岩永 龍幸 (伊万里)	
委員 (G5) 池田 保明 (佐世保西)	
委員 (G6) 牛島 義亮 (佐世保中央)	
委員 (G7) 吉田 秀隆 (島原南)	
委員 (G8) 高木 正隆 (諫早南)	
委員 (G9) 島田 靖彦 (長崎西)	
委員 (G10) 北郷 雅子 (長崎出島)	

## 地区ガバナー (R1役員)

本城 好春

中島 一峯 (多 久)  
 宮地 勝明 (神 埼)  
 松山 進 (大 町)  
 前田 拓郎 (伊万里)  
 安福 鴻之助 (佐世保)  
 浦本 忠男 (佐世保東)  
 日向 啓 (島原南)  
 烏山 紀男 (諫 早)  
 渡邊 修志 (長崎西)  
 西岡 英一 (東長崎)

## ガバナー事務所

地区幹事 (総 括) 北島 俊郎 (唐 津)  
 副幹事 (庶 務) 戸川 惟継 (唐 津)  
 副幹事 (新 世 代 担 当) 緒方 重利 (唐津東)  
 副幹事 (ク ラ ブ 奉 仕 担 当) 中嶋 泰生 (唐津西)  
 副幹事 (職 業 奉 仕 ・ 社 会 奉 仕 担 当) 川添 信雄 (唐津中央)  
 副幹事 (R 財 団 ・ 米 山 記 念 担 当) 中島 登志雄 (唐津西)  
 委 員 (国 際) 藤井 歸一 (唐 津)  
 委 員 (情 報 通 信) 一ノ瀬 辰喜 (唐津中央)  
 委 員 (月 信) 松尾 武彦 (唐 津)  
 地区会計長 大串 重幸 (唐 津)  
 副地区会計長 浦田 由紀男 (唐 津)

## 地区チーム研修セミナー実行委員会

委員長 小松 重昭 (唐津中央)  
 幹 事 中山 和義 (唐津中央)

## PETS実行委員会

委員長 富田 菊夫 (唐津西)  
 副委員長 和田 正治 (唐津西)

## 地区協議会実行委員会

委員長 太田 善久 (唐津東)  
 副委員長 丸山 茂夫 (唐津東)  
 幹 事 市丸 昌哉 (唐津東)

## 地区大会実行委員会

委員長 平岡 晟 (唐 津)  
 幹 事 篠崎 正之 (唐 津)  
 副幹事 小林 哲 (唐 津)  
 事務局長 川添 晃 (唐 津)  
 SAA 丸田 稔夫 (唐 津)

## 地区委員会

### 国際青少年交換委員会

委員長 藤井 歸一 (唐 津)  
 副委員長 辻 幸徳 (唐 津)  
 委員 (G1) 篠原 裕一 (佐 賀)  
 委員 (G2) 吉岡 励 (神 埼)  
 委員 (G3) 菅田 健一 (嬉 野)  
 委員 (G4) 岩本 岳敏 (唐津西)  
 委員 (G5) 木村 公康 (佐世保)  
 委員 (G6) 中島 洋三 (佐世保南)  
 委員 (G7) 本多 善彦 (雲 仙)  
 委員 (G8) 岩崎 修一 (諫 早 北)  
 委員 (G9) 田嶋 英夫 (長崎北東)  
 委員 (G10) 飯田 義則 (東長崎)

### 財団奨学・学友委員会

委員長 田中 克憲 (長崎西)  
 委員 久保 志郎 (佐賀西)  
 委員 志村 宏一 (佐世保南)  
 委員 久保 昌二 (長崎西)

### 職業奉仕委員会

委員長 影平 薫 (長崎東)  
 委員長 梅津 哲夫 (佐賀西)  
 委員長 中島 閔二 (佐世保北)  
 委員長 竹田 健介 (平 戸)

### 新世代委員会

委員長 山口 修二 (鹿 島)  
 委員 吉村 正則 (佐賀大和)  
 委員 大塚 良弘 (佐賀西)  
 委員 藤村 昌憲 (長崎北)

### インターアクト委員会

委員長 大塚 良弘 (佐賀西)  
 委員 江口 武 (牛 津)  
 委員 西田 信行 (佐賀北)  
 委員 田中丸 治樹 (伊万里)  
 委員 天本 俊太 (長 崎)  
 委員 山口 茂行 (有 田)  
 委員 中村 人久 (大 村)

### ローターアクト委員会

委員長 藤村 昌憲 (長崎北)  
 委員 栄田 元信 (諫 早)  
 委員 増本 一也 (佐世保)  
 委員 安達 健蔵 (長 崎)  
 委員 山下 雄司 (佐 賀)  
 委員 折敷瀬 三徳 (鹿 島)  
 委員 山崎 光英 (伊万里西)  
 委員 高木 義和 (島 原)  
 委員 濱崎 芳裕 (長崎東)  
 委員 都市 右太雄 (唐津東)

### 財務委員会

委員長 田尻 徳麿 (伊万里)  
 委員 福田 金治 (佐世保)  
 委員 杉原 宏一 (諫 早 北)

### GSE委員会

委員長 本田 圭助 (長崎南)  
 委員 諸島 貞一 (小 城)  
 委員 原田 恒俊 (嬉 野)  
 委員 東島 秀明 (佐世保北)  
 委員 金澤 秀三郎 (雲 仙)  
 委員 久保 泰正 (諫 早 西)  
 委員 西 亮 (長崎北東)  
 委員 山田 晃 (長崎南)

## 2005～2006年のロータリーを率いる世界のリーダーたち



(2005年2月 アナハイムにて)

### 事務局移転のお知らせ

#### ●小城ロータリークラブ

〒845-0004  
小城市小城町松尾4032番地5

#### ●牛津ロータリークラブ

〒849-0302  
小城市牛津町柿樋瀬1062-1  
ショッピングプラザ「セリオ」内



ガバナー月信の皆さん

### 編集後記

2005～06年度、ガバナー月信委員会のメンバーです。みんな初めての経験ですので皆様のご支援ご協力そしてあたたかいご指導をお願いします。左写真の5名で、この一年間頑張りますので、よろしくお願いします。



国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所

2005～2006年度 ガバナー 本城好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階  
TEL (0955) 75-1371 FAX (0955) 75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



## SERVICE Above Self 超我の奉仕

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740  
国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



2005.8.1 **VOL.2**

### ●CONTENTS

本城ガバナーのメッセージ.....1	地区だより.....15
直前ガバナーへのメッセージ...1	第96回 国際ロータリー年次大会に参加して...16
地区委員長の抱負.....2	第1回 ロータリーの友委員会開催される...17
地区大会ご案内.....11	文庫通信.....18
米山奨学生の紹介.....12	

## ガバナー所感 直前ガバナーへのメッセージ

第2740地区ガバナー 本城 好春



### ●ガバナー所感

## 101年目の第一歩を 「人への思いやり」で 踏み出しましょう

アナハイムの国際協議会のGETSで感じた事は、ガバナーと云うのは、どんな役目かという事です。

ガバナーは、国際ロータリーの、その地区の唯一の役員であります。

ガバナーは、国際協議会の情報を上意下達で、地区協議会を通して各クラブ協議会へ伝え、会員の活性化をうながす媒体パイプの役目だと云われました。又、逆に国際ロータリーは、地域末端の現状が判らないので、その現状を下意上達する役目もガバナーの役目です。

ガバナーの権限というものはなく、単なるRIとRCを結ぶパイプ役と考えたら適切かと思えます。ただ、ひたすらクラブ、会員の活性化、やる気を起こさせる(ENCOURAGE)事だと思えます。

会員の増強、拡大も財団への寄付もある程度限度があります。ノルマを与えて叱咤激励するのは本来ロータリーの奉仕活動にはなじまないものです。

今年のテーマ(標語)が1911年に採択され、95年間信奉されて来た「SERVICE ABOVE SELF(超我の奉仕)」に原点回帰したのも、その反省からと思えます。民族、宗教、言語を越えて全世界165ヶ国、120万人の会員を束ねるには、多くの言葉は要りません。この五つの文字の元に全世界の

ロータリアンが結集して居るのです。人間は群れをなす動物です。人類の今日の発展は「人への思いやり」があつてからこそ出来た事と思えます。いろいろ論理的に、哲学的に解釈される事もいいでしょうが、先ず行動に移す事です。病気で倒れた人、飢えた人を見たら、本能的に手を差しのべる気持こそ大切です。RIの唱える人道支援も、その線上にある活動です。

私達一個人、一クラブで出来る奉仕は、原点に戻り、地域のニードを探し、草の根運動をして頂きたいと思えます。それがロータリーの本来の奉仕と思えます。

101年の世紀の第一歩を踏み出す、我々の活動を全世界が求めています。今こそ、この時機にロータリアンであった幸せを心の底から喜び合ひましょう。

### ●直前ガバナーへのメッセージ

この度は直前パストガバナー栗林英雄様から丁寧なメッセージを頂戴して有難う御座いました。

昨年、ガバナーノミニの御指名を受け、安部直樹PG及び栗林英雄PGから温かい御指導、御薫陶を受けて、どうにかロータリーのガバナーとしてスタート出来る迄になりました。

1967年に地元唐津ロータリークラブに入会して38年になりますが、徒らにクラブの友情の温かさにどっぷりつかり、のうのうと過ごして参りました。所が突然、ガバナーノミニの御指名を受けて、ローカルの「井の中の蛙」はびっくり仰天。冬眠の蛙が急に脚光を

浴びたように右往左往した当時を憶い出します。

先輩の栗林PGには手取り、足取りの指導を受けて、どうにかガバナーの格好がついた感じです。時あたかもロータリー100周年を迎えて、祝賀気分が過ぎて、祭の後の哀愁ただよう夕暮れを感じが101年目のガバナーの心境です。

1905年にたった4人で発足したロータリー運動が、僅か100年間で全世界165ヶ国、120万人の会員数に増強、拡大した陰に、少しづつほころび、歪みが見えて来ました。

アメリカ、日本でも会員の減少が問題になり、私達の2740地区でも数年前3,000名の会員数が次第に減少して、私の年には2,500名を切るのではないかと云われて居ります。

過去の先輩PG、栗林直前PGの築かれた過去の栄光をどうして守り、未来に継ぐか、大変な重責に身のひきしまる思いで居ります。

私自身は、のんびり田舎のロータリアンの生活から、RI役員の特訓の機会を与えて頂き、得難い経験をして、初めてロータリアンであってよかったと喜んで居ります。

この様な得難いチャンスを与えて頂いた、栗林直前PG他、ガバナー指名委員会の多くのPGに心から感謝して居ります。

又、細かい事務的指導を受けた杉原直前地区幹事を始め、事務局の皆様を重ねて御礼を申し上げます。

几帳面にガバナー年間事業計画をこなされた後を継いで、果たしてどこまでやって行けるか、自分の体力と健康を考えて忸怩たるものがあります。

今は、ただ過去のPG達の築かれた栄光を傷つけないよう、ひたすら年間事業をこなすのみです。

どうか今後とも宜しく御指導をお願い申し上げます。

◆◆◆  
地区委員長の抱負



クラブ奉仕委員長・  
ロータリー情報広報  
委員長の抱負

小松重昭  
(唐津中央RC)

RIのテーマ『超我の奉仕』この標語が出来た時代のロータリーと今のロータリーがどう変化したのでしょうか。いつからでしょう会員増強！いつ頃からでしょうかRI財団への基金！金看板と言われる職業奉仕が宙に浮いている。それらを踏まえて今一度、本来のロータリー原理への追求を求めてクラブ奉仕部門の委員会協議討議を重ねていけばいく程、素晴らしく楽しい事であるという事が微力乍ら皆様に伝えていければと願っております。

地区での事業という事は本来有り得ない事で、個人での奉仕という事がロータリーの基本であるという事は言うまでもありませんが、どうしてもクラブ毎の事業等を実施せざるを得ない事もあるでしょう。それらからふまえても地区での事業というのは新たに考える必要は無いのではないのでしょうか。その中でロータリーについて真理への追求等、同じ目的の為地区内が一同に集り一つの事を全員で討議し学ぶ事の素晴らしさ楽しさが地区で学べる。101年目にしてRIのテーマ『超我の奉仕』という良き時代のロータリーにタイムスリップして当時のロータリーの思想、考えが現在の思想とどう変化してきているか改めて考えてみてはどうでしょうか。

時代も変わり、人も変わる。はたしてどんな変化をしてしまっているのか。だからこそ真のロータリーを追求して奉仕の実践へと移行出来る事と確信しています。限られた時間でどこまでやれるかわかりませんが本年度一年頑張りたいと思いますので皆様の御協力をお願い致します。

略 歴

職 業	炭酸飲料製造
ロータリー歴	入会/1993年 チャーターメンバー
	1998~99 職業奉仕担当理事
	1998~00 会計
	2000~01 クラブ奉仕担当理事
	2001~02 会長
	2002~03 理事
	2003~05 SAA 地区ロータリー 情報広報地区委員



**拡大・会員増強  
委員長の抱負**

**野村 安伸**  
(長崎北東RC)

**拡大会員増強委員長就任に当たって**

2005-06年度の2740地区拡大会員増強委員長を拝命いたしました長崎北東ロータリークラブの野村です。よろしく願いいたします。昨年度に引き続きの大役に、身の縮む思いをしております。昨年度は、突然のことで何もわからないまま1年を過ごしてしまいました。今年度は、会員増強に少しでもお手伝いできればと考えております。

会員拡大増強の仕事は、①新規会員の確保

②退会防止 ③新クラブ結成です。

近年の経済環境の中で、新会員の確保をやるにもなかなか進展しないというのが現状であり、無理な会員確保をした結果として、クラブの士気の低下、モラルの低下を招く恐れもあります。退会防止に注力し、その中で新規会員の発掘を実施すべきと考えております。とはいえ、会員増強はクラブの新しいエネルギーを得る唯一の手段です。「各クラブ1名以上の増員」をめざしてがんばっていただきたいと思ひます。

また、3年未満の会員のケアや出席率の低い会員へのケアをクラブ全体で実施していただき退会防止に努めていただきたいと思います。それぞれのクラブが親睦の場として、また、人生道場として楽しく意義ある場所にするためにも退会防止、新規会員の確保に注力していただきたいと思います。今年一年、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

**略 歴**

生年月日 1955年12月12日  
職 業 電気機器製造業  
ローラー歴 入会/2001年4月4日  
2003~04 地区拡大会員増強委員  
2004~05 地区拡大会員増強委員長



**ロータリー女性  
委員長の抱負**

**金ヶ江 亮子**  
(多久RC)

この度、2740地区の女性委員会委員長を引受けることになりましたが、私はロータリーアンとしての経験も浅く入会8年が終ろうとしております。

私自身の責任なのですが、ロータリーに関する勉強も出来ておらず女性委員長を引受けるのにふさわしいかどうか考えてみたのですが……会員も少ないため避けがたく受けさせて頂きました。

地区委員長の抱負とのことですが、ロータリーアンとして、自分の仕事に忠実に社会奉仕、職業奉仕をすることに心がけていますが、それもまだ充分には出来ていませんので、あまり大きな事業への取り組みは考えておりません。ロータリーの「四つのテスト」を出来るだけ忠実に実行しながら、自分の所属するクラブから小さな発信を送れたらいいかな…と思っています。

ロータリーには、男性会員と女性会員がいる訳ですので、女性ということにこだわらず自然体でいきたいと思っています。今後も、男性・女性にこだわらず気づいた事を無理せず会員の方と話し合いながら進めてまいりたいと思っています。又、女性としての特質を生かして、地域の青少年や、子育てに関することや婦女子の相談など身近な事から始めたいと思ひます。

2740地区全体では、ユネスコへの古切手集めなど、それと年に一度はガバナーの方やクラブ奉仕の男性の委員の方もふくめた資質を高めるための雑談会などを行っていただきたいと思います。その為にも他のクラブの活動も学ばせていただきたいと思いますので、他クラブの訪問を呼びかけてみたいですね。

本当に小さなことばかりですが身近なことからやっつけていこうと思ひますので、皆様のご協力をお願い致します。

**略 歴**

職 業 社会福祉法人 明日香  
杉の子保育園園長  
ローラー歴 入会/1997年 7月  
1999~2000 社会奉仕委員長  
2004~2005 社会奉仕委員長  
地区女性委員



出席委員長の抱負

猪里 勇三郎  
(諫早西RC)

前年度地区出席委員でしたが、何の活動もせぬまま一年経過してしまいました。そんな私に委員長の打診がありました。そんな器ではないし、務めを全うする自信が無い、断っていかと先輩ロータリアンに相談しましたところ、ロータリーをやめるなら断っていいとの返事でした。ロータリーをやめる気はありませんでしたので、委員長をお受けすることにいたしました。

幸い、小松クラブ奉仕委員長は、ロータリーに詳しい活動家でいらっしゃいますので、ご指導を仰ぎ、クラブ奉仕部門の委員会と連携を密にし、委員の皆様と共に活動してまいります。

出席率の向上は、ロータリー活動の活性に通じると信じています。当委員会の責務は、地区あるいは各クラブが行う諸活動への出席率の向上にあると思います。その基本となる各クラブの出席率の向上を第1目標とし、活動してまいりますので皆様のご指導、ご協力のほどお願いいたします。



社会奉仕  
委員長の抱負

服 卷 芳 史  
(小城RC)

本年度、社会奉仕委員長を拝命いたしました。小城RCの服巻でございます。2年前に環境保全委員長の責務を終え、この度、社会奉仕委員長を仰せつかりました。

地区方針であげられてます、「思いやりと寛容」の精神で新たな思いをRIは人類の基本的ニーズとして

＊識字率向上と教育

＊人道支援として、水保全

の二つを挙げられてます。

このことを念頭に置きながら積極的に精一杯努力する所存でございます。地域社会に密着し、地域の人々が住み良い、働き易く、幸福に暮らせる環境づくりを目指し、ロータリーの豊かな経験と継続的活動がスムーズに実行できる様委員会では、取り組んで参りたいと思えます。

皆様のご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

略 歴

職 業 無職 職業分類 郵便事業  
ローター-歴 入会/1992年 2月19日  
2002~2003 クラブ会長  
2004~2005 地区出席委員

略 歴

生年月日 昭和35年5月9日  
職 業 不動産業  
ローター-歴 入会/H5年 10月6日  
2003~04 地区社会奉仕委員  
2003~04 地区環境保全委員長  
2004~05 地区社会奉仕・環境委員会委員



## ライラ 委員長の抱負

吉村正則  
(佐賀大和RC)

2005～2006年度のライラ地区委員長をさせていただきます、佐賀大和RCの吉村正則です。ロータリーに入会してまだ6年という短い期間でこの様な大役を頂きまして不安ではございますが、諸先輩方のご指導のもと、一生懸命頑張りたいと思います。

さて、RYLA「ロータリー青少年指導者育成プログラム」の目的は14歳から30歳までの青少年男女を対象にロータリーが開発した集中研修プログラムです。このRYLAに参加するのは、地域社会にあって将来指導者となる素質を持ち、社会に貢献しようとする志向を持った若い人々です。

身近なテーマを中心として仲間と共に学び自ら考え問題解決の道を探る訓練の場を提供するものです。同時に参加者にはロータリーの理念に接し、その奉仕の理想を持って体験する機会となるのです。

この様な素晴らしい体験をして頂く為に、開催のホストクラブ、コ・ホストクラブライラ地区委員の皆様方と連絡を密にし、2005～2006年のRYLAを実りあるものにしていきたいと思いますので皆様のご協力の程お願い申し上げます。

## 略 歴

生年月日 昭和35年5月9日  
職 業 白玉饅頭 元祖吉野屋  
ローター歴 入会/1999年 5月11日



## 米山記念奨学 委員長の抱負

前田博憲  
(佐賀西RC)

### 「年度始めにあたって」

昨年度に引き続き地区米山奨学委員長の任をお引き受け致しました。何卒よろしくお願い申し上げます。さて、現在「米山奨学事業」を取りまく環境は非常に厳しく、我が国経済における高成長時代の終焉や、周辺アジア諸国の一部勢力による過激な反日活動報道などの影響によって、事業の基盤であるべき全国及び地区内での寄付金額についても年々減少の一途をたどっているのが実状でございます。

この様な現状に鑑み、米山奨学会では全国ロータリアンのご意見を広く受け止め、現制度の見直し作業に組織を挙げて取り組み、2006年度からの施行を目指して着々と準備が進められております。

具体的には、

- 1、米山奨学制度発足当時への原点回帰を意図した奨学生の現地募集・採用～卒業・帰国までの「一貫支援制度」の導入
- 2、地域密着型奨学事業を推進する為に、奨学生割り当て等に関して地区の実情に合わせた独自採用枠（短期大学、高等専門学校、専修学校、日本語学校などの留学生）を設ける「地区裁量枠」の創設

等々の案が検討されております。↗

今後更に議論・検討が重ねられ、より良い奨学制度への改変が待たれるところではありますが、いずれに致しましても私共各グループより選出された11名の地区委員会メンバーが取り組むべき課題は、今年度採用奨学生（8カ国、15名）の諸君、その学生のお世話を頂いている各カウンセラーの皆様と共に約2,600名の地区内ロータリアンの方々に奨学事業の有意性をご理解頂く為のお手伝いをする事に尽きると考えております。一方、数値目標として、本城ガバナーによる米山寄付金目標のご提示額は

**1、地区総額 3,500万円**

**2、会員一人当たり 13,500円**

となっておりますので、各グループ・ガバナー補佐並びに各クラブ米山担当部門委員長の皆様のご協力を頂きながらガバナー提示額達成に向け努力をいたしたいと存じております。

「日本ロータリーの誇り」とも言うべき、米山奨学事業の継承と発展の為に皆様方ロータリアンお一人お一人の暖かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

**略 歴**

職 業 自動車販売業  
 (トヨタカローラ佐賀株)  
 ローター歴 入会/平成9年7月7日  
 2002~04 地区米山奨学委員  
 2004~05 地区米山奨学委員長



**ロータリー財団  
委員長の抱負**

**松尾英樹**  
(佐世保中央RC)

本城ガバナーの第2740地区財団支援の目標も又、昨年と同じ様に下記に設定されました。

**年次寄付目標 280,000ドル/年**

**ベネファクター増加目標 58名/年**

今地区のロータリアンの会員数は、昨年に比べて、更に減少しております。昨今の継続的な経済不況の中、会員の無念の退会が後を絶ちません。一方で残っている会員の大半も、経営的にも、金銭的にも大変厳しい状況下にあります。今年度の財団支援の目標が昨年と同等ではありますが、実質的には昨年以上にこの目標は重く、厳しいものになっています。しかし我々ロータリアンは『超我の奉仕』の理念のもと、さらに厳しく貧しい人々の財団支援を継続していく必要があります。

私が今年度の目標に是非お願いしたいのは、“財団の友の推進です。” 全会員が月1,000円をロータリーの友情と暖かい食事に感謝をして例会場で年次寄付を行い、それを1年間続けて欲しいのです。

1人の会員が1年間継続して頂ければ、財団の友になります。クラブ全員が財団の友になりますと、年度終了には8月にパナート“100%財団の友クラブの認証”をうけることが出来ます。毎年続けられれば、毎年うけることが出来、やりがいのある寄付になると信じています。その上で、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、メモリアル・コントリビューターにもご配慮いただき、目標達成にご協力下さいませお願い申し上げます。

**略 歴**

職 業 印刷業  
 ローター歴 入会/1990年 9月29日  
 1992~93 幹事  
 1997~98 会長  
 2003~04 地区R財団委員  
 2004~05 地区R財団委員長



## 国際青少年交換 委員長の抱負

藤 井 歸 一  
(唐津RC)

この度、本城好春ガバナーより、地区協議会開催(4/24)後突然に地区委員長を仰せつかりました。当地区の国際青少年交換事業は我が国最初の派遣地区としてすばらしい歴史と実績を持っていると教えられ、ロータリー歴の浅い、経験不足の身で戸惑っておりますが、先輩各位のご指導、ご叱正、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。ところで、私は教育行政にかかわりを持っております。ご案内のように、大きな教育構造改革の潮流のもと、グローバル化の中での国際理解教育が強調されています。

①広い視野、②日本人、個人としての自己確立、③コミュニケーション能力と自己表現力が提起され、「自ら学び、自ら考える力の養成」をその中心に据えており、何を学ぶかと言えば、①知ることを学ぶ、②為すことを学ぶ、③他者とともに生きることを学ぶ、④人間として生きることを学ぶ、ことが基本であります。

当地区の国際青少年交換事業が、共通理解のもと21世紀を担う前途有為の青少年の国際交流を推進し、それぞれ滞在する国の伝統、文化、風俗、習慣を学び、国際社会の一員として、国際社会に積極的に貢献できる人材の誕生を期待するものです。当地区の国際青少年交換事業が1962年に始まり、本年度は44年目になりますが、本事業の成功のために第2740地区ロータリアンの皆様のご指導、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

### 略 歴

生年月日 1933年12月1日  
職 業 唐津市教育委員長・寺院住職  
ローター歴 入会/2001年 9月25日



## 財団奨学・学友 委員長の抱負

田 中 克 憲  
(長崎西RC)

財団奨学・学友委員会のベテラン委員長横尾和正氏の後任として、久保志郎(佐賀西RC)、志村宏一(佐世保南RC)、久保昌二(長崎西RC)、田中克憲(長崎西RC)の4人で担当することになりました。

ロータリー財団プログラムには、①人道的プログラム ②教育的プログラム ③ポリオ・プラス・プログラムの3プログラムがありますが、夫々目的は異なっています。目的は異なっても、共通した目的は奨学金制度を通じ国際理解と世界平和に貢献することです。当委員会が担当いたしますのは、②の教育的プログラム中の実務部門です。

財団奨学・学友委員会の活動は、ロータリー財団国際親善奨学生のための、年3回の研修会と6月に奨学生の面接選考会が開催されます。夢と希望を持った優秀な若者たちが集い、世界に向けて羽ばたくことのできる、民間レベルとしては世界最大規模の素晴らしい国際奨学金制度です。

3回の研修会と選考会には、ガバナーをはじめ地区幹事、ロータリー財団委員長、顧問ロータリアン、各奨学生候補の皆さんと財団奨学・学友委員会各委員にご出席をいただき「ロータリーとは」「ロータリーの歴史」「顧問ロータリアンの責務」「奨学生の責務」などの項目を学習していただくことになっております。また、留学先が決定し、留学を間近に控えた4月奨学生の壮行会も行っております。

ロータリー財団国際親善奨学金の目的は、海外留学を通じて国際理解を深めて、国際親善を促進することです。奨学生の皆さんは、自分の学業水準を高めると同時に、世界最大規模の奨学金プログラムの国際親善使節として期待されます。

国際親善奨学金はロータリークラブが存在する他国での勉学研究、指導のために支給さ

られる制度です。勉学研究を終えて帰国した奨学生は、スポンサークラブや地区主催の帰国報告会、及び後輩の研修会で、留学中の体験談などを報告していただいております。

今後は、ガバナー事務所並びにベテラン前委員長横尾和正氏の指導と、財団奨学・学友委員会各委員の協力を仰ぎながら、財団プログラムの実践活動と目的達成のために努力していきたいと思っております。

1年間国際ロータリー第2740地区58クラブの全ロータリアンの皆様の、ご指導、ご協力を切にお願い申し上げます。

《2005～2006年度一財団奨学・学友委員会活動方針》

- 1) ロータリー財団奨学生の募集、選考、研修、留学に関わる全ての業務の推進を留意しながら、ロータリーの国際親善大使としての自覚の修養に努力。
- 2) 奨学生支援活動、地区クラブ情報、資料提供の活性化を図りたい。
- 3) 世界平和奨学金の推薦並びに大学教官のための補助金の検討。
- 4) ロータリー財団学友会への支援。
- 5) 帰国奨学生（学友）のロータリー行事への積極的な参加。
- 6) 帰国奨学生（学友）が将来、ローターアクト・クラブ会員、ロータリアンになるための勧誘。
- 7) 国際親善奨学金で留学する人は、国際親善大使という大きな役割を担っているの、学問と同時に人格的にも優秀な人の推薦のお願い。
- 8) 各ロータリークラブに、積極的な奨学生の推薦のお願い。

略 歴

生年月日 昭和12年1月10日生  
 職 業 (医) 恵和会  
 タナカ・デンタル・クリニック理事長  
 ローター歴 入会/1984年10月2日  
 (チャーターメンバー)



職業奉仕  
委員長の抱負

影 平 薫  
(長崎東RC)

前任の駒井委員長からのご推薦もあって、今期の職業奉仕委員長を拝命することになりました。

ロータリーの歴史をみますと草創期いち早く「職業奉仕」が提唱されています。たびたびの地区研修・セミナーでの講議によりますと「職業奉仕」は世間広しと云えども、他の奉仕クラブや団体にはない概念で、職業奉仕について理解していなければ一人前のロータリアンとは云えないと云うことです。

図らずも、今年度のRIのテーマが「超私の奉仕」です。このテーマの抽象性をどれほど具体的に理解し、実行していくか、大きな課題です。

「職業奉仕」とは、「それぞれの会員の事業及び専門職務の道徳的水準を高めて行く」ことをもって、空極の理想とするものではありませんが、そこへ向かって様々な職業の在り様を学び、自己研鑽を實踐しく過程こそ大切なことではないでしょうか。

地区職業奉仕委員会は、それらの自己研鑽や様々な学習や理解の手立てとなるようなことを提案していきたいと考えております。これからの1年間をよろしくご協力ご支援頂きますようお願いいたします。

略 歴

生年月日 昭和11年12月25日  
 職 業 昭和36年～平成16年  
 NBC及び関連会社在籍  
 ローター歴 入会/平成8年  
 2003～04 地区職業奉仕委員  
 2004～05 地区職業奉仕委員



**インターアクト  
委員長の抱負**

**大塚 良弘**  
(佐賀西RC)

草野前委員長よりバトンを受継ぎ、7月10日(日)武雄市文化会館に於いて「地区インターアクト指導者セミナー(前期)」を開催させていただきます。当日は、顧問(先生)、インターアクター(生徒)、提唱ロータリークラブ(担当委員長)が一同に会し、積極的な意見交換がなされ新年度の活動指針となりますよう準備を進めております。

インターアクトとは、ロータリーが提唱する青少年または、高校生のための奉仕クラブです。この活動が活発になされ、また地域社会においての認識度も高まるよう、地区内提唱ロータリークラブ各位のお力を借りながら支援をしてまいりたいと思います。

当地区のインターアクトの現況は、提唱ロータリークラブや学校側の取り組み方の違いで活動内容の差異が見受けられます。各提唱ロータリーの担当委員長さんには是非とも、顧問の先生方とコミュニケーションを密にとっていただき、ご助言をお願いしたいと存じます。また、ロータリーの例会への招待や共同奉仕事業等もご計画いただければと思います。

今年度は、特に会員数(部員数)の強化をお願いしたいと考えております。人員が数十名のクラブもあれば、わずか数名というところもあり、いわゆる二極化になっております。インターアクトクラブとして活動に必要な人員(最低15名)の確保を各クラブご努力をお願いいたします。

最後になりましたが、7月30日・31日佐賀郡大和町(龍登園)で、佐賀女子高校(提唱:佐賀北RC)がホストとなり2005-06年度のインターアクト年次大会が開催されます。地区内インターアクター・顧問の先生、そしてロータリーアンの皆様方、多数のご参加をお待ちいたしております。何卒、素晴らしい大会となりますようご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**略 歴**

職 業 (株)相互タクシー 代表取締役社長  
ロータリー歴 入会/平成10年11月3日  
2004~05 地区インターアクト委員  
2005~06 佐賀西RC副幹事



**ローターアクト  
委員長の抱負**

**藤村 昌憲**  
(長崎北RC)

本年度ローターアクト地区委員長を仰せつかりました長崎北RCの藤村でございます。ロータリー歴も短く、経験不足ではございますが、地区委員として2年間、前委員長の山口さんから教えて頂いた事やアクトのメンバーと共に学んだことを活かしていきたいと考えています。

さて、昨年度は佐世保ロータリーを提唱クラブとした、当地区初めてのローターアクトクラブとして新たに「長崎国際大学ローターアクトクラブ」が16名の会員で発足いたしました。これにより地区内12クラブ、会員総数130名前後で本年度は活動を開始しております。今まで先輩方の努力にもかかわらず、クラブ数が減少傾向にありましたが、提唱クラブのご尽力により何とか歯止めが掛かってきたのではと思います。

ただ一方、個々のアクトクラブを見てまいりますと、我々ロータリーと同じ様に会員数の減少に悩んでいる姿を見ることがあります。先に述べた様に、12クラブで130名余りの会員という事は、1クラブに11名ほどでアクト行動を行っていることとなります。今、地区内のクラブでクラブ奉仕、国際奉仕、社会奉仕、専門知識開発と四委員会を持っている所は残念ながら数クラブの現状です。さらに彼らは30歳で卒業を迎える為、新規会員拡大にアクト活動とは別に努力する必要があります。

是非、提唱クラブの皆様は勿論の事、未提唱クラブの皆様も、メーキャップをされる時でも結構ですので、お近くのアクトの会合や活動に参加頂き、彼等がロータリーの精神を、アクト活動を通じて地域社会に具現化しようとする姿、そして自己研鑽に励む姿を直接感じて頂き、彼等が将来アクト出身のロータリアンになる事を夢見て、1人でも多くの会員増強にご協力頂きます様お願いします。

今年1年間、アクト委員会のメンバー、そしてアクトと共に努力して参りますので、会員の皆様のご指導ご協力をよろしくお願いします。

**略 歴**

職 業 藤村薬品株式会社  
ロータリー歴 入会/2001年7月2日  
2003~05 地区ローターアクト委員



GSE委員長の抱負

本田圭助  
(長崎南RC)

アメリカ・カナダ R I 6290地区との  
GSEプロジェクト3年目を迎えて

GSE委員長として、GSE委員と共に2003/04年度から2カ年に亘って、国際ロータリー創立100周年行事の一つであるアメリカ・ミシガン州及びカナダ・オンタリオ州のR I 6290地区とGSEプロジェクトを実施してきました。

2003/04年度は安部パストガバナーのもと2740地区GSEチームメンバーの選抜と6290地区GSEチーム受入れ準備を行いました。2004/05年度は栗林前ガバナーのもと、当地区の各グループに於いてガバナー補佐を中心に各RCが一体となって周到な準備を行い、6290地区GSEチームを受入れ、Dr.Morse以下5人のメンバーに対して、職業研修、地域文化体験、ホストファミリー及びロータリアンを中心とした市民との交流など非常に満足のいく機会を与えることが出来ました。

本誌を借りまして、2740地区のロータリアンの皆さんに心から感謝申し上げます。3年間に亘るプロジェクトの最後の年になります本年度には2740地区GSEチームを6290地区に派遣致します。本城ガバナーのもと派遣に万全を期す所存です。

派遣の概要は次の通りです。

[派遣先]

USA ミシガン州及び  
カナダ オンタリオ州 第6290地区

[派遣期間] 4週間

2005年 9月4日(日)  
ミシガン州 Grand Rapids空港着  
2005年10月2日(日)  
オンタリオ州 Sault Ste Marie空港発

[派遣メンバー]

リーダー 高江州一雄(56才)  
長崎南RC所属  
メンバー 樋渡光憲(31才)  
佐賀西RC推薦  
末松信子(32才)  
佐世保RC推薦  
山口直人(27才)  
長崎南RC推薦  
篠崎禎久(32才)  
大村RC推薦

〈GSE(研究グループ交換)の特徴〉

① 国際ロータリー財団研究グループ交換プログラムは、事業および専門職経験の浅い25歳からの40歳までの若い人たちにとって、文化と職業のまたとない交流の機会です。このプログラムは、異なる国々の間で組み合わせられた地域を訪問するため、若い参加者チームに旅費として補助金を支給します。チーム・メンバーは、4週間から6週間にわたり、ホスト国の各種施設、生活様式について学び、自分の職業が他国でどのように実践されているかを見学し、個人的並びに専門職務上の関係を築き、アイデアを交換します。

② この貴重な、生涯に一度の体験となるプログラムに参加する人たちは、みな他国についての新たな見識を得て視野を深め、自国や会社の将来に有益な斬新なアイデアとホスト国の文化や産業、市民・社会に対する理解を深めて帰国しています。

派遣もいよいよ間近に迫ってまいりました。派遣チームに対する皆様のご支援をよろしくお願い致します。

略 歴

職 業 環境経営コンサルタント  
ロータリー歴 入会/1990年2月14日  
ロータリー財団地区委員  
地区GSE委員  
地区GSE委員長

平戸 佐世保西 北松浦 松浦 生月 佐世保南 佐世保東 佐世保北 佐世保中央 佐世保東南 HTB佐世保 大村 島原 雲仙



# SERVICE Above Self 超我の奉仕 2005～2006年度 地区大会のご案内

11月11日(金)・12日(土)・13日(日)

大会会場：唐津市民会館

ホストクラブ：唐津RC コ・ホストクラブ：唐津東RC、唐津西RC、唐津中央RC

## 【11月11日(金)】 大会前日

- ◆08:30～ 記念ゴルフ大会 唐津ゴルフ倶楽部
- ◆18:30～ RI会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会 唐津シーサイドホテル

## 【11月12日(土)】 大会第1日

- ◆11:00～ 委員会 12:00～ 登録開始 13:00～ 本会議

- ◆15:00～ 記念講演会 ジャーナリスト 島 信彦氏

### 『大好機時代 一元気のある企業と地域』

島氏略歴 昭和17年中国・南京生まれ 慶應大学経済学部卒 昭和42年毎日新聞社入社  
昭和56年ワシントン特派員 昭和62年毎日新聞社退社 フリーとなる  
現在、RKB毎日放送(TBS系)「朝ズバッ!」の木・金曜のアンカーマンを務める  
白鷗大学教授、慶應大学講師、NPO日本ウズベキスタン協会会長

- ◆18:00～ 記念懇親会 唐津シーサイドホテル
- ◆18:00～ 新世代の集い

## 【11月13日(日)】 大会第2日

- ◆09:30～ 登録開始 10:30～本会議
- ◆13:30～ 記念演奏会 佐世保海上自衛隊(一般公開)  
防衛講話

お問い合わせ先

国際ロータリー第2740地区 2005～2006年度 地区大会事務局  
〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5F 504号室  
TEL 050-3432-9045 FAX 0955-75-1372  
E-mail : roco@vc1.people-i.ne.jp http://web.people-i.ne.jp/~rc2740/

大村北 島原南 大村東 諫早 諫早北 諫早西 諫早多良見 諫早南 長崎 福江 長崎北東 福江中央 長崎西 長崎琴海 長崎北 長崎南 長崎東 東長崎 長崎中央 長崎出島

佐世保 唐津中央 伊万里西 唐津西 唐津東 伊万里 唐津 太良 白石 大町 嬉野 鹿島 武雄 有田 佐賀空港 神崎 佐賀南 佐賀北 佐賀西 佐賀大和 佐賀大久 牛津 小城 佐賀

## 米山奨学生紹介



チュオン・トゥイ・  
タイン

国 籍：ベトナム  
世話クラブ：長崎東RC

### ●私のプロフィール●

私は、ベトナムから来たチュオン・トゥイ・タインと申します。22才です。

ベトナムのハノイで高校を卒業してから日本へ留学に来ました。長崎総合科学大学で一年間日本語を勉強して、今長崎総合科学大学の人間環境学部の環境文化学科の3年生です。

最初の2年間は専門科目が少なかったので環境文化学科の4つの部門の中で何を選ぶかまだ決まっていません。しかし、地域環境と情報技術という2つの部門には興味を持っています。この3年生の前期には情報技術の研究室に入って、後期に地域環境の研究室に入ります。そうして、自分にふさわしい部門を見つけて、専門として研究します。

将来、日本で数年間就職して、経験をしてからベトナムで環境に関する仕事をしたいと思っています。

### ●米山奨学生としての抱負●

私は、ベトナムから来た留学生です。日本に来て、6ヶ月目からアルバイトをしながら勉強をしています。学生にとって両立は大変だと実感しました。自分は学費と生活のために勉強を一時期大事にしませんでした。それでも米山奨学金を与えてもらえて、本当に感謝しています。

奨学生になって、自分の勉強を大事にして、やりたくてできなかった事をしたいと思っています。今、学校での勉強以外は必死に頑張っ環境学部の「カナダにおける夏季環境研修プログラム」に参加できるように努力しています。日本で留学する間にしかないチャンスだと思います。カナダの学生と交流して、一緒に環境の問題を国際的に考えて、解決するという事はとても大切だと思うから頑張ろうと決心しています。



章 潔  
ショウ ケツ

国 籍：中 国  
世話クラブ：佐世保中央RC

### ●私のプロフィール●

1977年6月、中国江蘇省無錫市生まれです。2000年、中国蘇州大学外国語学部日本語学科卒業しました。同年、中国無錫江南大学に勤め、外国語学部日本語学科の日本語教師をしました。2003年3月、日本の大学院に進学したため、長崎国際大学観光学科3年に編入しました。1年間の勉強を通して、日本の観光文化に関しては初歩的な認識を持つようになったので長崎国際大学大学院に入りました。自分の長所は、人の言う事に正直に従う事と、いつも明るい事です。短所は些細な事が気になって頭から離れない事と、あれこれ考えてなかなか実行に移らない事です。学生時代から日本語教育にとっても興味を持っています。中国と日本の民間交流のかけはしになれば何よりです。これからも一生懸命頑張りたいので、よろしく願います。

### ●米山奨学生としての抱負●

私の抱負は中日若者達の交流を促進し、両国のかけはしになりたいことです。

ここ数年来、日中両国の経済技術協力と貿易往来が目覚ましい発展を遂げています。中国と日本はそれぞれ長所と短所があります。日本は土地が狭く、資源が不足しているようだが、ハイテクの面では強みをもっています。中国は土地が広く、物産が豊かで、人口は多いのだが、経済が相対的に立ち後れています。両国は互いに長所を持って、短所を補うべきです。中日の未来を開く扉の鍵は若者達の手にあるわけです。中日両国の若者達がもっともっと強力に交流できれば、新しい世界が開かれます。中国での若者による「反日デモ」もなくなるはずで

米山奨学生として私は、中日若者達の交流が益々盛んになり、それに仕掛けて各国の経済、科学技術協力が一層進展してゆくことを切望しています。

## 米山奨学生紹介



張 允 馨

チャン ユンヒャン  
国 籍：中 国  
世話クラブ：佐 賀 RC

### ● 私のプロフィール ●

私は佐賀大学大学院教育学研究科教科教育専攻国語教育専修で、大学の教授を志している学生です。学生としては少し年をとっているかと思う方もいらっしゃるかも知れませんが、実は最初の大学の時、日本に短期研修のきっかけで卒業後、二年間東京での留学に来る事となりました。帰国後、日本語講師になり、教える仕事が向いているのを気付き、専攻を換え、再び大学に編入、卒業後、今の佐賀留学に至りました。私にとって初めての外国人の友達であった日本の友との交流があったから今の自分がいます。私は明るくて、前向きで、失敗を自分の未来のためにどのように受け入れるべきかを考えます。汗を流しながら運動するのが好きで、一人でも楽しく過ごすのが上手です。自分がすべきの事だけではなく、自分がしたい事が多いので、無駄で過す時間が少ないです。

### ● 米山奨学生としての抱負 ●

私が米山ロータリー奨学生になったことは、これから米山ロータリー奨学生としてそのロータリーの精神を仕えて生活して行くように与えられた仕事だと認識しております。ロータリーは専門職業人との相互交流、理解、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流を通して、人道的世界理解と平和のために支援する財団だと存じます。このような立派な言葉には叶えないかも知れませんが、許される自分の状況でできることを一步一步踏み出して行きたいと思っています。ボランティアの活動も国際的交流もそうですが、研究課題として世界中に起きている戦争で脅かされる平和と人権に活かしたいです。また、大学の先生になれば、学生へ伝えられる知識だけに止まらず、より広い世界を見られる彼らの眼鏡になり、将来、自分もロータリーの一員になれば幸いです。



セトツリ・スニル・  
サマラトンガ

国 籍：スリランカ  
世話クラブ：佐 賀 南RC

### ● 私のプロフィール ●

私は、セトツリスニルサマラトンガと申します。国はスリランカです。誕生日は1962年3月24日です。母と父は中学校の先生でした。父は私が子供の時、亡くなりました。私たちは、お母さんによって育てられました。私の姉はエンジニアです。兄は中学校の先生です。妹は今大学の先生です。私は1986年スリランカ大学を卒業してその大学のリサーチ・アシスタントになりました。1990年スリランカの中央環境事業機関にはいりました。私は2000年に結婚しました。妻はスリランカの病院の先生です。子供は、2人です。私は、2002年に私費留学生になりました。私の研究は特に金属と毒性金属によって、汚染水と海水分析をするために、簡単でしかも低廉な分析方法を開発する事であります。

### ● 米山奨学生としての抱負 ●

私は、米山奨学生をいただく事によって、まずロータリークラブの会員の方々に感謝したい、ありがたい。なぜなら今日本の景気の低迷の中ロータリーの皆様の寄付や御好意によって成りたっているからです。そのことを考えたときその資金を大切に使うことによって、私がこれから学ぶための姿勢にもかわわると思っています。次に私にとって大切なことは今の研究テーマに集中して研究が成し遂げられることです。また、ロータリーの奨学生として参加をさせていただくことにより、沢山お友達になりたいと思っています。

## 米山奨学生紹介



李 秀 枝

リ シュウシ

国 籍：台 湾  
世話クラブ：諫早北RC

### ●私のプロフィール●

台湾の台南からきた李秀枝です。田舎で生まれ育ちました。昔、兄弟が多くて（7人）あまり勉強ができませんでした。兄弟たちはだいたい仕事をしながら、夜間の学校に通っていました。自分自身は短期大学から卒業した後、一度社会人になって5年間ぐらい仕事をしました。やっと家の経済がよくなって、自分の夢を実現するために日本にやってきました。

（初めてきたのは2000年9月～日本語の勉強約1年3ヶ月、2004年再び3年生編入して、国際関係分野を学んでいます。）

自分の性格は明るくて、外交的、楽観的であり、高校時代から短期大学まで、学校の授業やサークル、地元の活動など、非常に積極的に参加し、とても活躍しました。

私は語学の勉強と運動が大好きです。現在、母国語の台湾語、中国語以外に日本語、英語、韓国語を習っています。去年は交換留学生として韓国のソウルに行った経験もあります。

（半年）そして、学校のサークルに参加し、地元（時津町）のバレーボール、バドミントンチームに参加したり、試合に参加したりしながら、積極的に地域の交流をしています。

今後の計画は地域との交流を深めながら、無事に大学を卒業し、さらに大学院に進みたいと思っています。



千 廣 壮

ウ コウソウ

国 籍：中 国  
世話クラブ：長崎中央RC

### ●私のプロフィール●

私は、1977年 中国黒龍江省海倫市で生まれ、海倫市実験小学校、第三中学校と第一高校を経て、1994年東北師範大学音楽学院ピアノ科に入学、1998年7月に卒業。同年鞍山师范学院音楽科の教師になり、ピアノレッスンと伴奏法を教えてきた。2002年6月に来日、鹿児島大学教育研究科音楽教育専修で研究生修了。2004年4月に長崎大学大学院に入学、現在長崎大学大学院教育研究科在学中。その他KANONE弦楽四重奏団と一緒にコンサート活動をして、音楽見本市と長崎北医院県立美術館コンサート等活動中、トイツリートとの伴奏とオペラの伴奏もやっている。これまでにピアノ及び伴奏法を陳国紅張慧、山下晋、黒木俊行、堀内伊吹の各氏に師事。

## 地区だより

松浦RC 広報担当 山本 浩平



玉串奉典(岩藤一人会長)

松浦市民の休養施設である  
柚木川内キャンプ場開きが、  
7月1日に同施設において行  
われました。

キャンプ場利用開始を前に、  
キャンプ場利用者と施設の安  
全を祈念して、安全祈願祭を  
松浦市によって挙行され、当  
クラブの岩藤会長も出席し玉  
串奉典を行いました。

### 柚木川内キャンプ場開き

同キャンプ場の利用開始  
(7月1日)を前に、きれい  
にしてお客を迎えようと当ク  
ラブが清掃活動を毎年実施し  
ていて今年で18年目を迎え  
ました。会員と家族約50人  
と市職員、地域住民らが参加  
していただき約2時間、バン  
ガローやトイレの清掃、除草  
作業などに取り組み、さわや  
かな汗を流しました。



キャンプ場作業



## 第96回 国際ロータリー一年次大会に参加して

諫早北RC 三浦 保博

時は2005年6月19日、日曜の16時。場所はアメリカ、イリノイ州シカゴ、ミシガン湖畔のマコーミックプレイス。我々、栗林英雄ガバナーはじめRI第2740地区第8グループ40名のメンバーがそこにいました。

まさに『ロータリーを祝おう』をテーマに世界の誇らしいロータリアン達が築き上げてきた実績と未来に向けての希望と勇気を鼓舞する一大イベントでした。余興の若者達によるマーチングバンド演奏に続き、司会者：R・クリンプトン氏の軽妙なあいさつで開会。100周年記念の鐘が鳴らされ、W・J・ウイルキンソン大会委員長の歓迎の辞、デイリーシカゴ市長のビデオあいさつと進行。

世界各国の国旗入場はABC順で日本は真ん中位でした。

その後、アナン国連事務総長、ブッシュアメリカ合衆国大統領と忽々たる方々のビデオあいさつが花を添える。グレン・E・エステス・シニアRI会長の登壇時は会場内が最高潮に盛り上がり、拍手が鳴り止まない。百周年らしく歴代の会長が初代から写真と共に紹介され、ロータリークラブの歴史の重みを肌で感じる。RI会長からは全世界のロータリアンへ感謝の辞が述べられ、元会長、現・次期役員が一斉に登壇。大画面に映し出される表情豊かな笑顔、笑顔が会場内を祝福の渦に巻き込む。感動的だ。

少しおおげさだが‘ロータリーの原点’を求めてシカゴまでやってきた我々を今回の大会は裏切ることはしなかった。まさしくロータリスピリットが一世紀に渡り全世界に虹の架け橋として息吹き続け、さらに、今後一世紀に向け新たな希望を創造し続けていこうとしている。我々はここで得た感動をけっして醒ますことなく心に刻み込もう。RI 2740地区第8グループ40名の参加者一同はそう誓いました。



諫早地区内ロータリアン シカゴにて

## 第一回 ロータリーの友委員会 開催される

’05~’06 第2740地区 ロータリーの友地区委員

唐津RC 石松 憲一郎



去る7月9日(土)東京プリンスホテルにおいて、ガバナー・ロータリーの友委員による合同会議が開催された。来賓に日本選出の南園・重田両RI理事、渡辺RI理事エレクト、今年度新ガバナー34名、ロータリーの友委員会役員12名、「友」地区委員34名、「友」職員ら総メンバー約90名により初の会議は進められた。

主な議題は、渡辺「友」委員長による今年度「ロータリーの友」編集について説明があった。

### I. 年間テーマ

「100+ONE」とし、ロータリーの新たな100年のスタートの年度にふさわしく、ロータリーの将来を考える記事を積極的に取り上げる。

### II. 表紙

2004-2005年度に引き続き岡井耀毅氏にコーディネート・解説をお願いし、写真家の芳賀日出男氏の民俗作品と川隅功氏の風景作品によって構成する。

### III. 誌面作り

「ロータリーの友」創刊50周年に際し、2002年7月号から誌面改革を行い、3年が経過いたしました。この間、ロータリーの友委員会では、地区委員からのご意見、ご提言などを受け止めながら、変えるべきは変える努力をしてきました。2005年7月号からについては、これまでの反響や提言を踏まえ、さまざまな角度から検討を加え、親しまれる豊かな「友」としての誌面作りをしてまいります。

《 変更点として 》



- ① 「ガバナー座談会」を「テーマ別座談会」にし、例えば新会員、ベテラン会員、職業奉仕委員長など、テーマに沿った方に出席していただき掲載していく。
- ② 横組み「ロータリー・アット・ワーク」と縦組み「ロータリー・レポート」を一つにして、「ロータリー・アット・ワーク」とし、クラブおよび地区としての奉仕活動を縦組みページに掲載する。
- ③ コラムの一つ「わが社の経営理念」をやめ、新たに「私の一字」というテーマに変更し、自分の好きな一字を肉質で書いていただき、簡単なコメントを付して掲載する。
- ④ ガバナー紹介の欄を1/2にする。
- ⑤ 「わがまち わが地区」を廃止する。

引続き、小林・初山常任委員より「友」誌の担当説明があり、最後に平成17年度ロータリーの友事務所予算等の説明がありすべて承認。

本行「友」所長の司会進行により約1時間30分の熱心な会議も終了した。

# 文庫通信 (214号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 「ロータリー創立100周年に寄せて」

- ◎「巡礼—ロータリー百年」 佐藤千壽 D.2670・D.2620 2005 63p  
[申込先:ロータリー文庫]
- ◎「ロータリーの新しい流れ—基本に戻ろう」 板橋敏雄 2005 9p  
(D.2710地区大会基調講演) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリー100周年に寄せて」 天野肇 2005 11p  
(D.2690地区大会基調講演) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリー100年の歴史に学ぶ」 佐藤千壽(コーディネーター) 2005 17p  
(D.2580地区大会シンポジウム) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「100年後の青少年に向けて—新世代について考える」 古木圭介(コーディネーター) 2005 7p  
(D.2730地区大会シンポジウム) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「『温故知新』ロータリーの心を尋ねて」 松岡通夫 2005 5p  
(D.2680月信) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「RI 100年の意義」 黒田正宏 2005 4p  
(D.2830 IM記念講演) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「101年目からのロータリーを考える」 中島治一郎(コーディネーター) 2004 19p  
(D.2640 地区大会パネルディスカッション) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリーの森を歩く」 佐古亮尊(大村北RC) 2005 345p  
[申込先:長崎新聞社出版部 TEL(095)844-5469]

### \* ロータリー文庫 \*

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



唐津市湊立神岩風景 画:松尾武彦(唐津RC会員)

表紙の写真の説明 蓮の花

早朝のやわらかな光で蓮の花を左から右上へと視線が流れるように配置しました。  
蓮の葉に落ちた一片の花びらが図面を引き締めました。

[撮影場所] 唐津市湊 [撮影者] 唐津在住 宮崎 宏



国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所

2005～2006年度 ガバナー 本城 好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL (0955) 75-1371 FAX (0955) 75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



## SERVICE Above Self 超我の奉仕

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740  
国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



2005.9.1 **VOL.3**

### ●CONTENTS

本城ガバナーのメッセージ.....1	寄付者紹介 .....15
ガバナー公式訪問 .....2	訃報 .....15
米山奨学生の紹介.....10	7月会員数・出席報告 .....16
地区だより .....12	文庫通信 .....17
新入会員紹介 .....14	地区大会ご案内 .....18

## 本城ガバナーのメッセージ

第2740地区ガバナー 本城 好春



暑い最中、7・8・9月にわたる地区内公式訪問の真っ最中です。現在58クラブ中、24クラブ終わりました。お盆休みが間に入り、一週間休憩期間があり、ホッと居ります。

ガバナー研修は今年から東京、ゾーン研修会広島、2回と増え最後の仕上げがアメリカ、アナハイム国際協議会の3回でした。

渡米前のノミニー、エレクト時代、会員増強、ロータリー財団への献金ばかり言われて、アメリカに行っても、絶対洗脳されないぞとガバナーエレクト34名誓い合って、アメリカに行きました。一週間のハードで、巧みな指導、洗脳セミナー工作で、帰国する時は、自分ながらかなり考え方が変わったかなあと自問自答するまでになりました。エバンストンのRI（国際ロータリー）の世界的な加入国165ヶ国、120万の会員、550人のガバナーエレクトを束ねるにはグローバルな視点、大局的な判断が必要なことは認めますが、日本に帰り、地区、クラブの現状を見る時、マクロとミクロのギャップの差が大きい事を認めざるを得ません。公式訪問をし始めて、更にもその思いが募って来ました。

各クラブの皆さん方が、必死の思いで会員維持、奉仕活動に努力して居られる姿を現実に見て、お話を聞いて、その思いは募るばかりです。

加盟会員×人頭分担金=資金源マネーという単純な発想の国際ロータリーの考え方はもうそろそろ行き詰まって居ります。会員増強どころか、会員の急激な減少、会費の未納者

の続出、ロータリー運動そのものへの批判、無理解が噴出して、次世代、若い会員の入会拒否、躊躇的現象が起きて居ります。

これもロータリー100周年を祝った後の後遺症、反省期ではないでしょうか。ロータリーにも古い体制から新しい体制への構造改革が必要になったのではないのでしょうか。

余りにも高邁な理想、言動には信奉しにくい所があり、もっと判りやすい日常的なものに変える必要があります。国際ロータリー会長ステンハマーさんが、ロータリーの創世期に提唱され95年間ロータリーの背骨（バックボーン）となっていた「Service Above Self」（超我の奉仕）を再びロータリーの綱領として提唱された気持が判る気がします。原点に戻ろう。足元を見直そう。そして「人へのやさしい思いやり」の精神で地元社会に地道な奉仕活動をしようという事です。まさに時機を得た考え方です。

既に全世界165ヶ国、120万人の大勢の会員を指導するには、複雑な言葉は必要ではありません。素朴な「人間愛」だけが万国共通の言葉であり精神です。「Simple is Best」

私達は、ロータリー創立101年目を迎え、原点に戻り、親睦を大事にクラブ活動、職業奉仕に努める事こそ、ロータリーの今からの行くべき道だと思います。皆様の御支援、御協力を切にお願い申し上げます。

今年のガバナー会は「新世紀の会」と決定致しました。

# ガバナー公式訪問

17年  
7/19

## 鹿島ロータリークラブ



当クラブは、今年で創立40周年を迎えます。

現在の会員数は、2名の女性会員を含めて44名です。最年長者が83才、最年少者が37才です。平均年齢63.39才で、かなり年配の感じであります。

本城ガバナーの公式訪問は、炎暑の7月19日で鹿島がスタートでした。由緒ある祐徳稲荷神社で御参りをされてからでした。

さて、クラブの抱負ですが、今年が40周年ですから何か記念すべきことはと計画していますのは、社会奉仕委員会で計画しているテーマ「食」に関して（家庭、健康、教育、農業、自然保護の観点から）、記念講演会を一般市民にも参加で



きるよう、計画立案中であります。開催日は、11月20日に予定しております。

又、国際奉仕委員会では、2740地区の交換学生を例年の通り鹿島ガタリンピックに招待して研修開催の予定です。

鹿島ローターアクトクラブは、今年度25周年を迎えます。現在12名で活動しています。それから当クラブの楽しみにしている1泊2日の家族旅行、観月会、新年家族会、寿の会があります。親睦をモットーに行事を計画しています。その他色々な事業を進めて、地域社会に少しでも貢献できればと願って活動していきたいと思えます。

会長 辻野 正勝

17年  
7/19

## 佐賀南ロータリークラブ



本年度が始まって間もない7月19日に、本城好春ガバナーの公式訪問を受けました。これに先立ち7月12日に、宮地勝朗ガバナー補佐によるクラブ協議会が催され、その報告に基づきクラブ概況やクラブ方針、財政や四大奉仕、その他について質問を受け、ご指導をいただきました。

佐賀南ロータリークラブは昨年が創立20周年で折りしもRIの100周年と重なり大変喜ばしく、ともに合わせてお祝いをした次第です。その翌年にあたり、会員の熱意が続いて更なる25周年、30周年への第一歩と捉えて元気の出るようなクラブ運営、奉仕活動をしていければと考えています。

当クラブは、昭和天皇が昭和62年5月に東与賀干潟公園のシチメンソウをご視察、行幸されて後、10数年清掃活動を続けています。また、来年10月20日には平成天皇が「第26回全国豊かな海づくり大会」で、東与賀干潟公園をご視察される栄に恵まれ、本当に幸運なことだと感じています。

先の研修会で、地区会員の推移について、ここ10年来のうちに3500人から2600人へと減少していることを聞きました。クラブの仲間と共に会員増強をはかり、会員の退会防止と共々努力していきたいと思っています。

さらにまた、ロータリー財団、米山奨学会への貢献をして、着実な成果をあげていきたいと思えます。今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

会長 吉村 正



17年  
7/21

## 大町ロータリークラブ



今年は、ロータリー発祥の年1905年から100年を超え2005年、101年目の第一歩を踏み出す記念すべき年に当たります。

本城好春ガバナー始め北島俊郎地区幹事、平岡晟地区大会実行委員長、篠崎正之地区大会幹事をお迎えしての懇談会。公式訪問を今年のテーマである、超我の奉仕、思いやりと寛容の心で接して頂きクラブ会員一同、心より喜んでいきます。地区方針である「超我の奉仕」以下クラブは地元地域社会のニーズを見極めていかにして、その人材源や資源を生かすか、草の根の参加をする迄、五つのテーマを大町クラブから地域社会へ発信できるように努力して行きたいと思えます

会長 前山 正博

17年  
7/21

## 太良ロータリークラブ

我が太良ロータリークラブは佐賀県南の玄関口に位地するクラブです。山、川、海と、三拍子そろった素晴らしい環境の中に存ります。RI2740地区で一番小さな太良RCと思えますが、独自のRC会館を持ち、会員10名と弱小ながらも楽しいわが家と言う雰囲気の中で頑張っています。皆様のご来訪をお待ち申し上げます。



この度7月21日、本城ガバナー、松山ガバナー補佐、北島地区幹事、平岡地区大会実行委員長、篠崎地区大会幹事を迎え、素晴らしい例会が出来ました事に心よりお礼を申し上げます。松山ガバナー補佐の卓話で今年度のテーマ「超我の奉仕」を色々なスライドを使って、有意義にとっても分かりやすく講話を頂きましたことに感謝いたします。国際RC101年目、我が太良RCも奇遇にも11年目で1に帰る、すなわち、原点に戻る機会に足元を見つめ直し、地道でも一つ一つ積み重ねて地域社会に認めてもらう奉仕に献身したいと思います。皆様方のご指導の程よろしくお願いいたします。

会長 馬場 一朗



**17年 7/22 福江中央ロータリークラブ**

**春ガバナー**



福江中央ロータリークラブの活動の目標は、親睦を第一と考え、穏やかで様々な意味でゆとりある楽しい例会となるよう努め、ロータリー

の目的理念である『会員相互の扶助』『親睦』に基き、会員相互の理解を深め、退会防止に努めたいと思っています。

7月22日に当クラブのガバナー公式訪問が行われました。離島のクラブであるため、昼は福江RC、夜は当福江中央RCと1日がかりの公式訪問となり、本城好春ガバナー御一行におかれましては大変、お疲れになられたと思います。衷心より慰労申し上げます。当初、ジェット・ホールにより来島すると聞き、港まで出迎えに行きましたが、急遽、飛行機に変更ということで、空港まで車を走らせるという、スタートよりバタバタとした1日となりました。17時15分より懇談会があり、退会防止、識学率向上などについて、ガバナーから約1時間お話があり、18時30分より公式訪問例会となり、御講話を頂きました。例会終了後、福江RCと



合同で懇親会を開催し、最後にガバナーの今後のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、21時過ぎに長い公式訪問の1日が終わりました。

会長 郡家 信晴

17年  
7/27

**小城ロータリークラブ**



去る7月27日、本城ガバナー、中島ガバナー補佐、戸川地区副幹事、篠崎地区大会幹事をお迎えしての公式訪問例会を開催しました。炎天下にもかかわらずご来場いただきご指導賜りましたことを会員一同お礼を申し上げます。

小城ロータリークラブは昭和40年に佐賀・唐津をスポンサークラブとして設立し、今年に創立40周年を迎えます。また、第2000回の例会を迎えます。「思いやりと寛容」の精神にのっとりロータリー101年目の新たな第一歩を踏み出しました。

そこで今期は、先ず40周年記念事業を

通してより良い地域社会への奉仕活動を心がけ実施したいと考えています。更に会員一人ひとりの立場、考え方を尊重しながら「奉仕と親睦」の精神を忘れず活気ある例会運営を心がけ、委員会活動の活性化を図っていききたいと思います。

《重点目標》

1. 40周年記念事業の成功
2. 各部門における行事計画への積極的取り組み
3. 会員増強、退会防止への積極的取り組み
4. 同じ理想、目標を共存する他団体との交流
5. ロータリー財団への貢献

会長 馬場 實



17年  
7/27

**佐賀北ロータリークラブ**



去る7月27日（水）夜の例会に本城ガバナーをお迎えし、公式訪問例会が行われました。例会に先立ち、会長、幹事、会長エレクトとの懇談会が行われ、今年度の佐賀北クラブの活動方針をはじめ当クラブの特色や歴史等をご報告しました。ガバナーからは、ロータリー活動のすばらしさや様々な問題点など、豊富なご経験をもとにしてお話いただきながら、貴重なアドバイスを頂戴いたしました。定刻の18：30より例会が始まり、来訪者紹介等通常のプログラムに引き続き、約30分にわたりガバナーの卓話を拝聴いたしました。今年度のガバナー活動方針からアナハムの研修の詳細まで時にユーモアをまじえながらのお話を伺いました。ロータリー101年目のテーマ「超私の奉仕」についてはあまり難しく考えないで「思いやりと寛容の精神」で、地域社会のニーズを見極め、草の根運動に参加してくださいと呼びかけられました。その後懇親会に入りました。当クラブにはガバナーと親交のある会員も何人かいて終始和やかな雰囲気での楽しい時間を過ごすことができました。ふと時計を見ると定刻を過ぎており、20：00の中締めで無事公式訪問例会を終了しました。ありがとうございました。

会長 福元 祐二



17年  
7/28 伊万里ロータリークラブ



伊万里ロータリークラブは、7月28日に本城好春ガバナー、前田拓郎ガバナー補佐、北島俊郎地区幹事をお迎えして伊万里西ロータリークラブと合同の公式訪問例会を行った。例会では、本城ガバナーにより本年度の地区運営方針についてご説明をいただいた。また、平岡地区大会実行委員長からは、大会のご説明とご案内を頂きました。

さて、当クラブは、創立45周年目に入り平均年齢60.24歳、会員数40名でスタートし、古き良き伝統は継承し続け、さらに、新規会員には我がクラブの親睦を通じ、思いやりと寛容の精神をもって、会員一人一人が新たな気持ちで活動して例会、クラブの諸行事を研鑽の場としてとらえ、会員相互の理解と友情を、さら



に深めていきたいと思えます。

会長 田尻 徳麿



## 17年 7/28 伊万里西ロータリークラブ



最近、私どものクラブでもロータリーをやめる、ないしはやめないにしても、やめたいという人たちがいらっしゃるこ

とがとても気がかりです。いろいろなことが考えられますが、究極のところ、ロータリー活動が面白くないからでありましょう。

「あなたは、ロータリアンですか、それとも只の会員ですか？」と皮肉な問いかけをしたRIのバスト会長がいらっしゃいました。

また、「あなたは、ロータリークラブに入っていることを誇りに思っていますか？」というアンケートに、27%のロータリアンが「誇りに思っていない」と答えたというデータも見かけました。

「ロータリーは、まだ意義ある存在と言えますか？」という問いも聞こえてまいります。

このような質問に対し、私どもは「もちろんです」と一瞬たりとも、それを疑うことなく答えなければならない訳であ

りまして、その為の作業というのが、私のテーマだと思っています。

会長 田中 秀徳

## 17年 7/29 牛津ロータリークラブ



牛津ロータリークラブは、1977年5月29日佐賀ロータリークラブをスポンサーとして創立。

牛津ロータリークラブの特徴は親睦を中心とした和気あいあいの楽しいクラブです。楽しく明るい例会は、出席向上退会防止になります。奉仕活動を通して何でも話せる友が得られ真の親睦が出来ればと願っております。

本城好春ガバナーの方針を踏え地元地域のニーズを見極め、それを叶えるためにも催物行事等へ会員皆様方が出席し、一人でも多くの方々にロータリー精神ロータリーの良さを伝えロータリーの存在感を高めて行かなければと思います。

牛津クラブは、来年30周年を迎えます。記念事業として、保健福祉センターアイ





ルに通じる歩道への桜並木植樹を、本年度より実施し会員皆さんが、スコップを持って汗を流してもらおう計画を立てております。

ロータリー101年目、原点に戻って会員の親睦を今一度強固なものにし、歴代会長先輩方が築かれた牛津ロータリークラブを、大切に受け継いでいくよう努力して行きます。

会長 森山 寿美男



**17年 7/29 嬉野ロータリークラブ**



去る7月29日、本城好春ガバナーをお迎えし、当嬉野ロータリークラブの公式訪問例会を開催いたしました。当日は、北島地区幹事、松山ガバナー補佐、平岡地区大会実行委員長、篠崎地区大会幹事も参加いただきました。

事前の協議会においては、RI会長の理念やアメリカ、アナハイムでの話しなどを組み込みながら、今後のロータリー活動のあり方や進め方を分かりやすくお話ししていただきました。

当クラブは、もっとも会員数が多い時に比べてみると今は半数以下まで減少しています。クラブの運営や活動を活発にするためには、若い会員の増強が重要だと思われれます。今年度は、3名以上の増強を目指し会員一丸となり進めて行く所存です。実は早速、新入会員1名が入会されガバナーよりバッチをつけていただきました。

また地区大会にも当クラブ、なるべく多くの参加をするように計画を立てたいと思っています。

「ガバナー公式訪問」を楽しくなごやかな雰囲気の中かで修了できましたことを一同感謝申し上げます。

会長 村島 秀典



17年  
8/3

## 佐世保西ロータリークラブ



去る8月3日に本城好春ガバナーをお迎えしてのクラブ懇談会では、現在32名の会員数で運営をしなければならなくなり、クラブ運営と存続に危機感を強く持っている旨の説明をさせていただきました。

そのため、今年度の活動については、当クラブの課題を背景に、会員数の身の丈にあった活動を基盤として考え、対外的な事業活動を限定し、以下の骨子で運営をしていきたい。

- 1) シンプルで判りやすい組織形態と、活動しやすい人事配置
- 2) 活性化され魅力ある継続的活動の為の改革
  - 会員の激減の中、これまでの活動・運営形態で継続していけるのか、当クラブの具体的な運営・管理形態の模索と、時代の変化の中での明確な改革提言
- 3) 当クラブの楽しく・知的・魅力ある活動と会員相互の価値の共有
  - 例会出席率向上のため月1回、会員参加型のイベント・プログラム（知的生産技術のノウハウ、英語・中国語・韓国語講座、音楽講座、映画例会等）を充実し開催
  - 例会出席率向上のため、月1回定例「夜の例会」を開催

### 4) 青少年の健全育成のためのミニバスケットボール大会の継続と、運営のあり方の模索

以上を実施するに当たり、「会員満足度」「会員の相互扶助」「楽しい例会運営」が必須の要件であると感じております。

本城ガバナーからは、会員数3名でロータリー活動をしている青森県にあるクラブ、9名で活動している太良RCの内容の紹介をしていただきました。本来は40名程度の会員数がないとあるべき活動と運営が難しいとお話になられ、国際ロータリーが会員増強を求めているが、日本の国情を十分に理解していないことと、ロータリーの存在が国際社会の中で周知されていないことが問題ですと話されたことは、ご自分の所見を本音でお話になれることが分かり、改めて、親しみと信頼を感じた次第です。

そして、会員数が減ったからといって、現在の経済状況や社会情勢を考えると、会員増強が難しいことは認識しているので、活動もあまり背伸びをして無理をせず、退会防止のために、内部の活性化に力を入れた活動を中心にしていただき、当クラブの活動方針と計画に間違いがなかったと再認識をする良い機会となり、「クラブ会員の満足度」向上のために、楽しい環境の中で実行していきたいと思っております。

会長 岩崎 英喜

## 米山奨学生紹介



駱

ラク

揚

ヨウ

国 籍：中 国  
世話クラブ：長崎琴海RC

### ●私のプロフィール●

私は中国の瀋陽から来た留学生の駱揚と申します。2000年の10月に日本に来ました。

最初は日本語がまったくわからなかったので日本語学校に入りました。そして、長崎大学大学院経済研究科の研究生になり、去年の4月同大学院の院生になりました。今、「企業の環境管理—自動車企業を中心に」というテーマで研究をしています。

私は、好きな旅行以外に、スポーツや読書、音楽鑑賞にも興味をもっています。日本にきてから日本の文化が好きになりました。いつかチャンスがあれば学びたいと思っています。

私は留学によって、真に自立した人間として、強く生きられるようになったと思います。日本に留学して来てよかったと、私は感謝の気持ちでいっぱいです。今度、米山奨学会の奨学生に採用させていただきまして、心から感謝しております。これからも頑張りますので、よろしくお願い致します。



ヌグラハ・トーマス  
・アグン

国 籍：インドネシア  
世話クラブ：大町RC

### ●私のプロフィール●

私は現在、佐賀大学理I学部電気電子I学科の電子回路研究室に付属している24歳の留学生です。学校では自分の専攻の他、将来の役に立つような専門分野外の学習をしています。例えば日本文化の学習や、企業を起こすために必要な考え方を学ぶベンチャービジネスの学習を積極的に取り組んでいます。

学業の活動を優先しながら、私は交流活動やボランティア活動をしています。佐賀県内で行われる交流行事はもちろん、九州・沖縄の各県がおこなった「九州アジア大学」という大規模の国際交流行事にも参加させていただきました。その他、スマトラ沖大地震の募金活動やユニセフの活動にも積極的に参加しています。これは、現在ここにいる私はたくさんの方々からの助けや応援をいただいていたからです。私は、私なりに社会にも貢献したいからです。

## 米山奨学生紹介



劉 彦 加  
リュウ ゼンカ  
国 籍：中 国  
世話クラブ：有 田 RC

### ● 私のプロフィール ●

私は佐賀大学経済学研究科2年の劉彦加です。06年度の米山奨学生として選ばれました。ご挨拶を申しあげること兼ねて、簡単な自己紹介をさせていただきます。

私は高校卒業後に家族からの影響をうけて日本へ留学することにしました。98年の4月から福岡の日本語学校で2年間、日本語を勉強しまして、00年に佐賀大学経済学部に入學しました。04年に同佐賀大学の経済学研究科に入り、現在に至っております。

来日してあっという間に7年間が過ぎまして、振り返って見ると挫折もあり、成功もあり、平坦な道ではなかったですが、大学で尊敬できる先生、社会で偉い方と出会い、同じ20代に他人より充実した生活が過ごせたと思います。

今回の奨学生になった事をきっかけにもっと多くの方々と出会うことを期待して、人生を広げていきたいです。



アロヨ・モラ・  
デイシー・クリスティナ  
国 籍：コスタリカ  
世話クラブ：諫 早 南RC

### ● 私のプロフィール ●

私は、デイシーアロヨです。コスタリカ人です。コスタリカは、動植物が多くてきれいな国です。小さいときから海が好きだったので、生物学の勉強をしていて、日本に留学したいと思っていたので卒業後、日本の大使館にいて、文部省の奨学金がある事がわかりました。

日本にはじめて来たのは1987年で、修士課程を取りました。その時も水産学部で養殖の勉強をしました。

去年から長崎大学で博士を取るためにきました。長崎大学の水産学部の海洋物質科学講座の栄養学研究室で、勉強をがんばっていきたいと思っています。

# 地区だより

松浦RC  
 広報担当  
 山本 浩平

## 国際ロータリー設立100周年記念碑建立式

このたび当クラブ(青崎伊佐雄前会長、38人)で7月2日、国際ロータリー設立100周年記念碑を松浦市志佐町里免の市道交差点に建立しました。市道山ノ手線、大浜・里線が交わる交差点の歩道上に、設立100周年記念碑と、市の木「マキノキ」を65万円かけ整備しました。建立式で前青崎会長

と同市の友廣郁洋助役がマキノキの根元に土を掛けて植樹しました。前青崎会長は「待望の記念碑が完成した。これを機に、社会奉仕・貢献活動に一層の力を入れていきたい」とあいさつ。友廣助役も「立派な記念碑とマキノキが市民の目に留まるはず」と完成を祝っていただきました。



## 障害者施設や老人ホーム等の夏祭りに参加

当クラブ(岩藤一人会長、37人)では、ボランティアとして、色々な施設の夏祭りに参加しました。私達の役目は、焼きそば・焼き鳥・飲み物など料理から販売まで幅広く行いました。販売していると色々な人が買いにこられて、そこで交流。またロータリーを理解していただく絶好の機会に

もなります。ステージでは利用者のダンス、演舞、カラオケ、フラダンス、よさこい演舞太鼓などで大変賑わいました。また幼稚園では我々会員がお化けの格好をし、園児を少し怖がらせようと思ったところ、その反対に園児から叩かれたりして散々でしたが、楽しい夏祭りでした。



ワークプラザ松浦(障害者施設) 7月16日



青山荘(特別養護老人ホーム) 7月23日

**佐賀RC** 当クラブの記事が6月17日、西日本新聞に掲載されました。

次の時代 しっかり担って

高校生5人に奨学金



佐賀ロータリークラブの七田会長(左から3人目)と奨学金を受ける5人の高校生

佐賀ロータリークラブ

佐賀ロータリークラブ(七田秀徳会長、80人)は16日、本年度の奨学金の授与式を佐賀市内のホテルで行った。同クラブは、成績や人格が優れている高校3年生に1962年度から毎年、奨学金を給付。高校を通じて応募があった中から5人程度を選んで、月1万円を支給している。

本年度、対象に選ばれたのは佐賀清和高の矢部晶子さん(18)▷佐賀商高の一ノ瀬英雄さん(17)▷佐賀西高の坂本健太さん(17)▷佐賀北高の成富毅誌さん(17)▷致遠館高の山口貴大さん(17)。七田会長(67)は「しっかり勉強をして、次の時代を担ってほしい」と話していた。



第2740地区の皆さん

クラブの奉仕活動を

**ROTARY  
AT WORK**

ロータリーの友 ロータリーアットワークに

紹介しよう!!

★ 活動日、カラー写真・説明文(150字程度)等を記入し原稿をロータリーの友事務所に送りましょう。

“クラブ活動1ヶ月以内のもの。記念写真(集合写真)は、掲載されません。”

詳しくは

**ロータリーの友 事務所**

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8F  
TEL(03)3436-6651(代) FAX(03)3436-5956

「友」地区委員 石松憲一郎

# 新入会員紹介

ロータリーの新しい仲間  
 になりました方々を  
 ご紹介します。



牛津RC  
 ふじ き たくいちろう  
 藤木卓一郎君



牛津RC  
 もり まさ お  
 森 正 夫君



有田RC  
 ふく だ まさ のぶ  
 福田 雅 信君



有田RC  
 あら き ひで のり  
 荒木 英 宣君



有田RC  
 かわ ち すすむ  
 川内 将君



鹿島RC  
 いち の せ て つ お  
 一ノ瀬 哲 夫君



鹿島RC  
 し も かわ たかし  
 下 川 隆君



鹿島RC  
 つ つ み ち づか  
 堤 千 束君



唐津RC  
 あ さ お み つ き  
 浅 尾 満 喜君



唐津RC  
 む ろ い た か お  
 室 井 隆 男君



唐津西RC  
 も ろ お か ま さ とし  
 諸 岡 雅 俊君



唐津西RC  
 そ の だ たかし  
 園 田 孝 志君



伊万里RC  
 や ま だ ひで お  
 山 田 秀 雄君



伊万里西RC  
 ほ り かわ ひろ くに  
 堀 川 博 邦君



伊万里西RC  
 と み き たつ お  
 富 崎 龍 夫君



唐津中央RC  
 と き つ め ぐ み  
 時 津 芽 久 美君



唐津中央RC  
 は ね たかし  
 羽 根 孝 君



平戸RC  
 ふ く だ こう いち  
 福 田 耕 一 君



佐世保東RC  
 に し た え い ち ろ う  
 西 畑 栄 一 郎 君



佐世保中央RC  
 ま え し ま き ん い ち ろ う  
 前 島 勤 一 郎 君



島原南RC  
 さ い と う と よ こ  
 佐 藤 ト ヨ コ 君



諫早RC  
 つ の お す み お  
 角 尾 澄 夫 君



諫早北RC  
 く ろ だ し げ る  
 黒 田 茂 君



諫早北RC  
 や ま し た た け の り  
 山 下 武 則 君



長崎RC  
 し む え だ ゆ う じ  
 首 藤 雄 二 君



長崎西RC  
 ま つ お た も つ  
 松 尾 保 君



長崎東RC  
 み む ら ゆ う へ い  
 三 村 裕 平 君



長崎出島RC  
 い と う あ き お  
 伊 東 啓 雄 君



長崎出島RC  
 お だ わ ら な お き  
 小 田 原 直 樹 君

## 寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種類	氏名	クラブ名
P・H・F	吉川 幸太	大村東RC
	赤坂 幹雄	佐賀RC
	木下 博行	佐賀RC
	大坪 恵介	佐賀RC
	馬場 實	小城RC
マルチプル・P・H・F	嬉野 勝利	佐賀RC
	野口 清	佐賀RC
	池田 實	佐賀RC
	本島 慶次	佐賀RC
	烏山 忠男	諫早RC
大口寄付	田中 純智男	佐世保東RC
ベネファクター	北島 俊郎	唐津RC
	浦本 忠男	佐世保東RC
	西尾 弘毅	北松浦RC
	烏山 忠男	諫早RC
	郡家 信晴	福江中央RC
	渡邊 修志	長崎西RC
米山功労者	伊藤 正春	佐世保東RC
	北島 俊郎	唐津RC
米山功労者 (マルチプル)	浦本 忠男	佐世保東RC
	為永 伸夫	大村東RC
	前川 貞良	大村東RC
	烏山 忠男	諫早RC
	梅田 裕一	諫早多良見RC



### 訃報

慎んでお別れいたします。

2005年7月1日逝去  
(享年102才)

故 七田勝良君  
(佐賀西RC)



2005年7月7日逝去  
(享年61才)

故 入江輝夫君  
(長崎西RC)



2005年7月21日逝去  
(享年55才)

故 藤崎三起男君  
(佐賀大和RC)



2005年7月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	88.5	80	0	79	0	-1
	小城	4	93.4	34	1	34	1	0
	牛津	5	91.3	31	0	32	0	1
	多久	4	90.4	42	5	42	5	0
	佐賀大和	4	91.7	25	3	24	3	-1
	小計		91.0	212	9	211	9	-1
第2グループ	佐賀西	3	75.4	56	0	55	0	-1
	佐賀北	4	83.0	41	3	41	3	0
	佐賀南	4	86.6	41	0	41	0	0
	神埼	4	85.0	28	0	27	0	-1
	佐賀空港	4	63.8	20	0	20	0	0
	小計		78.8	186	3	184	3	-2
第3グループ	有田	4	79.1	33	1	36	1	3
	武雄	3	87.7	57	0	57	0	0
	鹿島	4	90.3	41	2	44	2	3
	嬉野	5	89.5	23	1	23	1	0
	大町	4	77.0	24	0	24	0	0
	白石	3	74.5	17	0	17	0	0
	太良	4	82.5	9	0	10	1	1
小計		82.9	204	4	211	5	7	
第4グループ	唐津	4	92.5	51	0	53	0	2
	伊万里	4	96.3	40	0	41	0	1
	唐津東	4	97.3	50	0	50	0	0
	唐津西	4	87.6	39	0	41	0	2
	伊万里西	4	88.4	47	0	49	0	2
	唐津中央	5	92.1	41	4	43	5	2
	小計		92.4	268	4	277	5	9
第5グループ	佐世保	4	99.2	84	0	82	0	-2
	平戸	4	89.1	41	0	42	0	1
	佐世保西	4	93.1	33	0	32	0	-1
	北松浦	3	88.9	25	0	24	0	-1
	松浦	5	94.9	37	1	37	1	0
	生月	4	67.7	19	2	18	2	-1
	小計		88.8	239	3	235	3	-4

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	5	100.0	81	0	81	0	0
	佐世保東	4	87.7	31	0	32	0	1
	佐世保北	3	98.5	48	0	49	0	1
	佐世保中央	4	100.0	46	0	47	0	1
	佐世保東南	4	75.0	23	0	22	0	-1
	HTB佐世保	4	80.5	28	3	28	3	0
	小計		90.3	257	3	259	3	2
第7グループ	大村	4	96.7	52	2	50	2	-2
	島原	4	82.4	37	3	37	3	0
	雲仙	5	91.4	34	0	34	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	4	76.3	21	1	22	2	1
	大村東	3	76.5	44	1	44	1	0
	小計		87.2	221	7	220	8	-1
第8グループ	諫早	5	95.0	64	0	65	0	1
	諫早北	4	87.5	63	0	63	0	0
	諫早西	4	96.6	46	0	46	0	0
	諫早多良見	4	88.2	40	0	38	0	-2
	諫早南	3	87.5	32	3	32	3	0
	小計		90.9	245	3	244	3	-1
第9グループ	長崎	4	80.1	99	0	100	0	1
	福江	5	83.3	40	0	40	0	0
	長崎北東	4	96.7	58	0	58	0	0
	福江中央	4	93.2	37	0	37	0	0
	長崎西	4	78.1	65	1	65	1	0
	長崎琴海	4	80.0	20	2	20	2	0
	小計		85.2	319	3	320	3	1
第10グループ	長崎北	3	80.5	74	0	74	0	0
	長崎南	4	72.8	84	0	83	0	-1
	長崎東	5	98.6	72	0	73	0	1
	東長崎	4	77.9	36	0	36	0	0
	長崎中央	3	93.2	59	0	59	0	0
	長崎出島	5	86.7	55	15	57	15	2
	小計		85.0	380	15	382	15	2
合計		87.3	2531	54	2543	57	12	

## 文庫通信 (215号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 地区大会講演より

- ◎「今、飲み水が恐ろしい」 北野大 2005 6p (D.2800)
- ◎「新しい国際社会と日本の軍縮外交」 猪口邦子 2004 10p (D.2610)
- ◎「少子社会の人間学～夫婦仲が悪いと子どもがキレる」 富岡賢治 2004 6p (D.2840)
- ◎「21世紀の美しいまちづくり」 石川幹子 2004 3p (D.2520)
- ◎「ユネスコ活動とロータリー活動」 野口昇 2005 8p (D.2530)
- ◎「日本人と奉仕のこころ」 鈴木健二 2005 8p (D.2830)
- ◎「夢を追いかけて」 山本昌邦 2005 4p (D.2740)
- ◎「スペシャルオリンピックスについて」 細川佳代子 2004 7p (D.2660)
- ◎「プロジェクトX～限りなき挑戦」 今井彰 2004 12p (D.2660)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー)]

### \* ロータリー文庫 \*

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

平戸 佐世保西 北松浦 松浦 生月 佐世保南 佐世保東 佐世保北 佐世保中央 佐世保東南 HTB佐世保 大村 島原 雲仙



# SERVICE Above Self 超我の奉仕 2005~2006年度 地区大会のご案内

11月11日(金)・12日(土)・13日(日)

大会会場：唐津市民会館

ホストクラブ：唐津RC コ・ホストクラブ：唐津東RC、唐津西RC、唐津中央RC

【11月11日(金)】 **大会前日**

- ◆08:30～ 記念ゴルフ大会 唐津ゴルフ倶楽部
- ◆18:30～ RI会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会 唐津シーサイドホテル

【11月12日(土)】 **大会第1日**

- ◆09:00～ レディース エクスカーション「唐津焼、呼子、名護屋の史蹟と味めぐり」  
(参加費無料 定員40名)
- ◆11:00～ 委員会 12:00～ 登録開始 13:00～ 本会議

- ◆15:00～ 記念講演会 ジャーナリスト <sup>しま</sup> 嶋 <sup>のぶひこ</sup> 信彦氏

『大好機時代 — 元気のある企業と地域 —』

嶋氏略歴 昭和17年中国・南京生まれ 慶應大学経済学部卒 昭和42年毎日新聞社入社  
昭和56年ワシントン特派員 昭和62年毎日新聞社退社 フリーとなる  
現在、RKB毎日放送(TBS系)「朝ズパッ!」の木・金曜のアンカーマンを務める  
白鷗大学教授、慶應大学講師、NPO日本ウズベキスタン協会会長

- ◆18:00～ 記念懇親会 唐津シーサイドホテル
- ◆18:00～ 新世代の集い 唐津ロイヤルホテル

【11月13日(日)】 **大会第2日**

- ◆08:30～ 登録開始 09:30～本会議
- ◆11:00～ 防衛落鱗講話 岡崎研究所 理事 元護衛艦司令官 金田 秀昭氏  
「中国の野望:マハニズムによる海洋の制覇」
- ◆14:00～ 記念演奏会 佐世保海上自衛隊(一般公開)

お問い合わせ先

国際ロータリー第2740地区 2005~2006年度 地区大会事務局  
〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5F 504号室  
TEL 050-3432-9045 FAX 0955-75-1372  
E-mail: roco@vc1.people-i.ne.jp http://web.people-i.ne.jp/~rc2740/

佐賀 小城 牛津 多久 佐賀大和 佐賀西 佐賀北 佐賀南 神埼 佐賀空港 有田 武雄 鹿島 嬉野 大町 白石 太良 唐津 伊万里 唐津東 唐津西 伊万里西 唐津中央 佐世保

大村北 島原南 大村東 諫早 諫早北 諫早西 諫早多良見 諫早南 長崎 福江 長崎北東 福江中央 長崎西 長崎夢海 長崎北 長崎南 長崎東 東長崎 長崎中央 長崎出島



唐津市 名護屋城 三の丸 風景 画:松尾武彦(唐津RC会員)

表紙の写真の説明 **秋の里山**

水路ぞいの彼岸花が満開になる時期を待つて静かな里山風景を、スローシャッターで表現してみました。

[撮影場所] 唐津市 相知町 町切

[撮影者] 唐津在住 宮崎 宏



**国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所**

2005～2006年度 ガバナー 本城 好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL(0955)75-1371 FAX(0955)75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



## SERVICE Above Self 超我の奉仕

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740  
国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



### 2005.10.1 VOL.4

#### ●CONTENTS

本城ガバナーのメッセージ…	1	寄付者紹介 ……………	18
歴代ガバナーのメッセージ…	2	8月会員数・出席報告 ……	19
ガバナー公式訪問 ……	3	「カトリーナ」災害見舞募金のお願ひ ……	20
インターアクト大会の報告 …	14	文庫通信 ……………	21
青少年交換オリエンテーションの報告 …	15	「ガバナーエレクト事務所」開設のお知らせ ……	22
新入会員紹介 ……………	17		

## 本城ガバナーのメッセージ

第2740地区ガバナー 本城 好春



ガバナー月信3号にガバナー公式訪問の各クラブの記事が載って居りました。唯今、猛暑の中、公式訪問の真っ最中です。

漸く58クラブ中38クラブが済み、今からと油が乗って来た処で9月6日(火)長崎西RC、長崎北東RCの訪問の当日、台風14号が九州全域を直撃し交通が遮断されてしまいました。高速道路が出島まで直通し、殆んど佐賀、長崎間が、日帰り可能になりました。どのクラブでも熱烈歓迎を受け、ガバナー冥利につきます。

何度も申しますようにガバナーはエヴァンストンのRI(国際ロータリー)本部の意向をグローバルな視野でとらえて、各クラブの皆様方にお伝えする事ですが、いざ、実際に各クラブの皆様にお会いしてお話を聞くうちに、真剣にクラブの維持、管理をして居られるご様子に頭の下がる思いがしました。

RI(国際ロータリー)の意向とRC(ロータリークラブ)の現実の様子とは可成りの格差があり、この格差を近づけるのがガバナーの仕事でしょうが、今年のRI会長ステンハマー氏はいみじくも、101年目のテーマに95年前のテーマ「Service Above Self」(超我の奉仕)を取り上げられ、現代風に(人への思いやり)と平易に云い直され、「原点回帰」を提唱されました。

まず、素直に自分の足元を見直そう。そして自分の出来る事から始めましょうといわれて居ります。決して背伸びしたり、力んだりせず、自然な形でロータリーの奉仕活動を致

しましょうといわれて居ります。

ロータリー発祥101年目に私達今期のガバナー会は「新世紀会」と名づけて、着実に足のついた奉仕活動をしようと申し合わせました。

ガバナーの仕事は極めて激務です。ノミニエ、エレクトと今年から日本で東京、広島で2回、アメリカの国際協議会で3回目のGETS(トレーニング、ゼミナー)を受け、一週間に及ぶアナハイムの特訓は、極めてハードでしたが、国内に戻り、7・8・9月と3ヶ月にわたる公式訪問は更にハードで、体力との勝負と思いました。この公式訪問もあと1/3僅かになりました。

私は開業医で余り外に出歩きませんので、初めて行く土地、初めてお会いする方々とお会いする機会は、一生の内、最初で最後かと思いました。沢山のロータリーの方々と知り合い、お話しして、最近漸くこれがロータリーの原点であろうと思えるようになりました。沢山のお友達と知り合い、自分の職業を越えて、いろいろの奉仕の場を与えられる事がロータリーの運動だと、自分の体験を通して判るようになりました。ガバナーになって初めてこのような体験をさせて頂き、私自身が、ロータリー運動に目覚めた事を有難く思っています。

皆様方はもっと若く、理解力があり、101年目の新世紀を乗り越えてロータリー運動を展開されるだろうと期待して居ります。

## 歴代ガバナーからの一言

## 「ロータリアンになられて日も浅い貴方様へ」

第2740地区パストガバナー 栗林 英雄



謹 啓

ロータリークラブに入会されて、その後どの様なロータリーライフを過ごしておられますか。ロータリーの水に少しは慣れましたか。

少し、気になることもありましたが、ラブレターを送るような気分で筆を執りました。

ロータリーの発祥がアメリカ・シカゴであったために、ロータリーの用語は全て英語の翻訳ですから、難しい時もあったでしょう。でも言葉にはすぐ慣れますから心配は無用です。只、時は瞬時に過ぎ去って、何も勉強しない中に2、3年は経ってしまいます。ぐずぐずはしておれません。

「鉄は熱い中に打て」入会されて最も新鮮な気持ちを抱いている今こそ、ロータリーの存在意識を学ぶべきでしょうね。

そう、ロータリアンは大抵、皆さん紳士です。良質の精神が宿った専門職業人の集まりがロータリークラブです。自分の周囲に弱い立場の人が居たら、救いの手を差し伸べる事を躊躇しない、優しい心の持主ばかりです。

その仲間入りをして、貴方もきっと社会へ奉仕する事の意味の深さを理解されるでしょう。地域社会にとどまらず、地球規模で活動が続けられているのですから。

一人ひとりが職業の異なる異業種人の集合体ですから、その中で交わされる話題も多種多様です。その話題(情報)には、自分の考え方や住む世界とは次元の異なることもあって、驚かされると同時に、様々な示唆を受ける事も多いのです。ですから、食事の時はなるべく例会ごとに各先輩ロータリアンの横に席を取るようにして、いろいろな話を聴きだすことです。つまり社交性があるかないかで随分差が出てきます。名刺を配っても良いし、積極的にクラブの中に溶け込む努力が必要だと思

います。そうして良好な友人関係が出来上がってゆく課程で、会員間の商取引が成立したり、いろいろな人脈によって、自分の将来に明るい展望が開ける事もあるのです。人によっては、最初からその商取引ばかりを期待して入会し、予測がはずれたとぼやく人がいますが、それは逆であって、よい親睦・人間関係が整ってはじめて商売の話も出てくるのです。

年に数回開催される家庭集会(炉辺会合)は例会では味わえない楽しい雰囲気があり、いろいろな雑談も飛び交ってすぐ打ちとけ友人になれます。アルコールも用意されるので、人間性そのものが表れて、その事が幸いするのでしょうか。これには必ず顔を出す事。

それから地区主催で行われる地区大会、グループ別研修のIM等は多少形式的なものもあるけれど、ロータリーという大きな組織が目差すものは何か、他のクラブの動向、何よりも勉強になる基調講演も企画されていますから、絶対に出席されるように。ロータリーの真髄に触れた感激に浸されるでしょう。

忘れるところでした。毎月送られてくる「ロータリーの友」には目を通してありますか。ロータリアンの義務の一つですから、いつも持ち歩いて、好きな所を読めばよいのです。ロータリー情報も満載。ロータリアンのエッセイ集もどきですから結構楽しいものです。

そうして、例会出席が苦にならなくなったら、もうしめたもの、貴方はロータリアンとしての関門を無事通過です。

良きロータリアンとして、善良なる専門職業人として、カール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長が提唱された「超私の奉仕」に向かって日々精進されますよう念じております。

謹 白

# ガバナー公式訪問

及びクラブ会長本年度の抱負

17年

8/2

## 神埼ロータリークラブ



我々、神埼ロータリークラブは今年20周年を迎えます。また、当クラブ宮地勝郎君が2740地区第2グループのガバナー補佐に就任され、今年1年は大変有意義な1年になるなど会員みんなで、楽しく気合を注いでいる今日です。

今年度、8月2日に本城好春ガバナーをお迎えいたしまして、公式訪問例会を開催致しました。時代の流れに沿ってパソコンを使って、パワーポインターで言葉とビジュアルを織り交ぜて、アメリカ、アナハイムで開催されたGETS(ガバナー・エレクト・トレーニング・セミナー)での豊富な経験を熱く、楽しく語っていただきました。我々会員一同も大変貴重なお話しをお聞きすることができ本当に楽しい時間を過ごすことができました。

当クラブも地域社会、地域活動と深く密着し、山崎会長の本年度活動方針の地域のボランティア活動と共に色々な奉仕活動に参加していこうという主旨の基、ロータリー活動の実践に励んでいきたいと思っております。

会長 山崎 清二



17年

8/3

## 佐世保ロータリークラブ 佐世保西ロータリークラブ

《向かって右から、安福ガバナー補佐、本城ガバナー、新入会員の町孝君、小川淳君》



ガバナー公式訪問は8月3日佐世保西クラブと合同で開催いたしました。例会に先立ち、ガバナーと会長、会長エレクト、幹事との懇談会を行い、本城ガバナー、北島地区幹事より、クラブ運営、活動等についてご指導をいただきました。

12時30分より西クラブとの合同例会では、当クラブに二名の入会がありましたので入会式を行い、ガバナーよりバッジを、安福ガバナー補佐より名札をそれぞれ着けていただきました。入会をされた町孝君(ハウステンボスジェイアール全日空ホテル)、小川洋君(十八銀行)

にとって忘れられない入会式となりました。ガバナーよりRIテーマ、また国際協議会の模様等の講話を頂きました。

## 【本年度のクラブ運営と主な行事】

- 1.佐世保クラブは本年55周年を迎え、10月28日に創立55周年記念式典を開催いたします。
- 2.クラブ運営についてはCLPを一部採用した細則の変更を行い、組織、事業の継続性を重視します。
- 3.例会プログラムを全員に配布し当日の例会の内容を知らせます。
- 4.年4回の委員会開催
- 5.国際青少年交換プロジェクトの実施  
平子咲さんを第4100地区(メキシコ)に派遣し同地区よりマリア・ハシモトさんを受け入れます。
- 6.毎年あなたも100ドルを  
できるだけ全員がロータリー財団に参加する意識を持ってもらう。
- 7.第12回ロータリー青少年交換研究会「長崎会議」のホスト・クラブを務めます。

佐世保RC会長 山縣 義道



17年  
8/4

## 諫早北ロータリークラブ



去る8月4日本城好春ガバナー、第8グループの烏山紀男ガバナー補佐、北島俊郎地区幹事をお迎えして、公式訪問を執り行いました。

我がクラブは前期栗林ガバナーを送り出しており、今期創立35周年の節目の年にも当ります。

今期は65名の会員でスタートいたしました。がチャーターメンバーも僅か数名を数えるに至ってしまいました。若くて元気のある会員も増えて参り、成熟期も過ぎた個性豊かなクラブへ成長して参ったと思っています。

今後、会長の方針としては、会員の意見を尊重して委員会主導のボトムアップ方式で事に臨み、クラブ内の調和を図りながら創立40周年を見据え、過去の我がクラブの歴史を尊重し、又、踏襲しつつ35周年に相応しい活気ある、そして和やかな中にも秩序あるクラブ運営を図って参りたいと考えています。

会長 武田 義憲



17年  
8/8

## 武雄ロータリークラブ

### ◆本年度の抱負◆

2005～2006年度 RIテーマ「超我の奉仕」(人への思いやり)と示されております。

100年の歴史をもつロータリークラブ。会員の活気ある楽しいロータリークラブを目指したい。本年度第1回例会(7/4)時に、特に3つの約束をしていただきました。

- ① 転勤、転出以外の退会はしない  
最近会員の減少が続く、その上入会者増もあまり期待出来ない状況で、これ以上会員が減少すればクラブの活気がなくなる
- ② 会員のクラブ運営に最大の協力を
- ③ 例会の無届欠席がないように  
昼食が無駄になり、無駄な経費を省く為

他に今年度の目標として

- ① より以上の会員の卓話  
会員はそれぞれの職業の中で知識、考え方、ものの見方などがあり、異業種の公流会ともいえる
- ② 出席率の向上  
年6回夜の例会(親睦)を予定しておりますが、仕事の都合で昼例会に出席出来ない方もあるので、月1回程度昼の例会を夜に変える
- ③ 交換留学生の受け入れ  
すでに8月17日フランスより来日して、会員宅でホームステイしております。
- ④ R財団、米山奨学会への寄付の推進

会長 原 英彦



17年  
8/8

## 佐世保北ロータリークラブ

### ◆本年度の抱負◆

「参加して、楽しもうロータリー」

シカゴでポール・ハリスが3名の仲間とロータリーの原点となる会を誕生させて以来、今年度で101年を迎え、わが国では、米山梅吉が東京ロータリークラブ創立以来、85年目です。

私達の佐世保北ロータリークラブは、1984年4月16日に佐世保市内5番目のクラブとして誕生しました。以来、今年で22年目を迎えます。

当クラブ発足当初は、ロータリー活動全て



が手探りの様子でしたが、親睦を図る事で、友情の輪を広げて行く事を主策に始まったのです。結果、会員の結束がより深まり、その後の活動に効を奏したと思われます。それから次第に、会員は力を合わせる事になりました。

これまで、クラブの親睦と、奉仕の理念に向かって皆で意見を出し合い乍ら、多くの奉仕活動に汗を流してきました。創立時には、41名で始まった会員も、10年で61名、ピーク時は70名以上となり、地域経済の厳しい近年は、50名前後で推移しています。

これからも私達は、北クラブのこれまで積み重ねられた奉仕の実績を生かして「奉仕」、「親睦」、「増強」の3つを軸に奉仕活動を行いたいと思います。

例会は勿論、関係の多くの会に参加して、立場や環境の違う様々なロータリアンと触れ合い、会議や卓話、講演を聞き、楽しみながら、徐々に、自分自身の心が自然に磨かれていき、切磋琢磨して、自己の心も自然に改善されていき、自己研鑽に繋がって行く事はロータリーの奉仕の心を作る原点だと思います。

今年度のRI101年目のテーマは「超我の奉仕」です。原点に帰り、ロータリーとは何か、ロータリアンとして、今、何をすべきかとか、ロータリーの歴史を紐解き、時には、哲学に触れて奥の深い根本精神を知る事は大事だと思っています。

今年度もロータリーの奉仕を通じて益々お

互いに尊重し、理解し合って、楽しくて素晴らしいロータリーの友情の輪を広げる努力をして行きたいと思います。

会長 二ノ宮 健



**17年 8/9 島原ロータリークラブ 島原南ロータリークラブ**



**◆本年度の抱負◆**

「島原ロータリークラブ」

創立年月日は、昭和39年2月1日、前期40周年を迎えた。

本年度のクラブ運営方針はテーマとして「思いやるロータリー」と掲げました。

最近の急激な会員減少、例会出席の悪さ、委員会活動のマンネリ化等、我がクラブの澁んだ雰囲気。これらを改善する必要を考え、思いやりを持って自クラブの活性化を目指したいと思ひます。

当クラブの所在は背後に聳える形が不気味な眉山がすっぽりと両手を広げ市街地を包み込んでいる。その更に奥手には平成の初めに

噴火した平成新山(普賢岳)がその勇姿をアピールするかの様に聳え立っている。

島原は「七萬石の城下町」・「名水の都」・「人情の町」で訪れると癒しと歴史探訪の雰囲気包み込まれます。そんな環境の当クラブのポイントは「卓花紹介」と「女性会員」であります。

**(卓花紹介)**

四季それぞれの花々を会員各人が持ち込み思考を凝らして観賞、栽培等について知識の伝授を行う。

**(女性会員)**

会員3名は、無欠席を誇り常にクラブの中心的存在である。活動全般に常に積極的でその存在はクラブの鏡で不可欠のメンバーである。

さて、初老(40歳)を過ぎ充実期を迎えた当クラブは「奉仕の理想」を目指して全員がスクラム組んで活発に活動することを誓いあうものであります。

島原RC会長 森 利市



**◆本年度の抱負◆**

「魅力ある例会を」 島原南ロータリークラブ

ロータリークラブ設立101年目何かのご縁で2000～2001年に続き二度目の会長を仰せつかりました。当クラブは初代池永弘会長(現名誉会員)以来19年目となります。前回は「バイタリティーな例会」の方針をかかげ例会の充実を大きな目標にしてまいりました。又、歴代の会長、幹事が頭を痛め、ご苦労されている

のが会員の減少です。会員の減少を食い止め、会員を増加させる事(現2名増加)は大変な事です。その為、何をすべきか、まず、毎週の例会を充実させる。又会員相互の親睦を計る、そして「魅力ある例会」に仕立てることと思います。

今年度は当クラブよりガバナー補佐として日向啓君が選任されました。良きご指導を仰ぎながら、楽しい島原南ロータリークラブを目ざして行きたいと思っております。

島原南RC会長 永田 博

## 17年 8/10 佐賀空港ロータリークラブ

《本城ガバナー公式訪問例会(前列右端が船津健次郎会長、前列右から2番目が本城ガバナー)》



2005～2006年2740地区佐賀空港ロータリークラブは創立以来8年目を迎えました。本年度のクラブ目標は会員増強と脱会防止を掲げこの目標を達成するために会員、家族及び地域社会との更なる交流を図りたいと考えております。

クラブ協議会は7月27日に宮地ガバナー補佐のご来訪を頂き無事に終えることができました。また8月10日には本城好春ガバナーの公式訪問例会を開催し本城ガバナーより超我の奉仕について詳しく説明を受けまして思いやりと寛容の精神を学びました。また、本城ガバナー御一行様は佐賀空港の管制塔の管制室に入室され広大な佐賀平野や有明海の上空に飛び立つ航空機を見学して感慨げな表情を浮か

べておられました。

また、我がクラブでの一大事業であります全国空港ロータリークラブフォーラムは本年度は7月15日、16日の日程で北海道旭川空港ロータリークラブ主催で行われ佐賀空港ロータリークラブからは15名の参加で北の大地でロータリーの奉仕について語り会いました。

会長 船津 健次郎



《第10回 全国空港RCフォーラム旭川大会(写真右端が船津健次郎会長)》

## 17年 8/11 多久ロータリークラブ



国際ロータリー100周年を迎えた昨年、創立20周年の当クラブは、前会長を中心に無事記念式典を開催できました。今年は次の10周年に向けて新しい歩みをと決意しています。

本年度のRIのテーマ「超我の奉仕」にもとづき、思いやりの心をもって奉仕活動に勤め、会員純増2名及び退会防止に努力して行きたいと

思います。

猛暑の中、本城好春ガバナーには当クラブへ訪問頂き、他クラブとの比較をされながら懇切にご指導を賜り非常に参考になりました。ご指示のあった点については改善して行く所存であります。また、例会の席では、スライドを用いてアナハイムでの研修を受けられた時の苦労話や楽しかったこと等話され、会員一同ガバナーになるには、知識と体力が必要であり、又、令夫人の協力が不可欠であると痛感しました。

まだこれから先が長いので、ご健康に注意され益々の御活躍をお祈りしお礼の言葉とします。

会長 丸山 忠宏



**17年 8/11 佐賀ロータリークラブ**

去る8月11日(木)、本年度2740地区の本城好春ガバナーが当佐賀ロータリークラブを訪問された。

ガバナーは、プレゼンテーション・ソフトを駆使され、アナハイムでの国際協議会概要、またガバナーエレクト研修セミナーの内容を非常にわかり易く説明頂き、会員一同よく理解できたものと思われまふ。特にユーモア溢れる説明はまさにガバナーのお人柄の現われだと思ひました。ガバナーのお話にあった様に、ロータリーの現状としては、会員の増強より



も退会防止に務めるべきであると思ひます。退会者が出ると云うことは、活動に魅力が無いと言うことであり、逆に魅力を出せば、退会する会員はなく、その会員達がロータリーが如何に素晴らしいところかを語ることから、結果として会員増強に繋がるものであると思ひます。当クラブも魅力ある活動を行い、更なる発展を目指して行きたいと思ひます。

会長 野口 清



**17年 8/19 長崎東ロータリークラブ 長崎出島ロータリークラブ**

**◆本年度の抱負◆**

「長崎出島ロータリークラブ」

8月19日(金)に長崎東ロータリークラブと合同で本城好春ガバナーをお迎えして公式訪問例会が開催されました。今年度がスタートして初めての公式行事とあってとても緊張しておりました。しかしながら、本城ガバナーの



優しい笑顔とユーモアあふれる卓話を聞いているうちに緊張もほぐれ、楽しい公式訪問例会となりました。

今年度のガバナーの方針は『思いやりと寛容の精神』であり『原点に戻る』行動を推奨されています。私ども長崎出島ロータリークラブはその方針に基づき今年度は次のような運営を行います。

**①退会防止そして会員増強**

楽しいクラブだから退会者がいない。一人一人が主役だから仲間を増やして行ける。

**②インターアクトへの理解を共有する。**

活水高等学校のインターアクトとお互いに共存共栄できる活動を目指す。

**③委員会活動の活性化**

『お互い仲間』だと言う意識を共有し楽しい委員会活動を目指す。

**④IMへの協力**

7年目にして初めて当クラブがIMのホストクラブになりました。会員が力を合わせて成功するために協力し合います。

以上4つの方針で今年度『楽しいロータリークラブ』を目指していきます。本城ガバナーを始め皆様方のご指導を宜しくお願いいたします。

長崎出島RC会長 服部 一弘

**17年 8/22 長崎北ロータリークラブ 長崎中央ロータリークラブ**

長崎北RCクラブは30名の若者が、49年前の昭和32年6月14日に創立しました。現在では4名のチャーターメンバーを含む73名と、会員数は少し淋しくなりましたが、来年度は創立50周年を迎えます。姉妹クラブの京都北ロータリークラブも、同じく50周年を迎えるので、相互のクラブが交流して大いに祝いたいと思います。

本城ガバナーには8月22日(月)58クラブの



28番目の折り返し点に来訪いただき、長崎中央ロータリークラブと合同例会で、会員数が急に倍増したようで活気に溢れておりました。会員増強と退会防止は当然ですが、特徴を持った魅力あるクラブ運営を行います。

1. 年長者市民俳句大会(20回目)
2. 少年剣道大会(26回目)
3. 剣道寒稽古(2回目)
4. 国際交流基金奨学生4名(昭和59年より)
5. 長崎北ローターアクトクラブの充実と奨学生と若者同士の国際交流を推進する。

本城ガバナー、西岡ガバナー補佐、北島地区幹事とは事前懇談会で、

1. 会員の減少によるクラブ合併の件
2. 女性会員の入会の現状
3. 「これで良いのかロータリー」「これで良いのか長崎北ロータリークラブ」という標題で基調講演、討論会を行う

以上の熱のこもった懇談を行い、色々ご教授いただきました。原点に戻って「超我の奉仕」でロータリー活動を行って参りたいと思います。

長崎北RC会長 阿部 芳男



思います。

猛暑の中、本城好春ガバナーには当クラブへ訪問頂き、他クラブとの比較をされながら懇切にご指導を賜り非常に参考になりました。ご指示のあった点については改善して行く所存であります。また、例会の席では、スライドを用いてアナハイムでの研修を受けられた時の苦労話や楽しかったこと等話され、会員一同ガバナーになるには、知識と体力が必要であり、又、令夫人の協力が不可欠であると痛感しました。

まだこれから先が長いので、ご健康に注意され益々の御活躍をお祈りしお礼の言葉とします。

会長 丸山 忠宏



**17年 8/11 佐賀ロータリークラブ**

去る8月11日(木)、本年度2740地区の本城好春ガバナーが当佐賀ロータリークラブを訪問された。

ガバナーは、プレゼンテーション・ソフトを駆使され、アナハイムでの国際協議会概要、またガバナーエレクト研修セミナーの内容を非常にわかり易く説明頂き、会員一同よく理解できたものと思われまふ。特にユーモア溢れる説明はまさにガバナーのお人柄の現われだと思ひました。ガバナーのお話にあつた様に、ロータリーの現状としては、会員の増強より



も退会防止に務めるべきであると思ひます。退会者が出ると云ふことは、活動に魅力が無いと云ふことであり、逆に魅力を出せば、退会する会員はなく、その会員達がロータリーが如何に素晴らしいところかを語ることから、結果として会員増強に繋がるものであると思ひます。当クラブも魅力ある活動を行い、更なる発展を目指して行きたいと思ひます。

会長 野口 清



**17年 8/19 長崎東ロータリークラブ 長崎出島ロータリークラブ**

**◆本年度の抱負◆**

「長崎出島ロータリークラブ」

8月19日(金)に長崎東ロータリークラブと合同で本城好春ガバナーをお迎えして公式訪問例会が開催されました。今年度がスタートして初めての公式行事とあつてとても緊張しておりました。しかしながら、本城ガバナーの



優しい笑顔とユーモアあふれる卓話を聞いているうちに緊張もほぐれ、楽しい公式訪問例会となりました。

今年度のガバナーの方針は『思いやりと寛容の精神』であり『原点に戻る』行動を推奨されています。私ども長崎出島ロータリークラブはその方針に基づき今年度は次のような運営を行います。

**①退会防止そして会員増強**

楽しいクラブだから退会者がいない。一人一人が主役だから仲間を増やして行ける。

**②インターアクトへの理解を共有する。**

活水高等学校のインターアクトとお互いに共存共栄できる活動を目指す。

**③委員会活動の活性化**

『お互い仲間』だと言う意識を共有し楽しい委員会活動を目指す。

**④IMへの協力**

7年目にして初めて当クラブがIMのホストクラブになりました。会員が力を合わせて成功するために協力し合います。

以上4つの方針で今年度『楽しいロータリークラブ』を目指していきます。本城ガバナーを始め皆様方のご指導を宜しくお願いいたします。

長崎出島RC会長 服部 一弘

**17年 8/22 長崎北ロータリークラブ 長崎中央ロータリークラブ**

長崎北RCクラブは30名の若者が、49年前の昭和32年6月14日に創立しました。現在では4名のチャーターメンバーを含む73名と、会員数は少し淋しくなりましたが、来年度は創立50周年を迎えます。姉妹クラブの京都北ロータリークラブも、同じく50周年を迎えるので、相互のクラブが交流して大いに祝いたいと思います。

本城ガバナーには8月22日(月)58クラブの



28番目の折り返し点に来訪いただき、長崎中央ロータリークラブと合同例会で、会員数が急に倍増したようで活気に溢れておりました。会員増強と退会防止は当然ですが、特徴を持った魅力あるクラブ運営を行います。

1. 年長者市民俳句大会(20回目)
2. 少年剣道大会(26回目)
3. 剣道寒稽古(2回目)
4. 国際交流基金奨学生4名(昭和59年より)
5. 長崎北ローターアクトクラブの充実と奨学生と若者同士の国際交流を推進する。

本城ガバナー、西岡ガバナー補佐、北島地区幹事とは事前懇談会で、

1. 会員の減少によるクラブ合併の件
2. 女性会員の入会の現状
3. 「これで良いのかロータリー」「これで良いのか長崎北ロータリークラブ」という標題で基調講演、討論会を行う

以上の熱のこもった懇談を行い、色々ご教授いただきました。原点に戻って「超我の奉仕」でロータリー活動を行って参りたいと思います。

長崎北RC会長 阿部 芳男



## ◆本年度の抱負◆

## 「長崎中央ロータリークラブ」

創立以来15年間例会会場としてきた長崎プリンスホテルが平成17年8月31日をもって終了することは長崎中央ロータリークラブ会員にとっては寂しい限りです。認証式に始まり5周年、10周年、15周年の記念事業を行ってきたこのホテルともいよいよお別れです。平成17年9月1日からは、ホテル名もベストウエスタンプレミアホテル長崎に変わり、我々会員も心も新たに、奉仕活動、親睦活動等を活発に遂行したいと思います。

7月31日には親睦活動の一環として、家族と子ども70名を越す炉辺会合で、長崎港内で行われた花火大会で夜空に煌めく打ち上げ花火を船上より声を上げて観賞し、皆の心が一つになったことは素晴らしい限りです。

8月1日は西岡英一ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会も無事終わり、この炉辺会合に対しお褒めの言葉を戴き嬉しい限りです。

8月22日には本城好春ガバナー、西岡英一ガバナー補佐、北島俊郎地区幹事、平岡晟地区大会実行委員長をお迎えしての長崎北ロータリークラブとの合同例会も終了しました。

今後は地区大会・IMへの出席、社会奉仕活動としての中国人墓地の清掃(9月23日)、青少年剣道大会(11月23日)、みどりの里サンタ訪問(12月23日)、新世代会議、職業奉仕活動としての職場訪問を行う予定です。これらの事業も会員一同全力でやっていく自信ができました。

今年度は新規事業として、アメリカより交換留学生ダニエル・ルールマン君を8月18日に迎え、すでに会員宅にホームステイを始め、長崎県立長崎北高等学校へ1年生として通学しています。

会長に就任して2ヶ月ですが、もう半分以上終わった気持ちです。これからも気を緩めないで今後は会員増強に一段と力を注ぎ、我

が長崎中央ロータリークラブを益々発展させていく所存です。

長崎中央RC会長 原田 尚紀

17年  
8/23 HTB佐世保ロータリークラブ

去る8月23日、本城好春ガバナーの公式訪問を受けました。当日は、浦本ガバナー補佐、北島地区幹事、篠崎地区大会幹事にも同行していただきました。例会に先立ち、事前協議では、ロータリーのクラブ運営の基本について、また少数会員での運営をうまくしているクラブのお話をしていただきました。我がクラブは、創立10周年を迎えましたが、これから更なる発展をするための考え方などについても、大変有意義なお話を伺うことが出来ました。

例会では、アナハイムでの様子から地区方針などユーモアを交えてお話していただきました。

10年目を迎えた我がクラブは、今年度の目標として『魅力、活力、更なる親睦の絆』の基に、次の項目を掲げています。

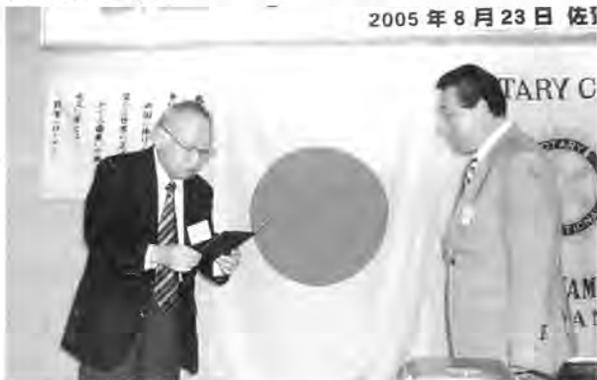
1. ロータリーをみんなで見直そう。
2. 委員会を活性化しよう。
3. ロータリーライフを楽しもう。
4. 会長賞にチャレンジしよう。

本城ガバナーの御来訪に、会員一同感謝申し上げます。ありがとうございました。

会長 村上 英世

17年  
8/23 佐賀大和ロータリークラブ

《米山功労者表彰》



我がクラブの公式訪問は8月23日でした。お盆が終わって一息ついた幸運な日程であったことがまず有難かった。

現在会員25名の我がクラブにとってどの奉仕活動を強化するにも、活動源になるのは人であることを考えると、我がクラブにとっては会員増強が重点活動にならざるをえないと思っています。今年度中に5名の新会員を迎えるべく全員で取組んでいます。委員会構成にも一人一役での構成ができることを目指しています。

例会に先立つ懇談会で積年抱えている問題をいろんな立場から助言していただいたことは、今後の運営に大きく反映させていくことができると思いました。特にニコボックスの考え方、取り扱い方について多くの示唆を頂きました。

夜の例会だったこともあり、本城ガバナー、北島地区幹事、篠原地区大会幹事と楽しく歓談でき親睦を深めさせていただきました。クラブ内の2次会はなお一層親睦が深まったことも申し添えます。ご苦労様でした。

会長 田代 祐照



17年  
8/25 生月ロータリークラブ



当クラブは前年度6名の減少の中で18名の少数精鋭で、スタートをしております。

この度の本城ガバナーの卓話の中で、平戸大橋・生月大橋を渡り初めて訪ね、この町でロータリークラブを18名で頑張っていることを喜んで頂きました。出席されたチャーター会員の方もこれまで頑張ってきて、ガバナーに喜んで頂いたことが今回一番良かった。

「今夜はハッスルしようかい！」とのことで懇親会は大変盛り上がりました。

また安福ガバナー補佐からは、ロータリアンは常々の企業活動を通して職業奉仕を行う事が原点であるのご指導頂き大変感銘を受けた次第でした。

今期のスローガンとクラブ運営方針は、以下の通りです。

【スローガン】

挑戦 — 東シナ海に浮かぶ島の我らが郷土にロータリークラブの存在を再確認してチャレンジャーとして頑張ります。

【運営方針】

1. RI会長のテーマの理解と行動
2. 会員増強(2名以上の増強)
3. 卓話を中心とした例会と親睦活動の奨励
4. 地域社会への貢献

当クラブが小さい事をメリットに転換し、親睦の輪を中心に「思いやりと寛容」の精神で、ロータリーの灯を掲げて行きたいと考えております。また新事務局体制となり、会員一人ひ

とりがロータリアンとして「自覚と役割」を再認識する年度として念願致します。

会長 大石 均

**17年 8/26 諫早ロータリークラブ  
諫早南ロータリークラブ**



**◆本年度の抱負◆**

「諫早ロータリークラブ」

ロータリーの誕生100年を経て、我がクラブでは45周年を迎え時の流れとともに最後のチャーターメンバーが亡くなりました。その意味でも私どものクラブも今年度はまた新たなスタートであります。

本年5月のロータリー世界大会には当クラブから総勢18名でシカゴにまいりました。その雰囲気を感じ会員それぞれに新たな視点が生まれることでしょう。

「超我の奉仕」についてわが本城ガバナーはあえて難しい註釈をされず「人への思いやり」と述べられました。人は常に利を追う「我」の立場と「他」人の身になる立場との間を揺れながら生きており、超我に近づく研鑽の場がクラブでありましょう。クラブの良し悪しを云う前に楽しいクラブにするためには一人ひとりに何ができるかお考えになって下さるようお願いしております。

今年度のわがクラブの旗印は「何においてもまず出席」で本城ガバナーの公式訪問の日は100%の出席で何よりでした。

諫早RC会長 犬尾 博治

**◆本年度の抱負◆**

「諫早南ロータリークラブ」

我がクラブも多良見クラブを親クラブとしてRIより承認をいただき7年目に入りました。昨年はロータリー創立100周年と輝かしい年で、今年度は101年目、これからロータリーの2世紀の始まりです。

我がクラブも3年前には51名いた会員も、今では32名となってしまい、これ以上退会者を出さないよう、会員皆さんと共に、知恵を出し合い楽しい会にしていきたいと思っています。

それには、親睦に始まり、親睦に終わり、そこで会員相互の意志疎通が得られると信じます。そこから社会奉仕活動に、会員各自の専門職を理解し、会員各自が共に協力し会員の利益につながるよう努力していきたいと思っております。

今年度のRIのテーマは「超我の奉仕」すなわち「人への思いやり」ではないでしょうか。人は一人では生きていけません。人は群れをなす動物であり、人への思いやりがなければ今日の繁栄はなかったと思われまます。我がクラブも、人への思いやりを大事にし、この1年ガンバリたいと思っております。皆様のご指導、ご支援よろしくお願い致します。

去る、8月26日諫早ロータリークラブさんと合同で、ガバナー公式訪問がありました。本城ガバナー、烏山ガバナー補佐、北島地区幹事をお招きし和やかななか執り行われました。この1年間32名と小さな会ですが、どこのクラブにも負けないような地域に密着した会になるよう会員みんなでガンバって行きます。

諫早南RC会長 田淵 隆良

**17年 8/29 大村東ロータリークラブ**

大村東ロータリークラブは創立10周年を迎えます。歴代会長を初め数々の盟友とともに今年在籍できる幸せを先ず感謝し10年間の奉



仕に敬意を表しましょう。

我がクラブのテーマ『感謝と思いやり』を合言葉に1年間楽しいクラブ運営に努めます。

8月29日の公式訪問例会におきましては、本城好春ガバナー・日向啓ガバナー補佐をはじめ地区役員の皆様方には大変お世話になりました。本城ガバナーより『超我の奉仕』『思いやりと寛容』について、会員一人一人に解りやすくスライドを使い卓話を頂きました。それから、会員の一人がP・H・F授与式をして頂き、もう一人は、P・H・Fへの寄付をガバナーに渡すことが出来ました。その時満面の笑みを浮かべられた本城ガバナーでした。

1年後の成果目標として、『一人前のクラブ』と認められる事・楽しい1年間で親睦の輪を引継げる事・会員一人一人にとって一生思い出に残る10周年である事を願い、会員みんなの協力を頂き確実に実行していきたく思います。

会長 為永 伸夫



17年  
8/30 北松浦ロータリークラブ



当クラブは、創立37周年を迎えて会員数25名、過去前例のない会員減少の中のスタートで、本城ガバナーをお迎えしての公式訪問が行われました。当日は晴天に恵まれ、ガバナーとの例会前の懇談会では、いろいろと当クラブに対してのアドバイスを頂き、勉強になりました。また、ガバナーの卓話では、アナハイムでのガバナー研修会の模様をパワーポイントで説明をされ、RI会長の歓迎晩餐会での様子やいろいろな出来事や体験を話され、とても楽しい帰国談を聞くことが出来ました。当クラブの運営に必要なものはクラブ内外の活動のスリム化、会費支出の効率化です。中でも最も重要なことは、活動の根本となる会員相互の親睦、思いやりと寛容の精神です。ガバナー卓話の内容を生かして、無理のない、会員がわくわく楽しい気持ちで出席できる例会づくり、会員増強を行っていきたく思います。

会長 御厨 増尚



# ★「インターアクト年次大会報告」★

インターアクト委員会 委員長  
大塚良弘

去る、7月30日(土)～31日(日)佐賀県川上狭「龍登園」において「平和な世界を築くためにいま、私たちに何ができるか」のテーマのもとに、2005～06年度インターアクト年次大会を開催いたしました。

当日は、本城ガバナー、北島地区幹事はじめ、インターアクト183名、顧問教諭36名、ロータリアン120名、総勢340名あまりのご参加をいただき、無事に終了することができました。ここにご報告とともに関係各位のご支援ご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

今年度は、ホスト校に佐賀女子高校(提唱:佐賀北RC)、コ・ホスト校に佐賀清和高校(提唱:佐賀RC)、佐賀工業高校(提唱:佐賀西RC)、牛津高校(提唱:牛津RC)にお願いいたしました。生徒達で役割分担し、関係ロータリアンのご指導のもとに夏休み返上で何度も準備会議を重ねた分科会や夕べの集い、お陰をもちましてすべて滞りなく進行することができました。学生達にとりまして、この大会に参加したことにより何かひとつでも心に残るものを感じ、良い経験となってくればと思っております。

最後になりましたが、今回の大会を盛会へ導いてくださいました、ホスト提唱クラブである佐賀北RCの会長様はじめ新世代担当の島松様、そして実行委員会の皆様には、多大なるご支援をいただきましたことを、あらためて深く感謝申し上げます。



## 優秀クラブ賞 表彰

### 《クラブ奉仕部門》

活水高校 (提唱 長崎出島RC)  
塩田工業高校 (提唱 嬉野RC)

### 《社会奉仕部門》

長崎女子高校 (提唱 長崎RC)  
佐賀工業高校 (提唱 佐賀西RC)

### 《国際奉仕部門》

長崎女子商業高校 (提唱 長崎南RC)

### 《優秀指導者賞》

向陽高校 顧問 長津 尚子  
長崎女子商業高校 顧問 佐藤 明  
佐賀清和高校 顧問 中野 さえ子  
佐賀女子高校 顧問 牟田 昇



2005～2006年度国際ロータリー第2740地区  
国際青少年交換委員会

# 第1回 オリエンテーション 開催さる

去る8月20日(土)～22日(月)ウエルサンピア伊万里で標記第1回オリエンテーションが開催され、本城ガバナー、北島地区幹事を始め、7カ国からの来日学生9名、来年度派遣予定学生5名、今年度帰国学生9名、昨年帰国したROTEXの学生2名、地区委員、クラブ関係者、カウンセラー、ホストファミリー、派遣予定学生保護者等総勢72名の方々に参加していただきました。



来日して数日目のinboundの学生たちのセミナー参加に一抹の不安をかかえながらのオリエンテーション開催でしたが、若者同士の国際交流は予想以上にスムーズに運んだと思います。セミナー最終日にそれぞれ母国のファミリー宛てに報告の手紙を書いてもらいましたが、初めて知り合った仲間同士で寄せ書きして投函してくれました。

人間的にひとまわり大きく成長した帰国学生たちの報告会では、派遣国での生々しい体験談に派遣予定学生たちも熱心に聞き入っていました。特に、ドラッグを勧められる危険なケースに“NO”としっかり断ることの大切さなどを教えられていました。

最後に、このオリエンテーションにご協力いただきました関係者の方々に感謝申し上げ、併せて今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。

地区青少年交換委員会 委員長 藤井 歸一

## ◆本城地区ガバナーの挨拶◆

国際青少年交換学生の皆さん、ようこそ日本へ来られました。心から歓迎致します。まず、暑い日本に驚かれたことと思います。数年前に来られたある学生さんは、日本に着いてすぐの印象が、建物や服装は全くアメリカと同じだが、広告の字が日本語(漢字)で溢れ、異文化の衝撃を受けたと言っておりました。その学生は、カルチャーショックのことをドラマチックという表現で話しておりました。

今、あなた達も異文化の違いに直面してカルチャーショックを受けておられることでしょう。やがて、その内、段々と日本の文化、環境に馴れて来て、一年経って、再びアメリカに帰る頃には、すっかりジャパナイズされているでしょう。

# ★「インターアクト年次大会報告」★

インターアクト委員会 委員長  
大塚良弘

去る、7月30日(土)～31日(日)佐賀県川上狭「龍登園」において「平和な世界を築くためにいま、私たちに何ができるか」のテーマのもとに、2005～06年度インターアクト年次大会を開催いたしました。

当日は、本城ガバナー、北島地区幹事はじめ、インターアクト183名、顧問教諭36名、ロータリアン120名、総勢340名あまりのご参加をいただき、無事に終了することができました。ここにご報告とともに関係各位のご支援ご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

今年度は、ホスト校に佐賀女子高校(提唱:佐賀北RC)、コホスト校に佐賀清和高校(提唱:佐賀RC)、佐賀工業高校(提唱:佐賀西RC)、牛津高校(提唱:牛津RC)をお願いいたしました。生徒達で役割分担し、関係ロータリアンのご指導のもとに夏休み返上で何度も準備会議を重ねた分科会や夕べの集い、お陰をもちましてすべて滞りなく進行することができました。学生達にとりまして、この大会に参加したことにより何かひとつでも心に残るものを感じ、良い経験となってくればと思っております。

最後になりましたが、今回の大会を盛会へ導いてくださいました、ホスト提唱クラブである佐賀北RCの会長様はじめ新世代担当の島松様、そして実行委員会の皆様には、多大なるご支援をいただきましたことを、あらためて深く感謝申し上げます。



## 優秀クラブ賞 表彰

### 《クラブ奉仕部門》

活水高校 (提唱 長崎出島RC)  
塩田工業高校 (提唱 嬉野RC)

### 《社会奉仕部門》

長崎女子高校 (提唱 長崎RC)  
佐賀工業高校 (提唱 佐賀西RC)

### 《国際奉仕部門》

長崎女子商業高校 (提唱 長崎南RC)

### 《優秀指導者賞》

向陽高校	顧問	長津 尚子
長崎女子商業高校	顧問	佐藤 明
佐賀清和高校	顧問	中野 さえ子
佐賀女子高校	顧問	牟田 昇



2005～2006年度国際ロータリー第2740地区  
国際青少年交換委員会

# 第1回 オリエンテーション 開催さる

去る8月20日(土)～22日(月)ウエルサンピア伊万里で標記第1回オリエンテーションが開催され、本城ガバナー、北島地区幹事を始め、7カ国からの来日学生9名、来年度派遣予定学生5名、今年度帰国学生9名、昨年帰国したROTEXの学生2名、地区委員、クラブ関係者、カウンセラー、ホストファミリー、派遣予定学生保護者等総勢72名の方々に参加していただきました。



来日して数日目のinbound

の学生たちのセミナー参加に一抹の不安をかかえながらのオリエンテーション開催でしたが、若者同士の国際交流は予想以上にスムーズに運んだと思います。セミナー最終日にそれぞれ母国のファミリー宛てに報告の手紙を書いてもらいましたが、初めて知り合った仲間同士で寄せ書きして投函してくれました。

人間的にひとまわり大きく成長した帰国学生たちの報告会では、派遣国での生々しい体験談に派遣予定学生たちも熱心に聞き入っていました。特に、ドラッグを勧められる危険なケースに“NO”としっかり断ることの大切さなどを教えられていました。

最後に、このオリエンテーションにご協力いただきました関係者の方々に感謝申し上げ、併せて今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。

地区青少年交換委員会 委員長 藤井 歸一

## ◆本城地区ガバナーの挨拶◆

国際青少年交換学生の皆さん、ようこそ日本へ来られました。心から歓迎致します。まず、暑い日本に驚かれたことと思います。数年前に来られたある学生さんは、日本に着いてすぐの印象が、建物や服装は全くアメリカと同じだが、広告の字が日本語(漢字)で溢れ、異文化の衝撃を受けたと言っておりました。その学生は、カルチャーショックのことをドラマチックという表現で話しておりました。

今、あなた達も異文化の違いに直面してカルチャーショックを受けておられることでしょう。やがて、その内、段々と日本の文化、環境に馴れて来て、一年経って、再びアメリカに帰る頃には、すっかりジャパナイズされているでしょう。



どこの国でも、良い所と悪い所があり、いい人もおれば悪い人もいます。良い所を学んで、悪い所は学ばないでください。日本のことわざ「郷に入れば郷に従え」という言葉があります。どこの国も生活していくためには、ルールがあります。その国のルールを守らねば、毎日の生活が窮屈になります。それが文化の違いです。

何が良くて(正しくて)、何が悪いのか(間違いか)の違いの問題ではありません。

一年間、戸惑うことや苦しいことがあるでしょうが、その時はクラブカウンセラーに相談してください。我慢して内に閉じこもると精神的に、肉体的に内攻的になり、駄目になります。判らないことはどんどん人に尋ねてください。そして一日も早く、その「バリア」を突破してください。突破した瞬間、自分自身が自由に解放されて、明るい異国の文化が取り入れられるようになります。大体3ヶ月がメドです。そこから始めて、国際理解と親善が始まります。ロータリーの青少年交換学生の目的はそこにあります。その3ヶ月の「バリア」を早く突破するように心から期待しております。どうかリラックスして日本の生活を楽しんでください。緊張を解いて、あなた達が「バイリンガル」になることは異次元の世界がもう一つ増えることとなります。素晴らしい、新しい世界が広がります。

最後に健康に注意して広い新しい世界に入ってください。頑張ってください。



# 新入会員紹介

ロータリーの新しい仲間  
 になりました方々を  
 ご紹介します。



多久RC  
 いわ なが たえ こ  
 岩永 妙子 君



多久RC  
 こ がじゅんいちろう  
 古賀 淳一郎 君



多久RC  
 た であ おさむ  
 田寺 修 君



佐賀大和RC  
 たけどみ あさこ  
 武富アサ子 君



嬉野RC  
 もろ い よし はる  
 諸井 好晴 君



唐津RC  
 あ べ ひろし  
 阿部 浩 君



唐津東RC  
 ふく だ ゆたか  
 福田 豊 君



佐世保RC  
 ま ち たかし  
 町 孝 君



佐世保RC  
 お がわ ひろし  
 小川 洋 君



平戸RC  
 つる だ しん ごと  
 鶴田新吾 君



平戸RC  
 さだ かた まさ かず  
 貞方正一 君



佐世保北RC  
 いの うえ まさ ひろ  
 井上雅弘 君



佐世保中央RC  
 あか た しのぶ  
 赤田 義博 君



HTB佐世保RC  
 ひがしむら のぶ ひろ  
 東園基宏 君



大村RC  
 ほん だ みつ のり  
 本多光範 君



大村RC  
 う へ だ まさ ひろ  
 植田正弘 君



島原南RC  
 くろかわ しろう  
 黒川四郎 君



大村東RC  
 わた なべしろう  
 渡辺譲治 君



諫早北RC  
 み つ う りろ あき  
 三浦博晶 君



諫早多良見RC  
 かねが えむねと  
 鐘ヶ江宗人 君



長崎RC  
 よしおか ひでと  
 吉岡秀人 君



長崎RC  
 どう じ けい すけ  
 堂本啓祐 君



長崎北東RC  
 み かみ こう じ  
 三上浩二 君



長崎北東RC  
 まつ なが ひで ひろ  
 松永英弘 君



長崎西RC  
 もり のぶ ひろ  
 森 信興 君



長崎南RC  
 やすとみ あき ひと  
 安富昭人 君



長崎中央RC  
 たに しか ただ あき  
 谷坂忠秋 君



長崎中央RC  
 おい し けん じ  
 大石堅二 君

## 寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への  
寄付者をご紹介します。

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	里 脇 岩 男	大村東RC
マルチプル・P・H・F		
大口寄付	西 村 金 造	長崎RC
ベネファクター		
米山功労者		
米山功労者（マルチプル）	田 代 祐 照	佐賀大和RC
	安 福 鴻之助	佐世保RC

### 【お詫び】

ガバナー月信の9月号で寄付者紹介(15ページ)のマルチプルP・H・F、ベネファクター、  
米山功労者で烏山紀男カラスヤマキタオさんを烏山忠男カラスヤマタダオさんと文字を間違っておりました。  
謹しんで深くお詫びを申し上げ、訂正させていただきます。

(ガバナー月信委員会)

**2005年8月会員数・出席報告**

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	84.5	80	0	79	0	-1
	小城	4	90.4	34	1	34	1	0
	牛津	3	91.7	31	0	32	0	1
	多久	3	86.0	42	5	42	5	1
	佐賀大和	4	84.0	25	3	25	4	0
	小計		87.3	212	9	213	10	1
第2グループ	佐賀西	3	81.1	56	0	54	0	-2
	佐賀北	5	87.5	41	3	41	3	0
	佐賀南	4	81.1	41	0	41	0	0
	神埼	4	78.8	28	0	27	0	-1
	佐賀空港	1	58.2	20	0	19	0	-1
	小計		77.3	186	3	182	3	-4
第3グループ	有田	4	81.8	33	1	36	1	3
	武雄	4	82.0	57	0	56	0	-1
	鹿島	4	91.9	41	2	44	2	3
	嬉野	3	93.0	23	1	24	1	1
	大町	4	68.4	24	0	24	0	0
	白石	4	70.6	17	0	17	0	0
	太良	4	67.5	9	0	10	1	1
小計		79.3	204	4	211	5	7	
第4グループ	唐津	4	93.9	51	0	54	0	3
	伊万里	4	98.8	40	0	41	0	1
	唐津東	4	98.0	50	0	50	0	0
	唐津西	4	92.2	39	0	41	0	2
	伊万里西	3	90.2	47	0	49	0	2
	唐津中央	3	95.3	41	4	43	5	2
	小計		94.7	268	4	278	5	10
	第5グループ	佐世保	4	100.0	84	0	84	0
平戸		4	78.9	41	0	44	0	3
佐世保西		4	91.1	33	0	32	0	-1
北松浦		5	86.0	24	0	24	0	0
松浦		4	88.2	37	1	37	1	0
生月		5	73.3	19	2	18	2	-1
小計			86.2	238	3	239	3	1

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	5	100.0	81	0	81	0	0
	佐世保東	3	86.0	31	0	32	0	1
	佐世保北	4	97.7	48	0	48	0	0
	佐世保中央	4	100.0	46	0	48	0	2
	佐世保東南	4	69.3	23	0	22	0	-1
	HTB佐世保	4	75.5	28	3	29	3	1
	小計		88.1	257	3	260	3	3
第7グループ	大村	4	85.1	52	2	52	2	0
	島原	4	88.6	37	3	37	3	0
	雲仙	3	92.6	34	0	34	0	0
	大村北	5	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	5	77.4	21	1	23	2	2
	大村東	1	82.7	44	1	44	1	0
小計		87.7	221	7	223	8	2	
第8グループ	諫早	4	93.0	64	0	64	0	0
	諫早北	3	85.7	63	0	63	0	0
	諫早西	4	95.9	46	0	46	0	0
	諫早多良見	4	85.1	40	0	39	0	-1
	諫早南	4	76.6	32	3	32	3	0
	小計		87.3	245	3	244	3	-1
第9グループ	長崎	3	77.6	99	0	102	0	3
	福江	3	78.7	40	0	42	0	2
	長崎北東	4	92.0	58	5	60	5	2
	福江中央	4	85.4	37	0	38	0	1
	長崎西	4	75.0	65	0	66	0	1
	長崎琴海	3	75.0	20	2	20	2	0
	小計		80.6	319	7	328	7	9
第10グループ	長崎北	4	80.3	74	0	73	0	-1
	長崎南	5	77.9	84	0	83	0	-1
	長崎東	4	98.6	72	0	72	0	0
	東長崎	4	85.0	36	0	36	0	0
	長崎中央	4	91.4	59	0	59	0	0
	長崎出島	4	79.9	55	15	57	15	2
	小計		85.5	380	15	380	15	0
合計		85.4	2530	58	2558	62	28	



ハリケーン「カトリーナ」の  
災害見舞の募金のお願い

RI2740地区ガバナー 本城好春

拝啓

皆様もご存知のこととは思いますが、アメリカで発生しましたハリケーン「カトリーナ」の災害についての対応ですが、日本ガバナー会より救援募金が当地区にも来ております。予定としましては、各クラブ単位で集め、地区でまとめ、ガバナー会で一括して先方へ送る手筈になっています。

過去、日本で発生しました関東大震災の時には、時の国際ロータリーのガイガンディガ会長より、見舞電報と共に25,000ドルの義援金が送られ、また、シカゴをはじめ、米・英・加等、17ヶ国、合計503ものロータリークラブから義援金、救援物資が届き、当時の金額で89,000ドルにも達したそうです。

このように過去、米国より日本が受けてきました数々の援助に対する感謝の気持ちとして、地区内各ロータリアンの皆様方に募金をお願い申し上げる次第でございます。

金額としまして、お一人1,000円程度をお願いします。

なお、募金のメ切は、10月末を予定しております。なにとぞご支援、ご協力の程よろしく  
お願い申し上げます。

敬具

【振込先】

唐津信用金庫 本店営業部  
普通預金 1199799  
名義 国際ロータリー第2740地区  
ガバナー事務所  
会計長 大串重幸

## 文庫通信 (216号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 興味深い講演より

- ◎「聴覚障害者の心と体のパートナー聴導犬」 石原みち子 2004 5p (D.2700地区大会)
- ◎「人体復活—百歳長寿への道—」 福田正臣 2005 8p (D.2730地区大会)
- ◎「神々の大集会—歴史に見る出雲の真の魅力—」 牛沢元彦 2005 15p (D.2690地区大会)
- ◎「企業と環境について」 張富士夫 2005 13p (D.2580地区大会)
- ◎「アジアの新世代の交流(日韓シンポジウム)」 2004 2p (D.2520地区大会)
- ◎「日本の現状と今後の対応 この国はどうなっているのか」 副島隆彦 2004 12p (D.2630 IM)
- ◎「私の描いた劇画の世界」 さいとう・たかお 2005 5p (D.2830 IM)
- ◎「富士山は恋ごろの山」 大岡信 2005 3p (米山記念館記念式典)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー)]

### \*ロータリー文庫\*

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

唐津東 唐津西 伊万里西 唐津中央 佐世保 平戸 佐世保西 北松浦 松浦 生月 佐世保南 佐世保東



## RI第2740地区

## ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ

06～07年度ガバナー・エレクト 田口 厚  
次期地区幹事 吉田 正和

地区内ロータリアンの皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、早くも次年度地区活動の準備に取り掛かる次期となりました。つきましては、  
「ガバナーエレクト事務所」を、下記により開設することとしましたので、お知らせいたします。  
お近くにお越しの節は、是非お立ち寄り下さいますよう、ご案内申し上げます。

## 記

- |          |   |
|----------|---|
| 1,開設日    | 平成17年10月3日(月)                           |
| 2,住所     | 長崎市古川町7番9号<br>(社)是真会 ながさき循環器病院内(事務棟3F)  |
| 3,電話番号   | 電話番号 095-818-2660<br>F A X 095-818-2663 |
| 4,E-mail | ri2740@juno.ocn.ne.jp                   |
| 5,執務時間   | 午前10時～午後4時                              |
| 6,常勤者    | 次年度地区幹事 吉田 正和<br>事務職員 西村 真理             |

## 追記 主要行事日程(予定)

- |             |               |               |
|-------------|---------------|---------------|
| (1) 国際協議会   | 2006年2月16～23日 | 於、アメリカ サンディエゴ |
| (2) 地区チーム研修 | 2006年3月04日(土) | 於、長崎市         |
| (3) PETS    | 2006年3月19日(日) | 於、長崎市         |
| (4) 地区協議会   | 2006年5月21日(日) | 於、長崎市         |

長崎出島 長崎中央 東長崎 長崎東 長崎南 長崎北 長崎琴海 長崎西 福江中央 長崎北東 福江 長崎



唐津市 唐津城内 辰巳櫓 風景 画:松尾武彦(唐津RC会員)

#### 【編集後記】

炎暑の時季もすぎ、秋風を感じる頃となりました。公式訪問も、無事終了致します。大変お世話になりました。月信委員会のみんなも、あたふたと頑張っております。

今回から“歴代ガバナーから一言”をお願いしております。会員みなさんに希望と指針をと思い企画してみました。以後、記載致しますので、3年未満の会員は熟読して下さい。又、会員の寄稿も欲しいのです。どしどし、ご寄稿の程、お願い申し上げます。

#### 表紙の写真の説明 曳山引き出し

一番山刀町の赤獅子の引き出し光景です。秋の陽光を反射した朱色の漆色が印象的でした。

[撮影場所] 唐津市 唐津神社前

[撮影者] 唐津在住 宮崎 宏



国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所

2005～2006年度 ガバナー 本城 好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL(0955)75-1371 FAX(0955)75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



## SERVICE Above Self 超我の奉仕

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



### 2005.11.1 VOL.5

#### ●CONTENTS

本城ガバナーのメッセージ……	1	寄付者紹介 ……………	17
歴代ガバナーからの一言 ……	2	新入会員紹介 ……………	18
ガバナー公式訪問 ……………	4	訃報 ……………	18
会員寄稿「玉音」宮島傅二郎…	12	9月会員数・出席報告 ……	19
地区だより ……………	13	文庫通信 ……………	20
地区委員会だより ……………	14	地区大会ご案内 ……………	21

## 本城ガバナーのメッセージ

第2740地区ガバナー 本城 好春



ガバナー公式訪問が、10月4日(火)ホームクラブ唐津で58番目が終わりました。途中14号台風で長崎西、北東RCが変更になり、それ以外は7月19日鹿島RCから始まり暑い盛り7、8、9、10月迄駆け回りました。お陰で沢山のクラブ会員の方々と直接お会いして、却ってガバナー自身が感銘、感動を受けました。皆さん、自分のクラブのスケールに合わせて真剣に運営と奉仕の実践に努力して居られる姿を見て、頭の下がる思いが致しました。残るは、11月11日(金)12(土)、13(日)に開催される地区年次大会の準備です。公式訪問に同行して、大会参加を呼びかけられた平岡晟大会会長、篠崎正之大会幹事のお陰で参加登録が順調に集まって居ります。地理的に一番西北端で集まりにくい処ですが、今は高速道路が張りめぐらされて、公式訪問でも随分助かりました。是非、御家族連れで沢山御出席をお待ちして居ります。

今年にはロータリー発祥101年目です。新世紀に入り、気持を新たにSERVICE ABOVE SELF「超我の奉仕」を推進させて頂きたいと思ひます。公式訪問中に、古い会員の方から、RI(国際ロータリー)は時代と共に規約がゆるみ過ぎて、本来の理念が変わって来ているのではな

いかという嘆きを聞きました。折角、100年かけて全世界165ヶ国、120万人の会員まで増えたのに、ロータリー自身が変わってしまったのでは本末転倒ではないかという御心配がかなりありました。確かに規定審議会で各国から決議案が沢山提出されて、枝葉の部分はかなり変わって来て居ります。しかし、根本のロータリーの理念は変わって居りません。今度の地区大会でも、エバンストンからRI会長代理として田中徹夫PGが来られますが、ロータリーの理念は変わっているのか？昔と今、そして未来について、ロータリー運動は、どう変わって行くだろうか？ロータリー第2世紀の展望を話して頂きたいと要望を出して居ります。是非、ご出席頂き拝聴して下さい。

確かにロータリーは、大きな曲り角にかかって居りますが、ロータリーの根本理念は変わっていないと信じて居ります。今年のRI会長ステンハマー氏が、95年前のテーマ(標語)SERVICE ABOVE SELFを採択されたのも、その証拠と思ひます。皆様も、このテーマの元に結集されて、クラブの運営、対外の奉仕活動に努めて下さい。

## 歴代ガバナーからの一言

ロータリアンによる一口コメント  
新入会員研修のためにガバナー経験者より



### 100年続いたロータリー、そして今後ロータリーは

佐世保南ロータリークラブ 逸見 嘉彦  
1983～1984 パストガバナー

多様化、多価値観、国際化が台頭してきた日本社会を認識して今後のロータリーを考える必要がある。

- (1) 多様化、多価値観の日本社会に対して、あまり多くの「ロータリー規約」を厳にしてはいけない。  
会費振込みと60%位の例会出席(懇談会や委員会活動も例会出席としてよい)と程々委員会活動に参加してもらえばよい。

- (2) RIから下がってくる財団などの寄付額を強要してはいけない。地区や各クラブに対する見込み額など提示すること事体がおかしい。あくまでも奨励とお願いにとどめるべき。  
(3) 高齢者の退会、新入会者の減少はとめられない。多価値観、権威主義退行、民主化の世界的流れのなかで21世紀のRIIは大きな試練をはらんでいる。



### 「…させていただきます」から…

唐津東ロータリークラブ 宮島 傳兵衛  
1993～1994 パストガバナー

「乾杯の音頭をとらせて頂きます。」  
「おかげさまで元気で暮らせて頂いております。」

乱用されると冗長になるこの語法だが、「させていただきます」の由来を、司馬遼太郎は、次のように説明している。

『私見で恐縮だが、北陸・東海・近江などの浄土真宗地域の語法だと思っている。「仏様、阿弥陀如来のおかげで、病気もせずに仕事をさせて頂いている」という感謝の念から出た語法が、いつの間にか、如来、仏恩が省略されてしまった。熱烈な真宗の信者であった近江商人が大阪に移り、舟場で大商人として形成されていく課程で根づき、広まったのだろう。』

なんとなく言語表現の変遷から日本文化の特性を垣間見るようだ。

日本の仏教、とくに浄土宗系の仏教は、阿彌陀仏への絶対的帰依をとなえ、世俗の人々は、自らの生活、仕事に、全身全霊を打込めば救われると説く。今日一日、節儉に徹し、自らの仕事に精励し、朝に夕に阿彌陀仏に手を合わせ、「無事に…させていただきました」との合掌の中から近江商人は生れたのだろう。

国際ロータリーは、職業奉仕を提唱し創立100年を迎えた。創立者ポールハリスは、厳しいピューリタン(清教徒)の家庭で育てられ

たと聞く。その後、奉仕の柱のひとつに職業奉仕を置き、ロータリーはユニークな発展を遂げる。その倫理訓は、プロテスタントの香り高く、自らの職業を天職(Vocation)、天の呼び声(Vocal)、天のお召しによる仕事と解することから始まっている。

自らの職業を天職と信じ、禁欲、勤勉な倫理観が、近代資本主義の発展の基礎であることを実証したのは、マックス・ウエーバー(1864～1920)である。

「金儲けに対して何ら規制のない中国、印度で資本主義は育たず、逆に富の貯蓄に厳しい禁欲を課したキリスト教(プロテスタント)社会で資本主義が生れたのは、経営者も労働者も自らの仕事を神から与えられた天職とし

て、勤勉と節約を重んじたからである」

名著「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」が発表されたのが1905年、ロータリーの創立は、奇しくもこれと年を同じうする。「させていただきます」の眞宗の門徒、自らの職業を天職とするプロテスタント、いずれも、日常の生活、職業に対する敬虔な態度には相通ずるものがある。

IT社会、消費中心の世相にあって、職業への倫理観はどうあるべきか、を問いたい今日この頃である。

【参考文献】「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」マックス・ウエーバー著 大塚久雄訳、(解説) 岩波文庫 報恩 司馬遼太郎「ひとりふたり…」第40号文芸春秋「以下無用のことながら」



### ロータリーを楽しもう

佐世保東ロータリークラブ 市瀬 久米嘉  
1994～1995バスターガバナー

入会して3年未満の会員の皆さんに申し上げたいのは、例会に毎週一回出席するのが大変だ、委員会活動に参加するのが面倒臭いなどと言わないで、せっかくロータリーに入ったのだからロータリーを楽しんでほしいということです。

その理由は、私達にとって友達、知り合いというのは同級生、同業者、近所の人、趣味の仲間などですが、ロータリーはまた違った人の集まりです。ロータリーの会員はその地域のいろんな職業人の集まりです。年齢も若い人から年とった人までいらっしゃいます。ロータリーほどすばらしい組織、団体はありませんということです。

- ①クラブの例会に出席することによって異業種の第一人者と知り合いになれます。友達になれます。又若い人、年上の人と年齢を超えて友達、知り合いになれます。
- ②クラブの行事や、委員会の活動に参加することによって、また、委員長、幹事、会長など役職を経験することによって、人間と

して大きく成長できます。

- ③地区の行事(地区大会、地区協議会、IM等)に出席することによって、ロータリーに入らなければ、おそらく知り合いになれなかったであろう地区内の他クラブの人と、知り合いになれます。友達ができます。

このようにゴルフや酒場などでの知り合いとはひと味違う友達、知り合いができます。

そして、いろんな職業の人から今まで知らなかった新しい知識を教えてもらい、年とった会員からは人生観、職業倫理等を聞くことができます。さらに、何よりも人生に大きな財産と言える素敵な友達ができます。そして、やりたいと思ってもなかなかできない奉仕に参加できます。

せっかくロータリーに入ったのだから、前向きに考えて友達を作り、知り合いを広めてロータリーを楽しみましょう。そして一人ではできなかった奉仕を楽しみましょう。

# ガバナー公式訪問

及びクラブ会長本年度の抱負

17年  
8/25 平戸ロータリークラブ



ポールハリスが四名の仲間とロータリークラブを作って今年で101年目になります。それと我クラブ創立45周年と云う節目に会長を出来る事を喜びに楽しく務めています。

今年の我がクラブのテーマとして「たのしくなければロータリーじゃない」を掲げロータリーを楽しんでいます。今年の大きな目標といたしまして会員増強で3名の純増を掲げていましたが4名の増となり我がクラブとして喜んでいます。それと米山記念功労者2名以上と目標を掲げていましたが大きく達成いたしました。不景気な折、有難い事です。

大きな事業といたしまして台湾の台南姉妹クラブ(台南クラブとは平戸で生れた日中の英雄、鄭成功のご縁で姉妹クラブを結ぶ)からのお客様(29名)が10月27日平戸ロータリークラブを訪問されます。記念植樹などいろいろと計画しているところです。ぜひ皆様平



戸を訪れた折り、我がクラブを訪れメイクキャップをしていただきたい。大歓迎いたします。

会長 吉澤 裕輔

17年  
8/31 唐津西ロータリークラブ

8月31日に本城ガバナーの公式訪問があり、ご講演の後に集合写真を撮りました。

唐津西ロータリークラブは、昭和45年1月7日に誕生し、今年で36年目を迎えました。現在、名誉会員1名ほか、チャーターメンバー2名を含む総会員数41名で活動しております。

当唐津地区は古来より朝鮮半島との交流が盛んであり、当クラブも過去の歴史に違わず、韓国の3クラブとの姉妹締結を行い相互訪問するなどの交流を行っています。また、定例の奉仕事業として、エリア内の2つの高校において社会人としての心構えの講演、青少年育成、植樹、海浜清掃を行っています。

当クラブの特徴は、若年から高齢会員まで非常に親睦が強いということです。当クラブ特有の親睦会として、夏の花火大会に合わせた船上バーベキュー家族例会、年の始めに行う長寿会があります。

今年1年、会員一同更に親睦を深め、超我の奉仕に努めていきたいと思ひます。

会長 馬場 正人



17年  
9/3

**雲仙ロータリークラブ**



9月3日(土)、雲仙九州ホテルに於きまして、本城好春ガバナー、日向啓ガバナー補佐、北島俊郎地区幹事、平岡晟地区大会実行委員長、篠崎正之地区大会幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

公式訪問例会に先立ち、会長、幹事、会長エレクトとの懇談会が行なわれ、本年度運営方針を報告いたしました。

ガバナーより、雲仙ロータリークラブは、伝統あるクラブであり、色々と工夫されて運営されていることが伝わってくるという、お褒めの言葉を頂きました。例えば

- \* 例会の重要性として、毎週席を替える。50音順、年齢順、アルファベット順、地区別、四大奉仕別など。
  - \* 活動報告要旨は昨年度の活動報告と今年度の活動計画が載せてあるので、比較ができてわかりやすい。
  - \* 平均出席率が良い。
- などでした。

また、公式訪問におきましては、ガバナーよ



り東京、広島、アメリカのアナハイムで3回トレーニングを受けたことをパワーポイントで報告されました。「超我の奉仕」とは難しく考えないで、「思いやりと寛容の精神」という風に考えて、皆さんにお伝えください…ということでした。

また、全体会議は一週間続き、机はスクール形式で狭い椅子に座りエコノミー症候群になりそうでした。と話されましたので、当クラブでは、ビジネス席を用意しておりましたと申しましたら、会場から笑いが出て、和やかな雰囲気の中で公式訪問例会を終えましたことに感謝申し上げます。

会長 福田 祐晃

17年  
9/7

**東長崎ロータリークラブ  
長崎南ロータリークラブ**



9月7日(水)、当東長崎RCと長崎南RC合同によるガバナー公式訪問が、全日空ホテルグラバーヒルに於いて開催されました。例会では、本城ガバナーよりユーモアを交えたアナハイム報告がなされ、終始和やかな中、盛会裏に終了することができました。また、会場設営から諸準備まで、長崎南RCさんには大変お世話になりました。感謝申し上げます。

さて、我々東長崎RCの現況等についてですが、当クラブはチャーターメンバー28名で発足し、1980年2月に認証を受けました。我がクラブの所在する東長崎は、長崎

市内中心部から日見峠を越えた長崎の東に位置し、現会員数は36名で比較的小規模ではありますが、家族的でアットホームな雰囲気有する、まさに質実ともに豊かなクラブであると自負しているところであります。

2005～06年度RIテーマであります「超私の奉仕」のもとに、当クラブは「地域を見つめ、世界を見渡し、ロータリーを語ろう！」をスローガンとして掲げ、積極的な奉仕活動への参加に努めているところでございます。特に社会奉仕活動を中心とした、地域に根ざした活動に心がけております。例えば、長崎県脳性まひの会主催『交流キャンプ』への参加・助成、或いは今年度から動き出そうとしています地域学童を対象とした『自然体験学習交流』等々、限られた会員数の中ではありますが、精一杯企画し、努めているところでございます。

これからも、会員相互の親睦と「超私の奉仕」の原点に立ち返り、地域社会との係わりを深め、実り豊かなロータリー活動を展開してまいりたいと考えております。どうぞ機会がありましたら、一度メイクアップにお越し下さい。

東長崎RC会長 尾上 重道



## ◆本年度の抱負◆

「長崎南ロータリークラブ」

9月7日(水)東長崎・長崎南RC2クラブ合同のガバナー公式訪問が全日空グラバーヒルホテルを会場に、長崎南RC61名、東長崎RC25名

の会員の参加を得、台風一過、清々しい好天のもと、本城好春ガバナー、西岡ガバナー補佐、北島地区幹事を迎えて、開催されました。

例会では本城ガバナーよりステンハマーRI会長からの伝達と要望をガバナー独特のユーモアあふれるアナハイム報告として話しがありました。今年のテーマとして、ステンハマーRI会長は1911年に採択された「SERVICE ABOVE SELF」(超私の奉仕)を再び提唱され創立以来僅か100年間で、166カ国3200クラブ、120万人の会員を擁するほどになっており、急速に発展した結果いろんな歪が出て来ますので「原点に戻ろう」、「思いやりと寛容の精神」で行動するように推奨されていることでした。

長崎南ロータリークラブは創立41周年を迎え、現在82名の会員がおります。

チャーターメンバーも6名の方々が御健在であります。当クラブには、チャーターメンバーや諸先輩の方々から受け継がれた明るく自由で活気のある伝統があります。

クラブの運営にあたっては、この伝統のもと、奉仕の原点は会員同志の親睦と互の理解を深めることであるとの考えのもとに会の運営を行ない「より楽しいロータリークラブ」となるよう努力したいと思っております。

長崎南RC会長 蒔本 恭

17年

9/8

## 佐世保東ロータリークラブ

ロータリー101年度 9月8日、本城ガバナーをお迎えしての公式訪問例会では、残暑厳しい中ご訪問頂きありがとうございました。

ガバナーの講演ではプロジェクターを使用され、アナハイムでの国際協議会、ガバナーエレクト研修セミナーの内容とか、体験をユーモアを交えながらご説明を頂き、非常に判りやすくあっという間の30分間でした。その



間椅子にお掛けになることもなくお疲れではなかったかと存じます。会員一同御礼申し上げます。

来期は40周年を迎える当クラブは、年齢層が厚い中にも和気藹々とした現在33名のクラブです。

抱負としましては、まず第一に会員相互の親睦を心がけております。それはお互いに思いやりと寛容の精神で、出席して良かったと思えるような例会です。今期より月末の例会日は「クラブ自由討論会」を設け、活発な意見、仕事上の体験談等短くとも充実した30分です。

(第1回目は心配致しましたが、)

会員増強も各会員の協力と増強委員会の努力により目標は達成はいたしました。まだまだ力を入れる所存です。

委員会の活動活性化として、各委員会活動すべてを委員長に一任し、全会員の活性化に繋がればと期待を致しております。

夏季の服装としてクールビズを政府より先行して取り上げ、なかなかの好評でした。

この様に、クラブ独自の特色を生かした素晴



らしいクラブに益々発展するよう努めてまいります。今後とも本城ガバナーのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、本年度の抱負と致します。

会長 伊藤 正春

## 17年 9/8 佐世保中央ロータリークラブ



〈本城ガバナーをお迎えて〉

当クラブへの本城ガバナーの公式訪問の9月8日は夜の例会でした。本城ガバナーのお人柄は、PETS、地区協議会など通じて感じておりましたが、当クラブへのご訪問を受けて尚一層その温かみのあるお人柄に会員一同深く感銘を受けたわけでございます。卓話の中でもそのお人柄が皆の心を和ませ楽しく聞かせていただきました。ガバナー職は大変な激務でございます。時節柄ご自愛くださいませようお祈り致しております。

### ◆本年度の抱負◆

本年度クラブ創立15周年を迎えました。1990年9月29日40名のチャーターメンバーで発足したクラブが、昔で言うなら元服式を迎えたわけでございます。設立当時平均年齢42歳で発足いたしました。若くて元気の良いクラブとの評価は今まで頂いていたのではないかと思います。15周年を迎え少し大人のクラブの仲間入りをしたいと思っております。

本年度のクラブテーマは「一燈照隅」とし

ました。会に所属する一人一人がそれぞれの立場でなくてはならない人になれば、意識が高揚し、新しい会風が創生できると信じております。重点項目として

- 15周年記念行事の成功
  - 1) 釜山蓮山RCとのマッチンググラントによる長崎県立盲学校への機材の寄贈
  - 2) 九州盲導犬協会への寄贈
- 奥様の会の再活動
- 会員増強
- 国際青少年交換留学生への支援 キャサリンさん
- 米山記念奨学生への支援 章潔 君
- 会員相互の職場訪問…会員の相互理解を深めよう
- 市内8RC100周年共同事業の実施  
…市花「かのこゆり」の小学校への配布
- 市内8RC親善ゴルフ大会の開催

会長 橋口 佳周



**17年 9/9 佐世保南ロータリークラブ  
佐世保東南ロータリークラブ**

ロータリー101年目を迎えRIテーマである「超我の奉仕」は、ロータリーの本質的な精神を言い表した言葉で、基本に戻ると言う意味であります。

我がクラブも、本年度、創立48年目を迎え、運営方針もRIテーマに準じて「原点回帰」を主眼に置き、新会員研修、クラブフォーラムの場等を活用し、ロータリー歴や世代を超えて、ロータリーやクラブに関する情報が共有されることこそが「超我の奉仕」へ一歩でも近づく



道であると信じ会員相互の融和を図り先輩諸氏のご助言を賜りながら、歴史と伝統ある我がクラブの発展に努めて参ります。

また、9月9日には、本城好春ガバナーの公式訪問を頂きました。

今、皆さんが必死の思いで会員維持、奉仕活動に努力して居る姿を拝見し、国際ロータリーとのマクロとミクロのギャップの大きさを認め、創立101年目から今迄の反省期として、ロータリーも古い体制から新しい体制への構造改革が必要になって来ているのではないのでしょうか。

依って、「超我の奉仕」は原点に戻り、足元を見直し、「人へのやさしい思いやり」の精神で地元社会に地道な活動をしようということではないのでしょうか。

親睦を礎にクラブ奉仕、職業奉仕に努めることこそ、ロータリーの今からの行くべき道だと思います。

佐世保南RC会長 圓田 治



17年  
9/14 諫早西ロータリークラブ



9月14日本城好春ガバナー、北島俊郎地区幹事、第8グループ烏山紀男ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。アナハイムでのGETSの様子をパワーポイントで、分かり易く熱くお話頂き私達メンバーもアナハイムの熱気を感じられるようでした。

本年度のRIテーマは「超我の奉仕」これを「人への思いやり」とやさしく直されました。そしてロータリー活動の「原点回帰」又、「地域との協力」などの御指導を頂きました。本城ガバナー有難うございました。

諫早西RCは本年度からの新しい事業として

- (1)諫早西RC旗ミニバスケットボール新人大会を地元団体と協力して主催・開催致します。
- (2)恵まれないネパールの子供達に奨学金を贈ろう。10人の子供達と里子里親の縁組が出来、援助を始めています。又、その資金は会費からではなく、バザー等を開催して、会員のみなさん幅広く多くの善意によって作られます。

このような事業を中心に会員相互の親睦を図り、楽しいクラブ運営を図りたいと思っております。

会長 森 由有



17年  
9/14 大村北ロータリークラブ



大村北ロータリークラブは、1976年7月14日に大村ロータリークラブのスポンサーのもと創立され、来年2月19日(日) 創立30周年記念式典を開催致します。

この度のガバナー公式訪問は、9月14日(水)夜の例会に本城好春ガバナー、日向啓ガバナー補佐、北島俊郎地区幹事、平岡晟地区大会実行委員長、篠崎正之地区大会幹事をお迎えして、懇談会及び公式訪問が終始和やかなムードの中で進行してまいりました。

本城ガバナーはスライドを交えアナハイム研修の内容をおもしろ・おかしくムードたっぷりに卓話され、点鐘時間を過ぎてしまうほどの熱の入れようでした。

その中でRI会長のテーマ『超我の奉仕』を難しく考えずに素直に『思いやりと寛容の精神』と理解して原点に戻り、まず考えると共に行動を起こして、生き生きとしたクラブ活動を希望していると言われ、私もまったく同じ思いであり、特別な事ではなく、平常心で“失敗は必ずしもマイナスではない”との思いから、ストレスの溜まらない会員同志尊重しあったクラブとして、従来の活動を継承しつつ、伝統を重んじる調和の取れたクラブ運営を全会員一致協力の元に、“入りて学び、出でて奉仕する”を合い言葉に努力したいと思います。

本城ガバナーのお人柄でしょうか、ロータリーの親睦の何たるかを公式訪問で感じ取る

ことが出来ました。地区大会でお会い出来ることを楽しみにしています。

会長 比良 孝蔵



**17年  
9/15 唐津東ロータリークラブ**

平成17年9月15日(木)、本城ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会前の一時間程、お茶を飲みながらくつろいだ雰囲気の中で、本城ガバナー、前田ガバナー補佐、北島地区幹事と、当クラブの会長、副会長、幹事との懇談会が行われました。これまで、58クラブ中、48クラブの訪問を終えられたという本城ガバナーには、今までの感想をまじえながらご指導をいただきました。

そのお話の中に、大きいクラブがしっかりしているというご指摘がありました。そんなクラブは、出席率も良く、教育も行き届いて運営もうまくやっていて、クラブの雰囲気も良いので、人が集まってきて大きくなるというお話でした。



会員数の減少傾向にある当クラブには耳の痛いお話でしたが、このことはまず我々一人一人が、魅力あるロータリアンを目指して努力することが、魅力あるロータリークラブになることにつながり、ひいては退会防止や、会員増強の大きな要素となることを示していると思います。

又、例会での卓話では、本城ガバナーが、パワーポイントを使って、アナハイムでのガバナー研修がいかに行われているかを、スライドを見ながらユーモアたっぷりに解説していただきました。そして、今年度のRIのテーマである「超我の奉仕」とは「思いやりと寛容」のことですよ、とわかりやすく表現していただきました。

唐津東RC 古藤 弘武

**17年  
9/16 松浦ロータリークラブ**

9月16日に本城ガバナーをお迎えして公式訪問が実施されました。私にとりまして一番の緊張の日でした。特に懇談会に望むにあたり、私のモットーである、「笑顔で接すれば笑顔が返ってくる」を実践し、和やかな中にも程よい緊張感を持って進めることが出来たと思っています。

懇談会では、他クラブでは珍しいホローアップ委員会があることに強い興味を示され、この委員会の活動状況について熱心にお聞きになりました。現在会員が減少続ける中、



松浦クラブではこの委員会を中心に、いかに退会者を出さないかに力を注いでいます。

しかし、これからは退会希望者の説得だけではなく、会員が各委員会や会の運営に疎外感を持っていないか、また会員が運営に強く携わっているという認識が持てているかなど、そういう面からもフォローしていかなくてはいけないのではないかと強く感じたガバナー公式訪問でした。

会長 岩藤 一人



## 17年 9/16 唐津中央ロータリークラブ

国際ロータリー101年の記念すべき年、私たちの、唐津中央RCも11年目を迎え、例会場の変更もあり、新たな気分で第一歩を踏み出したところです。

去る8月16日、本城ガバナー、前田ガバナー補佐、北島地区幹事、平岡地区大会実行委員長、篠崎地区大会幹事をお迎えして公式訪問例会を開きました。それに先立ちまして6時より、会長、幹事、副会長との会の運営につきまして、いろいろとご指導があ



りました。

例会につきましては、昨年のインフォーマルミーティングの中で「例会を楽しくするには・・・」の話し合いの結果、会員相互の情報をもっと知る必要があるのではないかと、ということになり、今年は例会の中に「壮年の主張」10分間スピーチを設けました。全員が発表するようにしましたところ、時間の足りない方もあり、なかなか好評で、人気プログラムの一つになっていますが、そのことにつきまして、前田ガバナー補佐より、発表だけにとどまらず冊子にまとめたらと、助言を頂きました。

7時から、通常の夜の例会となり、会食の後、当クラブの特別代表でもある本城ガバナーの本年度のRIのテーマ「超我の奉仕」やアナハイムの研修の様子を映像を通して、ユーモアを交えた説明に会場は和やかなムードに包まれました。最後に平岡地区大会実行委員長より、地区大会のご案内があり、楽しく有意義な公式訪問は終わりました。

今後とも、ご指導よろしくお願いたします。

会長 中里 文子



## 会員寄稿

## 玉音

唐津東RC 宮島傳二郎

お盆を過ぎ、残暑なお厳しい午さがり、「ガバナ一月信に“ギョクコウ”を頂けませんか」との電話をうける。ギョクコウ…一瞬、耳を疑う。あっ「玉稿」だったのかと気がつき恐縮する。

玉、タマは美しい石の総称。美しいもののたとえに使われる。玉手は美しい手、「あゝ玉杯に花うけて」の玉杯、玉札は手紙の尊称、萬葉集では、美しい女性を玉にたとえる。

をちこちの海の中なる白玉を人に知られず見玉よしもかな

白玉は女、もしくは女の操と解する。白玉のような美しい女性を人に知られぬよう、ひとりで見つめていたい。いじらしく激しい恋慕の歌である。

中国では古くから天子が使うものに“玉”を添える。玉床、玉座、天子の声は玉音となる。

昭和20年8月15日。昭和天皇のポツダム宣言受諾の「玉音放送」を大村市、萱瀬の第21海軍航空廠、機械工場で頭を垂れながら聞き入る。

「朕深ク世界ノ大勢ト帝国ノ現状トニ鑑ミ非常ノ措置ヲ以テ時局ヲ收拾セムト欲シ茲ニ忠良ナル爾臣民ニ告ク

朕ハ帝国政府ヲシテ米英支蘇四國ニ対シ其ノ共同宣言ヲ受諾スル旨通告セシメタリ…」

当時、唐津中学4年だった私は学徒動員日誌に次のように書きとめている。

「8月15日、水曜、雨後晴、正午 停戦の詔書下る。朝どんより曇った空を眺めていたが、とうとう夕立となった。トタン屋根を叩く。…7時作業止めの前、本部前集合。主任より“停戦の詔書”下る。詳細不明との事。始め何だか解らなかった。種々説あり、噂にとまどふなかれ。」必ず戦争には勝つ、と信じ込まされた15才の少年は呆然自失、 ガーガーと雑音がまじる昭和天皇のカン高い声だけが

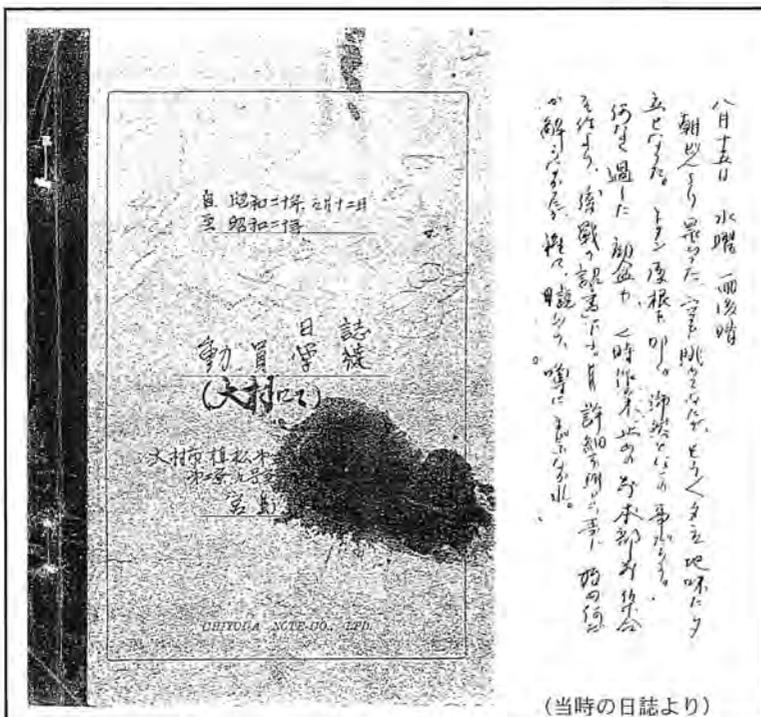
耳朶に残っている。

爾来60年の歳月が流れる。

昭和ヒトケタの私たちの年代は、砲火をくぐった体験はないものの、大村での空襲、火災、数ヶ月間にわたる1日12時間余の労働の辛苦、空腹、睡眠不足、これらの体験はその後の個々の人間形成にいやでも強烈なインパクトを残している。

今年も暑い夏が終わる。

靖国神社参拝論争を複雑な心境で見守りつつ、蝉しぐれを聞いていた。



(当時の日誌より)



# 地区だより

松浦RC  
広報担当  
山本 浩平



## 第4回 全国交通安全運動に参加



9月21日～30日まで秋の『全国交通安全運動』が実施されました。当クラブ(岩藤一人会長、37人)も社会奉仕委員会の計画により地元の警察署、交通安全協会などのご協力をいただき参加いたしました。

実施日は、9月26日(月)の午後1時30分より約1時間、松浦RC会員15名、松浦警察署・交通安全協会・交通安全指導員約25名が、国道204号線を走る車に交通安全のスローガンを載せたチラシと、私たちからのヤクルトを添え交通安全運動に協力をお願いしました。

用意していた300本のヤクルトもあっという間に無くなってしまいましたが、この運動を通じて少しでも交通事故が無くなればと願っております。  
この月信を読まれた方が安全運転にご協力していただければ幸いです。



# 地区委員会だより

## 9/11 米山委員会「米山のつどい」

地区米山委員長 前田 博憲（佐賀西RC）

去る9月11日（日）、唐津ロイヤルホテルにおいて、隅田パストガバナー（米山奨学会理事）、本城ガバナーご来臨のもと、地区内でお世話をしている全米山奨学生、担当カウンセラーと地区内関係者が参加して、「地区米山の集い」が開催されました。

隅田パストガバナー、本城ガバナーに温かい激励のご挨拶を頂いた後、出席奨学生全員がそれぞれの近況報告を兼ねたスピーチを行いました。

学生諸君のスピーチの要点は、例外なく、米山奨学金を受給出来る事によって、大変充



実した学業・研究が可能になったことへのお礼と、支援して頂いている地区内ロータリアンの方々に対する心からの感謝の表明でした。

今後、彼等がロータリアンとの関わりをより多く持つ事により、我々ロータリーが希求する「国際平和」についての理解を深め、将来の素晴らしいリーダーを目指して努力してくれることを十分に予感させる集いであったと思います。

地区内ロータリアンの皆様には、今後ともに、米山奨学事業に対し、深いご理解と温かいご支援をお願い申し上げます。

9月20日唐津新聞に特別セミナーの記事が掲載されましたので、御紹介致します。

クラブ奉仕委員会委員長 小松 重昭 (唐津中央RC)

**9/17 クラス奉仕委員会「特別セミナー」**



ロータリーの今と昔を語る隅田元ガバナー

# 思想と原理を再確認

## ロータリー特別セミナー開く

組織のかたちが時代とともに変化して、このままではいいのか——と国

際ロータリー第2740地区の特別セミナーが17日、唐津シティホテルで

あった。佐賀、長崎県内の58クラブから約150人が集まり、ロータリーの根本的思想と原理を再確認した。

国際ロータリーは昨年、創立100周年を迎えたが、社会情勢も当時とは変わり、さまざまな新しい問題が浮上している。入会したばかりの会員が、ロータリーの楽しさや良さを知らないまま2、3年で辞めていくのもそのひとつ。そこでクラブ奉仕部門が、入会3年未満の会員を主な対象としたこのセミナーを企画した。

隅田達男・元ガバナーが「ロータリーの今と昔」と題して講演、つづいて組織のあり方をみんなで考えた。新人の早期退会問題について、本城好春ガバナーは「古い人が新しい人を育てる環境を作っていかなければ。新しい人に『自分はクラブに必要だ』と自覚してもらおうため、委員長など重要なポジションに早めに就いてもらうのもいいのでは」と提言。1クラブに1業種1人、女性は入会できないなどの規則が崩れていっている点については「時代とともに規則が変わるのは自然なこと」といい、「しかしロータリー本来の精神は変えてはいけない。原点に基づいたくさんの友だちをつくり、仕事を一生懸命やることで地域に貢献していきましよう」と述べた。

**9/24 職業奉仕委員会「指導者セミナー」**

地区職業奉仕委員  
梅津 哲夫 (佐賀西RC)

2005年9月24日(土)14時から武雄センチュリーホテルにおいて、国際ロータリー第2740地区職業奉仕部門指導者セミナーが行われました。まずは本城好春ガバナー、影平薫地区職業奉仕委員長のご挨拶があり、セミナーが始まりました。今年度はRI-2680地区パストガバナーである、田中毅先生を講師にお迎えして「ロータリー歴史探訪」と題して、特別講演を開催いたしました。田中先生はこのセミナーに3年連続でご講演をいただいております。そのロータリーに対する知識の深さは大変なものがあります。



今回はまずポール・ハリスの家系や生い立ちから話が始まりました。弁護士になったら先輩の助言に従い、「5年間の愚行」をおこなったことなどのエピソードを紹介されました。以下講演の内容について記載いたします。

当時のアメリカはなんでもありの凄まじい状況であり、すべての人はライバルでありました。地域住民異業種の人達であれば、仲良くできるではないか？それがロータリー設立の動機となりました。1905年2月23日、マダム・ガリの店で一緒に夕食を摂ったポール・ハリスとシルベスター・シールは、ガスターバス・ロアとハイラム・ショーレーの4名で、最初のロータリーの会合が開催されました。殺伐な大都会の中でお互いに胸襟を開いて、どんなことでも語り合える友人をつくるという目的で

## セミナー



した。1906年に制定されたシカゴ・クラブの最初の定款には、1. 会員の事業の利益の増大、2. 社交クラブに付随する親睦、3. 会員同志の物質的相互扶助、4. 原価取引をする、5. 統計係をおく、と記されています。

ポール・ハリスは1907年シカゴクラブ会長に就任します。活動方針を『奉仕』に大きく転換しました。そこで彼は公衆便所設置運動を行います。親睦派と奉仕派に次第に分かれていきました。アーサー・F・シェルドンは当初親睦派を増やすために入りました。が、結果としてポール・ハリス

スについて職業奉仕の概念を打ち出しました。シェルドンを語らずして、職業奉仕を語れません。彼の教え子が全米のロータリアンとなり、職業奉仕理念を広めていきます。シェルドンの入会とポールのロータリー運営方針転換によって、シカゴクラブ内は、ポールやシェルドンたち奉仕派と、ラグルスたち親睦派に分裂し、混乱が起き、1907年から1910年にかけて、ロータリー最初の危機が起きました。これを収拾するためにチェスレー・ペリーが中心となって、当時16クラブにまで拡大している全米のロータリークラブの連合体として全米ロータリークラブ連合会が結成されました。今のRIです。ロータリーの3賢人とはポール・ハリス、チェスレー・ペリー、アーサー・F・シェルドンといわれています。



He profits most who serves bestの解説としては、1910年のスピーチ、1911年ポートランド大会 私の宣言、1913年 バッファロー大会 事業を成功させる哲学と職業倫理、1921年エジンバラ大会 ロータリー哲学、についてのスピーチがありました。しかし、今までの論文は日本ではつい最近まで紹介されていませんでした。つまり今まで皆さんが職業奉仕の理念として聞いていたものとは実際のものとは少し違って可能性があります。1910年シカゴ大会でのスピーチでは、19世紀の実業界は弱肉強食の競争主義であったが、20世紀の実業者は協力すること。正しい経営学とは他人に利益をもたらすことであるとしました。販売学とは他人に対して奉仕する学問としたのです。1911年8月23日第2回全米ロータリークラブ連合会年次大会ロータリー宣言の結語として採択されました。1921年 エジンバラ大会のスピーチでは奉仕は継続的な利益を得るための人間関係の基本的法則であり、職業奉仕はリピーターを得るための科学的かつ道徳的な経営方法であり、ロータリー哲学というべきものでした。

Service above selfとは人々のことを思いやり、人々に対して奉仕すること決議23-34は綱領に基づくロータリーのすべての活動に関する指針であると同時に、ロータリーの奉仕理念が明確に定義づけられています。ロータリーの哲学はService above selfという奉仕哲学であり、He profits

## SERVICE Above Self 超我の奉仕

most who serves bestという実践理論の原理に基づくものです。職業は利益を得るための手段ではなく、社会に奉仕するために存在する。そして実業家の倫理基準を専門職種の倫理基準に引き上げる。これが職業奉仕の理念なのです。しかし、その後のロータリーでは職業奉仕から徐々に人道主義に基づくボランティア活動に転換されていきました。このままで良いのかもよく考えなければならない時期にきているようです。

実際はもっともっと盛りだくさんの内容で、例えば、4つのテストの日本語訳がこれでいいのかなど興味深い話題もたくさんありました。会場の各地区の皆さんもとても真剣に講演を聴かれておられ、質疑応答も活発に行われ、時間が足らなくなった程でした。最後に本城ガバナーの総括を戴き閉会となりました。

### 寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	中 尾 廣 次	鹿島RC
	樋 口 茂 樹	諫早南RC
マルチプル・P・H・F	辻 野 正 勝	鹿島RC
	中 里 文 子	唐津中央RC
	南 野 健	大村北RC
	村 上 英 世	HTB佐世保RC
大口寄付		
ベネファクター		
米山功労者	松 尾 豊 明	長崎東RC
	木 村 千 秋	長崎東RC
米山功労者（マルチプル）	松 永 清	佐世保東RC
	樋 口 勉	佐世保東RC
	井 上 良 久	唐津中央RC
	馬 場 政 廣	長崎東RC
	永 田 幸 人	長崎東RC
米山功労者（メジャードナー）		

## 新入会員紹介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐賀RC  
ほかむらけんじ  
外村健二君



佐賀北RC  
ふるかわみつのり  
古川光則君



神埼RC  
しゅうしまただつぐ  
生島忠嗣君



有田RC  
みずさき  
水崎シノブ君



伊万里西RC  
くさのたけし  
草野剛君



佐世保RC  
やまなかやすひろ  
山中康裕君



佐世保RC  
かない かいちろうお  
金氏嘉一郎君



佐世保RC  
まつ おけいいち  
松尾慶一君



佐世保RC  
やまもと さとる  
山本聡君



佐世保東RC  
もり さとし  
森政敏君



大村RC  
しらかわひろみ  
白川広海君



長崎西RC  
かわぐちてるひこ  
川口輝彦君



長崎北RC  
ばん やすお  
伴保男君



長崎中央RC  
さいとう ひさし  
齋藤久君



長崎中央RC  
はらだ としゆき  
原田知行君



長崎中央RC  
ほり えひでゆき  
堀江英行君



長崎出島RC  
たか たに ただし  
高谷忠君



長崎出島RC  
ふか ぼし まさよし  
深掘正義君



## 訃報

慎んでお別れいたします。

2005年9月4日逝去  
(享年70才)

故 橋本 亨君  
(長崎北RC)



2005年9月11日逝去  
(享年58才)

故 古瀬 英治君  
(佐賀南RC)



2005年9月20日逝去  
(享年79才)

故 江越 虎雄君  
(小城RC)



2005年9月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	83.6	80	0	80	0	0
	小城	4	94.8	34	1	33	1	-1
	牛津	4	91.4	31	0	32	0	1
	多久	5	91.6	42	5	43	5	1
	佐賀大和	4	77.0	25	3	25	4	0
	小計		87.7	212	9	213	10	1
第2グループ	佐賀西	4	86.5	56	0	54	0	-2
	佐賀北	4	80.0	41	3	42	3	1
	佐賀南	3	81.7	41	0	40	0	-1
	神埼	4	78.8	28	0	28	0	0
	佐賀空港	4	61.8	20	0	19	0	-1
	小計		77.8	186	3	183	3	-3
第3グループ	有田	3	75.1	33	1	37	2	4
	武雄	3	88.1	57	0	56	0	-1
	鹿島	3	87.6	41	2	44	2	3
	嬉野	4	90.6	23	1	24	1	1
	大町	5	67.4	24	0	22	0	-2
	白石	4	80.9	17	0	17	0	0
	太良	5	68.0	9	0	10	1	1
	小計		79.7	204	4	210	6	6
第4グループ	唐津	4	96.1	51	0	54	0	3
	伊万里	4	97.0	40	0	41	0	1
	唐津東	4	97.4	50	0	50	0	0
	唐津西	4	87.1	39	0	41	0	2
	伊万里西	4	89.9	47	0	50	0	3
	唐津中央	4	93.6	41	4	43	5	2
	小計		93.5	268	4	279	5	11
	第5グループ	佐世保	4	100.0	84	0	88	0
平戸		4	86.4	41	0	44	0	3
佐世保西		4	89.3	33	0	31	0	-2
北松浦		1	83.3	25	0	24	0	-1
松浦		4	88.9	37	1	37	1	0
生月		4	69.1	19	2	18	2	-1
小計			86.2	239	3	242	3	3

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	4	97.0	81	0	81	0	0
	佐世保東	5	86.3	31	0	32	0	2
	佐世保北	3	97.6	48	0	48	0	0
	佐世保中央	5	100.0	46	0	47	0	1
	佐世保東南	4	67.0	23	0	22	0	-1
	HTB佐世保	3	73.1	28	3	29	3	1
	小計		86.8	257	3	260	3	3
第7グループ	大村	3	90.1	52	2	53	2	1
	島原	3	82.9	37	3	37	3	0
	雲仙	4	92.6	34	0	34	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	4	74.0	21	1	23	2	2
	大村東	3	71.5	44	1	44	1	0
	小計		87.7	221	7	224	8	3
第8グループ	諫早	4	94.8	64	0	63	0	-1
	諫早北	4	85.5	63	0	63	0	0
	諫早西	4	98.3	46	0	46	0	0
	諫早多良見	3	79.9	40	0	39	0	-1
	諫早南	3	82.3	32	3	32	3	0
	小計		88.1	245	3	243	3	-2
	第9グループ	長崎	5	80.3	99	0	102	0
福江		4	80.3	40	0	42	0	2
長崎北東		3	86.8	58	5	60	5	2
福江中央		3	88.0	37	0	39	0	2
長崎西		3	76.1	65	0	67	0	2
長崎琴海		5	63.0	20	2	20	2	0
小計			79.1	319	7	330	7	11
第10グループ		長崎北	3	76.7	74	0	73	0
	長崎南	3	76.0	84	0	82	0	-2
	長崎東	4	98.6	72	0	72	0	0
	東長崎	4	81.4	36	0	36	0	0
	長崎中央	3	92.2	59	0	61	0	2
	長崎出島	4	74.6	55	15	59	15	4
	小計		83.3	380	15	383	15	3
	合計		84.7	2531	58	2567	63	36


 文庫通信 (216号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## ロータリーの心を尋ねて

- ◎「ロータリー入門書 2005～2006年度版」 前原勝樹・重田政信(改訂) 2005 190p  
[申込先:重田政信 FAX(027)363-4338]
- ◎「理想的なロータリークラブの条件」 南園義一 2005 3p  
(D.2730月信) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリーの心を尋ねて 追録」 松田尊文 大牟田RC 2005 18p  
[申込先:大牟田RC FAX(0944)57-7220]
- ◎「ロータリーに生き抜かれた宮脇富先生を偲び」 太田RC 2005 39p  
[申込先:太田RC FAX(0854)82-5121]
- ◎「ロータリーと米山奨学会」 島津久厚 2004 7p  
(D.2700地区大会基調講演) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「超我の人 米山梅吉の聲音」 米山梅吉記念館 2005 266p  
[申込先:米山梅吉記念館 FAX(055)989-5101]
- ◎「点描 米山梅吉」 谷内宏文 2005 369p  
[申込先:新風舎 FAX(03)3746-4648]
- ◎「『決議23-34』を守る意識とその歴史-心のよりどころを守って-」 D.2780 2005 8P  
(D.2780地区史) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「1911年11月号のThe National Rotarian 第1号に掲載のコリンズのスピーチ原稿」 8P  
(D.2680月信) [申込先:ロータリー文庫(コピー)]

### \* ロータリー文庫 \*

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

 SERVICE Above Self 超我の奉仕  
2005～2006年度  
地区大会のご案内

11月11日(金)・12日(土)・13日(日)

大会会場：唐津市民会館

ホストクラブ：唐津RC コ・ホストクラブ：唐津東RC、唐津西RC、唐津中央RC

【11月11日(金)】 大会前日

- ◆08:30～ 記念ゴルフ大会 唐津ゴルフ倶楽部
- ◆18:30～ RI会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会 唐津シーサイドホテル

【11月12日(土)】 大会第1日

- ◆09:00～ レディース エクスカーション「唐津焼、呼子、名護屋の史蹟と味めぐり」  
(参加費無料 定員40名)
- ◆11:00～ 委員会 12:00～ 登録開始 13:00～ 本会議
- ◆15:00～ 記念講演会 ジャーナリスト 島<sup>しま</sup> 信彦<sup>のぶひこ</sup>氏

『大好機時代 — 元気のある企業と地域 —』

島氏略歴 昭和17年中国・南京生まれ 慶應大学経済学部卒 昭和42年毎日新聞社入社  
昭和56年ワシントン特派員 昭和62年毎日新聞社退社 フリーとなる  
現在、RKB毎日放送(TBS系)「朝ズバッ!」の木・金曜のアンカーマンを務める  
白鴎大学教授、慶應大学講師、NPO日本ウズベキスタン協会会長

- ◆18:00～ 記念懇親会 唐津シーサイドホテル
- ◆18:00～ 新世代の集い 唐津ロイヤルホテル

【11月13日(日)】 大会第2日

- ◆08:30～ 登録開始 09:30～本会議
- ◆11:00～ 防衛落鱗講話 岡崎研究所 理事 元護衛艦司令官 金田 秀昭氏(一般公開)  
「中国の野望:マハニズムによる海洋の制覇」
- ◆14:00～ 記念演奏会 佐世保海上自衛隊(一般公開)

お問い合わせ先

国際ロータリー第2740地区 2005～2006年度 地区大会事務局  
〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5F 504号室  
TEL 050-3432-9045 FAX 0955-75-1372  
E-mail: roco@vc1.people-i.ne.jp http://web.people-i.ne.jp/~rc2740/

記念講演会

ジャーナリスト 鳥 信彦氏

『大好機時代 — 元気のある企業と地域 —』



■ 略 歴

- 1942年 中国・南京生まれ
- 1967年 慶應大学経済学部卒  
毎日新聞社入社
- 1967年 毎日新聞東京本社経済部勤務
- 1981年 ワシントン特派員 サミットはじめIMF、ガットなどの国際会議を取材
- 1983年 米ミシガン州フリント市の名誉市民になる
- 1987年 毎日新聞退社、フリーとなる

■ 現 在

- RKB毎日放送(TBS系)「朝ズバッ!」(5:30~8:30)木・金曜のアンカーマン
- BS-i「榊原・鳥のグローバルナビ」(土曜8:30、日曜8:00)
- TBSラジオ「ニュースズームアップ」(水曜7:00)
- TBSラジオ「鳥信彦のエネルギートーク」(日曜23:00)ほか
- 「ニュース23」などにも出演
- 白鷗大学教授、慶應大学講師
- 「財界」、「フォーブス日本版」、「毎日が発見」に連載中
- また、サミット取材は24回に及ぶ

記念講演会

岡崎研究所 理事 金田 秀昭氏

『中国の野望  
～マハニズムによる海洋の制覇～』



■ 略 歴

- 1945年 神奈川県生まれ
- 1968年 防衛大学卒業(12期生 機械工学)海上自衛隊入隊
- 1993年 海幕防衛課長
- 1994年 舞鶴地方総監部幕僚長
- 1995年 第4護衛隊群司令
- 1997年 統幕第5幕僚室長(政策担当)
- 1998年 護衛艦隊司令官
- 1999年 退職(海将)

■ 現 在

- 岡崎研究所 理事 特別研究員
- 三菱総合研究所 主席専門研究員
- 防衛庁防衛研究所 防衛戦略研究会議委員
- (社)安全保障懇話会 研究委員
- 日本戦略研究フォーラム 政策提言委員
- ハーバード大学アジアセンター 上席特別研究員(元)
- 慶應義塾大学総合政策学部 特別招聘教授(元) 他



秋色八幡岳 風景 画:松尾武彦(唐津RC会員)

表紙の写真の説明 **虹の松原**

濃霧がかかった朝、日本画のような霧につつまれた松原を期待してカメラを立てたが松原には霧は流れてこなかった。

[撮影場所] 唐津市 唐津市東唐津

[撮影者] 唐津在住 宮崎 宏

【編集後記】

ガバナー月信委員会は5名で運営されています。松尾委員長以下皆さん穏やかな方ばかりで、楽しみながら編集、校正と、月2、3度集まっています。編集作業の傍らの雑談が含蓄深く、日ごろ聞けない皆さんの思い出話や体験談にしばしば啓発されます。これもまたロータリーの妙味でしょうか。秋も深まります。今年の紅葉狩りは、何処にしようかと考えています。

(宮島省吾委員)



国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所

2005～2006年度 ガバナー 本城 好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL (0955) 75-1371 FAX (0955) 75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



**SERVICE Above Self 超我の奉仕**

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740  
国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



2005.12.1 **VOL.6**

●CONTENTS

本城ガバナーのメッセージ……	1	地区だより……………	18
地区大会終了あいさつ…………	3	寄付者紹介……………	19
歴代ガバナーのメッセージ…	5	新入会員紹介……………	20
ガバナー公式訪問……………	7	訃報……………	20
会員寄稿 宮島傳二郎……………	12	10月会員数・出席報告……………	21
地区委員会だより……………	13	文庫通信……………	22
第2回ロータリーの友地区委員会議…	17		

## 本城ガバナーのメッセージ

2005~'06 国際ロータリー2740地区大会御報告書

第2740地区ガバナー 本城 好春



2005~2006年度 国際ロータリー第2740地区年次大会が11月11(金)12(土)13日(日)に唐津市民会館&シーサイド・ロイヤル両ホテルで行われました。

初日、11日(金)の記念ゴルフ大会は、あいにくどしゃ降り、参加の皆様には大変申し訳なく思いました。晴天なら素晴らしい景観に恵まれたゴルフ場でしたが残念でした。

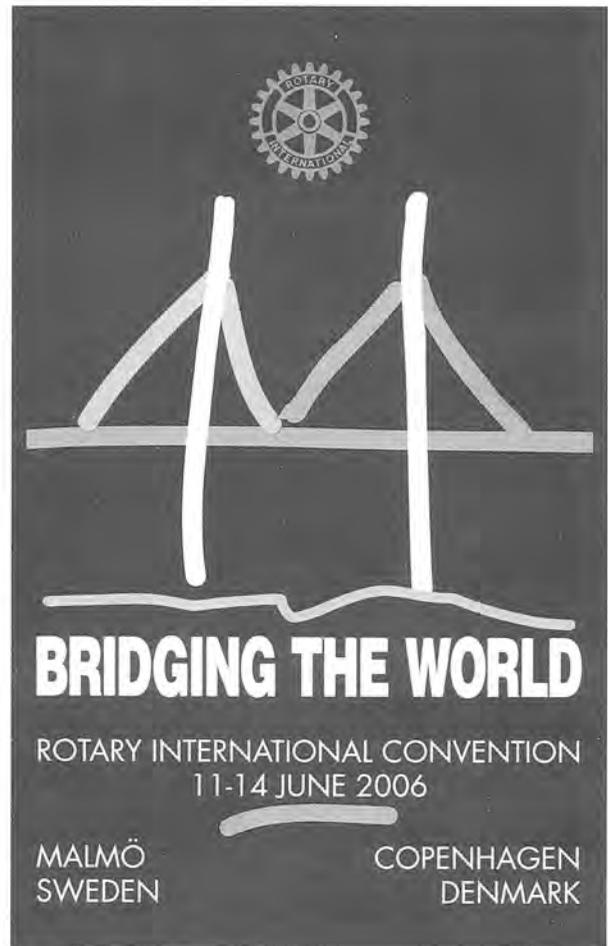
R I 会長代理の歓迎晩餐会はホテル内で、雨に関係なく行われましたが、懇親委員長新富繁樹君の設営で、スマートなラテン音楽と共にダンスパーティーを中心に唐津玄海の郷土料理を差し上げました。

愈々第一日(土)。来賓、招待客の紹介で、ガバナーがとちってばかりで爆笑をかい、お蔭で後がスムーズに進行したように思います。

佐賀県知事 古川康氏は、全国で一番若い知事で、長崎、佐賀の行政に精通され、飾り気のない気さくな性格で祝辞を述べられ、会場の皆さんは大変喜ばれました。次の坂井俊之唐津市長は、市町村合併の功労者で、8万人の人口を14万人に増やされ、唐津出身の古川知事が46歳、坂井市長は43歳で、今からの地元繁栄の輝く未来が見える思いがしました。

記念講演のジャーナリスト 篤信彦氏の話も平易な語り口で判り易い日常の生活から女

性の活躍ぶりまで話され、私の家内などは、いっぺんにファンになってしまいました。



二日目(日)は、例年通りがら空きとなり、田中R I 会長代理も出席会員、家族が少ないですなァーと耳打ちされました。

田中徹夫R I 会長代理は終始もの静かな語り口で、ロータリーの世界的な現状、将来の展望を話して頂き、素晴らしいロータリーの理念は今尚変わっていないのだと云われ、会員一

同大いに安堵致しました。R Iが101年間で肥大増強しているが、R I会長自身は会員増強、財団寄付ばかり強調している訳ではない。周囲のR I執行事務職員達が強調しているのだ。強調しなくてもロータリーは健全に成長していると述べられました。

私が地区58クラブを公式訪問して、会員の減少等ロータリーを悲観されるロータリー先輩の方々とお話しましたが、ロータリーの危機感がありますが、ロータリーの理念は少しも変わっておりません。自信を持って、奉仕活動をして下さい。

最近の長引く不況で、世間がすっかり気弱になり、意気消沈して居りますが、会員の皆さんに活力と元気を取り戻して頂きたく、本大会のテーマを企画しました。

現在は白砂青松の綺麗な海辺で、玄海国定公園の唐津ですが、大昔は元寇襲来、近くは僅か100年前に、この海の向こうで日本海海戦があり、砲声がこの唐津に轟いたと言われて居ります。

周囲を海に囲まれて、日本は永い間、平和呆けておりますが、最近の世界情勢は、海外からの侵略の危険が非常に高くなっております。核付ミサイルが、いつ海を越えて飛んで来るか判りません。私達は少し目を覚まして、国の防衛というものを真剣に考える時期に

来ております。

第二日目(日)に元海将、護衛艦隊司令官だった金田秀昭氏に、平和呆けの目から鱗のおちるような国際情勢、国防問題を話して頂きました。

その後、勇壮な海上自衛隊佐世保音楽隊の演奏。そしてアンコールで、子供の頃聞いた血湧き、肉踊る軍艦マーチ「守るも攻めるも黒がねの……」のメロディーを聞いて、皆さん活力と元気を取り戻してお帰りになった事と思います。

最後に来年の国際大会は、R I会長ステンハマー氏の母国スウェーデン、マルモと海を隔てて、橋で繋がるデンマーク、コペンハーゲンで小さな2ヶ国共同で行われます。私達の地区でも、地区大会を小さなクラブ共同で行うのも一つの時代の流れと思います。新しいガバナー、ノミニーを小さなクラブからも是非どんどん選出して頂きたいと思います。



田中徹夫RI会長代理と本城ガバナー 歓迎晩餐会にて 11月11日シーサイドホテル

2005～'06年度 国際ロータリー2740地区



## 地区大会への参加御礼



RI会長代理 田中徹夫氏ご夫妻

去る11月11日から11月13日に、本城好春ガバナーのもと、田中徹夫RI会長代理御夫妻を迎えて、唐津に於て開催しました地区大会には、パストガバナーを初めとして、大勢のロータリアン多くの役員の方々及び御家族の方々に参加をいただき厚く御礼申し上げます。

今回の地区大会を開催するに当って、実行委員会としましては、地区大会の案内を、委員長の小生と幹事の篠崎正之の二人だけで、本城ガバナーの公式訪問に同行しながら、数

分間の短時間で1回だけの御案内しか出来ませんでした。それにもかかわらず、各ロータリークラブにおかれましては、会員の減少傾向にありながら、会員の登録者1,371名 更に地区外会員、青少年関係を含めると1,465名の総登録者数になりました。誠にありがとうございました。

大会前日11月11日の記念ゴルフ会は、あいにくの悪天候でしかも、ハーフで止めざるを得ないような状態で、本当に残念でした。その日の田中徹夫RI会長代理御夫妻の歓迎晩餐会には、約200名の方々の参加をいただきました。

あくる日の大会1日は、手の平を返したような秋晴に恵まれレディース エクスカーション、本会議、寫信彦氏、金田秀昭氏の記念講演会、海上自衛隊佐世保音楽隊の演奏会と滞りなく無事に終了することが出来ました。ロータリアン各位に深甚なる敬意を表しつつ御礼の挨拶と致します。

地区大会実行委員長 平岡 晟



来賓のお二方



11/12夜 懇親会風景

## 御 礼

まず、この大会に登録された会員の皆様に厚く御礼を申し上げます。思い起こせば今年の10月に大会幹事の使命を受け、諫早の地区大会に3日間参加させていただき実行委員長共々すばらしい大会を見て実行委員会を立ち上げました。しかし軌道に乗るまでは時間がかかりました。8月からはガバナーの公式訪問が始まり一緒について行き各クラブの会長幹事さんにはほんとうにお世話になりましたが、全クラブを訪問できてほんとうに勉強になりました。

11月11日、いよいよゴルフ大会から始まりましたが、この日は朝から雨です。昼からは霧もでて最悪の状態になり楽しみにされた方には申し訳ない思いです。若干の不便があった様でお詫び致します。その夜はRI会長晩餐会で交流を深めていただきました。本大会は素晴らしい天気にも恵まれて淡々と進み、寫信彦氏の講演は歯切れがよく大変感銘を受けました。2日目は市民も参加して、金田秀昭氏の講演と海上自衛隊佐世保音楽隊の演奏会が行われました。

一生懸命にやっつつもりですが何かと不行き届きがあったと思います。最後にロータリアンの皆様のご協力に感謝申し上げます。

地区大会幹事 篠崎 正之



寫信彦氏の「大好機時代一元気のある企業と地域」の講話



金田秀昭氏の防衛講話



海上自衛隊 佐世保音楽隊の演奏風景

## 歴代ガバナーからの一言

ロータリアンによる一コメント  
新入会員研修のためにガバナー経験者より



### ロータリーの例会は人生の道場である

大村北ロータリークラブ 佐古亮尊  
1995～1996 パストガバナー

ロータリーは本来社交クラブなのです。しかし、ロータリーは単なる社交クラブではなくて「ロータリー哲学」をその根底に置くクラブとして成長してきました。そしてクラブの最大の目的は「親睦」ということでした。ロータリーは親睦の為に同業者を排除しましたが、其の親睦は異業種同士の会員の知恵を頂いて、自分の足りないところを補い、自分を改善し視野を広めていく契機となる親睦です。ですから例会場に体を運んで、他のロータリアンと親睦の中に相和する行動が伴わなければ其の目的を達することはできません。

例会に参加し親睦の中に相和し、自己を磨いて行けば、おのずから其の功德は自分の企業を豊かにし、周囲を潤していくことでしょう。それがロータリーの奉仕の原型だと思います。

昨今会員減少が問題になっていますが、ロータリーにとって今一番大事なことは、この自己研鑽の親睦を回復することでしょう。そしてロータリーこそ今の不況を乗り越える知恵を磨く唯一の場所であることを外に向かってアピールすることではないでしょうか。日本ロータリーの始祖 米山さんは言いました。

「ロータリーの例会は人生の道場である」と。



### どうぞ、ロータリーの宝を探し出してください。

佐世保ロータリークラブ 安部直樹  
2003～2004 パストガバナー

ロータリーとは何だろうか。ロータリアンの役割とは何だろうか。

2003～2004年度、2740地区のガバナーを務めさせて頂いた私は一年半程その事を考え続けました。

しかし、結論は出ませんでした。出なかったというより、ロータリーは各自ロータリアンの心の中にあるということだと思い判りました。

私の年度のガバナー選出は困難をきわめま

した。日本の中で最後の最後に私がガバナー指命を受けました。それは文字通り“はからずもガバナーに”という心境で、いわば不安と戸惑いと嫌悪の気持ちを、やらなければならないという義務感でオーバーラップしてのスタートでありました。仕事とガバナーの役割のはざまの中で突っ走ったためまぐるしい一年でした。しかし、終わった時“お前ガバナーをやれ”という先輩ガバナーの言葉はまさに「天の啓示」と思えるほどの感謝と感動と

自己発見の日々であったと思います。

さて皆さんはいかがですか？

まず、例会に出席、まず委員会の行事に参加、忙しい合間をぬってのロータリーの活動であるからして、どこかに自己向上の手がかりを見つけようとする心がロータリー活動そのものだと思います。

ロータリーが楽しいと思える人は結構であります。しかしロータリーを苦痛と思える人は少し努力してみてください。少し工夫してみてください。ロータリーは素晴らしい宝を内抱しています。その宝を努力することでみつけ出す。

「涅槃経」の中に「一切衆性」（いっさいしゅじょう ことごとくぶっしょうあり）という語がありますが、「人間をはじめ動物、植物を含めて、仏性が備わっている」という意味です。しかし、私達の中にある仏性は自己を研磨して、はじめてみえてくるものであります。同様にロータリーの中に潜む宝はロータリーに研鑽を積む中で身につくものであります。どうぞロータリーの宝を探し出してください。

## 地区大会のスナップから



GSEメンバーの報告と挨拶



レディースエクスカージョンに参加された御夫人の皆さん(名護屋城をバックに)



RI青少年交換学生の報告



次年度 地区大会 開催地 長崎RCからのお誘い

# ガバナー公式訪問

及びクラブ会長本年度の抱負

17年  
9/20 諫早多良見ロータリークラブ



国際ロータリークラブ101年目を迎え原点回帰として本年度のテーマ『超我の奉仕』となりました。

当諫早多良見クラブも16年目を迎えることが出来ました。厳しい社会状況ではありますが、全会員団結して楽しいクラブを目指しております。

9月20日火曜日、本年度2740地区の本城好春ガバナーを当諫早多良見ロータリークラブにお迎えして公式訪問例会が開催されました。前週13日には、鳥山紀男ガバナー補佐の元クラブ協議会が開催され、ご指導いただきました。ガバナーには、アナハイムでの国際協議会概要をパソコンとパワーポインターを駆使して到着からのトレーニングを分かりやすく



説明いただきました。会場の熱気や、食事風景、多くのガバナー達との討論など、興奮が伝わる思いでした。

諫早多良見ロータリークラブの本年度の運営方針をロータリー財団支援、会員増強と退会防止、毎回の例会を魅力あるものにするごととしくクラブ創立当時の原点に帰り全会員で推進します。本年度は、IMホストクラブとして鳥山ガバナー補佐と協力してIMを行ないます。

会長 桑田 隆郎

17年  
9/20 大村ロータリークラブ



我が大村ロータリークラブは、前年度に、国際ロータリー100周年と同時に創立45周年を迎え、節目の年でありました。

したがって、今年度は、新たなステップの年と位置づけ、原点に戻り「親睦と奉仕」を基本として、クラブ活動を進めて行こうと思います。

そして、「Let's Rotary」(ロータリーしましょう：愛和の奉仕)をテーマとして、

- ① 例会参加
- ② ロータリーの勉強
- ③ 奉仕の徹底

④ 親睦の深化

⑤ 新入会員の増加

に向けてクラブ運営を実施しているところです。

8月には納涼例会・グランドゴルフ大会、9月の観月例会と、家族を含めた親睦例会を終えました。

9月20日のガバナー公式訪問の際は、本城ガバナーより、パワーポイントを使って、ほのぼのとした卓話を賜りました。

また、当日は、新入会員入会式を行うことが出来、今後の会員増強に弾みをつけた気がしました。

現在、会員数53名（うち会長経験者20名）、みんなで協力し、分かち合って事業を遂行してまいります。

会長 久松 清彦



**17年 9/21 白石ロータリークラブ**

去る9月21日、本城ガバナーをお迎えし当白石ロータリークラブの公式訪問例会を開催致しました。

当日は北島地区幹事、松山ガバナー補佐、平岡地区大会実行委員長、篠崎地区大会幹事にも出席いただきました。事前の協議会において、白石ロータリークラブの活動のあり方や進め方を分かりやすくご指導いただき、大変有意義なお話を伺うことができました。

例会ではスライドを用いてアナハイムでの



研修の苦勞話や楽しかったことなどを話していただきました。会員一同よく理解できたようです。

ロータリーの現状としては会員の増強より退会防止に務めるべきであると思います。退会者が出るということは、活動が無いということで、逆に魅力を出せば結果として会員増強に繋がるものと思います。

最後に地区大会にはなるべく参加するように計画を立てております。ガバナー公式訪問を楽しく和やかな雰囲気の中で終了できたことを心より感謝申し上げます。

会長 池上 司



**17年 9/22 長崎ロータリークラブ 長崎琴海ロータリークラブ**

9月22日、本城ガバナー北島地区幹事渡邊ガバナー補佐をお迎えし公式訪問例会を開催しました。今回は長崎琴海RCさんとの合同訪問例会でしたが予定したプログラムも時間内



で充分目的を果たせたと思っております。  
 我が長崎RCは昭和11年に日本で24番目、九州では3番目のクラブとして創設され今年には69年目にあたります。創立以来今日までの流れに重みを感じる次第です。ところで本城ガバナーの卓話にもありました本年度のテーマ「SERVICE Above Self」はロータリー創立から6年目の1911年フランク・コリンズが唱えたものとのことです。私どもRCにおいても今日的様々の問題を捉え、歴史の重みを感じながらロータリーの原点を見つめてロータリー活動はいかにあるべきかを考える節目を迎えたような感じがいたします。ロータリーの原点は異業種の者たちが集まり親睦と職業を通じての奉仕であることを踏まえた上で今年度の主たる目標を下記の通りとしました。

### 《本年度の主な目標》

- ① クラブの組織と活動の研究
- ② 例会出席の高揚
- ③ 親睦と奉仕の高揚
- ④ その他

長崎RC会長 安達 一蔵



本城好春ガバナー、北島俊郎地区幹事、渡邊修志第9グループガバナー補佐をお迎えして、長崎RC・長崎琴海RC合同のガバナー公式訪問例会を開催させて頂きました。本城ガバナーはアメリカ・アナハイムの国際協議会GETSでのセミナートレーニングの様子をプロジェクターで説明され、厳しい1週間であったことを話されました。その中で昨年度は国際ロータリーの100年目を迎え、今年度は101年目の第1歩を踏み出す記念すべき年であること、国際ロータリーのテーマ「超我の奉仕」が1911年に採択されたテーマで95年間ロータリー運動の根底になっていること、そしてその心は「人への思いやり」であることを話されました。

合同例会終了後、長崎琴海RCの協議に入りました。我がクラブも来年は15周年を迎えますので、会員一人一人が改めて「クラブ運営の原点」を考えなければいけない時期が来たように思います。そこで魅力あるクラブとはと考えた時に、会員の相互理解を深め、融和と親睦を最優先に考え「思いやりと寛容」の精神に満ちた友情あふれるアットホームなクラブにしたいと思っております。

それと、魅力あるプログラムの展開と小委員会の活発な活動、奉仕活動を通して、ロータリーのすばらしさを大声でPRし、地域の評価と理解を得るとともに、会員増強につなげたいと考えています。



本城ガバナー、渡邊ガバナー補佐をはじめ一人一人のロータリアンの皆様のご指導、ご支援をよろしくお願い致します。

長崎琴海RC会長 渡辺 力

## 17年 9/26 佐賀西ロータリークラブ



本城好春ガバナーは9月26日、佐賀市のホテルニューオータニで開催された第2グループの佐賀西ロータリークラブ（吉野徳親会長、55人）の例会を公式訪問されました。

公式訪問日程では、出身の唐津ロータリークラブを除いては最後の訪問クラブとなり、「終わり良ければすべて良し」と佐賀西ロータリアンの熱烈歓迎を受けられました。

本城ガバナーは例会に先立ち、佐賀西の吉野会長、久保志郎会長エレクト、藤島敏雄幹事と懇談され、活動計画などについて報告を受けられました。

佐賀西はことし創立47年目にあたり、3年後に50周年という節目を迎えます。早くもその準備に入りました。

なぜそんなに早く準備に入ったのか。それはRI会長が掲げる「超我の奉仕」、そしてそれを受けた本城ガバナーの「思いやりと寛容」に、クラブとして「どう応え、どう行動をおこすか」を50周年と結びつけて考えたからです。

佐賀西の活動計画では、次の3点がそれにあたります。

第1は、地域や他の奉仕団体との連携を深め、その「協働」作業を通してロータリーに対する理解と、ロータリーの公共性、プレゼンスを高めようということです。具体的には10月に県体操祭を体操協会と共催し、健康づくりと青少年育成をアピールします。11月には、視覚障害の音楽家たちによる“愛のコンサート”を支援し、佐賀西会員が汗を流します。第2は、継続性を重視し、50周年につなげること。第3は、クラブ財政の基盤整備です。

例会では、本城ガバナーから米国・アナハイムでのガバナー研修の様子が紹介されたあと、11月に唐津市で開催される地区大会の案内、バナー贈呈式などが行われました。

会長 吉野 徳親



## 17年 9/27 長崎北東ロータリークラブ 長崎西ロータリークラブ

台風の影響で延期されたガバナー公式訪問が9月27日長崎西RCとの合同例会にて行われました。

本城ガバナーにおかれましては、最後の公式訪問であり、又当クラブにとりましても通算1500回目の例会日を同時に迎えるという素晴らしい巡り合わせとなりました。

今年度会員数58名でスタートし現在60名が在籍しています。又、量より質、原点に戻っ



て定款細則をよく読み活動しようという空気を特に感じています。

ロータリーの原点は会員相互の親睦であり、その連帯感がロータリーの発展の要であると言われていています。委員会活動も親睦なくしてはあり得ません。

既に殆どの委員会が家庭集会を終え親睦の輪を広げながら活動をスタートしています。

I Serve⇒We Serveの傾向にあるというお話もありましたが、それは気にせずまずは、行動ありきで実行に移したいと考えます。

又、米山奨学生、IACの件では、熱心な議論を当クラブの勉強会の必要性もご指摘頂きました。(これは予定通り実行したいと思えます)

公式訪問を全て終わられた本城好春ガバナー、北島俊郎地区幹事へ敬意を表すると共に、ご指導の程心よりお礼申し上げます。

長崎北東RC会長 町田 憲明



**17年 10/4 唐津ロータリークラブ**



唐津RCの公式訪問は当初9月27日の予定でしたが、8月の台風の影響で10月4日に変更になりました。その日は観月例会の為、会場が変わり、本城ガバナーには迷惑をかけたのではないかと心配致しております。

さてクラブの抱負ですが、本城ガバナーが当クラブの会員ですので、地区大会のホストクラブになっている関係上、地区大会の成功と会員増強（会員退会防止を含む）を2大テーマにしております。特に会員増強に付きましては一時は70名を越えていましたが、現在53名になっていますので純増2～3名を確実に実現したいと思っております。

又、今年はオーストラリアより交換留学生が来るのと、唐津よりオーストラリアに1人派遣致しますので、受入、送り出しを確実に行いたいと思っております。

その他色々な事業を進めて、地域社会に少しでも貢献できればと願って活動していきたいと思っております。

会長 井上 東也



## 会員寄稿

## “貧窮問答”から…労働観へ

唐津東RC 宮島傳二郎

## 貧窮問答

徒然なるまゝに、萬葉集を繙く

巻五、雑歌、「松浦川に遊ぶ」松浦川(現在の玉島川)のほとりで鮎を釣る乙女との愛の贈答、相聞歌を鑑賞する。

続く「貧窮問答の歌一首、併せて短歌」では、山上憶良は一変して当時の世の陰影を詠んでいる。

「風までまじえて雨が降る。雨まじりに 雪が降る。……」

かまどには煙も立てず飯と云うものを炊くのも忘れている。(それ程の貧窮なのに)

答を手に里長(お役人)は寝屋の戸口までやってきて、税を納めろ納めろとわめく。」

『世の中をうしとやさしと思へども飛び立ちかねつ鳥にしあらねば』

「この世は憂さのきわみ、痩せ細るのみ、それでも飛び立つことはできぬ。鳥ではないのだから」

萬葉集は天皇讚美、相聞歌挽歌が多い。その中にあって珍しく、山上憶良は律令社会の末端で喘ぐ人々をきびしく描いている。

日本の文学、詩歌の中で、おそらく人々の生活、労働を倫理的、求道的な立場から見つめた最古の記録だろう。

その後日本人は佛教、儒教の影響を受けながら、生と死を考え、病老の憂に堪えつつ、独自の思想文化を築きあげる。とくに『人間は何故働くのか、どう働くべきなのか』の職業倫理を思想的体系として整えたのは徳川時代に入ってからという。武士であり僧侶だった鈴木正三(1579~1655)が世法即佛法を唱え、「それぞれの職業に全身全霊を打込み、私心なく励めば、佛行に等しく成佛する」と主張した頃から自覚され形成されていったようだ。

その後、商人の時代に入るとともに「心学」の石田梅岩(1685~1744)、さらに「勤勉・合理性」を求める二宮尊徳(1787~1856)へと展開し、刻苦勉励、質素儉約は商人の誉れと尊ばれ、明治大正へ…。

「職業奉仕」の原点ともいえる、労働観・職業倫理観の日本での源流とをたどるとともに、その将来はいかにあるべきかと、考えさせられるこの頃である。



## 【参考文献】

私の万葉集 大岡 信 講談社 現代新書  
日本人の職業倫理 島田 燦子 有斐閣

国際青少年  
交換委員会

地区委員会だより

**国際親善奨学生（2005-2006年）研修報告**

奨学生氏名：前川 友紀子  
スポンサークラブ：佐世保ロータリークラブ  
受入クラブ：英国 デボン州 プリマスロータリークラブ  
派遣校：スーザンスパロウ語学学校（プリマス市内）  
派遣期間：3ヶ月（7月10日～10月2日）



ある時のクラスメイト。スペイン、ロシア、  
ポーランド、イタリア、フランス、イラン、

約10年ぶりに生徒に戻り、学校で勉強したことはとても新鮮な経験となりました。特に、語学学校での研修であったため、国籍、年齢層が様々で、10代から退職後の方までが生徒として通学しており、他では見られないグループでの学習となったのではないかと考えています。70代の杖をついたおばあさん、50代の元看護師さん、40代の会計士さん、まだまだ幼い16歳の高校生が同じ教室で英語を学習するのですから色々な意見が飛び交います。フランス、スペイン、ロシア、イタリア、ポーランド、スイス、ドイツ、イラン、トルコ、韓国、台湾などからの人と共に学習しました。

私が楽しみにしていたことの1つは、出会った学生たちに将来のプラン・夢を聞くことでした。今の若い学生が何を考えているのかは、就職課で学生を相手に仕事をしている私にとって興味があるところです。個人で夏休みを利用し、勉強しに来ている学生たちは、友人やグループで来ている学生たちと比較し、目的意識がしっかりとしていました。どの国の学生たちもやはり、将来少しでも良い仕事に就くためには英語を話せた方がチャンスが広がるからと言っていました。中には、進学を目標に学んでいる学生もいました。今や、英語はできてあたり前なのです。私が出会ったクラスメイトたちは、比較的落ち着いており、学ぶ姿勢もしっかりとしていました。授業中の意見交換も活発で、実りある授業でした。

私個人の英語力に関してですが、初日のテストの結果で、レベルの高いクラスに入ったのは良かったのですが、長年のブランクで、スピーキングで苦戦しました。3週間ほどは、落ち込み、自信を失くし、悔しい思いをしました。ライティング・リーディングでは、そう問題がないのに対し、スピーキングで苦勞するのはたいていの日本人の問題ではないかと思えます。多くのヨーロッパ出身の学生と出会い、思ったことは、彼らのライティング、文法の力はそうまでなくとも、スピーキングで優れているということです。言語の違いが日本語と英語では大きく、ラテン語ベースであるヨーロッパ圏の他言語を話す人々が少々うらやましく感じました。しかしながら、立ち止まってはられません。負けたくない一心で集中して勉強しました。最後の一ヶ月は、何か目標を定めたく、TOEICの試験対策講座にクラスを変更しました。学校最終日に試験を受けることにし、一生懸命でした。クラスメイトたちの中には、このテスト対策のために留学をしてきた人もおり、必死でしたので、お互い刺激し、学び合いました。午後からの2時間はいつもあっという間に過ぎていきました。

午前中の授業では、ディスカッションの授業が多く、各自の出身国の話をしたり、自分の考え・意見を述べることも多かったです。特に、この時間は私にとっての楽しみの時間でもありました。自分の国のことを知り、それを説明しなければなりません。英語で日本の文化を伝えることは難しく、

もっとうまく伝えなかったという後悔の念はありますが、自分の国や文化・習慣について考えるよい機会を与えてもらったと思っています。海外で学習するというはその国の代表として行くようなものです。自覚と、目的意識をもって留学しないといけないということを改めて痛感しました。就職課として学生の相談にのることを仕事としている中、この経験を活かし、アドバイスをしていけたらと思います。

毎日の生活で最も感謝しなければならないのは、ホストファミリーです。どんな家族なんだろうと不安いっぱいに出会った初日を今も覚えています。やさしい笑顔で迎えてくださり、毎日、私のことを気遣ってくれました。たくさんのホストファミリーがいる中、私は、とてもすてきな家族と出会えたと思います。話好きの私に付き合ってくれ、尚且つ、英語の間違いを正してくれました。料理をならったり、一緒に散歩したり。最初の不安はすぐに消え、過ごしやすい環境の中での生活でした。ホストマザーは非常に明るく、楽しい方で、4人の娘さんとその家族たちがかかわるがわるやってくる家でした。よく全員集合してのパーティーを開いていました。家族のつながりが強く、家族との時間を大切にしている家でした。そのような家だったからでしょうか、見ず知らずの外国人の私を何の抵抗もなく受け入れ、家族の一員のように接してくれたことにはありがたく思っています。

ロータリー奨学生としての英国での生活は、個人での留学と比較し、数倍の貴重な機会をもつことができるメリットがあります。コーディネーターやカウンセラーの存在は気持ちを安心させてくれます。また、ロータリーを通じて、多くの人々との出会いがあります。8月の終わりの5日間、別の地区の4つのロータリークラブを訪問する機会を与えられました。電車で南西部へ2時間。イギリスの最西端と最南端があるコーンウォール州へ台湾からの2名の奨学生とともに出かけました。内、2クラブでは、例会へ参加し、日本についてのプレゼンテーションをさせていただきました。みなさん、大変あたたかい方たちばかりで、終始笑顔で私の発表に耳を傾けてくださいました。途中、ある言葉がうまく発音できなかった時は、どこからともなく声が飛び、助けてくださいました。プレゼンテーションの後は、みなさん、あたたかいことばをかけてくださるなど、楽しいひと時を過ごすことができました。この5日間、毎日、新しいロータリアンの方々がいろんなところを案内してくださいました。自然が美しいところで、木々や芝の緑、海岸線の美しさ、海の青さと大感激でした。それにまさる人々の優しさ、あたたかさに言葉では表すことのできない感動を覚えました。奨学生仲間と「なんだか宝島にきたみたいだね」と言ったことでした。特に、私を5日間ステイさせてくださったロータリアンの方とは、一生おつきあいするくらいの仲になり、毎夜、遅くまで語り合いました。なんだか以前から知っていたかのように。その後も、2度会いに行き、再会を楽しみました。文化・習慣・言語・考え方が違って、互いを受け入れ、尊重し合えるということの素晴らしさを学びました。国は違って同じ地球の住人として付き合っていける友人と出会えたことに感謝しています。これも、全面的に支援してくださったロータリアンの方々のおかげです。本当に貴重な経験をありがとうございます。



英国南西部ベンザンスにあるマウントベイロータリークラブにて。プレゼンテーション後のバナーの交換。

すでに、出会ったクラスメートたちにも薦めてきましたが、帰国後、さらに国際親善奨学生について、友人、特に、将来を担う若い学生たちに紹介していきたいと考えています。また、私の経験で役に立つのであれば、出発前の奨学生の方へアドバイスや相談にのることで少しでも役に立てたらと思っています。

青少年交換委員会では、10月22日より2泊3日で熊本、阿蘇、別府の九州旅行に行って参りました。辻幸徳副委員長と交換学生9名との楽しい旅でした。当日佐世保を出発する時には激しい雨が降り、この先大丈夫かなと思いましたが、その後は快晴となり、素晴らしい秋晴れの中の旅行となりました。学生達も8月に来日してからは、初めての全員での旅行でしたので大変喜んでおりました。

初日は佐賀駅バスセンターより貸し切りバスで熊本城、水前寺公園をまわりました。水前寺公園は小学校時の修学旅行以来で大変懐かしく思いました。その後、阿蘇山頂に登り火口見学をしましたが、さすがに山頂は寒く皆が震えていました。その中、カナダから来日したジョナサン君だけは、裸足に草履で涼しくて気持ちが良いと言っていました。やはり、カナダは寒い所なのですネ。

その日は阿蘇ファームビレッジに宿泊しました。ここはお風呂がすごく、露天風呂や色々なサウナがあり、いつもはカラスの行水の私も2時間位楽しみました。

翌日は牧の戸峰経由で湯布院に入り別府観光をしました。血の池地獄や海地獄を見学しましたが、やはり観光地ということで外国人が多く、それぞれの場所で日本人や外国人とコミュニケーションをとりながら楽しんでいました。ブラジルから来たベナルド君は、来日して以来、初めてブラジル人と会えたと言い、ポルトガル語での会話でブラジルを懐かしんでいました。その後、うみたまご水族館と高崎山を見学し、その日は別府の三泉閣という旅館に泊まりました。夕食は和食で刺身や煮付け等、魚料理ばかりでしたが、皆器用に箸を使ってほとんど完食していました。バスの中でも、皆一緒にナツメロ（ビートルズナンバー）を歌ったり、日本語でしりとりをしたりして、一時も静かになる事のない車中でした。

11月に帰国するトム君や、2月に帰国するカトリーヌさんは、最後の旅行となるので、大変張りきっていた様です。又、2人は日本語が堪能でしたので、通訳をしてもらい大変助かりました。ドイツのパウエル君、アメリカのエバン君、ダン君、フランスのモーガンさん、メキシコのマリアさん、皆さん達とも楽しく打ち解けあえた九州旅行でした。



## 国際青少年交換来日学生の

## 10/7「長崎くんち、長崎市内重要文化財及び原爆関連見学 学習旅行」

RI第2740地区 国際青少年交換地区委員会委員  
 田嶋英夫（長崎北東RC）  
 飯田義則（東長崎RC）

10月7日、晴れ渡った青空と、強い陽光の中、諏訪神社の大祭で賑わう長崎市内を、来日学生全員（今年は女子3名男子6名）と、1泊2日を共にして、日本伝統文化を楽しく紹介し、世界平和希求の機会として原爆の実態について学習する恒例の旅行に地元の地区委員2名が参加した。

## 10月7日（金）

- 12:30 来日学生、JR長崎駅出口集合
- 13:00～13:30 長崎グランドホテルチェックイン、昼食
- 13:30～17:00 長崎くんちのお下りを見学(県庁坂)した。山車や行列には武者行列はなく16世紀末の特異な市民の祭りで1634年より諏訪神社の祭で行われる。沿道は出店で混雑。引き続き出島見学、西浜の町でフリータイム、眼鏡橋見学(国宝)、日本最初の石橋(1634のゴチック建造物)
- 17:00～20:40 長崎くんち踊(国指定重要無形民俗文化財)を、公会堂前の長崎市商工会館 栈敷招待席(長崎RC紹介)で見学した。踊町は毎年変わり、本年度参加踊町5町の山車は、本踊、川船、獅子踊、オランダ船、龍踊、が披露された山車はアンコール「モッテコーイ」の観客の大合唱に何度も応えて出演。来日学生は立ち上がり歓声を上げていた。江崎べっ甲店より記念タオルを我々全員に頂いた。遅い夕食、某店のとんかつの評判はよかった。

## 10月8日（土）

- 8:00 朝食、オリエンテーション
- 9:30～12:00 チェックアウト、崇福寺(1629)中国黄檗宗、国宝、グラバー園見学
- 12:00～14:00 昼食後、原爆投下中心地、原爆資料館を見学。毎年のものであるが、疲れたと路上に座り込む学生もいる一方、原爆に関心を示さない学生も多いが、60年前に起こった事実を見て欲しいと思う。
- 3:00 JR長崎駅で解散し、ホストファミリーの指示により各自帰宅した。

## 第2回 ロータリーの友 地区委員会議 に出席して

'05~'06 第2740地区 ロータリーの友地区委員  
唐津RC 石松 憲一郎



小春日和の11月12・13日、唐津での地区大会も終り“ほっ”とするのも束の間、晩秋の11月14日、本年度第2回目のロータリーの友常任委員・地区委員の合同会議が、港区芝公園近くの「メルパック東京」で開催された。

当日は、渡辺隆委員長（習志野RC）板橋敏雄特別顧問ら、小林・初山両常任委員そして、国内全地区からの地区委員28名、本行「友誌」所長、二神編集長ら総数41名のメンバーが一堂に会した。

開会にあたり、渡辺委員長の挨拶のあと、出席者は、6グループ毎にテーブルに着き、本行所長の明快な司会進行により議事はすすめられた。

小林常任委員からは、各地区委員から毎月の「友誌を読んで」のレポートは大変参考になり感謝、ご指摘の事項は出来るだけ友誌に反映改善させて行きたい。次に2001年開設のロータリーの友ホームページについて、友誌とホームページ（RJW）が互いに特長を補完して情報を交換収集して欲しい。そして今後は問合せの多い事項を取り上げ順次リニューアル改善して行きたい。

引続きロータリーの友ホームページビデオが、二神編集長から解説披露された後、グループ毎による問題点を協議 順次報告があった。その主なるものは

- ① 友のホームページ（RJW）の重要性と友誌の公式機関誌としての基本性は互いに表裏関係にありPRして行くべきだ
- ② 友誌にカタカナの文字が、多く見受けられるが理解しやすい日本語の文字を大事にして
- ③ 会員投稿のページを増やして欲しい
- ④ 公式RI指定記事の場合、RI会長の方針、RI理事会報告など理解しにくい文章が時々あるが、友誌では公式訳文の誤字を訂正する程度が現状との説明もあった
- ⑤ ロータリーの友は、各クラブに毎月月末到着する様にしているので、なるべく第一例会日に会員配布をする様に要請があった。

最後に板橋特別顧問からは「世界のロータリー地域雑誌32誌の中で、日本の友誌は、記事内容などトップクラスの評である。友誌の地区委員制も日本独自の制度であり、RIからも高く評価されている。今後共、会員増強と退会防止にも友誌を広く活用される様にお願ひする」と結ばれ約4時間の熱心な会議は閉会した。

## 地区だより

松浦RC

広報担当  
山本 浩平

## 市内 特殊学級 合同体験 学習旅行



10月18(火)『市内特殊学級合同体験旅行』が当クラブ(岩藤一人会長、37人)社会奉仕委員会の計画により実施いたしました。今年で24回目になるこの活動の目的は、児童生徒が、体験学習をとおして仲間を意識し、お互いに協力して目標を達成する喜びを味わうことで、実際の生活に直接生きる力を養わせる事です。

参加者は、小・中学生、先生、保護者、ロータリー会員あわせて43名で、大型バスを貸切り、午前9時に出発しました。最初の目的地は、福島町オートキャンプ場、「はんごうすいはん」とカレー作りをしました。飯盒で我々会員がご飯を炊き、残り火で「あご」や「やきいも」を焼き、食事前に食べて大人気でした。昼食のカレーのお代わりなどで楽しいひとときを過ごしました。

その後、ダイソー伊万里店(100円ショップ)に移動して、児童生徒にショッピング体験。一人525円を渡し、自由に買物をさせました。親にお土産を買う子もいれば、自分の学習用品を買ったり、中にはDVDまで買う子もいました。

児童生徒達と実際にふれあって感じたのが、皆、自分の考えをきちんと言える事に驚きました。それだけにひとつづれると先生方が納得させるのに大変ご苦労されている面もありました。しかし、子育てが終った会員ばかりの我々は、久々に児童生徒とのふれあいに楽しい一日でした。



## 寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F		
マルチプル・P・H・F	全会員 100ドル	長崎出島RC
	田 中 克 憲	長崎西RC
メモリアルコントリビューター	高 木 宏 隆	長崎西RC
大口寄付	高 木 聰一郎	長崎RC
ポリオプラス		
ベネファクター	服 部 一 弘	長崎出島RC
米山功労者	牧 文 春	長崎西RC
	小 川 一 貴	佐世保北RC
	湯 口 純 二	佐世保北RC
	大川内 克 俊	佐世保南RC
	田 尻 徳 麿	伊万里RC
米山功労者 (マルチプル)	島 田 靖 彦	長崎西RC
	鈴 木 正 昭	佐世保北RC
	近 藤 竜 一	佐世保北RC
	永 田 武 義	佐世保北RC
	越 智 和 博	佐世保北RC
米山功労者 (メジャードナー)	堤 和 之	佐賀大和RC
	福 田 俊 郎	佐世保北RC
	西 沢 茂	佐世保北RC
	小城ロータリークラブ	40周年記念として

### 【ハリケーン「カトリーナ」の災害見舞金の募金の報告】

先般お願い致しました「カトリーナ」の災害募金については第2740地区全クラブから多額の見舞金によせられました。誠にありがとうございます。

募金総額 ￥2,390,707円 でありました。

上記の通りご報告申しあげます。

ガバナー事務所

# 新入会員紹介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



有田RC  
よこ たけ やす お  
横 岳 保 雄 君



大町RC  
ふじ た ぶん とも  
藤 田 文 智 君



白石RC  
ひが し ま た つ ゆき  
東 島 達 幸 君



唐津東RC  
かわ ほら こう しん  
川 原 浩 心 君



唐津東RC  
か むら だい すけ  
嘉 村 大 輔 君



佐世保RC  
ふじ い たかし  
藤 井 隆 君



諫早北RC  
こん どう きみ のり  
近 藤 公 徳 君



諫早南RC  
の なか すみ こ  
野 中 澄 子 君



福江中央RC  
なか むら こん や  
中 村 権 矢 君



福江中央RC  
はた なか しげ のり  
畑 中 重 徳 君

月信11月号で紹介致しました新入会員のふりがなが間違っておりましたのでここに訂正させていただきます。

誤 佐世保RC  
かねじ かいちろお  
金氏嘉一郎君

正 佐世保RC  
かねじ かいちろお  
金氏嘉一郎君



## 訃 報

慎んでお別れいたします。

2005年10月29日逝去  
(享年62才)

故 斉藤 裕 君  
(長崎中央RC)



## 2005年10月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末 出席率	会員数				
				7月1日	うち 女性	当月末	うち 女性	増減
第1グループ	佐賀	4	83.6	80	0	78	0	-2
	小城	4	92.4	34	1	33	1	-1
	牛津	4	93.8	31	0	32	0	1
	多久	4	90.0	42	5	43	5	1
	佐賀大和	4	81.0	25	3	25	4	0
	小計		88.2	212	9	211	10	-1
第2グループ	佐賀西	4	84.3	56	0	55	0	-1
	佐賀北	4	79.9	41	3	42	3	1
	佐賀南	4	82.5	41	0	40	0	-1
	神埼	4	75.0	28	0	28	0	0
	佐賀空港	0	61.8	20	0	19	0	-1
	小計		76.7	186	3	184	3	-2
第3グループ	有田	4	73.3	33	1	37	2	4
	武雄	4	83.0	57	0	56	0	-1
	鹿島	4	86.6	41	2	44	2	3
	嬉野	4	92.7	23	1	24	1	1
	大町	4	69.3	24	0	23	0	-1
	白石	4	76.5	17	0	17	0	0
	太良	4	69.5	9	0	10	1	1
小計		78.7	204	4	211	6	7	
第4グループ	唐津	4	96.1	51	0	54	0	3
	伊万里	4	98.2	40	0	41	0	1
	唐津東	4	100.0	50	0	52	0	2
	唐津西	4	92.2	39	0	41	0	2
	伊万里西	4	86.9	47	0	50	0	3
	唐津中央	4	92.4	41	4	43	5	2
	小計		94.3	268	4	281	5	13
	第5グループ	佐世保	4	100.0	84	0	89	0
平戸		4	86.6	41	0	45	0	4
佐世保西		4	92.6	33	0	31	0	-2
北松浦		4	86.3	25	0	24	0	-1
松浦		4	84.7	37	1	37	1	0
生月		4	62.5	19	2	18	2	-1
小計			85.4	239	3	244	3	5

グループ	クラブ名	例会数	当月末 出席率	会員数				
				7月1日	うち 女性	当月末	うち 女性	増減
第6グループ	佐世保南	4	100.0	81	0	81	0	0
	佐世保東	4	82.0	31	0	33	0	2
	佐世保北	4	97.6	48	0	48	0	0
	佐世保中央	4	100.0	46	0	46	0	0
	佐世保東南	4	71.8	23	0	22	0	-1
	HTB佐世保	4	64.2	28	3	29	3	1
	小計		85.9	257	3	259	3	2
第7グループ	大村	4	98.4	52	2	52	2	0
	島原	4	74.3	37	3	37	3	0
	雲仙	4	91.7	34	0	34	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	33	0	0
	島原南	4	80.7	21	1	23	2	2
	大村東	4	81.3	44	1	44	1	0
小計		87.7	221	7	223	8	2	
第8グループ	諫早	4	92.3	64	0	63	0	-1
	諫早北	4	92.8	63	0	64	0	1
	諫早西	4	93.0	46	0	46	0	0
	諫早多良見	4	80.3	40	0	39	0	-1
	諫早南	4	74.5	32	3	33	4	1
	小計		86.6	245	3	245	4	0
第9グループ	長崎	3	85.2	99	0	102	0	3
	福江	4	89.5	40	0	42	0	2
	長崎北東	4	87.0	58	5	60	5	2
	福江中央	4	92.3	37	0	39	0	2
	長崎西	4	71.6	65	0	67	0	2
	長崎琴海	4	67.5	20	2	20	2	0
	小計		82.2	319	7	330	7	11
第10グループ	長崎北	4	80.2	74	0	73	0	-1
	長崎南	4	70.5	84	0	82	0	-2
	長崎東	3	98.6	72	0	72	0	0
	東長崎	4	82.9	36	0	36	0	0
	長崎中央	4	93.4	59	0	60	0	1
	長崎出島	3	71.8	55	15	59	15	4
	小計		82.9	380	15	382	15	2
合計		84.9	2531	58	2570	64	39	

# 文庫通信 (218号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。この度は、昨年度び会計報告をさせていただきます。

## ロータリー文庫 2004～2005年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	130,585	雇用保険料預り金	10,217
普 通 預 金	7,968,238	社会保険料預り金	172,471
定 期 預 金	7,000,000	負 債 合 計	182,688
仮 払 金	2,000	正 味 財 産	
現金預金計	15,100,823	次期繰越余剰金	14,918,135
合 計	15,100,823	合 計	15,100,823

(収支計算書)

収 入		支 出	
会 費 収 入	30,898,350	委 員 会 費	1,408,362
雑 収 入	437,233	業 務 費	2,564,700
		賃 借 管 理 費	8,438,258
		人 件 費	16,458,577
		予 備 費	0
当 期 合 計	31,335,583	当 期 合 計	28,869,897
前期繰越収支差額	12,452,449	当 期 収 支 差 額	2,465,686
収 入 合 計	43,788,032	次期繰越収支差額	14,918,135

### \* ロータリー文庫 \*

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日



晩秋の善賢岳 画:松尾武彦(唐津RC会員)

#### 【編集後記】

地区大会の準備をしながら、ガバナー月信の構成を考えつつ大会本番に突入し、バタバタと慌ただしいひと月でした。

月信の発行を目前にふと気が付くと早や師走、今年も福岡西方沖地震を始めとした天変地異サプライズを実感した年でした。新型インフルエンザの流行が無きよう祈りつつ、来年は佳き年で在りますよう願います。

(月信委員・藤山 英周)



国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所

2005～2006年度 ガバナー 本城 好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL (0955) 75-1371 FAX (0955) 75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



**SERVICE Above Self 超我の奉仕**

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740  
国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



2005.1.1 **VOL.7**

## ●CONTENTS

本城ガバナーのメッセージ…… 1	地区だより……………15
ガバナーエレクト新年御挨拶… 2	地区委員会だより……………17
ガバナー補佐、新年御挨拶…… 3	会員寄稿……………18
歴代ガバナーのメッセージ…… 8	国際親善奨学生募集 …… 19
ローターアクト研修会報告… 10	11月会員数・出席報告 …… 21
新入会員紹介、訃報 …… 12	文庫通信 …… 22
寄付者紹介…………… 13	

## 本城ガバナーのメッセージ

第2740地区ガバナー 本城 好春



### 新年おめでとう御座います。

日本の景気も失われた10年とか、長過ぎた暗いトンネルとか、云われながら、やっと出口の明るさが見えて来ました。デフレ、不景気の底から漸く浮上の兆しが見えて来ました。東京は既に景気回復して居りますが、地方の九州はいつ頃、その影響が来るのでしょうか。

例年の第34回国際ロータリー・ゾーン(1、2、3、4(A))研究会が、11月25日～27日、東京新高輪プリンス・ホテルで開催されました。テーマは「ロータリー第2世紀への展望」です。その成功の鍵は「協力と継続」です。国際ロータリーは20年以上にわたり、WHO(世界保健機関)及びユニセフ(国連児童基金)を通じて国連に協力して来ました。保健問題、飢餓救済、識字率向上及び水保全は短期的に解決できるものではありません。

「超我の奉仕」を通して、この運動に「協力を継続」する事を次世代に伝え続ける必要があります。

ロータリーとロータリー財団は車の両輪であり、ロータリー財団はロータリアンの皆様に、意義ある国際奉仕プロジェクトを成し遂げる機会を提供しています。財団はさまざまな人道的支援を行い、恵まれない人々に「思いやり」を行動をもって示しています。

ポリオ撲滅をはじめに前途有望な若い人を国際親善奨学生として海外留学の機会を提供し、更に事業や専門職務に携わっている社会人を研究グループ交換チームとして外国生活を体験する機会を提供しています。

私達は非常に重要な時期を迎えて、この事に「意識を喚起」したいと思います。

常に「超我の奉仕」の理念に基づき財団の未来を築く時です。本年度は正にロータリー第2世紀の幕開けの年です。

ロータリー100年の輝かしい歴史を学びながら、将来の更なる発展を目指して活動して下さい。

皆様の御健康と御繁栄をお祈り致します。



# 新年のご挨拶

ガバナー研修生目下特訓中



ガバナーエレクト

田口 厚

(長崎RC)

新春おめでとうございます。2006～7年度の2740地区ガバナーに指名されてその責務を果たすための各種の研修を経験し、ロータリークラブのその奥の深さにつくづく痛感している昨今であります。昨年の春、自ら手を挙げてでもなく囂らずもとか懇請されてとか止むに止まれずという事もなく何時の間にかガバナーノミニーそしてガバナーエレクトとしてレールの上を走らされているというのが実情であります。それが9月から始まった国内における2回に亙る次期ガバナーに対する研修会（GETS）に出席し、国際ロータリー理事あるいは研修リーダーの方々の奉仕に対する考え方とその実践法についての講義、また国際協議会（全世界の各地区のガバナーエレクト全体講習会）に出席するための諸注意などは実に判り易く有益でした。それにも増して本城現ガバナーをはじめバストガバナーの方々から種々のご指導を頂いて、世界的なロータリアンの減少傾向、ロータリー財団の資金運営法、近年の最大のテーマであったポリオの撲滅の最後の詰めに難渋していることなど今後の課題についても僅かながら理解できたと思っています。研修総仕上げの国際協議会は今回より従来のアナハイムから米西海岸のメキシコ国境に近い軍港の街サンディエゴで2月中旬から10日間かけて行われる予定です。またとない人生における最大で最後の

貴重な体験を経て実のある成果を得る事ができると信じています。

次年度ガバナー事務所は幸いにも私の勤務先の病院事務棟の一角を確保して昨年10月より開設し経費と時間の節約が期待できるようです。また事務所のスタッフも有能な経験者を得て次年度の地区運営の基本事項を策定中であります。サンジェゴで具体化するウィリアムBボイドR I次期会長のテーマの推進、また地区大会のテーマを環境問題に関するものとし、開催時間もより合理的にし、かつプログラムをロータリアンの意識の向上と世間にロータリーの理解と関心を高めて貰うべく作成することを協議中であります。

地区財政も会員の減少による厳しい事態が予測されるのでその在り方の見直し、地区組織も米山奨学会のR Iの組織下になることで若干の変更も検討中であります。数年前より提唱されている地区組織強化策（GLP）より現在のクラブ組織強化策（CLP）の研究と実施が課題でもあります。

2006年の前半は本城ガバナーの総仕上げ、後半は私が微力ながらR I 2740地区のお世話の仕事になります。健康に留意して地区内クラブを出来るだけ個々に訪問しガバナーの職責を果せることを念じて新年のご挨拶と致します。

**ガバナー補佐からの新年御挨拶**



第1グループ  
ガバナー補佐

**中島 一峰**

(多久RC)



新年明けましておめでとうございます。  
RI第2740地区の皆様方におかれましては、つつがなく新年をお迎えの事と存じます。  
ガバナー補佐として、上半期が過ぎました。その間、ガバナー補佐会議、ガバナー公式訪問、クラブ協議会、地区協議会などに出席し多くの皆様方と触れ合う事ができ、改めてロータリーの素晴らしさを肌で感じる事が出来ました。  
そして、クラブ訪問では皆様方から温かく迎えていただき、心から感謝いたしております。尚、本年度は、第一・第二合同IMも開催されますので、皆様方のご協力お願い申し上げます。残り半期、皆様方と共に頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。  
新しい年がよい年でありますように。

精神」と理解し、同じ理想や目標を共存する他団体と協力し活動する事を支持され、その方針に従ってガバナー補佐としての任務を傾注し、インターアクト年次大会、各担当クラブ協議会、公式訪問と本城好春ガバナーの熱意による地区大会で佐古亮尊パストガバナーはロータリーの例会は人生の道場である。安部直樹パストガバナーはロータリーの宝を探し出してくださいと新人会員にコメントを由緒されました。

会員増強・脱会防止を旨とし、ガバナー指示のもと各クラブ会長・幹事・会員様と忌憚のない意見を交わし、恣意で未熟な小生を盛立てて頂き早や半年を過ぎ、新しい年を迎え改めて「新年あけましておめでとうございます。」

本年は第1第2グループのIMを3月4日（土）に「ロータリーと青少年」のテーマで開催します。ホストクラブ神埼RC・コホストクラブ多久RCで全力で対処していく所存であります。

会員の皆様方と本城好春ガバナー方針のもと、更なる親睦を深め奉仕活動に邁進して行く覚悟であります。



第2グループ  
ガバナー補佐

**宮地 勝朗**

(神埼RC)



新年のご挨拶申し上げます。  
本城好春ガバナーは2005～06年度就任の冒頭、活動方針で「SERVICE Above Self」は難しく考えず、素直に「思いやりと寛容の



第3グループ  
ガバナー補佐

**松山 進**

(大町RC)



新年明けましておめでとう御座います。  
第3グループの皆様、ロータリー101年目の活動に心を新たにされた事と拝察申し上げます。

今年度の地区方針に本城ガバナーは「思いやりと寛容」の精神を掲げられました。今日の補佐の仕事は拝命して半期を過ぎ、その意義の深さを噛み締めております。

補佐会議を始めとして各勉強会に参加し、他クラブの補佐の皆さんとの話しが出来ました。又日頃ご無沙汰ばかりの近隣クラブの方々にはクラブ協議会や公式訪問でも暖かく迎えてくださり、本当に感謝致しております。

先輩のロータリアンの中には、補佐の仕事も大変だね、ご苦労様と声を掛けて頂き、有難く思っております。

第3グループでも会員の増強が出来ず、現在会員の維持が必至である今日ですが、私達ロータリークラブは週に一度仲間と会い食事をしながら歓談が出来る素晴らしいグループです。

R I テーマも今年度はロータリー精神の原点に戻り「超我の奉仕」が掲げられました。それは私達が今一度、原点に帰り、新しいスタートを切れとのメッセージではないでしょうか。

ロータリアンの皆様にとっても良い年でありますように。



第4グループ  
ガバナー補佐

前田 拓郎

(伊万里RC)



新年、お目出度い年に成ってくれるでしょうか。そうであることを願っております。

第4分区としてのビックイベントは、2006年4月8日（土）に予定していますIMです。伊万里市にて、佐世保、伊万里、唐津地区のロータリアンにご参集いただき、色々のロー

タリーのことや世界的话题を学び、懇親の実を深めたいものです。山形県鶴岡市の般若寺の御住職、藤川享胤師にロータリーに関わるお話と、エジプト遺跡発掘の吉村作治先生に特別講演を頂く予定です。

来る年、2006年の戌年は申年生まれの私にとっては、鬼門の年、でも続く2007年は、関東大震災、東海大地震、富士山の大噴火、ニクソンショックを思い出させる猪年。心して激動の年に備えてまいりましょう。



第5グループ  
ガバナー補佐

安福 鴻之助

(佐世保RC)



新年おめでとうございます。

昨年7月クラブ会長から引き続きガバナー補佐を務めることになり、慌しい一年をすごしましたが、担当6クラブ訪問の際には皆様方のご理解と暖かいご協力を頂き有難うございました。

ガバナー公式訪問にも随行しましたが、その中でひとつ、ほろ苦く思い出す出来事があります。それは8月25日午後平戸クラブ、夜に生月クラブと連続して訪問した日のことです。平戸クラブ例会場の平戸海上ホテルから生月クラブ例会場の生月町商工会館まで平戸島内を約30分走ります。往路は私がガバナーの車を先導して何の問題もなかったのですが……。復路はもう大丈夫だろうと私一人さっさと帰ってしまったところ、ガバナーや幹事さん4人の車は夜道に迷ってしまい、何と平戸島内を長時間ぐるぐる廻るハメになられたそうで…誠に申し訳ないことをしてしま

いました。

第4、5、6グループの合同IMは、今年は第5グループ担当の順でしたが、全国ロータリー青少年交換研究会「長崎会議」を私のホームクラブである佐世保クラブがホスト、ハウステンボス佐世保クラブがコ・ホストをすることになり、私はこちらに専念する為に、IMは前田G補佐の第4グループ、伊万里クラブに担当して頂くことになりました。どうぞよろしくお願い致します。



第6グループ  
ガバナー補佐

浦本 忠男

(佐世保東RC)



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

第6グループの会員の皆様、気分も新たに新年を迎えられた事と存じます。本城ガバナーの下ガバナー補佐を拝命させていただいて早いもので半年が過ぎました。慌しい半年でありました。私の様な者でもガバナー補佐が務まるのか、との不安な気持ちでスタートしましたがこの半年でロータリーの素晴らしさを再認識し且つ敬服さえております。ところで昨年8月よりのクラブ協議会を皮切りにガバナー公式訪問、地区大会と諸々の行事に対しては格別のご協力ご支援を賜わり誠に有難うございました。

クラブ訪問の際は勉強不足の私を精一杯ご支援、ご教示いただきまして本当に感謝いたしロータリーの友情の有難さにこれほど身をもって感じたことはありませんでした。この度訪問したクラブの中にはロータリー財団、米山記念奨学会の寄付をいち早く済ませてい

るクラブ、又積極的に会員増強に取り組んでいるクラブ等活発な活動を確実に遂行していただいております。

後期はクラブで当初計画した活動状況をチェックして目標達成のための大事な時期でもあります。どうかよろしくお願い致します。それとIM参加です。IMは前田、安福、ガバナー補佐と力を合わせて立派に実行したいと願っています。時節柄風邪等ご健康に留意され後期のご活躍を祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。



第7グループ  
ガバナー補佐

日向



啓  
(島原南RC)

新年明けましておめでとうございます。あっという間に6ヵ月が過ぎてしまいました。この間、挨拶回り、クラブ協議会、公式訪問と各クラブを2度3度と訪問させて頂きました。

7グループは、大村地区と島原地区に別れていますので、訪問しづらい点があります。大村地区とは、出会いの機会が少なくなるので、先日の大村地区合同ゴルフ会に参加、夜遅くまで友情を深めた次第です。公式訪問という最大行事を皆様の協力で乗り越え、ホッとし過ぎて、ボツとし過ぎたと反省しております。

残る半期には、大村北クラブの30周年事業が2月、さらには7・8グループ合同のIMが3月に予定されています。大いに盛り上げていきたいと考えております。

各クラブには、会員増強・寄付金など、それぞれに懸案がありますが、本城ガバナーは

「無理しなくてもいい。できることを積み上げれば。」とお話になっています。

各クラブは、当初設定した目標の実現に向けて、もう一踏ん張りお願い致します。

皆様にとって新年がいい年でありますように祈念致します。



第8グループ  
ガバナー補佐

烏山紀男  
(諫早RC)



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もよろしく願いいたします。

ロータリーが誕生してから101年新しい第一歩を踏み出す年度であり、原点に帰る年度に、本城ガバナーの下、ガバナー補佐を拝命し、最初のガバナー補佐会議でガバナー補佐の任務の責務と重要性とを学習してから早半年が過ぎました。

7月1日(金)所属するクラブからの出発でした。ちなみに平成18年6月30日(金)が最終例会で最初から最後までガバナー補佐として任務を全うせよとの事だと言い聞かせての船出でした。クラブ協議会・公式訪問は、昨年栗林ガバナーの所属していた諫早北クラブからのスタートでした。

緊張の中にクラブ訪問は楽しいものでした。どのクラブも心温まる歓迎を受け大変ありがたく、心よりお礼申し上げます。本城ガバナーの補佐役として、お供させていただき、クラブ協議会・公式訪問、そして地区大会と、新たなロータリアンとの出会い、交流が広まり、素晴らしい6ヶ月でした。

下半期は、各クラブの訪問も機会を見て1回

でも多くし、今期の目標達成に努力し、第7・8グループ合同のIMも3月25日に行われます。成功裡に終わりたいと考えております。第7・8グループの皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

苦しみ、悩むとき、その大元にあるのは何でしょうか？きっかけは、さまざまでしょうが、多くは自分で作っている苦しみではないでしょうか。何かに拘泥している状態が、苦しみを作っているのでは、拘泥は、泥にかかわる、ぬかるみにはまると字が示すとおり、物事にこだわり、固執して融通が利かない状態であり、「拘泥は苦痛である。避けなければならぬ。苦痛そのものは避けがたい世であろう。然し拘泥の苦痛は一日で済む苦痛を五日、七日に延長する苦痛である。入らざる苦痛である。避けなければならぬ。」夏目漱石の作品の中に書かれている。くよくよ悩む、もんもんと思わずらい続ける、こういうことを避けなければならぬと言っている。

人から厳しいことを言われた、失敗をした、自分のしたことが否定された。いろいろあるであろう。けれども自分はそのことで、長くこだわらないことにしている。さっと次の行動を始める。目の前にある、用事や仕事を、すぐ始めよう。心がこだわっている状態を長く引きずらず、次にシフトしていく習慣を作り、苦しみは自分で作っていることに気づき、気持ちを新たに努力したいと思っていますのでよろしく願いいたします。





第9グループ  
ガバナー補佐

渡 邊 修 志

(長崎西RC)



謹んで新春のお慶びを申し上げますと共に会員皆様方の新しい年の御多幸を心より祈念致します。

第9グループのガバナー補佐就任当初、この重責を果たすことが出来るかと大変懸念致しましたが、半年が過ぎました。ガバナー公式訪問の先兵として、各クラブの事前訪問、各クラブ協議会への出席で、最初はいささか緊張を覚えていましたが、各クラブの皆様方から温かいお迎えを頂き、その上温かい御協力のお陰で協議会後半では緊張を解きほぐされていきました。この時ほどロータリアンの友情を強く感じた事はありません。その後のガバナー公式訪問の際も、無事お供することができました。ロータリアンの皆様に感謝！

昨年11月12日・13日に開催されました地区大会は多数の御出席を賜り、誠に有難うございました。まだ各クラブ共に熱心に会員増強に取り組んで頂いているようで、大変有難い事でありまして、深く感謝申し上げます。

今年は9・10グループの事業として、IMとRYLAの二事業が企画されています。IMは長崎出島RCがホストクラブ、長崎琴海RCがコ・ホストクラブとして「あなたがロータリー」をメインテーマと定め、基調講演の他、6分科会でのフリートーキングが綿密な企画のもとに予定されています。日時は、2月18日(土)長崎全日空ホテルグラバーヒルで開催されま。乞う御期待！

第27回RYLAが4月16日(日)に「国際理解と

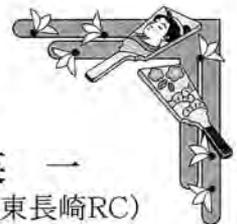
平和に地域を見つめ世界を見渡す(平和を語ろう)」というテーマのもとに原爆資料館ホールで開催されます。ホストクラブは東長崎RC、コ・ホストクラブは長崎北RC、長崎南RC、長崎東RC、長崎中央RC、長崎出島RCで、ホストクラブが中心となって精力的な企画運営が検討されています。青少年育成の根幹をなす事業でありますので振っての御参加をお願い致します。最後に本年も皆様の温かい御指導、御鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



第10グループ  
ガバナー補佐

西 岡 英 一

(東長崎RC)



明けましておめでとうございます。いつの間にか、半年が過ぎました。この間、各クラブを訪問させていただき、いずれのクラブも温かくお迎えしていただきました。深く感謝を致しております。

2月18日には、9、10グループ合同のIMが全日空グラバーヒルホテルで開催されます。ホストクラブの長崎出島ロータリークラブでは今、一生懸命に企画をされておられます。

4月16日には、2740地区のライラが長崎原爆資料館にて開催されます。ホストクラブの東長崎クラブでは被爆地長崎ならではの、工夫をこらしてライラを模索中です。会員皆様の協力と多数の御参加をお願い致します。

前半は、緊張ぎみの日々が続きましたが、後半はやや気楽にロータリーを楽しみたいと思っています。

# 歴代ガバナーからの一言

## ロータリアンによる一口コメント 新入会員研修のためにガバナー経験者より



### ロータリーを楽しく

長崎南ロータリークラブ 福井 順  
2001～2002 バストガバナー

ロータリーの集いは、地域社会の中の一流の人々、友人や知己に恵まれています。ロータリーの会合は、堅苦しくない事が肝心です。堅苦しい会合では「入会は御免、退会は結構」と言うことになるでしょう。

ロータリーは自由で肩の凝らない会合です。ロータリーは「楽しい会合」であること。これが第一に必要なのです。

現在は西暦2005年、ロータリーは1905年に創立して、丁度今年で100周年です。「一体何が原因で、こんなに人が集まるのだろうか?」「何が原因で、こんなに世界中に組織が広がるのだろうか?」これが私のロータリーに対する根本的な疑問でした。実際はどうだったのでしょうか? 最初から壮大な理想と哲学を胸に抱いて人が集まったのでしょうか?

そうではありませんでした。西暦1905年の2月23日、僅かに4人の友人が米国のシカゴ市に「一つ集まってみるかな」という程度の気持ちで集まったのが始まりでした。

創始者であるポール・ハリスが日本に立ち寄った時に、「何が動機で集まり始めたのですか?」という不躰な質問に対してポールは「ただ寂しかったからだ」と正直に返事をしたと言います。

ロータリーの創立は日本では明治38年です。日露戦争の真っ只中でした。2週間後の3月9日、ロータリーでは第2回目の会合を開いた時で会員は僅か6人でした。

日付変更線の彼方である日本帝国は、3月10日で奉天入城の日、後の陸軍記念日です。大体においてその頃の話ですが、それが現在

世界166ヶ国、クラブ数は約3万余、会員総数は約120万余に達しています。

この原因は何でしょうか。

「何故にロータリーの会合には人が集まるのだろうか? 何故にロータリーは楽しいのだろうか?」それが私の最初からの疑問でした。

その鍵は、「相手の存在価値を認める」というロータリーの根本概念にあったと思います。最初から創始者ポールは「一職業一会員を原則に」と主張していました。

「多様な人間性の存在価値」を認めていました。「自分以外の多くの職業人と知り合い」になれる事。「多様な職業人と知己になること」が大切な事だとポールは思っていました。

「地域社会の中で一職業から一人の会員、存在価値が高い人」をロータリー会員とすることを考えたのでした。

「存在価値を認めてもらう」これは「人類の本能に近い欲望」だと思われます。誰でも「自分を認めてほしい」と思っています。

ロータリーは、「人の存在価値の高さ」を入会の条件にしたこととなります。

逆に「存在価値を認めない」ということ、それは闘争を招きます。仲が悪くなり相手を抹殺しようと行動します。当方と相手が国家と国家でしたら結局は戦争になります。

「貴方の存在価値を認めません」という処に人は集まるのでしょうか。結果として誰も集まらないと思います。

「自分自身の価値を認めろ!」ではありません。「相手の存在価値を尊重し認めよう」これが「ロータリーの基本概念」です。これなら人は集まります。

「貴方の存在価値を十分に認識し尊重します。」という処に人は本能的に集まるからです。

ロータリーの考えである「人間の存在価値を認めよう」という事は、「自分の存在価値のこと」ではありません。「自分以外の人々の存在価値」のことです。

これが「ロータリーを楽しく」する最も根本になる秘訣です。ロータリーの例会に誕生日祝い、結婚記念日の祝い、ロータリーに入会記念など、自分以外の会員の存在価値を認めるロータリーの工夫があります。そしてやがては自分自身の存在価値を他の会員が認め祝ってくれるのです。

ロータリーは、全てを呑み込んで存在しています。職業が違う事は勿論の事、国家・民族・人種・宗教・イデオロギー・年齢・階級・性別の隔差（ギャップ）を越えてロータリーの集まりは存在します。自分以外の存在価値を十分に認めあい尊重するからです。

ロータリーは「単一なものの考え方」「こうでなければならぬといった一方的な価値観」を歓迎しません。むしろ「多種多様な考え方・多様性」を尊重します。それは広く「他の存在価値を認める」という事を根本概念としているからだと思えます。

ロータリーで大事なことがもう一つ、「分かち合う」という事です。[シェア・ザ・ロータリー]と言います。

「範囲を拡げる」「拡大する」ことよりも「分かち合う」ということではないでしょうか。

人類は、人と人との触れ合いを大切に、人間の知恵を分かち合うことにより、地球上に拡がり繁栄しました。

「知識」「学問」「技術」や「宗教」を分かち合い、「思想」「哲学」そして「科学」を分かち合い乍ら世界に拡がり発展してきました。

ロータリーは会員に何を「分かち与え」たでしょうか？ それは「機会（チャンス）」ではないでしょうか。

[ロータリーの綱領の第1項]には「奉仕の機会として知り合いを拡める事」とあります。ロータリーに入会しますと会員は多くの機会に恵まれます。クラブ例会をはじめとして、ロータリーの会合に参加する機会を得ることができます。

会合の中で多くの友人を獲得できます。そ

の他に「人間学」「世間学」「社会学」「交際学」「職業学」「経営学」や普通ではなかなか得られない「社会の情報」等、耳学問が多く経験できます。

ロータリーの会合では自分の周囲は良い人ばかり、周囲は全て貴方の人生の先生で貴方は生徒です。そして貴方は先生です。会員がお互いに先生で同時に生徒、横並び一線。会員同士に上も下もなし。皆が平等。老いも若きも、職業も地位もロータリーでは「皆同じ」なのです。楽しい筈です。別け隔てもなく、集まり易いからです。

ロータリーの会員は「皆同じ」で楽しいのです。オット待って下さい。違いが一つあります。ロータリーの会合の良さを知っているか、いないかです。

ロータリー会員は社会に存在価値がある人ばかりです。その人達が、人知れず、例会場に残している目に見えない宝物。ダイヤモンドの様に価値があるものに気づいている人は退会しません。退会するには勿体ないからです。事情により退会する方は仕方ありません。然し「ロータリーはつまらない」ということで退会する方は、例会の高い価値を自分で認めてない人です。「棚からボタ餅」でなく自分で努力する所に「ロータリーの良さ」があります。

ロータリーの会合では、互いに「ロータリー会員の存在価値」を認め合う事にしましょう。

これを「切磋琢磨の場」「自己研鑽の場」にしましょう。会員にとってロータリーは楽しい会合です。楽しみながら勉強する会合です。ロータリーを楽しくするのも、つまらなくするのも、それは貴方の考え方次第です。

日本ロータリーの創立者である米山梅吉氏は「人格涵養の道場」それがロータリーの会合だと言っています。

「他の存在価値を認めること」「多様性を尊重すること」「思いやり・寛容の精神」を大切にすること。「人と人との触れ合い」で自分自身を磨くこと。そこに「ロータリーの奉仕」があり、「SERVICE above Self」があります。私は、「超我の奉仕」というよりも、「自分自身を向上させる」ところに「奉仕がある」と言うロータリーの教えの方が理解しやすい気が致します。

## 国際ロータリー第2740地区

# ローターアクト 1泊研修会報告書

★12月3日～4日にかけてローターアクトの「第2回1泊研修会」を北エリアがホストとなり鹿島の地で行いました。3日の17時半点鐘～4日の14時半終了にかけてアクトとその他いろいろな勉強を行いました。

### 1泊研修会を終えて

**実行委員長 山口 薫君（佐世保東RAC）**

平成17年12月3～4日の2日間で、第2回1泊研修会を鹿島の鹿実会館で行いました。ローターアクトの会員に、アクトについての知識を深めてもらう為に、1日目の第1部はテーマに添って一人2分程度の『一人一言』を行い、その後全員で定款朗読を行いました。第2部では、食事やお酒を交えながらロータリーの先生方とローターアクトについて語り合いました。2日目は、クイズ形式で勉強し、その後3グループに分かれて『会員増強委員会』として会員増強についてディスカッションを行い、模擬例会の中で各グループ発表しました。今回の研修会で学んだことを、今後活かしていこうと思っています。参加されたロータリーの先生方やローターアクトの皆さん、本当にありがとうございました。

**北エリアリーダー 秋月 光輔君（鹿島RAC）**

今年の1泊研修会は「アクトの扉をあくつ！」をテーマに鹿島で行いました。『一人一言』はクラブの例会で行っているところもありますが、大勢の前で話す機会は会長にならないと無いと思い、その場でテーマ（15種類の内から1つをひく）を与えられて話す機会を設けました。すぐ話せる人や話せない人など様々でした。その後の『定款朗読』は、みんな定款を読んだことがないのではと思い設けました。やはり、半分以上が読んだことない人ばかりで、今回読んだことでアクトの目的・目標などが分かったと思います。

懇親会（20時～）の後半に設けた『私が思うアクトとは？』は、ロータリアンの先生方も交えて語る場を2時間予定していましたが、みんな白熱して24時過ぎまで語り合いました。

2日目は施設全体を使い、各部屋に「アクトの部屋」「ロータリーの部屋」などを回りながら部屋にちなんだクイズに答えて点数を競いました。その後、数グループに別れてのディスカッション「会員増強委員会」を行いました。いろんな会員増強の仕方があり今後の会員増強に繋げることが出来ればと思います。1泊2日と短い研修会でしたが、終わった後あと、参加者からは「大変勉強になり今後の活動に繋げたい」などの声を聞いた時は、とても嬉しかったです。前期から始まった研修会でまだまだ内容を改善するところもありますが、今後続けていきたいと思っています。参加してくださったロータリアンの先生方、アクトの皆さん本当に有難う御座いました。そしてお疲れ様でした。

★2日目のメインは数グループに分けて会員増強について話合いました。話合った結果は次頁の通りです。

## サンタチーム

現状

- ・アクトの行事が多いからみんな入って来ないのでは？
- ・アクトの活動が一般の人に周知できていない。
- ・アクトの活動が提唱RCに報告できていないので、法人の会員が入ってこない。
- ・例会に見学者が来たとき、例会でのコミュニケーションが少ない。



結果

- ・クラブの窓口である幹事が見学者と例会前にもっとコミュニケーションをとり、見学者の人柄を会員に連絡し、例会のメインテーマを見学者が興味をひくものに変更し、例会を見学者中心にすることでアクトのことをしてもらおう。
- ・入会しても行事に強制的に連れていかず、相手の興味を持っている行事に連れて行く。例えば、人脈を広げたいと思って入った人は、いろんな行事に連れて行き、純粋にボランティアが好きな人は早朝清掃やチャリティーバザーなどに連れて行く。

## トナカイチーム

見学者には2パターンがある。

- 1.現会員から誘われてくる。
- 2.雑誌やクラブホームページを見て連絡してくる。



1と2にはローターアクトに対する意識の違いがある

1はローターアクトがどんなところか分かっていない。2はボランティア等に興味があり、ローターアクトについて理解がある。

このように意識の違いがあるので最初の例会方法を変える必要がある。

1の場合にはローターアクトをしらないので、最初は楽しいイメージをつける。

(例) ボーリング例会・ピアガーデン例会などのイベントに呼ぶようにする。

\*イベントだからといって会員だけで親睦を深めないで見学者にも話しかけて楽しい雰囲気をつくりながらローターアクトについて少しずつ話していく。

2の場合にはローターアクトに興味があるので、通常例会でもOK!!ただし、例会の休憩中などには見学者とのコミュニケーションをとるようにする。その後は海岸清掃や早朝清掃などのボランティアに誘うようにする。

1や2の、どちらの場合も見学者がくる場合には男女の割合をできるだけそろえておく。どうしても自クラブで無理な場合はOBや他クラブへ応援を頼む。

OBにきてもらった場合のメリット

- ・見学者がアクトに興味がある場合に、今までの活動などを話してもらえる。
- ・クラブの悩みなどを聞いてもらい今後の活動の参考にできる。

他クラブにきてもらった場合のメリット

- ・自クラブの例会で他クラブとの親睦ができる。
- ・他クラブの活動などを聞いて自クラブの活動の参考にできる。



## 雪だるまチーム

会員増強への道 三ヶ条

- 一.会員一人一人の友達を紹介するべし
- 一.ロータリアンの先生にお願いするべし
- 一.情報誌などの広報活動を行うべし

見学者からアクターへの道 五ヶ条

- 一.見学者が初めて参加する時は移動例会

等で 歓迎するべし

- 二.参加者が少ない場合は他クラブからの応援をお願いするべし
- 三.見学者のタイプに合わせて対応するべし
- 四.見学者が帰ってもフォローを忘れずべからず
- 五.楽しい時間を一緒に過ごすべし

# 新入会員紹介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐賀西RC  
ながさわただのぶ  
長澤忠信君



佐賀北RC  
なかおよしひろ  
中尾嘉宏君



神埼RC  
いだしげき  
井田茂樹君



諫早RC  
たなかひであき  
田中秀明君



福江RC  
なかむらひろよし  
中村博義君



福江RC  
なかむらよしじ  
中村陽二君



長崎西RC  
しもむらたつや  
下村辰也君



長崎北RC  
あずまなおみ  
東直美君



長崎出島RC  
みやはらやすじろう  
宮原泰治郎君

## 【お知らせ】

島原ロータリークラブの森利一会長が一身上の都合により退会されました。  
新会長に渡部哲夫氏が就任されました。

(ガバナー月信委員会)



## 訃報

慎んでお別れいたします。

2005年11月2日逝去  
(享年76才)

故江口才二君  
(佐世保RC)



## 寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への  
寄付者をご紹介します。

種 類	氏 名	クラブ名
ベネファクター	二ノ宮 健	佐世保北RC
	宮 本 峻 光	諫早西RC
	蒔 本 恭	長崎南RC
P・H・F	相 浦 封 哉	多久RC
	可 児 健 治	多久RC
	宮 原 博 文	多久RC
	米 田 均	唐津中央RC
	高 崎 繁 行	唐津中央RC
	濱 崎 堯 行	松浦RC
	南 部 建	佐世保中央RC
	野 村 和 義	佐世保中央RC
	馬 場 貴 博	佐世保中央RC
	岩 崎 真佐士	諫早RC
	村 田 省 三	諫早RC
	日 高 正 朗	諫早西RC
	馬 渡 信 也	諫早西RC
	山 崎 大 介	諫早西RC
マルチプル・P・H・F	丸 山 忠 宏	多久RC
	森 信 興	長崎西RC
	梅 木 誠 一	長崎北RC
	福 島 建 一	長崎北RC
	上 田 惠 三	長崎北RC
	山 縣 義 道	佐世保RC
	松 尾 辰次郎	佐世保北RC

種 類	氏 名	クラブ名
	緒 方 信 行	佐世保北RC
	豊 島 揆 一	佐世保北RC
	会員全員100ドル	佐世保北RC
	伊 藤 正 春	佐世保東RC
	杉 原 宏 一	諫早北RC
	岩 永 信 昭	長崎北東RC
	亀 田 純 輔	長崎北東RC
	松 尾 京 子	HTB佐世保RC
	堤 和 之	佐賀大和RC
大口寄付	福 田 俊 郎	佐世保北RC
	福 田 金 治	佐世保RC
米山功労者	山 口 正 憲	伊万里西RC
	内 山 陽 一	伊万里西RC
	牛 島 義 亮	佐世保中央RC
	田 雑 豪 裕	佐世保中央RC
	岩 隈 弘	長崎南RC
	比 良 孝 蔵	大村北RC
	森 由 有	諫早西RC
米山功労者 (マルチプル)	永 尾 良 致	諫早RC
	馬 場 正 人	唐津西RC
	森 信 興	長崎西RC
	上 田 惠 三	長崎北RC
	北 川 正 吉	長崎RC
	松 本 英 介	佐世保RC
	梅 村 良 輔	佐世保RC
	福 田 金 治	佐世保RC
米山功労者 (メジャードナー)	福 田 金 治	佐世保RC
	築 城 士 郎	長崎北RC

## 地区だより

### 松浦RC

広報担当 山本 浩平

今回は、当クラブの各委員会で実施した活動を報告させていただきます。いつも、月信に掲載して頂く事で、各委員会活動がはりつきて頑張る様子が何え掲載して頂いている事に深く感謝いたしております。



11月18日、不老山総合公園に今回作った揃いのユニホームを着て、先にチューリップの球根を植える準備をしていた箇所に松浦幼稚園の園児たちにも参加してもらい、約100メートルの花壇に3000個の球根を植える事が出来た。

来春の「不老山花と光のフェスタ」で満開のツツジと一緒に色とりどりのチューリップを咲かせ、市内外からのお客を迎えようと計画した。

## ロータリー情報委員会 10/18



「家庭集会」を入会3年未満の会員を交え、テーマを「出席」と「服装」にしぼり討論した。

新世代委員会 10/19



11月19日（土）、志佐小学校グラウンドにおいて第3回松浦ロータリークラブ杯「市内小学生サッカー及びフットサル大会」が開催され、参加6チームが日ごろの練習の成果を競った。市内小学生の技術向上や親睦を目的に毎年実施し、開会式では当クラブ会長（岩藤一人）が「勝敗も大事だが、チームワークを大切にしたいプレーで頑張ってください」と挨拶した。選手たちはグラウンドを駆け回り、元気いっぱいプレー、グラウンドでは大きな拍手と声援がこだました。



職業奉仕委員会 10/21

10月の職業奉仕月間に地域で活躍の「おはなしたまげの会」のみなさんを例会場にお招きし、活動の一端を見せていただきその努力に感謝し表彰いたしました。

情報の波にまきこまれる子どもたち・ゲームに没頭している子どもたち・学校に行きたくない子どもたち…その子どもたちの心に少しでも働きかけよう。学校も地域も手をさしのべあい、手を取り合って子どもたちがこれから成長していく環境を少しでもよくしていこうと頑張っておられます。



## 地区だより

長崎南RC

幹事  
岩 隈 弘

### しだれ桜 植樹式

11月8日、女神大橋の戸町側広場に、しだれ桜を植樹する。

12月11日に開通する女神大橋の建設事務所の宮崎純夫所長ら関係者といっしょに植樹式を行う。今回の植樹は2005～2006年度ロータリー財団地区補助金を活用したもので長崎市民や観光客に憩いと安らぎを感じてもらい、あわせて長崎の新名所として女神大橋の人気を盛り上げようという社会奉仕事業の一環です。



### 国際青少年 交換委員会

## 地区委員会だより

国際青少年交換委員会地区委員 篠原 裕一（佐賀RC）

12月11日（日）午後2時から国際青少年交換委員会の今年最後の行事であるクリスマス会がJR佐賀駅近くの『おおしま』にて開催されました。当日は天候にも恵まれ、来日学生をはじめ派遣予定学生、ROTEX、ホストファミリー、クラブ関係者など60名を超える参加者がありとても賑やかなクリスマスパーティーとなりました。ROTEXのメンバーが中心となり会場はイルミネーションなどのデコレーションで飾り付けられ、ゲームやプレゼントの交換、来日学生と帰国学生による各国の国歌の斉唱、卒業証書の授与（キャサリン）などクリスマス会が楽しく進行していきました。藤井委員長も赤い帽子に赤いエプロン姿で学生たちと一緒にゲームに参加され、会も一層盛り上がりあつという間の3時間でした。最後に、他の留学生より一足先に帰国するオーストラリアからの留学生キャサリンから感謝の言葉を戴き、全員で手に手をつないでロータリーソングを合唱し閉会となりました。参加者にとって、楽しく思い出深い有意義なクリスマス会になったことをご報告いたします。



## 会員寄稿

## “改革”の年に思う

## 佛(ほとけ)をつくったら、魂をいれよう

唐津東RC 宮島傳二郎

明けましておめでとうございます。

カイカク、カイカク、郵政改革に明け暮れた2005年が暮れ、いよいよ改革はメジロ押し、政府金融機関、健保医療等々、本番を迎える。

はてな？“改革”の語義は、と屠蘇を汲みながら考え込む。

改は「あらためる。あらたまる」と解り易い。だが、革とは何だろう。本来、皮のはずだが…と調べると、「両手で獣の皮から毛を取り去るさま」と言う意味。これを、“なめし皮”の意に使い、さらに“改める”の意味に借用した。

革を“あらためる、あらたまる”の意味に使った熟語に、革命・改革・革新の熟語が浮かぶ。

まずは、“革命”が最も古いようだ。

古代中国では、王朝は天の命をうけてその位についているとの考えから、天子の命が代わったのだから王朝が代わるのだと信じられていた。中国の古典 易経 『革』の項に「殷の湯王、周の武王は、天の命が革まることによって王位に就いた」ので、人民も順った、と説明する。

革命といえばrevolution、フランス革命、ロシア革命と、政治体制が根本的に急激に変化する、イデオロギーそのものから変革するときのこと、クーデターの単なる政変と区別されている。

次いで、“改革”は、すっぱりとかえることの意味、広辞苑は、「改めかえること、改めかわること、目的は国家の基礎に動揺を及ぼさず、方法も暴力的でない変革。」と説く。

世界史の中で、ルネッサンスとともに近代精神の萌芽となった宗教改革——腐敗堕落したカトリック教会を否定し、聖書に戻ろうとしたルーテル、カルビン等の革新運動は、the Reformation 宗教改革と訳されている。

最後に“革新”とは、「古い風俗・習慣・組織・方法などを改めて新しくすること」。しかし、昨今は、ケインズを批判したシュンペーターが主張する、Innovationの訳語「技術革新」を意識して使われているようだ。

「資本主義経済の本質は、企業家の技術革新による動的な発展過程である…この技術革新は、新製品開発、新しい資源、販売の開拓、新しい組織形態といった広義の生産函数の変革を意味する」と資本主義経済の発展要素を広い意味からとらえる。

以上の、シュンペーターの解説は、今を時めく“竹中平蔵”が慶応義塾大学助教授のときの論文から引用させてもらった。

小泉内閣改革路線は、その底流にはシュンペーターが言う“創造的破壊”的発想が流れているのだろうか。2006年は、はたして日本の歴史上、画期的な年になりうるだろうか。

本年中には、改革の“形”は出来あがるだろう。要は、「佛(ほとけ)をつくったのだから、魂をいれる」ことが、われわれ国民に残された課題だろう。

【参考文献】角川漢和大辞典 / 岩波 広辞苑 / 現代経済学の巨人たち (日本経済新聞社 編)



## 国際ロータリー第2740地区 2007～2008年度 ロータリー財団国際親善奨学生募集要項

1. 留学先 : ロータリークラブの存在する国
2. 募集人員 : ①アカデミック・イヤー(1年)国際親善奨学生  
(単年度留学) 若干名  
奨学金額(1年間) 上限限度額 26.000 US\$以内  
②マルチ・イヤー(2年)国際親善奨学生  
(学位取得コース留学生) 若干名  
奨学金額(2年間)1年間につき一律 13.000 US\$
3. 留学期間 : 2007年7月から各々の留学期間 (主に北半球教育機関)  
2008年2月から各々の留学期間 (主に南半球教育機関)
4. 申請資格 : ●日本国籍を持ち、奨学金制度が始まるまでに、少なくとも2年間の大学課程を修了した者。  
●ロータリアン、又はその配偶者、尊属、直系卑属でないこと。  
●リーダーシップがあり、学業成績も優れ、健康で国際親善活動に熱心であること。  
●留学希望国の言語に精通している者。  
【英語圏ではTOEFL213点以上(CBT)その他の言語の場合はBERLITZの語学試験が全項目good以上を基準とする】  
●上記の一般的資格条件を持ち、更に下記の条件のいずれかに該当すること。  
① 申し込み地区の高等学校卒業者  
② 申し込み地区の大学、または、大学院に在学中の者  
③ 申し込み地区の研究機関に在籍中の者  
④ 申し込み地区に就業している者  
(但し、勤務先の雇主か上司の推薦状を添付すること)
5. 書類請求先 : 「2007～2008年度ロータリー財団国際親善奨学金申請書」は、必ずスポンサーロータリークラブを通して、下記のガバナー事務所へ請求して下さい。

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階  
RI第2740地区 ガバナー事務所 宛  
TEL(0955)75-1371 FAX(0955)75-1372  
[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp  
[URL] <http://www.d2740.jp/>

※ 送付先住所・氏名を明記し返信用切手200円を貼付した角2封筒を同封の上、請求して下さい。

6. 申請手続 : (1) 申請者のクラブへの申請書提出期限 … 2006年3月末日  
(クラブによって若干早くなる事が有ります。)
- ※申請者は、所定の「2007～08年度ロータリー財団国際親善奨学金申請書」の冊子を使用して必要事項を記入し、規定の同時提出書類を添付の上、スポンサーロータリークラブに提出して下さい。  
(冊子以外の用紙を使用しますと、番号漏れが生じる場合がありますので、ご注意、ご協力下さい。)
- ※申請者は、和文/英文の2通を作成し、2通とも提出して下さい。
- ※申請書はガバナー事務所にありますので、クラブは必要部数を請求して下さい。
- (2) クラブからガバナー事務所への申請書提出最終期限は、**2006年4月20日**です。  
提出申請書を受理したロータリークラブは、申請書記入項目確認の上、顧問ロータリアン1名を指名し、申請書のクラブ会長・顧問ロータリアンの署名欄に署名して、地区ガバナー事務所へ提出して下さい。  
注意事項として、クラブ会長・顧問ロータリアンの署名の記入がないときは、書類審査の対象外となります。
- (3) 全頁の記入・署名欄は、全て線上に記入してください。
7. 選考方法 : ①書類審査、選考試験  
会場・日時は後日申請者に通知します。
- ②選考結果の通知  
2006年6月下旬、スポンサークラブ及び本人宛に、合否の結果を通知します。
- ③最終選考  
2006年12月頃、ロータリー財団本部より本人宛に受入教育機関の指定があります。

※ 尚 詳細はガバナー事務所、または、財団奨学委員にお問合せ下さい。

以 上

### 【お詫び】

先月のガバナー月信(Vol.6)の13ページのタイトル文字で国際親善奨学生研修報告が国際青少年交換委員会となっておりますが財団奨学・学友委員の間違いでしたので、訂正を報告し、お詫び申し上げます。

(ガバナー月信委員会)

**2005年11月会員数・出席報告**

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀		83.4	80	0	78	0	-2
	小城	4	91.7	34	1	33	1	-1
	牛津	4	88.3	31	0	32	0	1
	多久	3	89.0	42	5	43	5	1
	佐賀大和	4	82.0	25	3	25	4	0
	小計		86.9	212	9	211	10	-1
第2グループ	佐賀西	4	84.9	56	0	56	0	0
	佐賀北	3	73.7	41	3	43	3	2
	佐賀南	4	76.3	41	0	40	0	-1
	神埼	4	81.3	28	0	29	0	1
	佐賀空港	5	62.0	20	0	19	0	-1
	小計		75.6	186	3	187	3	1
第3グループ	有田	5	78.1	33	1	36	2	3
	武雄	4	88.8	57	0	56	0	-1
	鹿島	5	87.2	41	2	44	2	3
	嬉野	4	80.3	23	1	24	1	1
	大町	3	76.6	24	0	22	0	-2
	白石	4	77.9	17	0	17	0	0
	太良	3	63.0	9	0	10	1	1
小計		78.9	204	4	209	6	5	
第4グループ	唐津	4	89.5	51	0	54	0	3
	伊万里	4	97.6	40	0	41	0	1
	唐津東	3	95.8	50	0	52	0	2
	唐津西	3	83.8	39	0	41	0	2
	伊万里西	3	86.5	47	0	50	0	3
	唐津中央	3	97.6	41	4	43	5	2
	小計		91.8	268	4	281	5	13
第5グループ	佐世保	4	100.0	84	0	88	0	4
	平戸	3	88.9	41	0	45	0	4
	佐世保西	4	95.4	33	0	31	0	-2
	北松浦	5	88.0	25	0	24	0	-1
	松浦	4	91.7	37	1	37	1	0
	生月	4	69.4	19	2	18	2	-1
	小計		88.9	239	3	243	3	4

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	3	100.0	81	0	81	0	0
	佐世保東	3	85.4	31	0	33	0	2
	佐世保北	4	98.2	48	0	48	0	0
	佐世保中央	3	100.0	46	0	46	0	0
	佐世保東南	4	78.6	23	0	22	0	-1
	HTB佐世保	5	68.5	28	3	28	3	0
	小計		88.4	257	3	258	3	1
第7グループ	大村	5	84.0	52	2	52	2	0
	島原	5	80.0	37	3	36	3	-1
	雲仙	4	85.6	34	0	33	0	-1
	大村北	4	100.0	33	0	32	0	-1
	島原南	4	72.6	21	1	22	2	1
	大村東	4	74.4	44	1	44	1	0
	小計		82.8	221	7	219	8	-2
第8グループ	諫早	4	96.0	64	0	64	0	0
	諫早北	3	84.5	63	0	64	0	1
	諫早西	4	88.3	46	0	46	0	0
	諫早多良見	5	80.0	40	0	39	0	-1
	諫早南	4	78.0	32	3	33	4	1
	小計		85.4	245	3	248	4	1
	第9グループ	長崎	3	88.6	99	0	102	0
福江		4	92.8	40	0	42	0	2
長崎北東		4	86.1	58	5	60	5	2
福江中央		5	91.3	65	0	39	0	2
長崎西		4	86.4	65	0	67	0	2
長崎琴海		3	81.8	20	2	20	2	0
小計			87.8	319	7	330	7	11
第10グループ	長崎北	4	75.0	74	0	74	0	0
	長崎南	4	82.8	84	0	82	0	-2
	長崎東	3	98.6	72	0	72	0	0
	東長崎	5	80.6	36	0	36	0	0
	長崎中央	4	91.7	59	0	60	0	1
	長崎出島	4	81.7	55	15	60	15	5
	小計		85.1	380	15	384	15	4
合計		85.1	2531	58	2568	64	37	

# 文庫通信 (219号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 地区大会講演から

- ◎「ロータリーの職業奉仕」 川尻政輝 2004 8p (D.2500)
- ◎「養老先生による『ぼけのおはなし』人の心と体にあたる脳の役割」  
養老孟司 2005 18p (D.2780)
- ◎「二本の手」 下田孝信 2004 12p (D.2840)
- ◎「如何に育てん我らの新世代 子どもの心が観えますか」 藤川享胤  
2005 12p (D.2570)
- ◎「激動の2005年 日本の情勢を展望する」 福岡政行 2005 7p (D.2570)
- ◎「生き方雑帖」 山本一力 2005 18p (D.2610)
- ◎「多くの人たちとの出会いの中で」 松島トモ子 2005 9p (D.2590)
- ◎「地域崩壊のバイタルサイン」 塚島庄治 2005 11P (D.2600)
- ◎「大転換期に直面した世界と日本」 中曾根康弘 2005 9P (D.2660)

[ 上記申込先:ロータリー文庫(コピー) ]

### \* ロータリー文庫 \*

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



武雄神社の大古楠 画:松尾武彦(唐津RC会員)

#### 【編集後記】

明けましておめでとうございます。  
月信編集の仕事をはじめて、6ヶ月を過ぎてしまいました。  
いまだに、よく出来ず右往左往しております。  
みなさんに読んでいただける様には、どうしたらよいか、  
常に考えておりますものの、いまだ充分ではありません。今後  
もよろしく願い申し上げます。

(月信・松尾委員長)

#### 表紙の写真の説明 雪の唐津城

冬晴れに雪をかぶった唐津城。長いカメラマン生活で初めて出逢った光景だった。一期一会の幸運に感謝したい。

[撮影場所] 唐津市 栄町

[撮影者] 唐津在住 宮崎 宏



国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所

2005～2006年度 ガバナー 本城 好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL(0955)75-1371 FAX(0955)75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



**SERVICE Above Self 超我の奉仕**

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



2005.2.1 **VOL.8**

## ●CONTENTS

本城ガバナーのメッセージ……1	『ロータリーの友』表紙の写真募集……9
清水寺貫主の「愛」の揮毫色紙…2	地区だより……10
会員寄稿 宮崎浩司 ……3	寄付者紹介・お知らせ ……11
国際親善奨学生からのメール……4	新入会員紹介・訃報 ……12
9・10グループ IMのお知らせ …6	12月会員数・出席報告 ……13
会員寄稿 宮島傳二郎 ……7	文庫通信 ……14
RI世界大会へのお誘い ……8	

## 本城ガバナーのメッセージ

第2740地区ガバナー 本城 好春



「冬来たりなば 春遠からじ」日本全土を寒気がすっぱり覆いかぶさり、あちこちで豪雪被害が出て居ります。今年も災害の多い年になりそうです。

さて、私も折り返し点になり、皆様のお蔭で何とか大役を務め、あとはIMと周年行事、米山・財団奨学生等の選考試験が残って居りますが、既にエレクトの田口厚先生(長崎RC)が国際協議会(GETS)の為、サンディエゴへ出発される準備をして居られます。

GETSが終れば、国際ロータリー(RI)の正式役員ガバナーの資格を得て帰国されます。

私は半分責任がのがれたような気持です。ガバナー職は、エレクト後期とガバナー前期の時に、大半の主な行事が集中して、過密なスケジュールに追われます。田口厚エレクトの御健康を心から心配して居ります。

唯、今年は5月12日(金)、13日(土)に第12回全国ロータリー青少年交換研究会(通称長崎会議)が佐世保ハウステンボスで開催され、全国から300名余の関係各位が集まれ、今後の問題について討議をされます。来年は四国第2670地区の予定です。

数年前から青少年のセクシャル・ハラスメントの問題が取り上げられて、問題になって居ります。ロータリー会員の資質を問われる時代です。

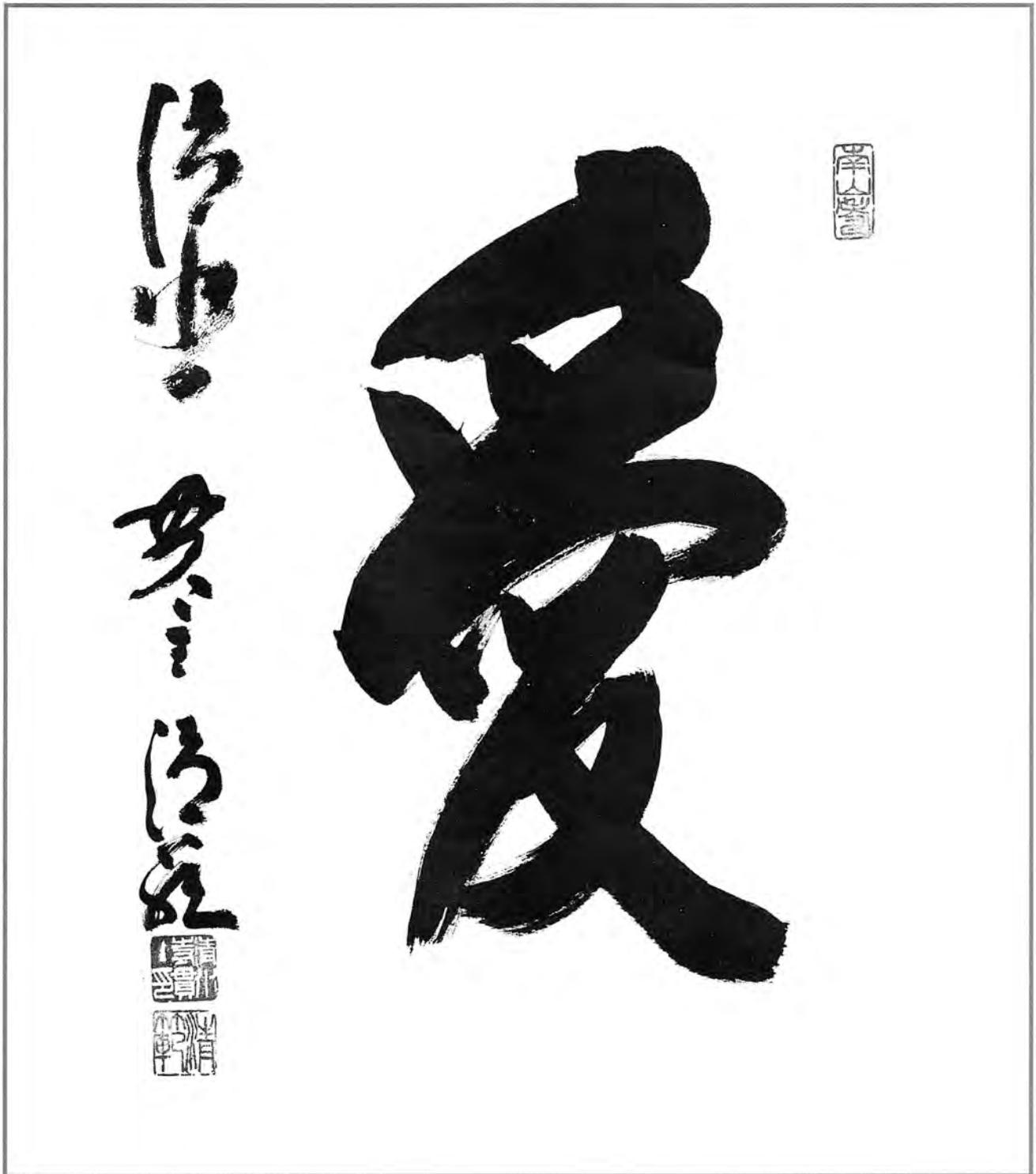
世界で初めての女性国連難民高等弁務官の緒方貞子さんは、日本初めてのロータリー財団奨学生です。ロータリー財団奨学生を「留

学生」と呼ぶのに対して、ロータリー青少年交換プログラムに参加する学生は決して「留学生」とはいわず、「交換学生」或いは「Inbound」「Outbound」といいます。これは「子供の預けあい」による「子供育てのプログラム」を意味します。私達ロータリアンの子供たちを私達ロータリアンが力をあわせて育てる、これがロータリー青少年交換の「本来の意味」です。高校生達が異文化に触れながら、外国語を学べる交換留学は、長い実績と伝統を誇っています。米国には過去10年間で25万人以上の交換学生が訪れていますが、10代の若者達がホストファミリー先で、セクシャル・ハラスメント問題を起すケースが近年目立って来たと米国国務省が警告しています。

ロータリーの青少年交換学生、彼等は私達の子供です。例え彼等が色々の問題を起しても、すぐに切り捨てないで、彼等の両親の如く、私達は愛情を込めて、彼等を育てていく気持が大切です。これが「子育てプログラム」としてのロータリー青少年交換プログラムの「本来の姿」と思います。彼等はきっと将来、受入国、派遣国をつなぐ国際親善大使(Goodwill Ambassador)となって世界の平和に貢献する大人に成長するでしょう。

日本でも我が子の教育には大変苦勞します。ましてや外国の他人の子供を預かって育てる事は更に大変です。

どうかService Above Self(超我の奉仕)の実体験と思って努力してみてください。



同期のガバナー第2650地区 大久保 昇様から平成17年の「今年の漢字」『愛』を清水寺・森清範貫主の揮毫で色紙を頂きました。

森貫主の「相手の喜び、悲しみが伝わってくるのが『愛』 観音の慈悲にも通じる」の言葉は、何かロータリーの理念「Service Above Self」（超我の奉仕）に通じる思いがします。

第2740地区ガバナー 本城好春

## 「平成十八年丙戌歳の新春を迎えて」

唐津中央RC 宮崎浩司



「十二支の内十一番目の戌歳を迎えました。

「戌」の字は一に戈を加えたもので、刃物で作物を刈り取ってひとまとめに束ね収穫するという意味。

財運伸長につながる縁起の良い年回りであります。

十二支は天文上の十二宮にそれぞれ動物を充てたもので、「戌」は「犬」になぞらえます。

昔話の「花咲爺」に登場する犬が次々に金運をもたらすのも戌の字義に由るものであります。犬は又、悪玉退治に大活躍したり、産が軽く多産であることから、魔除けや安産の縁起物としても親しまれています。中でも東京浅草の「朶かぶり犬」は張り子の犬に竹製のかごをかぶせたもので“たけかんむり”に“犬”と書くと「笑」の異字体になるところから子供の宮参りの贈物とする習わしがあります。

さて、犬はこのように古より人類に最も長く付き合っている動物であります。その走力・嗅覚はことのほか優れ、猟犬や番犬として頼り甲斐のある良き伴侶でもあります。そして何よりも従順・果敢さは人の心をとらえてはなさぬ存在であります。犬が残した武勇伝は枚挙に暇がありません。

この「犬柄」に習いこの一年を一心不乱に過ごそうではありませんか。

## 国際親善奨学生 からのメール

----- Original Message -----

発信者: TomokoKonishi <mailto:tomokoniko25@yahoo.co.jp>

宛 先: 国際RC2740地区ガバナー 本城好春様  
財団奨学学友委員; 田中克憲様, 横尾和正様  
長崎南RC; 本田圭助様, 藤原久郎様,  
野村登美子様へ

発信日時: 2006年1月13日 2:14

件 名: オランダより小西友子



受け入れの顧問ローアリアン・サママ氏と

ご無沙汰しております。  
国際親善奨学生の小西友子です。

しばらくインターネット環境の不都合などがあり、ハガキでのご報告等に留まっており、また新年のご挨拶も遅れ、みなさまにご心配をおかけしたかと思えます。申し訳ありません。

オランダで私は、今奮闘しております。始めの2週間は、住居が決まらず、オランダの受け入れの顧問ロータリアンの方のお宅にホームステイさせてもらい、また新住居に移り1ヶ月程は、知らない人とトイレやバスなどを共同するオランダシステムの住まいに慣れず、昨年はいろいろなストレスもありましたが、だいぶ慣れ勉強に専念することが出来るようになってきました。幸い、顧問ロータリアンのご家族が温かい方で、オランダの家族だと思ってくれ、とおっしゃっていただき、私の心のオアシスとして支えていただいております。勉学においては、ライデン大学の大学院のクラスメイトや教授がとてもよい人が多く、勉学に関しては、ハイレベルさを痛感しつつも手ごたえあるカリキュラムに必死についていっています。1月は試験期間で、来週から試験が6つもあり、今頭を抱えている状態です。

ロータリー活動についてご報告させていただきますと、昨年12月に第1回会合がありました。また、日本とオランダでのロータリークラブの活動内容が少し違うようですのでお伝えします。

◆国際親善奨学生は、まず、立派な大人なのだから自分の勉学を第一に勉強なさい！ということでした。そして、困ったときには手助けするのがロータリークラブの顧問だという認識のようでした。なぜなら、ここでは、異文化の交流などは、中学生や高校生に重きを置いているようです。ですので、大学院生には大学での科学的なプロジェクトに参加したり、自分で交流の場をロータリークラブ以外で場所を見つけて来て行ってくれといわれました。つまり、ロータリークラブ内の皆さんはすでに、各国の情報を知っているので、今更日本のことやアメリカのことを話されて

## SERVICE Above Self 超我の奉仕

も興味がなく、それよりロータリークラブ以外で国際ロータリー財団の奨学生として話をしたり、自分の学問の分野で活躍することで、オランダ全体に貢献してください。ということをおっしゃられました。なるほど、オランダは小さい国で、何世紀も前から貿易で成り立っている国なので、国際貢献はもっとレベルの高い学問分野でおこなったり、より一般の方に日本のことを伝えることの方が、大事なのだと、納得させられました。



第1回国際親善奨学生のミーティングの様子

日々、失敗ばかりですが、少しずつ自分のペースを作っていければと思っております。まずは健康第一で、本年しっかり精進したいと思います。

日本もまだまだ寒い日々が続くようですが、お体を大切にお過ごしください。

そして、本年度の国際親善奨学生の今後の活躍を心よりお祈りしております。何か私にできることがあれば、学友として意見交換できると思いますので、ご連絡くだされば幸いです。



ご挨拶と報告まで。メールで失礼致します。

オランダ時間；2006年1月12日午後6時15分、  
自宅より 小西友子

Best wishes for a happy and healthy 2006



The Samama Family and Tomoko Konishi

オランダの顧問ロータリアンのサママ様のご家族が、12月25日のクリスマスに夕食に招待して下さったときの一枚

2005～2006年度 RI2740地区 第9・10グループ

IMの  
お知らせ

インターシティ ミーティング

テーマ あなたがロータリー  
日 時 2006年2月18日 (土) 14:00～  
場 所 長崎全日空ホテルグラバーヒル

●13:00～14:00 登録受付

●14:00～14:40 開会式典 グラバーホール

進行・開会		
点 鐘	ホストクラブ会長	服部 一弘
国歌斉唱	ソングリーダー	
ロータリーソング斉唱	ソングリーダー	
歓迎の言葉	ホストクラブ会長	服部 一弘
来賓地区役員紹介	コ・ホストクラブ会長	渡辺 力
出席クラブ紹介	第9グループガバナー補佐	渡邊 修志
	第10グループガバナー補佐	西岡 英一
ガバナー挨拶	第2740地区ガバナー	本城 好春
ガバナー補佐挨拶	第9グループガバナー補佐	渡邊 修志

●14:40～15:40 基調講演 グラバーホール

進行・講師紹介		
講 演	演題(案)「外から見たロータリー(地域が求める奉仕活動とは)」	
	講師 長崎総合科学大学教授 プライアン・パークガフニ氏	
質 疑 応 答		
閉 会		
点 鐘	コ・ホストクラブ会長	渡辺 力

●16:00～17:20 分科会 ホテル内中小宴会場

- 財 政 分 科 会
- 拡 大 分 科 会
- 親 睦 分 科 会
- 社 会 奉 仕 分 科 会
- 新 世 代 奉 仕 分 科 会
- 国 際 交 流 分 科 会

美しい日本語…きさらぎ、如月

唐津東RC 宮島傳二郎

きさらぎ(会)

わが社の女性職員に尋ねる。

「そろそろ2月だね。『きさらぎ会』は開いてるの？」

「ハイ、おかげさまで楽しみにしています。」と、さわやかな答えが返ってきた。

「きさらぎ会」は、もう50年以上は続いているだろう。本社の女性職員の懇親会である。勿論、参加したことはないが、微笑ましい雰囲気のようなのだ。

「きさらぎ」、快く響き、美しい言葉である。さて、その「きさらぎ」とは。

語源として、よく云われるのは、2月はまだ余寒きびしいから衣を重ねる。だから衣更着という。もっともらしい解釈だが、陰暦の2月は、今では3月だから季節感としては少しずれている。どうもこの説には<sup>うなず</sup>肯けずにいた。

それよりも、そろそろ暖かくなる。草木が更生するという意味の生更ぎ、陽気がさらに加わるから氣更来、等の説が正しいようだ。これなら若い女性のグループ名に相応しい。

如 月

「きさらぎ」は漢字では、如月。

数冊の辞書を渉猟したところ、中国の古代の辞書、爾雅（じが）に「二月爲如」、二月ヲ如ト爲ス、とある。この辞書は、周公（紀元前約900年）の作とも云われているから、3千年前から中国では2月を如月と称していたことになる。清の時代の郝懿行の義疏（注釈）によれば、

「如者 隨從之義、萬物相隨而出、如如然也」如は、従うという意味、萬物が（自然、草木）次々に隨（從）って動き「出」す。その動き出す状態と解されている。

中国の如月、日本のきさらぎは、ともに春に向って蠢動する月なのである。

願はくは…

願はくは 花の下にて 春死なん そのきさらぎの 望月の頃 西行法師

花をこよなく愛した西行、花にまつわる数多くの中の有名な一首。あくまでも花を愛し、佛に仕える僧としての道を追求する。西行は、その願い通り、文治6年（1189）2月の、望月（満月）の翌日、旧暦2月16日、まさに花盛りの頃、73歳の生涯を閉じる。陰暦、2月の望（もち）月の日、15日は釈迦入滅（涅槃）の日、お寺では涅槃会が営まれる。その翌日、西行は、自ら詠みあげた通りの一生を終える。合掌

仏には桜の花をたてまつれ わが後の世を人とぶらはば 西行法師

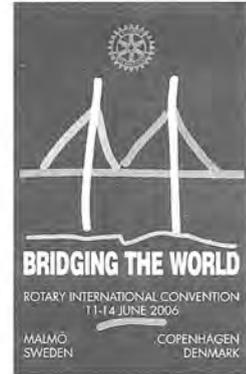
そして、如月から<sup>やよい</sup>弥生（<sup>きくさいやおいづき</sup>木草弥生月）へ、木草生い茂り花が咲く。

# あなたもRI世界大会へ参加されませんか

2006年6月11～14日（マルメ／コペンハーゲン）

## ようこそ

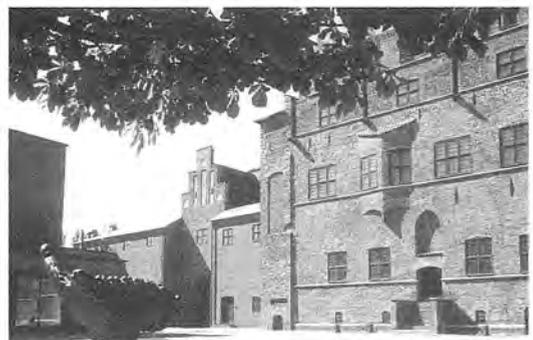
ロータリーの使命である平和と国際理解の推進は各地で人々を結び付けています。マルメとコペンハーゲンでは、橋が両都市を結んでいるように、協力と団結の精神が二つの都市を結び付けています。2006年RI国際大会は北欧地域で開催される初めての大会であるだけでなく、二つの国が同時に開催国としてロータリアンを迎え入れるこれまでにない機会となります。両国は人々の暖かい笑顔と息を呑むような美しい景観で訪れる人々を魅了することでしょう。第97回RI国際大会は、ロータリアンたちがそれぞれに友好と奉仕の橋を築き、新しい意見や発想を持ち帰る絶好の機会を与えてくれます。



2005～2006年第97回RI国際大会は「世界に橋をかける」  
“2つの国が、1つの目標に向かって、そして奉仕の新しい1世紀がやってくる。”

以上のスローガンのもと、北欧スウェーデン第3の都市マルメとデンマークの首都コペンハーゲンの2都市で開催されます。この2つの都市はオスアン橋で結ばれた、隣り合った都市で「オスアン地域」として知られています。北欧の輝くばかりの水辺や湖、よく手入れされた公園や

庭園、木々が深く茂る森、エメラルドグリーン  
のゴルフ・コースまたおとぎ話の庭として世界  
に知られる「チボリ・ガーデン」古城や博物館・  
地元の豊かな自然と食材を使った郷土料理、特  
に「バイキング料理」等の伝統的料理、さら  
には革新的な料理もお楽しみいただけます。  
是非あなたもRI国際大会にお出かけになりませ  
んか？ 詳しくはガバナー事務所へお尋ね下さい。  
パンフレットをお送りいたします。



## 2006-07年度『ロータリーの友』 ◆ 表紙の写真募集 ◆

新年度『ロータリーの友』表紙の写真を、ロータリアンの皆さまから募集いたします。応募いただいた作品を審査の上、掲載写真を決めさせていただきます。下記の要領にて、写真をお送りください。たくさんのご応募をお待ちいたしております。

### 記

1. テーマ 風景、花、祭り、その他、自由
2. 締切日 2006年4月30日
3. 点数 1人3点まで
4. サイズ 紙焼き四つ切（またはそれに近いサイズ）
5. 添付資料 名前、所属クラブ、連絡先住所・電話番号・ファックス、撮影データ(カメラ名、使用レンズ〔ミリ〕、露出、シャッター速度、撮影場所)
6. 送付先 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階  
ロータリーの友事務所
7. 発表 『友』誌8月号ならびに『友』ホームページ(6月下旬予定)に入選者名のみ発表します。
8. 審査員 岡井耀毅氏(元『アサヒカメラ』編集長・現『友』表紙解説者)  
ロータリーの友常任委員ほか
9. その他
  - ・掲載時には、表紙のサイズに合わせトリミングをする場合があります。
  - ・写真の上にタイトルその他の文字がかかる場合があります。
  - ・採用決定作品は、掲載時に、ネガフィルム、ポジフィルム、また、デジタルカメラの場合はデータが必要になります。
  - ・掲載に際して賞金ならびに掲載料等の支払いはいたしません。
  - ・入選作品の著作権は撮影者に帰属します。「ロータリーの友」は印刷物(『ロータリーの友』、『友』英語版、その他)ならびにウェブサイトへの掲載、展示などの使用权を保有します。
  - ・応募作品の返却はいたしません。

以上





## 地区だより

松浦RC

広報担当  
山本 浩平



### 第7回 クリスマス家族会



順位はともかく各委員会練習する時間が  
素晴らしい親睦となり、また久しぶりに  
腹をかかえて笑いました。

平成17年12月15日（木）午後6時30分より、松浦シティホテルにおいてクリスマス家族会が行われ、会員・家族合わせて60名参加いたしました。特に今回は親睦委員会より委員会対抗芸能合戦を行うことで各委員会趣向をこらし練習までして臨む委員会までありました。

その結果、大変楽しい素晴らしいクリスマス会となりました。審査員は奥様方全員にさせていただき順位は下記の通りです。

- 1位** 新世代チーム (人間ふで)
- 2位** 親睦チーム (恋のマイアヒでパラパラの踊り)
- 3位** 国際チーム (マジックショー)
- 4位** 社会チーム (カメハメハ大王の踊り)
- 5位** 職業チーム (寸劇 産婦人科の職場訪問)
- 6位** 会長チーム (恋の季節の曲でゼスチャー)



新世代チーム (人間ふで)



職業チーム (寸劇 産婦人科の職場訪問)



会長チーム (恋の季節の曲でゼスチャー)

## 寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種類	氏名	クラブ名
P・H・F	渡辺 力	長崎琴海RC
マルチプル・P・H・F	圓田 治	佐世保南RC
	岡崎 公一	佐世保南RC
	藤本 茂樹	長崎北RC
	松山 要	長崎北RC
米山功労者	岡崎 公一	佐世保南RC
	栗原 賢太郎	長崎東RC
	木村 輝夫	長崎東RC
	藤瀬 直男	長崎東RC
	有田 信一	長崎中央RC
	原田 尚紀	長崎中央RC
	阿部 芳男	長崎北RC
米山功労者（マルチプル）	圓田 治	佐世保南RC
	柿川 純正	長崎東RC
	井手 孝邦	佐世保RC
米山功労者（メジャードナー）	江頭 泰幸	佐賀北RC

### 【お知らせ】 事務所変更

●嬉野RC

〒843-0301 嬉野市嬉野町大字下宿乙2204-49 JRバスセンター内

●佐世保東南RC

〒859-3728 長崎県東彼杵郡波佐見町村木郷2207-23 TEL&FAX 0956-27-6912

●長崎琴海RC

〒851-3101 長崎市西海町1723-1

例会場[パサージュ琴海]〒851-3211 長崎市琴海戸根原町字割尾171

## 新入会員紹介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



唐津東RC  
つる たけんじ  
鶴田憲治君



長崎北東RC  
いり えしげ かつ  
入江繁司君



長崎西RC  
てら さか ちと ゆき  
寺坂基幸君



長崎琴海RC  
お ざき かおる  
尾崎薫君



長崎琴海RC  
す どう ひで あき  
須藤英明君



長崎琴海RC  
たけ だ ゆき  
竹田由紀君



東長崎RC  
え ぎ ひろし  
江崎廣君



## 訃報

慎んでお別れいたします。

2005年12月17日逝去  
(享年45才)

故 吉川宗文君  
(大村北RC)



## 2005年12月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				増減
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	
第1グループ	佐賀	4	81.6	80	0	75	0	-5
	小城	2	86.4	34	1	33	1	-1
	牛津	3	89.6	31	0	32	0	1
	多久	4	87.0	42	5	43	5	1
	佐賀大和	3	82.7	25	3	24	4	-1
	小計		85.5	212	9	207	10	-5
第2グループ	佐賀西	4	75.5	56	0	56	0	0
	佐賀北	3	81.8	41	3	43	3	2
	佐賀南	4	78.8	41	0	40	0	-1
	神埼	4	83.9	28	0	29	0	1
	佐賀空港	4	70.6	20	0	19	0	-1
	小計		78.1	186	3	187	3	1
第3グループ	有田	3	86.3	33	1	36	2	3
	武雄	4	84.8	57	0	56	0	-1
	鹿島	3	85.8	41	2	44	2	3
	嬉野	3	94.4	23	1	24	1	1
	大町	4	74.5	24	0	22	0	-2
	白石	3	78.4	17	0	17	0	0
	太良	4	77.8	9	0	10	1	1
小計		83.1	204	4	209	6	5	
第4グループ	唐津	4	91.0	51	0	54	0	3
	伊万里	3	98.4	40	0	40	0	0
	唐津東	4	95.7	50	0	52	0	2
	唐津西	4	84.2	39	0	40	0	1
	伊万里西	4	82.7	47	0	50	0	3
	唐津中央	3	100.0	41	4	43	5	2
	小計		92.0	268	4	279	5	11
第5グループ	佐世保	3	100.0	84	0	88	0	4
	平戸	3	82.2	41	0	44	0	3
	佐世保西	3	98.8	33	0	31	0	-2
	北松浦	3	86.7	25	0	24	0	-1
	松浦	3	87.0	37	1	37	1	0
	生月	3	72.5	19	2	16	2	-3
	小計		87.9	239	3	240	3	1

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				増減
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	
第6グループ	佐世保南	3	100.0	81	0	79	0	-2
	佐世保東	4	80.5	31	0	32	0	1
	佐世保北	4	98.8	48	0	48	0	0
	佐世保中央	4	100.0	46	0	44	0	-2
	佐世保東南	3	75.8	23	0	22	0	-1
	HTB佐世保	3	61.5	28	3	27	3	-1
	小計		86.1	257	3	252	3	-5
第7グループ	大村	4	83.0	52	2	51	2	-1
	島原	4	83.0	37	3	35	3	-2
	雲仙	4	92.3	34	0	32	0	-2
	大村北	4	100.0	33	0	31	0	-2
	島原南	3	82.3	21	1	22	2	1
	大村東	4	79.5	44	1	44	1	0
	小計		86.7	221	7	215	8	-6
第8グループ	諫早	3	90.0	64	0	63	0	-1
	諫早北	4	89.1	63	0	64	0	1
	諫早西	3	89.1	46	0	46	0	0
	諫早多良見	3	78.1	40	0	39	0	-1
	諫早南	3	82.8	32	3	33	4	1
	小計		85.8	245	3	245	4	0
第9グループ	長崎	4	76.6	99	0	101	0	2
	福江	3	88.9	40	0	42	0	2
	長崎北東	3	85.9	58	5	59	5	1
	福江中央	3	92.3	37	0	39	0	2
	長崎西	3	80.4	65	0	68	0	3
	長崎琴海	4	77.3	20	2	23	3	3
	小計		83.6	319	7	332	8	13
第10グループ	長崎北	4	73.2	74	0	74	0	0
	長崎南	3	82.3	84	0	82	0	-2
	長崎東	3	98.6	72	0	69	0	-3
	東長崎	3	80.6	36	0	37	0	1
	長崎中央	4	93.1	59	0	59	0	0
	長崎出島	3	85.3	55	15	59	15	4
	小計		85.5	380	15	380	15	0
合計		85.4	2531	58	2546	65	15	

# 文庫通信 (220号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 興味深いシンポジウムから

- ◎「今ロータリーに求められる国際貢献」 五月女光弘 2005 8p  
(D.2600 地区大会)
- ◎「ロータリーの理念を再認識しよう」 深川純一 他 2005 19p  
(D.2780 地区大会)
- ◎「ロータリーの本質に目を向けよう」 廣畑富雄 他 2004 8p  
(D.2700 地区大会)
- ◎「ロータリーの魅力と仲間づくりそして未来へ」 大川恒久・蝦名三保子 他  
2005 14p (D.2590 地区大会)
- ◎「どないすんねんロータリー」 安平和彦 他 2005 18p (D.2680 地区大会)
- ◎「つなぎ・育てたい・身近な文化」 夏原晃子 他 2005 10p  
(「未来を拓く高校生会議」記録誌) [上記申込先:ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「安全・安心・まちづくり 講演とパネルディスカッション記録誌」  
小田啓二 他 八戸南R.C. 2005 35p [申込先:ロータリー文庫]
- ◎「RYLAからロータリアンが得るもの」 2005 24P  
(「全日本RYLA大会及びRYLAワークショップ報告書」)  
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

### \* ロータリー文庫 \*

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日



牛尾梅林よりバゴタを望む 画:松尾武彦(唐津RC会員)

#### 【編集後記】

昨年の秋、まだ穏やかな西陽が射す頃、庭の片隅にチューリップの球根をたくさん植えた。ことのほか厳しい寒さだった昨年の暮れ、時々、目をやっていたのだが、今朝、土を割って緑色の芽が出ていた。もうすぐ春だ。自然の約束事は素晴らしい。年々歳々、自然は忠実に約束事を果たす。今年は、きっちり約束を果たす1年にしたい。

(月信・宮島省吾委員)

#### 表紙の写真の説明 水仙

今年は早く咲きはじめた。海を背景にして、水仙が美しく見えるように、カメラポジションを低くして写した。

【撮影場所】玄海町 仮屋

【撮影者】唐津在住 宮崎 宏



国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所

2005～2006年度 ガバナー 本城 好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL (0955) 75-1371 FAX (0955) 75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



## SERVICE Above Self 超我の奉仕

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740  
国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



2006.3.1 VOL.9

### ●CONTENTS

本城ガバナーのメッセージ……………1	地区だより……………19
「ロータリーの友」アンケート結果……………2	会員寄稿 宮島傳二郎……………20
IMのお知らせ……………15	1月会員数・出席報告……………21
新入会員紹介・訃報……………17	文庫通信……………22
寄付者紹介……………18	

## 本城ガバナーのメッセージ

第2740地区ガバナー 本城 好春



愈々3月、春寒稍緩み、活動のきざしが見えて来ました。

田口厚G・Eがアメリカ、サンディエゴから最新のR I国際ロータリーの情報を持って帰国されます。早速、地区チーム研修セミナー、PETS、地区協議会と立て続けに地区行事が立て込みます。

私の方もIM、周年行事、米山・財団学友達の歓迎壮行会、RYLA等の残り後半の行事が立て込んで居ります。

先月、米山記念奨学生の選考会が長崎で行われましたが、今年は60名の応募者がいて、中国が過半数を占めていました。皆さん大学院修士、博士課程に行かれる方々で、学業成績も論文も素晴らしく、面接でも綺麗な日本語で、しっかりした目標理念を述べられるのに感心しました。恐らく帰国したら、母国の指導的立場になられるだろうと思います。

それに比べて、今の日本の若者達は目標理念がなく、フリーター、ニート等と呼ばれ、その日その日暮らしの若者が多く、将来の日本が心配です。

本年度、米山学友出身で、史上2人目、台湾では初めてのガバナーとして「ロータリーの友」で取り上げられた許國友氏は、日本徳島大学医学部出身の医学博士号をとり、現在、台湾羅東市 羅東博愛病院 副理事長、羅東西RC初代会長、3490地区ガバナーです。

私と同期で、昨年2月、アメリカ・アナハイムの国際協議会では日本人以外で唯一人、日本語セッションに参加されましたが、この

事は私の公式訪問の卓話で、パワーポイントのスライドで度々説明致しました。彼は1週間のセミナーで、いつも私の隣で研修を受けました。同じ医師同志で、すっかり仲良くなり、最近、彼から血液センターの献血車の寄付をしたいので、DDF（地区財団活動資金）から献金協力して欲しいと要望がありました。諮問委員会で認められましたので、早速、OKの返事を出しました。

ロータリー運動は、こんな身近な付き合いから、社会奉仕に、そして国際的に段々奉仕の輪が大きく拡がり、世界社会奉仕と発展するのだなあーと思いました。

ロータリーアンといっても特別な人間ではなく、普通の善良な市民で、何か他人の為に助け合いをしたいという「思いやり」の精神があるか、どうかの違いだけです。皆そんな方達ばかりだと世の中が明るくなり、争いもなく平和な社会が出来るのですが、自分の事だけを考える人々が余りにも多いように思います。

ロータリーアンの方が、もっと増えて行く事を祈ります。





ロータリーの友

# ロータリーの友・雑誌月間(4月)について アンケートの結果報告

2006年2月10日



RI第2740地区ロータリーの友  
地区委員 石松 憲一郎

身近なロータリー情報源である「友」誌の積極的な購読と有効活用を如何に図って行くか、その一方で読者として「友」誌の編集に何を期待するかなどを主なる目的にアンケートを実施いたしました。その集計結果をご報告いたします。

ご多用の折り柄、今回のアンケートにご協力頂き心よりお礼申し上げます。重ねて、寄せられました貴重なご意見が、今後のクラブ活動の一助となることを切に願いたします。

## 〈 概 要 〉

1. アンケート実施期間 2006年1月10日(火)～2月6日(月)迄
2. アンケート記入者 各クラブ雑誌委員長・情報関連委員長又はクラブ幹事
3. アンケートクラブ数 第2740地区内 58RC
4. アンケート回答クラブ数 44RC 回収率75.8% (内 長崎県内RC…27RC  
佐賀県内RC…17RC)
5. アンケート内容は9項目あり、回答は各項目毎に集約しました
6. 各項目に対して一部無回答もあるので数字は一致いたしません
7. 回答頂いた内容は、長崎県内RCと佐賀県内RCに区分しました
8. このアンケート集計結果は、ロータリーの友事務所(東京)にも報告します

### ◆ 毎月の「友」誌購入数 2006年1月31日現在

・会員数= 同 数 冊…17RC	・会員数- 5冊以下 … 3RC
・会員数+ 1冊～5冊…18RC	・会員数- 6冊～10冊… 0
・会員数+ 6冊～10冊… 5RC	・会員数-11冊～15冊… 1RC
・会員数+11冊～15冊… 0	・会員数-16冊～20冊… 0

(1) 貴RCでは雑誌委員会(雑誌会報(委)等も含む)を常設されていますか

- ・ している … 42RC                      ・ していない … 2RC

(2) 雑誌委員会(関係(委))の委員数は

- ・ 1人 … 7RC
- ・ 2人 … 12RC
- ・ 3人 … 13RC
- ・ 4人 … 5RC
- ・ 5人 … 5RC
- ・ 6人 … 1RC
- ・ 11人 … 1RC
- 
- 44RC

(3) '05~'06年度 雑誌委員会の活動計画をお尋ねします

**長崎県内RC**

- ① 4月のロータリー雑誌月間に記念卓話を開催し、「ロータリーの友」誌の意義について全会員の理解を得る
- ② 例会時、必要に応じて「ロータリーの友」誌等の記事の中から魅力あるものを紹介し「ロータリーの友」誌の魅力度をPRする
- ③ 例会の正確な記録を残す
  - A. ガバナー月信や、ロータリーの情報記事の紹介
  - B. 会員の趣味、職場の中の話題など紹介
  - C. 委員会ミーティングの記録
- ④ ロータリー情報委員会と協力して「ロータリーの友」「ガバナー月信」「ROTARY WORLD誌」の有効活用により、ロータリー意識の向上と理解を深めるようにする
- ⑤ ロータリーの友「読みどころ」を月初めの週報に掲載
- ⑥ ホームページ掲示板を利用し、欠席者へ例会報告を実施
- ⑦ RJW送信ニュース中より関心が持てる記事をホームページ掲示板に掲載している
 

※本年度DICOの活動が中断しているのは何故？
- ⑧ 「ロータリーの友」を読もうと云う気持ちを起こさせる努力をする 会員の川柳を投稿、会員にロータリーの友を身近なものと思わせる努力をしている
- ⑨ クラブで実施したイベントは、積極的に投稿しようと思っている
- ⑩ R情報委員会が担当しています

- A. 「友」は会員より早く入手する手続きをし、例会時に内容のポイント説明をする
- B. ロータリー雑誌月間時に卓話を行う
- ⑪ A. 「友」やその他出版物の熟読を推進し、ロータリーの意識向上のために有意義な事項を例会時に紹介する
- B. ロータリークラブを一般の方に認識していただく為、病院等に「友」を贈呈する
- C. インターアクトクラブの活動の意味を理解していただく為、大村城南高校へ「友」を贈呈する
- ⑫ 2005年(平成17年9月10日～11日)2日間、「第9回佐世保西ロータリークラブ杯少年少女ミニバスケットボール大会」を開催、「ロータリーの友」へ掲載を申し込み12月号で掲載された
- ⑬ A. 「ロータリーの友」の読みどころ(内容)を毎月必ず委員が交代で会員に話す
- B. 「ロータリーの友」への当会員の投稿をよびかけていく
- ⑭ A. 週報の発行
- B. 「ロータリーの友」の愛読推奨
- ⑮ A. 「ロータリーの友」、「ガバナー月信」の配布
- B. クラブ奉仕事業の記録、写真の整理
- C. 地区行事等の記録写真撮影
- ⑯ 「ロータリーの友」・「ガバナー月信」を熟読し理解を深めることによって実践活動の糧にする
- A. 4月の雑誌月間に因んだ卓話
- B. 毎月1回「ロータリーの友」の論評や、感銘を受けた記事とスタディーポイントを発表する
- C. 理事及び5年未満の会員を対象に勉強会(ロータリー情報の夕べ)の実施(ロータリー情報委員会と合同実施)
- D. 「ロータリーの友」の中で奉仕の心の形成や奉仕の実践に関して特に参考となる記事を選び、集中的に理解を深める機会を別途設ける(この場合、他委員会と合同実施を検討する)
- ⑰ A. 例会において「友」誌のお勧め記事の紹介を随時行う
- B. 「友」誌に対する意識調査やアンケートを実施し、成果と反省向上を推進する
- C. 4月の雑誌月間において、勉強会を実施する
- ⑱ 本年度RIテーマ「超我の奉仕」の意味と意義をロータリー情報から広く収集し、外に対してはより深くロータリー活動が出来るように広報宣伝し、内に対しては会員皆様の役に立てる情報を多く伝えていきたい
- ⑲ ロータリーの機関雑誌をロータリーアンに紹介し、家族や従業員へも紹介し、ロータリー活動への啓蒙を行ない賛同を得る
- ⑳ 「ロータリーの友」記事の紹介(特にRI会長の年度方針等を中心に)
- ㉑ A. RI会長が提唱されている「超我の奉仕」の意義について再度理解を深めてもらうため卓話をお願いする

- B. 「ロータリーの友」の存在意義について記事の中から事例を抜粋解説し全員に理解を深めてもらう
- ② A. 雑誌月間(4月)を主催する  
B. 公式雑誌「ザ・ロータリアン」を五島高校インターアクトクラブへ配布する  
C. 「ロータリーの友」を部外卓話者・図書館・病院等に贈呈する
- ③ A. 「ロータリーの友」購読を勧め、また関心のある記事の紹介を努めます  
B. 会員に希望があれば、その職場(病院・学校等)に「ロータリーの友」を毎月配布します  
C. 資料保存は従来通りです
- ④ 「ロータリーの友」の中の興味ある記事を紹介
- ⑤ A. 雑誌会報委員で会報を作成発行し、1年分をCDに記録保存している  
B. たまに「友」の内容を会員に発表する
- ⑥ A. 「ロータリーの友」の解説  
B. 「ロータリーの友」を卓話者へ寄贈、図書館へ寄贈
- ⑦ A. 特別にありませんが、自分達のやっていくこと今迄やってきたことを、記録に残す様にしています  
B. 本年度から始めた中国語講座を「ロータリーの友」に掲載をお願いしています
- ⑧ A. 毎月1回例会で「雑誌委員会」の時間として「ロータリーの友」より情報を紹介し、会員の関心を深めています  
B. 情報広報活動として関係団体へ「ロータリーの友」を贈呈する
- ⑨ 「ロータリーの友」の読書を勧める傍ら、ロータリー活動を広くPRすることでロータリー精神の普及を図る

### 佐賀県内RC

- ① ロータリー創立100周年記念誌「超我的人、米山梅吉の足音」を熟読するよう奨励する計画をしました
- ② 当クラブでは、毎月の第1回目の例会において「ロータリーの友」を紹介する意味で担当者を決め中味を説明しながら発表しています
- ③ 週報の作成に気をとられすぎているようです
- ④ 特別にありません …… 3RC
- ⑤ 会員の家族や社員の方々にも「ロータリーの友」誌を読んでもらう様に会員に啓蒙活動をする 長期の欠席者の会員に「ロータリーの友」誌を配達又は郵送する
- ⑥ クラブ週報を毎週発行し、クラブ会員に情報を提供する  
A. 興味を刺激するような情報  
B. 出席率を上げるような情報  
C. 今後の会合プログラムの発表・前回の会合の概要など

- ⑦ 「ロータリーの友」を読む事に依ってロータリー活動が推進されるので、会員各位の質の向上になるため機会を見て「友」誌を良く読んで頂く様にしている
- ⑧ 毎週1回(例会時)週報の発行
- ⑨ 週報の作成と内容の告知等
- ⑩ 1ヶ月に1回「ロータリーの友」配布時に内容を抜粋して会員に紹介する
- ⑪ 「ロータリーの友」を全会員愛読して頂きロータリーを理解してもらう事業を行なう
- ⑫ A. 年2回の勉強会  
B. 「ロータリーの友」の紹介、紹介者は入会3年未満の会員を予定  
C. マスコミへの連絡  
D. 新入会員へのオリエンテーリング
- ⑬ A. 「ロータリーの友」・「ガバナー月信」等のロータリー誌に関心を持って読んでもらえるよう、時々話題の記事を紹介する  
B. 会員外部卓話者に「ロータリーの友」を進呈する
- ⑭ ロータリー活動を地域一般の人々に広く伝達し理解して頂くため、ロータリー機関誌「ロータリーの友」を引き続き市役所、図書館、公民館や金融機関等公共性が高く人の集まる場所へ配布したいと思います
- ⑮ 配布時に必ず目を通してもらう、時間配布

#### (4) 毎年4月がロータリー雑誌月間になっていますが、貴RCでは、どのような活動をなされていますか

##### 長崎県内RC

- ① 記念卓話「雑誌月間に因んで」開催の予定
- ② 週報にいろんな情報を掲載する
- ③ 「ロータリーの友」の熟読を推奨する
- ④ 4月12日委員会卓話「雑誌月間に因んで」を実施予定 卓話者・諫早西RC 広報雑誌委員長 今村文雄氏
- ⑤ 毎年4月中に例会で卓話を実施
- ⑥ 雑誌月間に因んでクラブフォーラムを開き「ロータリーの友」誌について説明や内容を紹介し、愛読を奨めている
- ⑦ 「友」から送られてくる手引書を参考に、卓話を行なっている
- ⑧ 特別にやっていません …… 4RC
- ⑨ 特に活動はしていないので、活動計画をしたいと思います
- ⑩ 「雑誌月間に因んで」ということで、4月の例会時に卓話を行なう
- ⑪ 特別に4月に何か活動をする事はしていませんが ……

- ⑫ 例会において「友」誌に関する卓話をする
- ⑬ 会長挨拶の中に月間についての話が入る予定
- ⑭ 雑誌月間に因んだ卓話の実施
- ⑮ これといった活動はしていません
- ⑯ 前年度は、歴代の雑誌委員長を呼び、スピーチをお願いしフォーラムを行なった
- ⑰ 「ロータリーの友」についての卓話
- ⑱ 月間に因んだ卓話
- ⑲ クラブフォーラム「ロータリー雑誌月間」を開催し、「ロータリーの友」読書推進を図る

### 佐賀県内RC

- ① 別に活動していませんが、何かやらねばとは思っています
- ② 「ロータリーの友」読后感想を発表してもらいます
- ③ ロータリー雑誌月間についての活動を特に行っていません …… 3RC
- ④ 雑誌会報委員長の卓話をしている
- ⑤ 例会に於いて、「ロータリーの友」を読んで頂くように、又、「友」への寄稿をお願いする
- ⑥ 特にありません …… 3RC
- ⑦ 出来れば関係者を呼び講演をお願いしたいと思っています
- ⑧ 新会員による「ロータリーの友」の記事の紹介をして頂く予定
- ⑨ 「ロータリーの友」Q & Aと内部・外部卓話
- ⑩ ロータリー雑誌月間にあわせ卓話等を行い、「ロータリーの友」発行の経緯、意義、記事の内容等を紹介し、「友」を読むことはロータリアンの三大義務の一つであることの理解と自覚向上を図る
- ⑪ 「ロータリーの友」より送付の資料を参考に委員長の卓話

### (5) 「ロータリーの友」誌を毎月・何週目に配布してますか

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ① 1週目 … 32RC | ② 2週目 … 7RC |
| ③ 3週目 … 3RC  | ④ 4週目 … 2RC |

(6) 毎月の配布の際担当委員長が「友」誌の内容を解説していますか  
また解説するのは何分ぐらいですか

① 解説する…20RC

その時間は

3分間くらい …… 7RC

5分間くらい …… 8RC

10分間くらい …… 3RC

15分間くらい …… 1RC

20分間くらい …… 1RC

② 解説しない…18RC

「解説しない」とお答になったクラブの方は、解説しない理由があればお書き下さい

### 長崎県内RC

- ① 毎月は実施していないが4半期に1回程度3分間のスピーチを実施
- ② 可能な限り、第1週配布の週報に「読みどころ」を掲載している
- ③ 1月の情報月間、4月の雑誌月間で解説しており、又会員の「川柳」が掲載された際に委員会報告で案内している
- ④ 解説と云うより、担当者が興味のある記事が掲載された時に「こんな記事がありました どうぞお読み下さい」と云った紹介が良いのでは…
- ⑤ そう言うプログラムが無いだけ、秒読会をやればよいと思う
- ⑥ 会員の判断に任せている
- ⑦ 毎週週報に「ロータリーの友」インターネット速報を掲載しているから
- ⑧ 但し、クラブに関係する内容の場合は委員会報告で各担当委員会が紹介する
- ⑨ 雑誌委員会の委員2名の内の1人は、出席規定免除又、他の1人(小委員長)が職業奉仕で忙しく例会出席率が悪い為
- ⑩ 時間がない為
- ⑪ 事前に目を通す時間がなかったので解説していなかったが、次回より目を通し興味あるものを紹介する
- ⑫ 卓話があって時間が取れない …… 2RC

## 佐賀県内RC

- ① 特に理由はないが、解説しない …… 2RC
- ② 前例がなかったと言えは会員に申訳なかったと思う 2月より実行し恒例にしたい
- ③ 7月～12月(前期)は解説しておりませんが、1月～6月(後期)は解説を計画します
- ④ 最近プログラムがつまっていたり時間が取りにくい
- ⑤ 各自読んで頂いていると思う
- ⑥ 行事が多すぎて時間がない
- ⑦ 時間的に余裕がないから
- ⑧ A. 当クラブ関連記事及び特別記事の時ぐらいしか解説していない  
B. 「卓話の泉」は参考にさせてもらっている

## (7) 「ロータリーの友」誌の講読がロータリアンの義務であることを知らない会員がいると思いますか

- ① いると思う …19RC                      ② いないと思う …25RC

「いると思う」とお答になったクラブは、どうすれば義務であることを知ってもらえると思いますか

## 長崎県内RC

- ① 事あるごとに説明する必要があると思うし、入会時に十分な案内が必要だと思う
- ② 例会の時に、担当委員長より「ロータリーの友」の記事をわかりやすく説明し「ロータリーの友」を会員へ読むように義務づける
- ③ 購入は自動的ですが、常に目を通しては限らないと思う、時々注意して意識づけするしかないだろう
- ④ 雑誌委員会が先頭に立ち、周知にいくことがまず大切と考えます(特に新入会員にはよく説明すること)
- ⑤ 家庭集会等で周知する
- ⑥ 新会員の入会時等に説明する 卓話等で全会員に説明する
- ⑦ 例会で、ロータリー雑誌月間の説明、入会時の新入会員へのセミナーなど
- ⑧ 啓発活動は毎年行っているが全ての会員にいきわたらせるのは難しいと思う
- ⑨ A. クラブ雑誌担当委員会が例会時にきちんと説明する  
B. 入会時にロータリーの三大義務について徹底してもらう
- ⑩ 担当委員長がその普及を推進する

**佐賀県内RC**

- ① 会員として義務責任を感じてもらうように説得する以外にない
- ② 毎月「ロータリーの友」の担当を決め解説しているのですが、「ロータリーの友」誌を配布した日なので会員は、その日に目を通す間がないまま、解説を聞いているにすぎないかも知れません 会員全員が一読した後での解説が良いのではとも思います
- ③ 新入会員の入会時に、はっきりと義務であることを説明するべきである
- ④ 新入会員のオリエンテーションの時、ロータリーの3つの義務を知らせ「ロータリーの友」は会員の講読義務であることを教える
- ⑤ 会費の中に含まれ無料でないことを告知し又、人生の参考になる内容であることを周知徹底する
- ⑥ 根気強くアピールしていくしかないのでは……
- ⑦ A. その重要性を会員に伝える  
B. 毎週幹事報告の中で2～3分程度幹事がロータリーについて話をしている

**(8) 今年度の「ロータリーの友」誌についてのご感想をお尋ねいたします****長崎県内RC**

- ① 「ロータリーの樹」的な記事は魅力がある
- ② 毎回わかりやすく掲載されており良いと思います
- ③ 今年度特別ということではないが、他地区クラブの活動等大変参考になるし、同じロータリアンの意見等非常に興味深い
- ④ 興味深く講読している従来の「友」と大きな変化はない
- ⑤ 今迄、殆ど読まなかったが、雑誌委員長に指名された事により、読むようになりまして、参考になることが多く今後は、如何にクラブ活動に取り入れていくかを考えたいと思います
- ⑥ 投稿の多さを感じています、各クラブの活動状況等が良くわかり参考になる所が多い
- ⑦ 現状をよくご報告頂いており、大いに参考になります
- ⑧ 表紙も素晴らしいし、内容が多岐にわたり読みやすい、特にスピーチの欄は大変ためになると思いますし、毎月の内容が新鮮で、たいへん勉強になります
- ⑨ シリーズ風紋、その人その人生は毎回興味深い内容で楽しみにしています。全般的に良くまとまっていると思います
- ⑩ 特に表紙の写真は名作ですばらしく、芸術性と永遠性に富み心なごませて頂いている 横組みはRI会長のメッセージにはじまり、進化するハードの部分がためになり、縦組みは情操豊かなメッセージ等ソフト教養価値が大です
- ⑪ 写真が表紙を含め内容記事にも記載されていてわかりやすく又、地方の状況も良くわかり

良いと思う

- ⑫ 特にありません…………… 2RC
- ⑬ A. SPEECHの次に風紋があり、とても引き込まれる  
B. 写真、ページの色使い等、とても読みやすい
- ⑭ 全体的に洗練された内容となっているが特にSPEECHと風紋シリーズはすばらしく、読むのが楽しく感銘を受けることが多い
- ⑮ 少しずつ、今迄の観念論的な内容から具体論になってきた様な気がする
- ⑯ 昨年と同様内容は充実していると思います
- ⑰ 表紙はすばらしいと思います
- ⑱ 活動内容もよく書かれており、写真もあり、飽きない様に出来ていると思う
- ⑲ 読みやすくなっている
- ⑳ 他クラブの活動報告が参考になる

### 佐賀県内RC

- ① 読みやすくなり、親しみ深くなりました
- ② 内容的には大変充実していて良いと思います
- ③ ロータリアンの「その人その人生・シリーズ風紋」は心にひびきます。充分勉強になります
- ④ とても参考になる記事があります
- ⑤ ロータリークラブの広報誌として、これ以上のものはないと思います
- ⑥ 誌面構成もさることながら、読みやすく写真も豊富で毎号楽しみです 特に地区大会や研究会などの講演会要旨は知識習得になります
- ⑦ 表紙が少し淋しい
- ⑧ ロータリー情報の源泉となっていると思いますので、大切に読ませて頂いています
- ⑨ 特になし…………… 2RC
- ⑩ ロータリアンの現在の悩みと、ロータリーの解決の記事等に期待します
- ⑪ A. 写真などを豊富に使用しカラフルで、レイアウトもよく工夫されていて読みやすいと思われる  
B. ポリュームはかなり洗練されたが、まだまだ多すぎる感がある
- ⑫ 縦字の方は日常生活の上、色々と役に立っているし、横字の方は日本を含め世界各地の出来事がよくわかり、興味深く楽しんで読んでいます

(9) 「ロータリーの友」誌について、ロータリアンからの全般的なご意見のうち、主なものを3つ程お書きください。

### 長崎県内RC

- ① 記載の仕方を右から左からの両開きになっているが、どちらかに統一されては？
- ② A.写真等掲載されており楽しい記事である  
B.いろんな記事が掲載されており参考にさせて頂いている  
C.興味を引く内容が結構掲載されている
- ③ A.RI会長のメッセージが記載されているのが良い  
B.「友愛の広場」の記載ページを増やして欲しい  
C.広告が多い
- ④ A.「ロータリーの友」講読についてクラブ会員に対するアンケートを実施したことがありませんので回答出来ません。毎週配布の週報、月1回配布のガバナー月信すらなかなか持って帰らないのが実情です  
B.4月の雑誌月間でアンケート実施を検討したい
- ⑤ A.奉仕活動等、他クラブの事例が、会の運営で非常に参考になる  
B.新会員の教材として役立つ
- ⑥ 特にありません、あまり肩をはずらず、自然の中に出て来る「ロータリーの友」誌になればよいでしょう
- ⑦ 意見ありません すばらしい構成だと思います
- ⑧ A.ロータリーの勉強や実践活動に役立っている  
B.縦組み部分は頭の体操に役立ち、又ロータリアンの資質向上にも役立って「お知恵」の提言に感謝  
C.ロータリーの世界規模・日本規模でのすばらしい活動を知ることが出来る
- ⑨ A.現状のロータリーの問題点の分析なども必要か？  
B.会員の意義の向上につながるような内容を期待します  
C.一般人で目立たないが善行をしている人達を紹介してほしい
- ⑩ 読めば大変有益である
- ⑪ A.「ロータリーアットワーク」で、他のクラブの活動が良く分かり、参考になる  
B.SPEECHでは、他地区の記念講演要旨が掲載され興味深い
- ⑫ A.縦組みトップ記事(SPEECH)と風紋はほとんどの会員に好評である、更なる内容の充実を望む又、たえずリニューアルの気持を大切に  
B.会員の声が身近に届くという視点と内容を是非継続して欲しい  
C.海外のロータリークラブの例会の具体的内容を紹介、参考となる会員の身近な職業奉仕実践例を毎回とり上げて欲しい

- ⑬ A.ロータリーの情報がわかり、ためになる  
B.ロータリーの活動への理解を深める為、家族や従業員に読ませている  
C.ロータリアンの義務と理解しているが、あまり読んでいない
- ⑭ A.読みごたえがあり楽しみ  
B.他クラブの奉仕活動の紹介が参考になる  
C.RIの国際的な奉仕活動がよく理解できる
- ⑮ A.各地域の奉仕活動についての情報は参考になる  
B.世界的な活動が一目でわかる  
C.ロータリーの基本理念である「超我の奉仕」に対する理解が深まる
- ⑯ A.「云いたい 聞きたい」のコーナーがおもしろい  
B.「地区のたより」では、各地区の活動状況がわかるので良い  
C.俳壇、歌壇、柳壇が楽しみ
- ⑰ A.活字が大きくなり読みやすくなった  
B.写真が多く掲載されているので効果的である  
C.表紙のメッセージ解説が楽しみである(記事の内容は別として)
- ⑱ A.楽しみに読んでいます、縦と横のバランスが良く変化に富んでいます  
B.取り分け地方の珍しい写真などがあれば良いと思います  
C.地方クラブの記事を取り上げて頂き有難く思っています
- ⑲ 活動内容も、よく書かれており、写真もあり、飽きないように出来ていると思う
- ⑳ 特に意見は出ておりません
- ㉑ A.表紙タイトルの下に特集を強調印刷して欲しい  
B.広告をもっと取り入れてよい  
C.国内全クラブの情報を同時に見たい

### 佐賀県内RC

- ① A.会員が少なく積極的な活動をしているクラブ等の照会をして欲しい  
B.例会の模範的照会を  
C.楽しい行事の報道を常にとり入れる
- ② A.ロータリー会員企業のPRをして頂きたい  
B.ロータリー会員の企業として成功談や失敗談義等の掲載  
C.「ロータリーの友」誌のページ数を、もう少しへらす方が良い
- ③ A.あまり読んでいない・じっくり読む時間が足りない  
B.読むと、とても参考になる記事が多い
- ④ A.忙しくて読むのが面倒くさい  
B.内容にあまり興味がない

- C. 読んではないが、内容がむづかしそう
- ⑤ A. ロータリー活動の実態を多く掲載してほしい  
 B. 会員が関心をもって読む内容であってほしい  
 C. 会員の「生の声」が反映される記事掲載をお願いしたい
- ⑥ A. ロータリーの国際的活動が伺い知れる  
 B. 各地のロータリーのエピソード等が読めて楽しい  
 C. ガバナーの動向や考え方が伝わってくる
- ⑦ 別にありません…………… 3RC
- ⑧ A. 「友」の中から、卓話に引用する事がある  
 B. ロータリーの綱領、勉強になる  
 C. 各地区の活動が分り、参考になる
- ⑨ A. 字を大きくして下さい  
 B. 電話&メール&文書で本以外に質疑応答機能を持って欲しい  
 C. 各地で「ロータリーの友」主催の親睦目的の集いを開いて欲しい
- ⑩ A. 人間の価値(SPEECH)  
 B. 風 紋  
 C. 卓話の泉(生活習慣病)
- ⑪ A. 義務の一つと分っていても、なかなか読む時間がない  
 B. 他のロータリーの活動や、ロータリアンの役割が分ってとても勉強になる  
 C. 幅広いジャンルと豊富な話題に糧となることが多い
- ⑫ A. ロータリー俳壇についてこれからも継続して頂きたい  
 B. 先輩達が昔から投稿してきたロータリーの俳句全集を載せて頂きたい(例えば10年～20年からの分)
- ⑬ A. 程よいページ数(80)である  
 B. 毎回興味のある部分を読めるようになっている  
 C. 投稿した記事の掲載の有無
- ⑭ A. 各地の活動が良くわかる  
 B. より良い「友」誌をめざし努力されていると思う

**むすび**

アンケートの内容をお読み頂き、  
 地区内RC様の更なるご活躍を  
 祈念申し上げます

ありがとうございました。

2005～2006年度 RI 2740地区

# インターンティーマーケティング

IMの  
お知らせ

## 第1・2 グループ

テーマ 「ロータリーと青少年」

日時 2006年3月4日（土）

場所 ニューオータニ佐賀  
佐賀市与賀町1-2 TEL 0952-23-1111

- 12:00～13:00 登録受付
- 13:00～ 点 鐘（第1部）
- 14:00～15:00 基調講演
- 15:20～16:20 記念講演（第2部）
- 17:00～ 懇 親 会

★基調講演「ロータリーと青少年」

講師 栗林英雄氏 2004～2005年度 パストガバナー

★記念講演「剣道を通しての青少年育成」

講師 江島良介氏 佐賀市立昭栄中学校 教頭

【ホストクラブ】神埼ロータリークラブ

【コ・ホストクラブ】多久ロータリークラブ

【事務局】〒842-0003 神埼郡神埼町大字本堀3003-6 三神ガス内  
TEL 0952-51-4321

## 第3 グループ

テーマ 「私が見たJAPAN～佐賀大学留学生の主張」

日時 2006年3月18日（土）

場所 JA佐賀みどり本館 マリオンヒル  
佐賀県杵島郡大町町大字大町1625-1 TEL 0952-82-5121

- 14:00～ 登録受付
- 15:00～ 点 鐘

【ホストクラブ】大町ロータリークラブ

【コ・ホストクラブ】有田ロータリークラブ 鹿島ロータリークラブ

【事務局】〒849-2101 杵島郡大町町大字大町5007-1 TEL 0952-82-5002

第4・5・6  
グループ

テーマ 「ロータリーの未来」

日時 2006年4月8日（土）

場所 ウェルサンピア伊万里

佐賀県伊万里市二里町大里1704-1 TEL 0955-23-1001

- 12:00～13:00 登録受付
- 13:00～ 点 鐘
- 17:15～19:00 懇 親 会

★基調講演「ロータリーの未来」

講師 ふじ かわ きょういん 藤川 享胤 氏 第2800地区 山形県鶴岡RC会員

★特別講演「古代エジプト文明の魅力」

講師 吉村 作治 氏 早稲田大学人間科学部教授  
(工学博士)

【ホストクラブ】伊万里ロータリークラブ

【コ・ホストクラブ】佐世保ロータリークラブ 佐世保東ロータリークラブ

【事務局】〒848-0041 伊万里市新天町663 伊万里商工会館3階  
TEL 0955-22-3737

第7・8  
グループ

テーマ 地域社会で子どもたちを守ろう（超私の奉仕）  
（ロータリアンはどうかかわることができるのか）

日時 2006年3月25日（土）

場所 ホテルグランドパレス諫早

長崎県諫早市宇都町3-35 TEL 0957-24-3939

- 13:00～ 登録受付
- 14:00～ 開 会

【ホストクラブ】諫早多良見ロータリークラブ

【コ・ホストクラブ】諫早ロータリークラブ

【事務局】〒854-0016 諫早市高城町5-10 諫早商工会議所内  
諫早多良見ロータリークラブ TEL 0957-22-3323  
FAX 0957-24-3638

## 新入会員紹介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐賀大和RC  
よこ おしげ と 君  
横尾 繁人 君



佐賀北RC  
にし わき ひろし 君  
西脇 博 君



白石RC  
うえ まつ きよ し 君  
植松 清司 君



唐津RC  
あまがさき けんぞう 君  
尼崎 健造 君



唐津RC  
やま した まさ お 君  
山下 正雄 君



伊万里RC  
まえ だ しょう ご 君  
前田 省吾 君



雲仙RC  
みや た たかし 君  
宮田 隆 君



大村北RC  
うえ だ しのぶ 君  
上田 善行 君



長崎東RC  
くす だ しのぶ 君  
楠田 寿幸 君



長崎東RC  
つる まき しげ づ 君  
鶴巻 重次 君

# 寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	深 町 等	佐世保北RC
	藤 井 憲 二	佐世保北RC
	福 田 雅 信	有田RC
マルチプル・P・H・F	田中丸 善 保	佐世保RC
メモリアルコントリビューター	福 田 雅 信	有田RC <small>故御尊父 福田泰作氏を偲んで</small>
米山功労者		
米山功労者（マルチプル）	松 尾 勝 美	佐世保東RC
	南 野 健	大村北RC
米山功労者（メジャードナー）		



# 地区だより

松浦RC  
広報担当  
山本 浩平

## 下期、親睦会はじまる

下期のスタートとして、親睦委員会による新年会が平成18年1月13日に桜梅閣で、ゴルフコンペ（チョロッタ会）が1月19日に平戸ゴルフクラブで行われました。新年会では32名が参加し、ジャンケン大会などが行われて大変賑わいました。又、親睦ゴルフコンペは、今回で第60回という記念すべき大会で17名という参加者でした。コンペ終了後は表彰式や懇親会などで多いに語り、多いににぎわい楽しいコンペの打上げでした。

多いに、にぎわい楽しいコンペの打上げでした。  
この様なことが退会防止にもつながり大変役立っております。



## 会員寄稿

## 「積善ノ家 必ズ餘慶アリ」 ——石田梅岩に学ぶ——

唐津東RC 宮島傳二郎

年末年始、孫たちも帰省せず、穏やかな休日を送る。かねてから勉強したいと思っていた、石田梅岩についての入門書を繙く。

石田梅岩は江戸時代中期の人。(1685~1744)

時は元禄から八代将軍吉宗へ。漸く、米を中心とする農業社会から、江戸・大阪その他、城下町においては、商工業部門が発達し、新しい町人階層が生まれつつあった。

農家の次男に生まれた梅岩は、幼にして呉服商に丁稚奉公に入る。勤勉、且つ家業の運営面でも眞面目に勤める一方、苦学求道の生活を続け、聖賢への道と営利追求の商人生活の乖離に悩みつづける。

その結果、石門「心学」といわれる世界観を含めた哲理を完成し、わが国で初めて商人の職業倫理観を、確立した思想家として注目されている。

その商人哲学の一端をうかがう。

- 一、商人道について、「商の始めは、その余があるものをもってその足らざるものに易（かえ）て互いに通用するを以って本となす。」と商業の存在価値を明確に定義づけ、その正当性を説く。
- 二、消費者に対しては、「富ある主は天下の人々なり。主の心も我が心と同じ故に、少しも粗相せず売り渡せば…惜しむ心も止まり善に化する。」と富の主は特定の富裕層と云わず、「天下の人々」と、庶民、一般消費者に眼を向ける。その慧眼は驚く。
- 三、商人としての利得については、「士農工商八天下ノ治ル相トナル。」とそれぞれ職分があり助け合うべきだ。さらに、「商人ノ利得ハ…武士ノ祿ニ同ジ」だと商人を擁護する。しかし、武士に武士道があるように、商人も商人道、職業倫理をきびしく守れ——正直、儉約、分限（身分に応じた行い）を強調し、とくに目先の利益を追求する商人は、必ず結果的に亡びると、次のように戒める。

「易経ニ曰ク、『積善ノ家ニ必ズ余慶アリ』…不義の金ヲ設ケ、可愛子孫ノ絶エ亡ビルヲ知ラザルカ」と。

家は家業、事業、企業と読みかえうる。積善の“善”は、私利私欲を捨てよ、人の倫を守れ。今なら、コンプライアンス、社会的責任を果たせ、そのあとに余慶はあるんだ、ということだろう。

ふと He profits who serves best、が思い浮かんだ。

- 【参考文献】日本人の職業倫理 島田 燐子 有斐閣  
 企業倫理とは何か 平田 雅彦 PHP新書  
 勤勉の哲学 山本 七平 PHP新書  
 仏教と資本主義 長部 日出雄 新潮新書

**2006年1月会員数・出席報告**

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	82.0	80	0	75	0	-5
	小城	3	90.9	34	1	33	1	-1
	牛津	3	83.3	31	0	32	0	1
	多久	4	86.0	42	5	43	5	1
	佐賀大和	4	78.8	25	3	25	4	0
	小計		84.2	212	9	208	10	-4
第2グループ	佐賀西	3	80.8	56	0	56	0	0
	佐賀北	3	77.6	41	3	43	3	2
	佐賀南	4	86.9	41	0	40	0	-1
	神埼	4	79.5	28	0	29	0	1
	佐賀空港	3	76.5	20	0	19	0	-1
	小計		80.2	186	3	187	3	1
第3グループ	有田	4	83.5	33	1	36	2	3
	武雄	3	85.7	57	0	56	0	-1
	鹿島	4	87.4	41	2	43	2	2
	嬉野	4	93.7	23	1	24	1	1
	大町	3	77.0	24	0	22	0	-2
	白石	3	72.6	17	0	17	0	0
	太良	3	80.0	9	0	10	1	1
	小計		82.8	204	4	208	6	4
第4グループ	唐津	4	88.9	51	0	56	0	5
	伊万里	4	98.2	40	0	41	0	1
	唐津東	3	94.9	50	0	51	0	1
	唐津西	3	86.3	39	0	40	0	1
	伊万里西	3	92.1	47	0	50	0	3
	唐津中央	4	89.5	41	4	43	5	2
	小計		91.6	268	4	281	5	13
	第5グループ	佐世保	3	100.0	84	0	88	0
平戸		3	86.4	41	0	42	0	1
佐世保西		4	94.2	33	0	30	0	-3
北松浦		4	88.3	25	0	24	0	-1
松浦		4	83.3	37	1	36	1	-1
生月		3	67.5	19	2	16	2	-3
小計			86.6	239	3	236	3	-3

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	4	100.0	81	0	78	0	-3
	佐世保東	3	86.0	31	0	32	0	1
	佐世保北	3	98.3	48	0	48	0	0
	佐世保中央	3	100.0	46	0	44	0	-2
	佐世保東南	3	83.3	23	0	22	0	-1
	HTB佐世保	4	64.0	28	3	27	3	-1
	小計		88.6	257	3	251	3	-6
	第7グループ	大村	4	98.4	52	2	51	2
島原		4	83.3	37	3	34	3	-3
雲仙		4	93.3	34	0	32	0	-2
大村北		3	100.0	33	0	32	0	-1
島原南		3	79.3	21	1	22	2	1
大村東		3	83.3	44	1	44	1	0
小計			89.6	221	7	215	8	-6
第8グループ	諫早	4	93.2	64	0	63	0	-1
	諫早北	3	93.0	63	0	64	0	1
	諫早西	3	92.4	46	0	46	0	0
	諫早多良見	1	80.9	40	0	39	0	-1
	諫早南	3	76.8	32	3	33	4	1
	小計		87.3	245	3	245	4	0
第9グループ	長崎	4	75.6	99	0	101	0	2
	福江	4	86.9	40	0	42	0	2
	長崎北東	3	85.9	58	5	58	5	0
	福江中央	4	90.8	37	0	38	0	1
	長崎西	4	73.0	65	0	68	0	3
	長崎琴海	3	74.6	20	2	23	3	3
	小計		81.1	319	7	330	8	11
	第10グループ	長崎北	4	76.9	74	0	74	0
長崎南		3	72.9	84	0	82	0	-2
長崎東		4	98.6	72	0	71	0	-1
東長崎		4	81.2	36	0	36	0	0
長崎中央		3	91.4	59	0	58	0	-1
長崎出島		4	70.8	55	15	59	15	4
小計			82.0	380	15	380	15	0
合計			85.4	2531	58	2541	65	10

# 文庫通信 (221号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 魅力あるクラスづくり

- ◎「魅力あるクラスづくり」 2005 34p  
(RI会長主催祝賀会議分科討論会テーマ別寄稿集)
- ◎「ロータリー・クラブの活性化について」 菅生浩三 2006 4p (D.2650月信)
- ◎「『超我の奉仕』について」 曾我隆一 2005 4p (D.2840月信)
- ◎「ロータリーとは？—超我の奉仕—」 成川守彦 2005 12p  
(D.2770指導者育成セミナー)
- ◎「ロータリーに学ぶ指導者育成について」 田中作次 2005 15p  
(D.2770指導者育成セミナー)
- ◎「ロータリーの標語に関連し私の経験を語る」 三國智造 2005 6p  
(D.2830月信) [上記申込先:ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリーとは何か(ロータリー入門)」 松崎勝一 2005 11p  
[申込先:ロータリー文庫]
- ◎「地区リーダーシッププラン(DLP)クラブリーダーシッププラン(CLP)について」  
佐野正行 2006 2P (D.2550月信)
- ◎「クラブ・リーダーシッププラン(CLP)の重要性」 大久保昇 2006 2P (D.2650月信)
- ◎「ロータリー理解度検定試験楽しみながらロータリーが解る」 2006 11P  
(D.2500月信) [上記申込先:ロータリー文庫(コピー)]

### \* ロータリー文庫 \*

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



黒髪山乳待坊の春 画:松尾武彦(唐津RC会員)

表紙の写真の説明 呼子大橋

加部島「風に見える丘」からの定番風景です。呼子大橋が立体的に見えるように朝早い時間帯に撮影した

【撮影場所】唐津市 加部島

【撮影者】唐津在住 宮崎 宏

【編集後記】

今年の冬は殊の外寒い日が続き各地で雪の被害が報告されました。南の島にも雪が降り何十年振りの記録とか。厳しい寒さの後には美しい花が咲くという。弥生3月、花の季節がやって来ました。温かい心にはService Above Self「慈悲」の花を咲かせましょう。



国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所

2005~2006年度 ガバナー 本城 好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL (0955) 75-1371 FAX (0955) 75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



**SERVICE Above Self 超我の奉仕**

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740  
国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



2006.4.1 **VOL. 10**

## ●CONTENTS

本城ガバナーのメッセージ……………	1	地区だより……………	9
国際協議会報告……………	2	寄付者紹介……………	10
「地区チーム研修セミナー」開催報告…	4	新入会員紹介・訃報……………	11
地区「米山奨学生終了式」で報告……………	5	会員寄稿 宮島傳二郎……………	12
IM開催報告……………	6	2月会員数・出席報告……………	13
青少年交換研究会「長崎会議」の御案内…	8	文庫通信……………	14

## 本城ガバナーのメッセージ

第2740地区ガバナー 本城 好春



愈々春めいて来ました。田口厚エレクトが、サンディエゴの国際協議会から帰国され、正式なR I役員、次期ガバナーとなりました。早速3月4日（土）地区チーム研修セミナー、3月19日（日）PETS（クラブ会長エレクト、トレーニング、セミナー）、5月21日（日）地区協議会と忙しい次年度地区行事が立て込みます。

一年前、私の辿った道筋です。思えば一年間の時間があったという間に過ぎ去った感じです。どうやら体調も余り崩さず、多くのロータリアンの皆さまから頂戴した友情の温かさのみが思い出として残り、私の人生の中で、一番貴重な充実した一年間だったと思っています。皆さまに支えられた一年間、有難く、感謝しております。

私が公式訪問の時、各クラブで申し上げた「私ガバナーは、一年間だけのR I役員で、エバンストンのR Iと地区内の各クラブとのパイプ役であり、情報伝達の走り使いです。R Iは、101年を迎えて非常に難しい局面に立っております。100年の勢いは衰え、右へ行くか左に行くか、非常に厳しい選択を迫られております。

しかし、私に与えられたR Iのテーマが95年間、提唱され続けた「Service Above Self」（超我の奉仕）を再び取り上げられた事は、非常に幸運で、一生忘れられない感激だったと今尚思っております。100年間、ロータリーの辿った道筋、歴史は貴重で何事にも変え難い価値があると思いますが、「回首原点」いつもロータリーの理念を忘れてはいけないと思います。時代、時代において小手先だけのテーマと事業は過

ち、行き過ぎがあったかも知れませんが、ロータリーの根本理念は素晴らしい事であり、人類の永遠の追究であるように思います。

時に会員増強、財団の寄付等、ロータリーの理念から少しずれた行き過ぎの時点があったかも知れませんが、その根本理念「人への思いやり」は間違っていないと信じております。国際理解と親睦、そして究極の目標、世界の平和は人類の永遠の願望であり、理想です。この事は多くの宗教、哲学と共通の理念であり、もっとやさしく、判り易い人間本来の思いやり、やさしさ、善意のように思います。

僅か100年間しか続いていませんが、ロータリー運動は、判り易く素晴らしい運動だと思います。急速に拡大した組織だけに「もろさ」もありますが、「原点」に戻って大事に存続させたい組織だと思います。

私は、普通の一人のロータリアンとして、一年間勉強させて頂いた幸運に感謝し、少しでもロータリー運動に貢献したいと思っています。皆さまはどう考え、どう捉えて居られますか。

来年のテーマは「Lead the Way」（率先しよう!!）と2006～07年度国際ロータリー（R I）会長ウィリアムB. ボイド氏（ニュージーランド）はいつておられます。彼は、標語はいつまでも「超我の奉仕」であって欲しいが、年次テーマは内面的なもので、その一年間ロータリーが、どうかかわって行くかに焦点を当てるためのものだと云っておられます。

どのような一年間になるのでしょうか。期待しております。



## 『国際協議会報告』

2740地区ガバナーエレクト 田口 厚

2006～07年度RI国際協議会は2006年2月15日より25日までアメリカ・カルフォルニア州のサンディエゴ市で全世界の全地区のガバナーエレクトおよびその配偶者が出席して開催された。本協議会はその配偶者とともに1600名が実質的に7日間フルタイムのスケジュールの研修で外出もままならず、しっかりとロータリーの意義と精神を習得する機会である。日本からは全ガバナーエレクトと同伴者その他120名が参加した。

期間中14のセッションについての同時通訳付の講義とそれに対する日本語による12～3名単位グループ討論を90分行われる形式が全期間中用いられた。

日本人の研修リーダーは成川・田中徹夫・の4名とSAAとしてパストガバナーの方々が勤められた。

①セッションは大会初日R・ロイド会長エレクトの次年度のテーマ「READ THE WAY」日本語訳「率先しよう」の提示と解説から始まった。このテーマこの時点までは公にはされてなくその後の研修や資料が完璧に整備されていたところをみると知らぬはエレクトとその配偶者ばかりという状況であった。ニュージーランド出身のボイド会長のプロフィールはすでにロータリーの友の3月号54巻3号18ページに掲載されている。

②と③セッションは年度の強調事項として識字率向上・水保全・保健と飢餓・家族問題と今年度から継続的に行うことを示された。

④クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）の推進

⑤会員増強・退会防止を図り各クラブ1名の増強を義務づけられた。

⑥ロータリー財団の資金については世界的な会員減少と国債など利率の低下。

⑦財団への募金活動として会員一人年100ドルを達成すること。

⑧財団プログラム＝DDFの推進。

⑨青少年を守ることは交換留学生の暴力・セクハラ防止マニュアル

⑩ロータリーの公共活動を世間に認識してもらう。マスコミとの提携。

⑪ガバナーとしてのリーダーシップ＝各種公式協議会の運営法。

⑫ロータリーの倫理；エチケットとマナー

⑬地区目標の設定；率先しようのテーマを実現すること。

⑭今協議会の評価；チームリーダーの司会ぶりなどのアンケート



その他地区予算の運用法につき日本事務所員の説明と微に  
り細にわたるプログラムであった。また配偶者にたいしても  
従来にないハイレベルの研修が行われたようで、確かにロー  
タリーにたいする理解は大きなものになったようだ。ここで  
婦人という言葉を使わないのは女性のガバナーが30名ほど  
おられたためである。

やはり米山奨学会については地区の共同プロジェクトとして  
は認められたのだが、全く論議の対象にはならなかった。

昨年までは同じカルフォルニアのアナハイムというディズニーランドに近いところで行われたのが、  
風光明媚・気候温暖なサンディエゴという120万人の軍港街で佐世保市と姉妹都市を結んでいる  
ところでアメリカ西海岸最大のグランドハイアットという1650室の広大なホテルで行われたわ  
けですが、その運営は完璧に近かった。

この国際協議会は全世界の国・民族・宗教の別なく一堂に会し友愛と親交を深めることが大きな収  
益であった。緊張の日々の中3日目夜の国際交換の夕べで日本チームの松健サンバはご婦人達の猛  
訓練の成果が実を結び満場の喝采を浴びた憩いのひと時であった。

さてRIテーマ・率先しよう・というのは原語のREAD THE WAYよりはかなりソフト  
な表現でむしろ命令形として（ロータリアン各自がなにごとにも率先垂範しなさい）ということと解  
釈し、まったく我が意を得たりであった。

強調事項については一見わが国の実情にはそぐわないようであるが、実は水の汚染・在日外国人の  
子弟の教育・交換留学生の安全・CLPについても継続事項ですでに実行されているクラブが国内  
にもあるようですが、目的はクラブ組織を簡素化して人数が少ないクラブの強化には有効であるこ  
とは確かで、まだ推奨事項であるがいずれ必須事項になると予測されること。

余談になるが後日当地のペトコ野球場での世界大会で日本チームが優勝するとはだれも予測しな  
かった。

その他 感じたことは日本の男性ロータリアンはほとんど夫人や家族にはロータリーのことを話題  
にしていないこと。ロータリーソングは各国みな違ったものを歌っていること。アメリカの入出国  
の検査が年々嚴重になっていること。高速道路は車線が多く無料ではあるが舗装は貧弱であること。

アメリカの人は食事には関心が薄く  
メニューのバリエーションが少ない  
こと。2週間にわたる旅程で観光の  
余裕はなかったことである。

最後にガバナーとして各クラブの会  
長さん方をお願いすることは地区の  
各目標の達成に努力して頂くことは  
勿論ですが、次期ガバナーの申し合  
わせ事項として例会の際ロータリソ  
ングの後に「LEAD THE WAY  
」と斉唱しようとの意見が出されて  
いることで、これは次期各ガバナー  
補佐の方とも相談します。



## 2006～07年度「地区チーム研修セミナー」開催報告

2006～2007年度地区会計長 山田耕一(長崎RC)

地区チームとは、ガバナーをサポートする地区組織の中枢をなす地区役員を云い、ガバナー補佐、地区委員長、ガバナー事務所スタッフ等、約40名で構成される。

田口ガバナーエレクトがサンディエゴ国際協議会から帰国して間もない3月4日、標記研修セミナーが長崎市内のホテルで開催された。

セミナーには、リーダーとして、本城ガバナー、栗林パストガバナー（地区研修リーダー）及び北島地区幹事にご出席戴いたが、当日は第1・2グループのIMと日程が重なり、お三方には両会場掛け持ちでのご出席という強行スケジュールとなった。

当日は、午後2時開会、田口ガバナーエレクトから地区チーム全員に委嘱状が手渡された後、国際協議会出席の報告、RIテーマとRI会長賞の提示、そして次年度地区運営の方針発表が行われた。次いで、本城ガバナーから「地区チームの役割と心得」と題する講話を戴き、「ガバナー一人で地区運営が出来るものではなく、地区チームの強力な支援が不可欠」とその責務の重大さを強調された。北島地区幹事は、RIとクラブとの関係を精緻な理論付けで解説され、その関係を承知して地区運営に臨むことが肝要、と説かれた。

5時過ぎから懇親会に移ったが、丁度その頃駆けつけて来られた栗林パストガバナー

から激励を込めたご挨拶を戴き、その後は和気藹々の内に会が進み、6時半散会となった。

本城ガバナー、栗林パストガバナー、北島地区幹事のお三方には、大変なご労苦をお掛けいたしました。本紙上をお借りし、改めて厚くお礼申し上げます。





## 2005年度 地区「米山奨学生終了式」ご報告

地区米山奨学委員長 前田 博憲

去る3月5日（日）ホテルニュー長崎において、2005年度米山奨学生13名の終了式が行われました。当日は隅田パストガバナー（米山奨学会理事）を始め本城ガバナー、田口ガバナーエレクト、各グループガバナー補佐、地区役員の皆様方のご臨席を頂き、誠にありがとうございました。

本城ガバナーより各々に終了証が手渡された後の懇親会でのスピーチでは、全ての奨学生が米山奨学金の有難さと、世話クラブやカウンセラーの皆さんに対して深い感謝の気持ちを素直に述べていました。

地区のロータリアンの皆様のご理解とご協力に対して御礼を申し上げますと共に終了奨学生諸君の今後の活躍を大いに期待したいと思います。



IM  
開催報告第9・10グループ  
IMホストクラブを終えて

長崎出島ロータリークラブ 鉄川 進

RI第2740地区第9、第10グループの本年度IMのホストクラブを担当することになり、最初に思ったのは私達がIMという事業に何を求めているかでした。私達の長崎出島RCは創立後7年を過ぎ、人でいえば生意気ざかり、何でも一人で出来るような錯覚を覚え始める年頃です。しかし先輩諸クラブに学ばなくてはならないことはまだまだ多いはず、それならばこの機会を生かして、皆さんのロータリーに関するお考えをしっかりといただいてしまおうと考えました。同時に先輩の皆さんにとっても、他クラブがさまざまな問題点にどのように対処しているかを知ることは価値のあることでしょう。

そのようなことから、私達の知りたい6つのテーマに沿った分科会(財政、拡大、親睦、社会奉仕、新世代奉仕、国際交流)を核としたミーティングを立ち上げることにしました。

まずは、中身のある分科会にするためにもそれぞれの論旨に沿った詳細なアンケートを各クラブの担当の方にお願ひしました。めんどうなお願いにもかかわらず、100%の回答をいただき、今回の企画への期待とロータリーの友情を感じることができました。内容はそれぞれの分科会の進行に利用したことはもちろん、報告書にも記載させていただいています。

2月18日の当日は式典、長崎総合科学大学のブライアン・パークガフニ教授による「ボランティアとは志願することー奉仕活動の国際比較ー」をテーマとした基調講演、分科会、懇親会と順調な運営を行うことができました。分科会では活発な議論が繰り返され、時間が短かったのではないかとといううれしいお叱りも頂戴しました。

このIMでいただいたさまざまな情報やノウハウを今後のクラブ運営に活かしていくことが、ご協力いただいた方々へのお礼になると考えております。

カウンセラーとしても参加いただいた、ガバナーをはじめとするご来賓の皆様、面倒なお願いを快く受け入れてくださった各クラブ会長幹事の皆様、2つの分科会を担当してもらったコ・ホストクラブの長崎琴海RCの皆さん、そして参加いただいた全てのロータリアンに心よりの感謝を込めてご報告と致します。



IM  
開催報告

第1・2グループ  
IM開催報告

実行委員長 吉岡 励

2005—2006年度 第1・2グループ合同インターシティ・ミーティング（IM）が去る3月4日（土）、佐賀市のホテルニューオータニ佐賀に於いて神埼ロータリークラブ（ホストクラブ） 多久ロータリークラブ（コ・ホストクラブ） 合同運営で、第1・2グループ10クラブ 335名の登録、250名の参加をいただいて開催されました。

今大会のテーマは「ロータリーと青少年」をメインテーマとして、次世代を担う青少年達とロータリアンとしての接し方、育成の仕方、そして将来に向けての人間形成への協力などをテーマに1部・2部の講演会方式で開催しました。

開会に当たり、本城ガバナーよりIMはお互いのクラブの情報交換をして、新しい情報を取り、アクティブなクラブの活性化を生み出すことが基本であるというご挨拶があり、IMリーダー 宮地ガバナー補佐の21世紀を担う青少年に、深い愛情を持ち夢と希望を託し、熱い思いを込めてロータリアンとしての意識の高揚をお互いに高めたいというお話しで始まりました。

基調講演には、「健全な青少年教育はスポーツを通じて」が持論の栗林英雄パストガバナー（諫早北ロータリークラブ）に、ご自身の体験を元に地域の小学生、中学生とのコミュニケーションを通じての育成のお話しを。

記念講演には、「剣道を通しての青少年育成」のテーマで、中学校教育者としてまた剣道教士として学校生活、剣道を通じ多感な年代の中学生の育成に大きな実績をお持ちの佐賀市立昭栄中学校 教頭 江島良介氏をお迎えし、お二人をメインゲストに1部・2部の講演会方式で、熱く語って頂きました。

ロータリアンとして、青少年とのコミュニケーション、奉仕活動の事例やロータリークラブとしての地域の学校教育との繋がりなど、今の社会現象、教育現象を踏まえて子供達の感受性、言葉使い等、細かい部分まで、自らの体験を元にお話しをして頂きました。



本年度の国際ロータリーのテーマ「SERVICE ABOVE SELF」 「超我の奉仕」を難しく考えずに純粋な「人への思いやり」の精神で、自分達の身近な出来る範囲の中で人助け、地域奉仕活動への協力などの行動を起こしていこうと思います。そして今回のIMでのすばらしいお話しを糧に、何かひとつでも心の部分の奉仕活動もしていかなければならないと考えます。

第12回

ロータリー青少年交換研究会「長崎会議」のご案内

1. メインテーマ:「平和をつむぐ青少年の国際交流」
2. 開催日:2006年5月12日(金)～13日(土)
3. 開催場所:ハウステンボス ユトレヒトプラザ  
〒859-3292 佐世保市ハウステンボス町1-1 TEL:0956-58-1111
4. スケジュール
  - 12日(金)〈第1日〉
    - 12:00～13:00 登録 受付 (1)コンベンション受付棟  
(2)ユトレヒト1階
    - 13:00～16:10 開会式 ユトレヒトプラザ  
基調講演「世界はあなたを待っている」関場 慶博 (D2830)PG  
パネルディスカッション「平和をつむぐ青少年の国際交流」
    - 16:20～18:10 分科会(3テーマ)
      - ① 国際交流の歴史に学ぶ 野中 孝裕 (D2700) 上川 咲男 (D2730)
      - ② 地域交流に学ぶ 山本 茂 (D2610) 野澤 幸平 (D2510)
      - ③ 青少年交換ガイドライン 土井 晶三 (D2660) 間石 成人 (D2660)
    - 18:30～20:00 懇親会 ホテルヨーロッパ
    - 20:00～21:30 二次会 デハール(船)
  - 13日(土)〈第2日〉
    - 07:30～08:30 全国委員長情報交換朝食会 レンブラントホール
    - 09:00～10:50 分科会(3テーマ)
      - ④ 各国の青少年交換プログラムに学ぶ  
鈴木 吉男 (D2760) 木下 稔 (D2710)
      - ⑤ 青少年交換事業の費用負担について  
橋本 年一 (D2680) 杉原弘一郎 (D2690)
      - ⑥ 青少年交換事業の今後 高橋 晃 (D2780) 海沼美智子 (D2750)
    - 11:10～12:30 全体会議(分科会報告・RI指針「青少年保護法策」) ユトレヒトプラザ  
閉会式
      - 【国際ロータリー第2740地区】
      - ガバナー 本城 好春
      - 地区青少年交換委員長 藤井 歸一
      - 長崎会議実行委員長 山縣義道
      - ホスト・クラブ 佐世保ロータリークラブ
      - コ・ホスト・クラブ ハウステンボス佐世保ロータリークラブ

# 地区だより

松浦RC  
広報担当  
山本 浩平

## 第5グループ 近隣4クラブ合同例会



第5グループ近隣4クラブ（平戸RC・北松浦RC・生月RC・松浦RC）合同例会が2月25日17：00より松浦市生涯学習センターきらきら21にて開催されました。プログラムの中で特に重点としたのは、4クラブ委員会発表でした。3クラブは国際奉仕委員会、1クラブは社会奉仕委員会の発表でした。当クラブの国際奉仕委員会（長委員長）は、国際奉仕委員会の活動と課題及びその課題に対する対応について、次の3件について紹介されました。

- (1) 松浦RC独自の国際奉仕活動資金の貯蓄（小銭募金）毎週例会時
- (2) 無理のない寄付方式の計画（ポールハリスフェロー寄付積み立て制度と100%ポールハリスフェロークラブ認証計画）
- (3) 他ロータリークラブと連携した小さな国際奉仕活動の検討

この後、会場を松浦シティホテルに移動して懇親会が行われました。懇親会を得意としている当クラブでは、親睦委員会が主となって会員全員でダンスをし、他のクラブからはカラオケや舞踊など次々と出し物が出て大変にぎわいました。

また、この日は第5グループガバナー補佐安福鴻之助様、第4グループガバナー補佐前田拓郎様をお迎えして大変有意義な合同例会及び懇親会となりました。



## 寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への  
寄付者をご紹介します。

種 類	氏 名	クラブ名
ベネファクター	太 田 明 二	伊万里西RC
	西 岡 榮 一	伊万里西RC
P・H・F	村 岡 一 孝	大村RC
	平 野 邦 利	伊万里西RC
	牟 田 昭 人	伊万里西RC
	廣 渡 雅 也	諫早RC
	中 村 知 也	長崎北RC
	岡 万 里 子	長崎出島RC
	神之浦 潔	福江中央RC
	福 田 羊 子	有田RC
	マルチプル・P・H・F	本 田 嘉 彦
貞 松 俊 弘		大村RC
奥 和 馬		佐世保南RC
川 副 敏 郎		伊万里西RC
内 山 陽 一		伊万里西RC
浦 繁 郎		福江中央RC
山 本 憲 嗣		福江中央RC
崎 永 剛		長崎北RC
宮 本 誠		長崎東RC
大口寄付者	栗 林 英 雄	諫早北RC
	山 口 信 義	唐津中央RC
米山功労者	田 中 直 孝	長崎琴海RC
	菅 原 眞 博	諫早RC
	本 田 文 昭	長崎中央RC
	井 上 弘	長崎西RC

種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者 (マルチプル)	山 口 信 義	唐津中央RC
	山 口 賢 也	諫早南RC
	白 川 十 郎	伊万里RC
	大 原 玉 瑞	長崎北東RC
米山功労者 (メジャードナー)	嵩 則 雄	福江RC
	栗 林 英 雄	諫早北RC

## 新入会員紹介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐賀RC  
きた やま のぶ ひろ  
北山信博君



小城RC  
かわ さき まさ ひろ  
川崎正博君



小城RC  
ふる かわ ひろ ぶみ  
古川博文君



佐賀南RC  
よし かわ たかし  
吉川隆君



佐世保南RC  
はっとりしやういちろう  
服部尚一郎君



諫早RC  
たちかわとよさぶろう  
立川豊三郎君



諫早北RC  
じょう ま ひで お  
城間英夫君



長崎RC  
てづかけんたろう  
手塚堅太郎君



福江RC  
かた やま のぶ お  
片山修男君



長崎西RC  
かわの けいいちろう  
河野圭一郎君



## 訃報

慎んでお別れいたします。

2006年2月10日逝去  
(享年70才)

故 平野郷吾君  
(唐津RC)



## 会員寄稿

## 「資本主義の倫理」ライブドア事件に想う

唐津東RC 宮島傳二郎

昨今の日本経済は景気回復どころか、ライブドア、耐震偽装等々、非道徳的な事件が続発する。マスコミの騒音を耳にしながら、資本主義勃興期の先覚者たちの倫理観をたどってみた。

## (一) まずは、資本主義の始祖 アダム・スミス (1723~1790)

“国富論”を著わしたスミスは、経済学者である前に、道徳学者であった。

彼は、“道徳感情論”で、人間がどんな利己的なものと想定されうるにしても、社会的秩序を支えるものは、行爲者それぞれの立場に我が身をおいて考える情動——同感 (Sympathy) であると説く。公平な立場に立っての自己抑制、ひいては良心、コモンセンスへとつながる。

このような道徳的基盤に立つ市民社会を前提として、お互いにフェアで自由な競争をすれば、「神の見えざる手」により、経済の自然秩序が生まれる。

スミスの自由主義経済の理論は、このような道徳的な基本から構築されている。それが故に、初版以来230年、その著書が今なお不朽の名作として読み継がれているのだろう。

## (二) 日本経済の父 澁沢敬一

論語、第四。里仁篇、子曰ク「富ト貴キハ、コレ人ノ欲スル所ナリ、ソノ道ヲ以テコレヲ得ザレバ、<sup>オ</sup>処ラザルナリ」

今を去ること2500年、孔子といえども、富と貴への欲望を否定はしなかった。しかし、道をはずれたことをして、富貴を得たのであれば安閑とはしておれないよ、と戒める。

日本経済の指導者、澁沢栄一は、その「論語講義」で、この一節を次のように解説する。

「算盤をとって富を凶るのは決して悪しきことではない。余は明治6年、官を辞して民に下り、実業に従事して50年、毫もこの信念を離れずに、あたかもマホメットが片手に剣、片手に経文を振って世界に臨んだごとく、片手に論語、片手に算盤を振って今日に及んだのである。」と。

和魂洋才、その意気たるや壯。

## (三) 次いで、マックスウェバー (1864~1920) と鈴木正三、石田梅岩

マックスウェバーは、プロテスタントは職業を“天職”と信じ精励し、その宗教的禁欲生活が資本主義の発展を促したことを解明する。

また、日本では江戸時代初期、武士であり、僧侶であった鈴木正三は、それぞれの職業に全身全霊を打ち込み、私心なく励めば、佛行と等しく成佛すると説き、江戸中期の石田梅岩は、武士には武士道があるように、商人にも商人道がある、職業倫理——正直、儉約、分限を守れ、目先の利益を追うべからずと教える。

古今東西、先達の教訓に耳を傾けると、今回の事件はあまりにも「資本の論理」のみに走りすぎる。「市民の情操、論理」を加えた新しい「資本主義の倫理」を確立せねば、日本の前途は危ない。

2006年2月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	82.8	80	0	76	0	-4
	小城	4	94.9	34	1	33	1	-1
	牛津	4	83.6	31	0	32	0	1
	多久	4	89.5	42	5	43	5	1
	佐賀大和	4	77.0	25	3	25	4	0
	小計		85.5	212	9	209	10	-3
第2グループ	佐賀西	3	81.1	56	0	56	0	0
	佐賀北	4	82.2	41	3	43	3	2
	佐賀南	4	82.3	41	0	41	0	0
	神埼	4	78.6	28	0	29	0	1
	佐賀空港	4	70.6	20	0	19	0	-1
	小計		79.0	186	3	188	3	2
第3グループ	有田	4	80.5	33	1	36	2	3
	武雄	4	80.4	57	0	56	0	-1
	鹿島	4	85.4	41	2	43	2	2
	嬉野	4	91.6	23	1	24	1	1
	大町	4	66.8	24	0	22	0	-2
	白石	4	75.0	17	0	17	0	0
	太良	4	75.0	9	0	10	1	1
小計		79.2	204	4	208	6	4	
第4グループ	唐津	4	87.2	51	0	55	0	4
	伊万里	4	98.8	40	0	41	0	1
	唐津東	4	96.1	50	0	50	0	0
	唐津西	4	89.0	39	0	40	0	1
	伊万里西	4	86.9	47	0	50	0	3
	唐津中央	4	86.5	41	4	42	4	1
	小計		90.7	268	4	278	4	10
第5グループ	佐世保	4	88.0	84	0	88	0	4
	平戸	4	78.0	41	0	41	0	0
	佐世保西	4	92.0	33	0	30	0	-3
	北松浦	4	80.0	25	0	24	0	-1
	松浦	4	84.0	37	1	36	1	-1
	生月	4	64.0	19	2	16	2	-3
	小計		81.0	239	3	235	3	-4

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	4	100.0	81	0	79	0	-2
	佐世保東	3	87.3	31	0	32	0	1
	佐世保北	4	96.2	48	0	48	0	0
	佐世保中央	4	100.0	46	0	44	0	-2
	佐世保東南	4	82.9	23	0	22	0	-1
	HTB佐世保	4	62.5	28	3	27	3	-1
	小計		88.1	257	3	252	3	-5
第7グループ	大村	4	91.1	52	2	51	2	-1
	島原	4	81.6	37	3	34	3	-3
	雲仙	3	91.3	34	0	32	0	-2
	大村北	4	100.0	33	0	32	0	-1
	島原南	3	81.0	21	1	22	2	1
	大村東	4	80.6	44	1	44	1	0
	小計		87.6	221	7	215	8	-6
第8グループ	諫早	3	91.5	64	0	64	0	0
	諫早北	4	89.3	63	0	65	0	2
	諫早西	4	94.3	46	0	44	0	-2
	諫早多良見	4	79.9	40	0	39	0	-1
	諫早南	4	81.1	32	3	33	4	1
	小計		87.2	245	3	245	4	0
第9グループ	長崎	4	86.1	99	0	100	0	1
	福江	4	88.5	40	0	41	0	1
	長崎北東	4	92.8	58	5	58	5	0
	福江中央	4	96.7	37	0	38	0	1
	長崎西	4	83.3	65	0	69	0	4
	長崎琴海	4	83.0	20	2	23	3	3
	小計		88.4	319	7	329	8	10
第10グループ	長崎北	4	89.8	74	0	74	0	0
	長崎南	3	87.5	84	0	82	0	-2
	長崎東	3	98.6	72	0	71	0	-1
	東長崎	4	85.7	36	0	36	0	0
	長崎中央	4	97.1	59	0	58	0	-1
	長崎出島	4	83.1	55	15	59	15	4
	小計		90.3	380	15	380	15	0
合計		85.7	2531	58	2539	64	8	

# 文庫通信 (222号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 興味深い講演から

- ◎「時代を読む」 田原総一郎 2005 12p (D.2680地区大会)
- ◎「歴史の謎について」 松平定知 2005 9p (D.2790地区大会)
- ◎「ロータリー100年を迎えて」 千玄室 2005 6p (D.2650地区大会)
- ◎「CELEBRATE ROTARY 見直そう原点を」 高橋堯昭 2005 11p  
(D.2540地区大会)
- ◎「人を育てる」 深川純一 2005 22p (全日本RYLA大会報告書)
- ◎「未来に望む若い人」 千玄室 2005 5p (全日本RYLA大会報告書)
- ◎「青少年よ、『重力』と遊べ」 伴義孝 2005 12p (全日本RYLA大会報告書)
- ◎「限りなき挑戦」 衣笠祥雄 2005 15P (D.2650 RYLA報告書)
- ◎「子どもの痛みが聞こえますか」 佐藤辰弥 2005 6P (D.2650 RYLA報告書)

[ 申込先:ロータリー文庫(コピー) ]

### \* ロータリー文庫 \*

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



生月島の大バエ塩俵断崖の春 画:松尾武彦(唐津RC会員)

表紙の写真の説明 **桜畑**

山道を車で走っていて、ピンク色の花畑をみつけた。  
切花用に出荷する桜だそうです。開花期間が長く2週間程  
咲いていました。

[撮影場所] 伊万里市 南波多

[撮影者] 唐津在住 宮崎 宏

**【編集後記】**

四月、心浮き立つ春が来ました。花々は咲き乱れ、吹く風も  
肌に優しく感じます。四月は又、出会いの季節です。入学、進学、  
就職、転職と、様々な出会いの季節です。私たちは一回だけの  
人生の中でロータリアンとして出会いました。「一期一会」の  
思いを大切にしたいものです。



**国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所**

2005~2006年度 ガバナー 本城 好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL (0955) 75-1371 FAX (0955) 75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



**SERVICE Above Self 超我の奉仕**

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740  
国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



2006.5.1 **VOL. 11**

## ●CONTENTS

本城ガバナーのメッセージ……………1	新入会員紹介・訃報……………12
歴代ガバナーからの一言……………2	寄付者紹介・100%ポール・ハリス・フェロー受賞…13
PETS報告……………3	地区だより……………14
I・M開催報告……………5	米山梅吉記念館 賛助会へご入会のお願い…17
第3回 財団奨学・学友委員会・ 研修会並びに壮行会……………8	Rotary International MasterCard ご入会のお願い…18
来日留学生 日本文化探訪の旅…9	『ロータリーの友』新たなスタート!…19
会員寄稿 宮島傳二郎……………11	3月会員数・出席報告……………21
	文庫通信……………22

## 本城ガバナーのメッセージ

第2740地区ガバナー 本城 好春



ロータリーの皆様今日は！！

愈々私のガバナー任期もあと2ヶ月になりました。田口厚ガバナー・エレクトもPETSが終り、5月21日の地区協議会に備えて準備でお忙しい事と思います。

残りの大きなイベントは5月12、13日の第12回 全国青少年交換研究会(長崎会議)が佐世保ハウステンボスで開催されます。来年の四国の予定が急に中止となり、今回が最後の研究会になります。全国規模の研究会で、国外からオーストラリア、韓国、台湾等からも出席されて、約160人余のロータリアンが集まられて、熱心な討議が行われます。

青少年の育成に対するロータリーの熱い思いは、長きにわたってきた伝統です。しかしながら、近年 特に未成年の交換学生に対する交通事故、自然災害からの保護と身体的、性的、精神的虐待、あるいは、ハラスメント(嫌がらせ)を防ぐ必要が生じて来ました。

ロータリー・リーダーのための国際ロータリー定期刊行物「ROTARY WORLD」4月号にもエド・フタ事務総長の覚書で、「青少年保護の基準をロータリアンが定めよう」という記事が掲載されております。今回の青少年交換研究会(長崎会議)でも「予防に関するR I 指針」に対して「日本の統一方針(案)」



が発表されて、皆様から危機管理規定についての御討議を頂く事になっております。

話は変わりますが数年前から、我々ガバナーに対してC・L・P(クラブ・リーダーシップ・プラン)なるものがR I から要請されております。RETSの時にも田口厚G・Eから御説明がありましたが、ロータリー・クラブにとって、最も効果的、効率的な最善の実践方法に基づき作製された管理枠組みといわれております。その目的は、

- ① 会員基盤の維持・拡大
- ② 資金の寄付、プログラムへの参加を通じた財団支援
- ③ 地域社会のニーズに沿った成果あるプロジェクトの実施
- ④ クラブ・レベルを越えた指導者育成です。

しかし、実施に当たっては、定款細則の改

定とクラブ機構の大幅な変更が必要です。

ガバナー会でも、いつも話題となっておりますが、3月20日(月)RI元会長ピチャイ・ラタクル氏が福岡西R・C例会に来られましたので、他地区ガバナー、パスト・ガバナー達数名が彼を囲んで歓迎の晩餐会を行いました。彼にかねてよりの疑問を尋ねましたら、C・L・PはStructure(構造案)であってOptionだといわれました。あくまで4大奉仕がBasic基本姿勢です。C・L・Pが一番大事なVocational Service職業奉仕に触れていない。と彼特有の熱い口調で語られました。R・I事務局の構造案であって、元会長達の意見ではない。ラタクル氏が今度、RIの構造委員長になれるので、又変わってくるでしょうというお話でした。

4月8日(土)、この地区で最後のI・M(4、5、6グループ)がウェルサンピア伊万里で行わ

れました。そのテーマが「ロータリーの未来」でした。基調講演を藤川享胤2800地区P・G、元RI研修リーダーが語られ、特別講演はテレビで有名な吉村作治教授(早稲田大学)が、「古代エジプト文明の魅力」を語られました。一番印象に残ったのは、藤川P・Gがロータリーの100年の歴史と新世紀の夢を話されたのに対して、吉村教授はエジプト4,000年の歴史とその研究結果で「未来はないのだ。未来は現在の我々が作るものだ」という話をされたのが対象的で、深い感銘を受けました。

私達は、ロータリーの第2世紀に入り、「Service Above Self」(超我の奉仕)、そして「人へのやさしい思いやり」の気持をもって「人間に対していい事を!!」の信念と活性で、新しい時代、未来を作っていく事が大切だと思います。ロータリアンの皆様は、どのようにお考えになりますか。



歓迎 RI名会長ピチャイ・ラタクルさん 2006.3.20 於花の木

## 歴代ガバナーからの一言

## 国際ロータリー・クラブに入会した動機は

佐賀西ロータリークラブ 1999～2000 パストガバナー 草場 立太郎



国際ロータリーとは、世界平和と国際理解の実現に役立つ草の根レベルの国際奉仕活動を積極的に推進している、加盟ロータリー・クラブの連合体であると書かれています。しかし入会の時にこのような雲をつかむような高邁な理念を持って入会された方は何人おられるでしょうか。

多分現実的な立場や利害的な考えで入られた方が多いのではないのでしょうか。

過日、日本のある地区でロータリーの意識を調査した報告がありましたので、それを引用して動機を分析してみたいと思います。

## 1) 交友関係

友人・知り合い・先輩などを通して勧誘されることが多いと思われませんが、更に広く多くの人と知り合い親睦や奉仕を通じて友情の輪を広げ、同時に自己啓発に務めたいという考えで入会された方が最も多いようです。

## 2) 異業種の交流

次に自分と異なる職業の方と付き合っ自分の視野を広げ、参考となるところを取り入れて自職を更に発展させたいとの考え。

## 3) 社会奉仕

何らかの社会奉仕をしたいとの生き方をしてきた人が、ロータリーに入会して奉仕活動をしよう・高めようとの考え方。

## 4) ステータスとビジネスの広がり

突然に人間臭さの言葉が現れましたがロータリアンも一人の人間です。正直に本音が出ているのでしょう。実際にロータリーの会員にはその地域の著名な方々が多数いらっしゃいます。そのような方々と対等に話しが出来て有益な事柄を吸収出来、また異業種の方と付き合うことによりビジネスの広がりが期待できるとの考えかた。

人間はその人それぞれの「生き方・暮らし方」に個性的な特徴があって人生を如何に自分らしく楽しく有意義に送るかと努力されておられます。この「生き方・暮らし方」の面より上記の1)～4)をクロスして見ました。そしてこの「生き方・暮らし方」を次記の項のように分類してあります。

- a) 社会奉仕
- b) 清く正しく
- c) 名を挙げる
- d) 金持ちになる
- e) 趣味にあった暮らし
- f) のんきに暮らす

この暮らし方別入会の動機より見ると、a)の「社会奉仕」とc)の「名を挙げる」という2つの生き方がロータリンに特徴的な暮らし方でした。最もはっきりしているのは「社会奉仕」という生き方をしている人の39,3% (全体の比率では28%)が奉仕活動をしようと思って入会しております。

「名を挙げる」というものに特徴的な入会の動機には、全体の平均より多い「ステータス」あるいは「異業種交流」となっています。ちなみに殆どいなかった「金持ちになる」という生き方をしている人の入会の動機は1番が「ビジネスの広がり」になっています。

いかなる動機にしる現在のロータリンとして活躍されておられる皆様それぞれ自分の生き方を持っておられると思っています。国際ロータリーは世界平和と唱えています、ロータリークラブは親睦と奉仕を基盤としています。いわば「社交クラブ」と言ってよいでしょう。

親睦では異業種の方々と趣味・酒席・各地区行事などの会合で知り合いを広め自己啓発をし、同時に「ビジネスを広げ」て自職を拡大でき、その結果「お金持ち」にもなれるでしょう。

奉仕では地域のいろいろな福祉活動につくし、又青少年の育成活動などに務めれば「名を挙げる」ことも出来るでしょうし、「ステータス」な気分にもなるでしょう。

動機は何であれいったん入会すれば立派なロータリアンです。ロータリアンとしては綱領と標語を身につけておけばよく、あとは社交クラブと解してのロータリーライフを楽しんでいけば尚一層の有意義な人生を送ることが出来るでしょうし、又その中から新たな「生き方・暮らし方」が見いだされるでしょう。とても退会しようという考えなど出ないと思います。

# 会長エレクトセミナー PETS報告

国際ロータリー第2740地区2006～07年度  
会長エレクト研修セミナーが2006年3月19日(日)  
長崎グランドホテルにて開催された。今回は地区  
協議会の幹事部会も併せて開催された。田口厚ガ  
バナーエレクトから「新年度の地区運営方針」に  
ついて説明がありました。

実行委員長 前田 三郎 (長崎RC)

## 地区重点推進「奉仕プロジェクト」

RI会長強調事項にされている水保全や保健および飢餓、地区の実情を勘案し、その原因ともなっている「温暖化対策」や「環境保全」などの地球環境問題を地区重点推進「奉仕プロジェクト」とする。



## ▶▶分科会◀◀

### 1 会長エレクト研修セミナー

- ① パストガバナー、地区研修リーダー栗林英雄氏による「クラブ会長の役割と責務」についての講話があり、各クラブは独自性を生かし、親睦を基本とし、例会出席率を向上し、退会防止に努めることなどを強調された。
- ② 長崎ロータリークラブパスト会長益田耕作氏による「ロータリー情報」と題する講話は、8ページのレジメを配布して懇切に説明され、「ロータリーの誕生」から「超私の奉仕」にいたるまで理解を深めることができました。

### 2 地区協議会 幹事部会

2004～'05年度ガバナー補佐佐々木達也氏による「クラブ幹事の役割と責務」について講話があり、幹事はクラブ会長との連繫を密にし、クラブ会員に対する情報伝達の重要性を強調された。



## ▶▶合同研修セミナー◀◀

次の通り、2740地区委員長による解説がありました。

「地球温暖化防止への取り組みについて」	GSE委員長	本田 圭助
新年度の会員増強目標について	次期会員増強委員長	江口 泰介
新年度R財団目標等について	R財団委員長	松尾 英樹
地区大会について	地区大会実行委員長	西村 金造
新年度地区運営について	次期地区幹事	吉田 正和



## ▶▶本城ガバナーによる講評◀◀

本日の研修会は、会長エレクト並びに幹事予定者を併せた合同研修セミナーとして開催され、出席者人員も多く、盛大で、内容も充実していたと判断します。

I・M  
開催報告

第3グループI・M

私が見たJAPAN～佐賀大学留学生の主張

大町ロータリークラブ 土井 了



R I第2740地区第3グループのインターシティミーティングは去る3月18日、松山ガバナー補佐を中心に、大町ロータリークラブをホストとして開催しました。

今回のI・Mは国際奉仕部門として日本で学ぶ留学生の事を取り上げました。私共、大町RCはここ3年間、米山留学生を受け入れお世話をしてまいりました。中国、韓国、そして本年はインドネシアからの留学生でした。彼（彼女）等は、まじめで礼儀たさいい優秀な学生達です。2740地区には米山留学生が15人おります。又、佐賀大学には約300名の留学生が学んでいると聞いています。

我々ロータリアンは、彼らのことをどこまで理解しているのだろうか又、どういふふうにお世話したらいいのだろうか、という事を考え、これからの我々の行動に活かしたいというのが今回のI・Mの発想でした。

そこでI・Mのテーマは「私が見たJAPAN～佐賀大学留学生の主張」として米山留学生2人を含む、出身国の違う5人の佐賀大学生に、日本について、日本人、日本と母国、日本での生活、日本で学んだ事、自分の将来について等、自由に率直に話していただくことにしました。彼らは熱心にいろいろな意見、考え方を述べてくれました。我々はこれらを理解し、糧とし、ロータリー活動に活かしたいと考えている次第です。

最後に大町RCを除く、第3グループの6RCの皆様にはたくさんの出席をいただき、盛会のうちにI・Mが終了した事を心より感謝申し上げます。



I・M  
開催報告第4・5・6グループI・M  
ロータリーの未来

実行委員長 飯田 正一

2005～2006年度 第4・5・6グループ合同のインターシティ・ミーティングを桜の花もまだ残る4月8日（土）伊万里市のウエルサンピア伊万里を会場にして、第4グループ前田拓郎ガバナー補佐の指揮のもとに、ホストクラブに伊万里ロータリークラブが、コ・ホストクラブに佐世保ロータリークラブ、佐世保東ロータリークラブのご協力を得て開催されました。本城好春ガバナー、北島俊郎地区幹事、パストガバナー8名のご参加を戴き、3グループ総勢768名中345名の会員参加を戴き開催されました。



今回「ロータリーの未来」というテーマを戴きまして、その基調講演に国際ロータリーの泰斗であられる2800地区パストガバナーの藤川享胤先生（鶴岡ロータリークラブ）を、そして特別講演の講師として、エジプト研究では国際的に第一人者であられる吉村作治先生にご講演をお願いしました。

基調講演では、ロータリーの未来を語るにはロータリーの過去を評価しなければならないとして、ロータリーの会員数が1997年をピークに減少している事を取り上げられて、基本ルールまでも緩和して性急な会員増強を図った事も原因の一つであり、バッジを付けただけの会員でなく、ロータリアンであることに誇りを持てるロータリアンになって欲しい。未来に向かっては、会員増強も重要課題だが、水問題が重要視されるだろうとして、地球規模での水問題の危機について述べられ講演を終わられた。国際ロータリーの指導的立場にあられる藤川先生のお話に参加者一同感銘をうけました。



特別講演の吉村先生はエジプト研究40年の実績に基づく自信溢れる、ユーモア溢れるお話に時の経つのを忘れて聞き入っていました。

280名の参加を戴いた懇親会では伊万里少年少女合唱団の美しい歌声で始まり、終始和やかな内に閉会となりました。関係者各位に心から御礼申し上げます。

I・M  
開催報告

第7・8グループI・M

地域社会で子供達を守ろう

ロータリアンはどうかかわることができるのか？

諫早多良見ロータリークラブ 桑田 隆朗

2005～2006年度第7・8グループ合同インターシティ・ミーティング（I・M）は、去る3月25日土曜日、ホテルグランドパレス諫早に於いて開催いたしました。大会は烏山紀男ガバナー補佐・日向啓ガバナー補佐のご指導のもと、本城好春ガバナー、中島登志雄地区副幹事のご臨席をいただき第7・8グループ会員462名全員登録で、ホストクラブ諫早多良見ロータリークラブ、コ・ホストクラブ諫早ロータリークラブの合同で行われました。大会は国際ロータリーテーマ「超我の奉仕」のもと「地域社会で子供達を守ろう」・「ロータリアンはどうかかわることができるのか？」といたしました。

第一部は、パネルディスカッションでパネリストに小学校校長金子憲幸氏、PTA連合会会長柴田淳氏、民生委員児童委員岡基治氏、保育園園長杉内幸子氏の四氏に参加いただき、小学校や幼稚園における子供達の安全対策および課外活動の現状等についてお聞きいたしました。種々の活動・対策の中で活動しているボランティアの方々の様子がよく分かりました。

第二部では、絵本作家の宮西達也先生に「ウルトラパパの絵本と子育て」と題する講演をお願いしました。幼児教育のなかで絵本の読み聞かせと幼児のコミュニケーションが非常に大切なことを再認識いたしました。その中で『子供を変えるのではなく、大人が変わらなければならない』との言葉が印象に残っています。

聴衆は子育てを終えた多くのロータリアン諸氏ではありましたが、お孫さんの顔を思い描きながらお聞きいただいたと思います。講演にあわせて先生の絵本の販売を行いました。多くの参加者の方々にお買い求めいただき、絵本が不足するほどの状況でした。終わりに、本城ガバナーより講評を頂きました。

第三部は、場所を移動しての懇親会、日向ガバナー補佐の乾杯の音頭で始まりました。



諫早多良見ロータリークラブ手作りのプログラムで当クラブ会員有志による元気いっばいの「よさこい踊り」、ピンクレディーならぬピンクレディーのカラオケメドレーなど、にぎやかな出し物を展開しながら親睦の輪を深めたつもりですが、楽しんで頂けたでしょうか。最後は、『手に手をつないで』の合唱と来年度の再会の約束で終了いたしました。

## 第3回 財団奨学・学友委員会・研修会並びに壮行会

R財団奨学・学友委員長 田中 克憲

2006年4月9日ホテルニュー長崎に於いて、本城好春ガバナー・北島俊郎幹事の出席のもと13:00より財団奨学・学友委員会を、14:00より国際親善奨学生の研修会を、16:00より奨学生の壮行会を開催しました。

委員会においては、出席者紹介、次年度のR I会長とテーマの紹介、国際親善奨学生の経過報告、次年度の事業計画案、学友の紹介等が報告、審議されました。今年度は特に、次年度の委員会委員3名が新規交代されるために、研修の意味で参加していただきました。



研修会に於いては、奨学生計5名(アメリカ:3名、イタリア:2名)の留学準備等の現況報告が行



われました。留学のための準備が順調に進んでいる人、コーディネーターとの連絡がうまくとれない人、大学との連絡がうまくいかない人等、1人ひとりの苦勞や悩みの報告が行われました。

奨学生の悩みの報告に対して、先輩学友の皆さんからの確かなアドバイスが行われ、奨学生も安心した様子でした。委員会からは、奨学生に対する委員会通達、留学に対しての注意事項等が行われました。

5名の奨学生のための壮行会が、次年度の吉田正和幹事の参加のもと総勢22名が参加し開催されました。壮行会では、奨学生一人ひとりが留学先での卓話の練習を兼ねて、スピーチの練習を披露しました。先頭の山崎風美さんは、京都出身らしく和服に関する足袋や草履、地下足袋、また、地下足袋用靴下等を披露。2番手の谷川晋一君は、伝統の囃子を太鼓持参で熱演。3番手の柿本貴子さんは、習字の有段者で、日本語には夢一つにしても、ゆめ・ユメ・夢の3通りがある等筆を使って解説を。4番手の新ヶ江章友君は、佐賀県の特産品(有田焼・絵葉書等)の説明を。5番手の吉川友理さんは、風呂敷を使ってピンの包み方、箱類の包み方等を。



5人とも、夫々お土産に持って行ったり、道具を持参して現地で実習・披露したりするんだと、意気込んでいました。留学する言語(英語・イタリア語)で流暢にスピーチしました。大変素晴らしい実演・スピーチでした。5名が前列に並び、代表として谷川晋一君がガバナーや顧問ロータリアン、財団奨学・学友委員会に対して「行ってきます・頑張ってきます」の決意をこめたお礼の挨拶の後、イタリアにオペラの勉強で留学する、柿本貴子さん・吉川友理さんがデュエットで、滝廉太郎の「花」を見事に歌ってくれました。本城好春ガバナーより各奨学生に留学用証のバッジが贈呈されました。

フィナーレでは健康に注意して「元気で行ってらっしゃい・元気で頑張ってらっしゃい・元気で帰ってらっしゃい」の激励発声の後、吉田正和次年度幹事の万歳三唱で散会となりました。

2740地区 来日留学生

# 『奈良・京都・東京』日本文化探訪の旅



4月3日月曜日、福岡空港を10時発のANA424便で飛び立って約3時間後には我々一行は、快晴の古都奈良の風景をバスの窓越しに見ることができました。辻副委員長を先頭にメキシコ、ブラジル、アメリカ、ドイツ、オーストラリア、フランス、日本の多国籍旅行団（10名）の旅の始まりです。

法隆寺、東大寺、春日大社と古都の歴史と文化に圧倒されながら本日のメインイベント「茶の湯」を味わいます。

裏千家今日庵の泉本先生の御手前でいつしか私たちは、非日常の空間へといざなわれ、先生や奥様、お弟子さんの心温まるおもてなし

に胸をうたれました。

翌日も小型バスで、京都の平等院、清水寺、鹿苑寺金閣、平安神宮、知恩院を見て廻りました。普通の日本人の観光客と反応が違うので、バスガイドさんは戸惑った様子でしたが、何とか京都の雅な風情を味わい二日目を無事終了。

ちなみに留学生の一番人気は金閣寺。どこのお国の人も黄金色には目がないようです。

新幹線で京都を後にし、いよいよ東京です。今日は生憎の雨。11時に東京駅に着くと、まずは傘を買って三日目のスタートとなりました。最初に国権の最高機関である国会が開

かれる国会議事堂へバスで向かい、議事堂内を福岡資麿代議士はじめ東京事務所の皆様に、とても親切に案内していただきました。昼食は、代議士と共に国会議事堂の食堂で頂くことができました。流石、食通の先生方が利用されるだけあって大満足！その後は、皇居をバスの車窓から眺め、浅草でお買い物、東京のビル群を横目に横浜の中華街で中華料理とショッピングを満喫し、本日の宿である新宿のホテルへと向かいました。

4月6日(木曜日)、今日は昨日とは打って変わって快晴。来日留学生が一番楽しみにしていた東京ディズニーランドでのフリータイムです。青空の下、各人、思い思いのアトラクションを楽しみました。場違いなのはわかっていましたが、辻副委員長と私もお母様方



や子供たちの視線を感じつつ園内を散策させていただきました。一同十分満足して18時頃に電車で新宿にもどり最後の夜を楽しみ、翌日羽田発10時30分発のANA249便で全員無事帰途に着きました。

今回の旅は、留学生にとっては日本での貴重な思い出となり、私にとっても日本の文化と歴史を再認識する旅となりました。また、奈良の泉本先生や東京の福岡代議士はじめ各地でお世話になった人々の人情に触れる旅でもありました。

最後になりましたが、今回の研修旅行を支えていただいたロータリーのメンバーに深く感謝し御報告とさせていただきます。

国際青少年交換委員会地区委員



## 我等の生業(なりわい)

唐津東RC 宮島傳二郎

### なりはひ

我等の生業さまざまなれど…集いて図る心は一つ、求むところは平和親睦…

ワレラノナリワイ さまざま…の歌声が例会場に響く、…ヤワラギムツミとやわらかい大和言葉が続く。あたたかい語感に浸り、職業への愛着、責任感、充実感が伝わってくる。私の好きな一刻である。

なりはひ(わい)、「なり」は、生り、成り。生育すること、実がなること。五穀が生るように勤めること。

「はひ」は、その様な状態を表す接尾語、賑はひ、というときの「はひ」。

従って「なりはひ」とは、五穀が実っているさま、実るように勤めることから、生業、家業、職業を意味するようになる。

### 職 業

「職業」という熟語は、すでに中国の古典 荀子にみられるとのこと。因みに、職業の「職」という字は、木の枝に戦利品や飾りをつけ、多くの人に誇示していたが、その後商家がそれぞれの小旗を立てて商売名を表示したことから職業を意味した。「業」とは、土を堅めるための、木製の道具から転じて、土木の工事を“業”ということになった。職業という熟語に納得する。

### Vocation

われらRIは、職業を通じての奉仕を柱とする。

職業と和訳される英語は数多い。—— occupation は、最も一般的な語、employment は職、職業、vocation 特定の職、天職、profession 高度な専門的知識を要する知的な職業、business 実業、etc … そのとき、その場で、これらが使い分けられている。

しかし、やはり、ロータリーでの職業は、Vocation からはじめなければなるまい。

何故なら、Vocation とは、神のvocal、呼び声、神のお召し、召命という宗教的観念を含んだ天職、「職業」の意味だから…。Vocational Service とは職業奉仕。

ロータリーにおける職業の倫理基準は、意識するや否やを問わず、自らの職業を天職と心得ていくことから始まっている。

“はじめに言葉ありき” —— 原点に帰って考えてみました。

いささか、修辭的には未熟な説明となり、恐縮。

# 新入会員紹介

ロータリーの新しい仲間  
にられました方々を  
ご紹介します。



唐津東RC  
前田 春実君  
まえだ はるみ



佐世保東南RC  
牟田 義豊君  
むた よしとよ



大村RC  
松永 青史郎君  
まつなが せいしろう



諫早RC  
西山 浩一君  
にしやま こういち



諫早RC  
濱 浩二君  
はまき こうじ



長崎中央RC  
高木 浩一君  
たかき こういち



長崎出島RC  
渋谷 栄城君  
しげや ひでき



## 訃報

慎んでお別れいたします。

2006年 3月10日逝去  
(享年66才)

故 田中丸善計 君  
(伊万里RC)



2006年 3月21日逝去  
(享年86才)

故 吉富敬次 君  
(伊万里RC)



2006年 3月25日逝去  
(享年55才)

故 日下良一 君  
(諫早多良見RC)



2006年 3月31日逝去  
(享年52才)

故 浜田和明 君  
(佐世保西RC)



## 寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種類	氏名	クラブ名
マルチプル・P・H・F	池 富 幸 男	佐世保南RC
メモリアルコントリビューター	馬 場 正 人	唐津西RC
	日 向 啓	島原南RC <small>母スマの為に</small>
米山功労者	青 崎 伊佐雄	松浦RC
	今 村 茂 雄	長崎出島RC
	北 郷 雅 子	長崎出島RC
	尾 上 重 道	東長崎RC
	三 宅 清兵衛	佐世保RC
米山功労者 (マルチプル)	山 下 尚 登	佐世保RC
米山功労者 (メジャードナー)	金 子 卓 也	佐世保南RC
	山 下 登	佐世保RC
	田 中 紀 男	長崎北東RC

## 100%ポール・ハリス・フェロー受賞

佐世保北ロータリークラブが2006年3月24日付けで100%ポール・ハリス・フェロー・クラブになり、4・5・6グループI・M(4月8日)時に、ガバナーより、バナーと書簡が贈られました。



平戸RC

# 地区だより

広報担当 佐野屋 勇

## 社会奉仕委員会 \* 鄭成功廟・ロータリーツツジ花壇清掃



4月20日、平戸の川内生まれで台湾の国民的英雄、鄭成功をまつてある鄭成功廟と平戸ロータリー・ツツジ花壇を例会終了後清掃いたしました。あいにく風が強く大変でしたが、久しぶりの肉体労働で汗をかき夕方には気持ちよく終了いたしました。また、鄭成功が取り持つ縁で台南ロータリークラブと1977年に姉妹クラブとなり現在も交流が続いております。台南クラブ創立50周年には台南クラブより台湾ツツジが平戸クラブに贈呈され、つつじ公園に植樹されました。



# 地区だより

## 松浦RC

広報担当 山本 浩平

当クラブの各委員会で実施した活動を報告させていただきます。いつも、月信に掲載して頂く事で、各委員会活動がはりきって頑張る様子が何れ、掲載して頂いている事に深く感謝いたしております。

### 職業奉仕委員会 3/24 ふぐの陸上養殖施設見学 (職場訪問)



松浦RC会員31名は、地元松浦市調川町にある松浦水産株式会社の「ふぐの陸上養殖施設」80t水槽×38面：出荷前5千匹、稚魚3万匹を見学させて頂きました。ホルマリンを使用せず又養殖飼料の開発を目的に試験を実施した結果、商売になるという見通しが立ったので、事業化したそうです。5月頃入れた稚魚が1kgとなり出荷できるようになるのは、10月～12月。歩留まりは100%。見学終了後、この日は100万ドルの食事でしたが、松浦水産株のご厚意により、ふぐとハマチの刺身を試食させていただきました。



### 社会奉仕委員会 4/6

### 春の交通安全運動に参加



2006.04.06



2006.04.06

松浦RC会員・松浦署の署員・安全協会の約30人で、国道204号を走るドライバーに安全運転を呼び掛けるピラや、6月施行の改正道路交通法のあらましを書いたパンフレットを配布しました。

社会奉仕委員会 4/9

不老山公園の花壇清掃

当クラブ(岩藤一人会長)は、松浦市の不老山総合公園で遊歩道脇の花壇の雑草取りなどの清掃活動を行いました。昨年11月、松浦幼稚園の園児らと植えた約3千本のチューリップが咲き始めた花壇で、鎌やくまでを手に心地よい汗を流しました。同公園は約11万本のツツジが咲き誇り、見頃は4月下旬頃、散策しながら色鮮やかなツツジとチューリップを楽しんで頂ければと思っております。



新世代委員会 4/9

松浦RC杯少年剣道大会

新世代委員会の計画により、第14回松浦ロータリークラブ杯少年剣道大会が9日、松浦スポーツセンターにて実施されました。同市内の小中学生100人が小中学生別の形、学年別の個人戦で競い、総合成績では興星館が優勝、田代少年剣道クラブが準優勝に輝きました。



## 米山梅吉記念館 賛助会へ ご入会のお願い

(財)米山梅吉記念館  
理事長 内藤 成雄

拝 啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当館の運営にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

館報7号が完成いたしました。今回は、昨秋行われた特別シンポジウムの模様を中心に構成されています。このシンポジウムでは米山奨学会と米山記念館、米山の冠名をいただく2つの組織の代表が、それぞれの視点からこれまでの発展の経緯と現状、そしてこれからの展望を語っています。パネラーの発言後、参加者から活発な意見も飛び出しましたが、誌面の関係上掲載できなかったことは誠に残念なことでした。しかし、このシンポジウムにご参加いただいた皆様にとって、改めて米山梅吉の軌跡を辿るきっかけになったものと確信しています。

さて、当館の活動資金は、全国一人100円募金と賛助会という寄付を中心に行っています。100円募金はお一人100円が全国のロータリアンと記念館を結ぶ、という気持ちからお願いしているものです。館報もその一役を担うべく年2回発行していますが、現段階では各クラブに1部ずつしかお届けできません。賛助会にご入会いただければ、個人宛にお届けすることができます。賛助会はお一人年3000円となっています。どうか館報をクラブ内でご覧いただき、米山記念館へのご支援100円募金、賛助会へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

敬 具

ロータリークラブ会員のみなさまへ

## Rotary International MasterCard ご入会のお願い

拝 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、財団活動を支援する目的でInternational MasterCardを発行しております。このカードはみなさまがカードをご利用されることで、自動的に財団に寄付される仕組みとなっております。カードには「Gold MasterCard」と年会費永年無料の「Standard MasterCard」の2種類があり、すでに他のカードにご入会されている方もご入会が可能です。

これらのカードの入会会員数が5千人を超えると、カードショッピングご利用金額の0.3%が財団に還元されますが、現状では目標を大きく下回っている状況であり、ロータリークラブ会員ひとりひとりのご理解とご協力が重要となっております。

みなさまにおかれましては、お一人でも多くのカード会員にご入会をお願いするとともに、クレジットカードの中で唯一御利用金額が財団に還元される仕組みのロータリーカードを、メインカードとしてご利用いただきたく存じます。

なお、カードのお申込みに際しては、大変お手数ではございますが、下記お問い合わせ先のオリコカードセンターへご連絡ください。追ってご入会申込書をお送り致します。

みなさまの一人でも多くのご入会をお願い申し上げます。

敬 具

	券面	利用可能金額	カード年会費	財団への還元	付帯サービス
Gold MasterCard	金色	200万円～500万円	10,500円(税込)	①ショッピングご利用金額の0.3% (1万人を超えた場合) ②カード年会費のうち毎年3,000円	ゴールドカード会員専用 空港ラウンジ利用 マイレージクラブ などGold会員限定サービスなど
Standard MasterCard	銀色	30万円～ 50万円	永年無料	ショッピングご利用金額の0.3% (1万人を超えた場合)	紛失盗難保障など

### 株式会社オリエントコーポレーション

〈お問い合わせ先〉オリコカードセンター 受付時間9:30～17:30/年中無休

札幌 011-261-6002 東京 049-271-3330 大阪 06-6871-3860 福岡 092-722-5477  
 仙台 022-215-2655 名古屋 052-735-3525 広島 082-225-5360

※電話番号はおかけ間違いのないように  
今一度お確かめのうえご利用ください。



ロータリーの友

## 『ロータリーの友』

# 新たなスタート！



RI第2740地区ロータリーの友

地区委員 石松 憲一郎

『ロータリーの友』は地区ガバナーの機関誌として、1953年1月に、広い意味でのロータリー情報の普及を目的として発刊され2003年1月で創刊50周年になる。そして『友』誌は1977年クラブ定款の改正に伴い、公式地域雑誌の規定が設けられ、1980年7月から公式地域雑誌に推選された。創刊当初は、1ヶ月発行部数3,300部だったが、会員の増加と共に、52年後の2005年7月号では115,000部におよび通巻631号を数えている。

### 『友』誌創刊まで

1952年（昭和27年）4月25日、大阪市で開催された地区大会で、次年度（1952～53年度）から日本が二つの地区に分割されることが決定され、これまで一つの地区として、まとまっていた日本のロータリアンが2地区に別れるので、寂しさと複雑さの雰囲気が当然の事ながら当時のメンバーにはあった。その様な状況でロータリアンは、分区されてからも連絡を密にするため共通の機関誌の創刊が企画された。

第1回の準備会は、大阪で開かれ、大阪RCの星野行則氏がガバナーであったので、同クラブの露口四郎氏が幹事役となり、東京、横浜、京都、大阪、神戸の各RCの代表メンバーが出席開催された。

共通の雑誌を、目標にしていたが、東と西では、雑誌に対するイメージが、かなり違っていた。西の星野氏は、謄写版刷の簡単なものでよいから早くとう意見、東では、初めからある程度、きちんとした恒久性があるものを望むとう意見で、最初の会合では具体案の作成までに至らなかった。

第2回の準備会は、岐阜RCのお世話で、1952年8月16日、岐阜、長良川畔の旅館で行われた。この時は、更に具体的になり、色々と申合せ事項がまとまった。

主な項目は、

1. 編集委員は、合議制とする
2. 東京にて発行する
3. 定価50円とするが、広告を掲載して100円の内容ある雑誌とする
4. 名称は『ロータリーの友』とする
5. 横書きとする（横書き、縦書きで意見がわかれ、各RCの意向を確かめる為、一般投票を行ったところ、2対1の割合で横書きが採用される）
6. 創刊は1953年1月号からとする

## 『ロータリーの友』の名称

第2回準備会で、岐阜RC遠藤三郎氏提案の『ロータリーの友』が投票によって決定した。この名称に対し、会合ではビールのおつまみ『ビールの友』からのヒントを得たのではと発言があったが、当の遠藤氏は後日『主婦の友』からヒントを得たと話された。

## 創刊号から広告を掲載

定価について東西が意見対立、遠藤氏が仲裁案として50円を提案したが、雑誌の体裁から、東の活版案になり、活版作成すると経費が当時93円75銭、予算不足となり、遠藤氏は仲裁案として広告を掲載して補填しなければ出来ないと考えていた。

定価100円は発刊以来、1962年12月号まで、約10年間続いた。その後、1974年まで定価110円だったが、印刷諸物価等の値上がりにより1975年1月号から定価200円となり現在に至っている。

『友』にとっても、広告収入は1975年以來の200円（1989年4月より消費税込み210円）を維持して行く為にも重要な財源となっている。1953年の創刊当初は横組みでスタートだったが、その後、俳壇、歌壇など横組みでは都合が悪くなり、1972年1月号から従来の形式を一変して、縦組みと横組みに分けた現在の形式となった。

## 創刊50周年であらたなスタート

2003年1月で50周年を迎えるに当り、2002年2月号よりサイズ並びに製本方法等を刷新、更に投稿欄など内容も一部変更して新しい時代にマッチした『ロータリーの友』を目指して第一歩をスタートした。

新しい『友』は、B5判をA4変型判（縦280ミリ×横210ミリ）に変更、製本方法も無線綴じから中綴じに変更した。又、本格的にコンピューター編集を採用、ロータリーの友事務所内で原稿整理から段組みまですべての作業が出来、用紙は写真中心のカラーページ、文字中心のページも美しく印刷される用紙に変更、より多くのロータリアンが気軽に読まれる様に2003年8月からは、すべてのページをカラーにした。

RIの初代事務総長チェスリー・ペリーによって創刊された公式機関誌『ザ・ロータリアン』が1911年1月25日発刊されたのを記念して、1月25日を含む1週間を雑誌週間としていたが、1978～79年度からは雑誌週間は4月になったが、1983～84年度に特別月間として毎年4月がロータリー雑誌月間に指定された。

『ロータリーの友』は、これからも公式地域雑誌として、RIの基本方針、その当年度のRI会長の所信など、その都度掲載して行くことが求められており、その意味では、情報誌・機関誌としての使命と機能をもっている。

ロータリアンの皆様が、この趣旨をご理解頂き『友』誌の愛読活用を頂きます様、お願い致します。

（参照）ロータリーの友委員会資料より

## 2006年3月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	85.5	80	0	73	0	-7
	小城	4	90.4	34	1	33	1	-1
	牛津	5	90.0	31	0	32	0	1
	多久	4	87.7	42	5	43	5	1
	佐賀大和	3	85.3	25	3	25	4	0
	小計		87.8	212	9	206	10	-6
第2グループ	佐賀西	4	79.2	56	0	57	0	1
	佐賀北	4	82.9	41	3	43	3	2
	佐賀南	3	82.9	41	0	40	0	-1
	神埼	3	78.6	28	0	29	0	1
	佐賀空港	5	76.5	20	0	19	0	-1
	小計		80.0	186	3	188	3	2
第3グループ	有田	3	83.2	33	1	36	2	3
	武雄	4	91.1	57	0	56	0	-1
	鹿島	3	84.6	41	2	43	2	2
	嬉野	4	87.4	23	1	24	1	1
	大町	4	72.4	24	0	22	0	-2
	白石	5	76.5	17	0	17	0	0
	太良	5	70.0	9	0	10	1	1
	小計		80.7	204	4	208	6	4
第4グループ	唐津	3	88.3	51	0	55	0	4
	伊万里	5	98.0	40	0	38	0	-2
	唐津東	3	95.8	50	0	52	0	2
	唐津西	5	84.1	39	0	38	0	-1
	伊万里西	5	81.4	47	0	50	0	3
	唐津中央	4	91.1	41	4	42	4	1
	小計		89.8	268	4	275	4	7
	第5グループ	佐世保	5	100.0	84	0	87	0
平戸		4	86.2	41	0	41	0	0
佐世保西		3	93.6	33	0	29	0	-4
北松浦		3	88.9	25	0	24	0	-1
松浦		5	88.3	37	1	36	1	-1
生月		4	62.5	19	2	16	2	-3
小計			86.6	239	3	233	3	-6

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数					
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減	
第6グループ	佐世保南	5	98.7	81	0	78	0	-3	
	佐世保東	5	85.2	31	0	32	0	1	
	佐世保北	3	98.3	48	0	48	0	0	
	佐世保中央	4	100.0	46	0	42	0	-4	
	佐世保東南	5	77.4	23	0	23	0	0	
	HTB佐世保	3	56.4	28	3	27	3	-1	
	小計		86.0	257	3	250	3	-7	
第7グループ	大村	3	97.8	52	2	51	2	-1	
	島原	3	79.4	37	3	34	3	-3	
	雲仙	4	88.8	34	0	32	0	-2	
	大村北	5	100.0	33	0	32	0	-1	
	島原南	4	74.0	21	1	22	2	1	
	大村東	4	72.1	44	1	44	1	0	
	小計		85.4	221	7	215	8	-6	
第8グループ	諫早	4	94.1	64	0	64	0	0	
	諫早北	5	83.8	63	0	65	0	2	
	諫早西	4	88.2	46	0	44	0	-2	
	諫早多良見	3	79.8	40	0	38	0	-2	
	諫早南	4	78.0	32	3	32	4	0	
	小計		84.8	245	3	243	4	-2	
第9グループ	長崎	4	80.5	99	0	97	0	-2	
	福江	5	93.0	40	0	39	0	-1	
	長崎北東	4	88.7	58	5	57	5	-1	
	福江中央	2	96.0	37	0	37	0	0	
	長崎西	3	75.4	65	0	69	0	4	
	長崎琴海	4	76.1	20	2	23	3	3	
	小計		85.0	319	7	322	8	3	
第10グループ	長崎北	3	74.1	74	0	72	0	-2	
	長崎南	5	80.6	84	0	80	0	-4	
	長崎東	5	98.6	72	0	71	0	-1	
	東長崎	3	85.7	36	0	36	0	0	
	長崎中央	3	92.4	59	0	59	0	0	
	長崎出島	4	69.1	55	15	59	15	4	
	小計		83.4	380	15	377	15	-3	
合計				84.9	2531	58	2517	64	-14

訂正：4月掲載の2月末出席率で、佐世保の出席率が88.0となっていました。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

# 文庫通信 (223号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## ロータリー活動から

- ◎ 「震度7それでもわが大地を愛す」 (D.2560) 2005 48p  
(新潟県中越大震災復興支援活動の記録) [ 申込先:ロータリー文庫 ]
- ◎ 「家庭奉仕実践の手引き 第1版」 (D.2510) 2005 16p  
[ 申込先: 和田壬三 FAX (011)271-4336 ]
- ◎ 「育ちゆく新世代と共に米作り」 東京武蔵府中R.C. 2005 52p  
(米作り体験学習実施報告書) [ 申込先:ロータリー文庫 ]
- ◎ 「何故カンボジアに小学校を建設したか」 (D.2610) 富山第2分区 2005 113p  
[ 申込先:ロータリー文庫(コピー) ]
- ◎ 「たった2滴のワクチンが命を救う」 前田正一郎 2005 7p  
(全日本RYLA大会報告書) [ 申込先:ロータリー文庫(コピー) ]
- ◎ 「ポリオ撲滅募金活動報告書」 (D.2650) 2005 35p  
[ 申込先:ロータリー文庫(コピー) ]
- ◎ 「RI第3ゾーン水資源・健康・飢餓救済セミナー報告」 近藤眞道 2005 2p  
(D.2660月信) [ 申込先:ロータリー文庫(コピー) ]
- ◎ 「識字率向上委員会報告書《活動記録》」 (D.2830) 2005 26P  
[ 申込先:ロータリー文庫 ]

## \* ロータリー文庫 \*

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



長崎オランダ坂 画:松尾武彦(唐津RC会員)

表紙の写真の説明 **落日の頃**

日本棚田百選に選ばれた浜浦棚田の落日風景です。この日は、幸運にも太陽が水平線に消えるまで撮影ができました。

[撮影場所] 唐津市 玄海町 浜浦

[撮影者] 唐津在住 宮崎 宏

【編集後記】

桜の季節も過ぎ、緑まばゆくなる今日この頃ですが、今年度の月信委員会もいよいよ追い込みのシーズンになってきました。事業報告などそろそろご準備願います。

—ポール・ハリス語録より—

「私たちがロータリーと呼ぶものは、魅力をもって生き続けることができるのでしょうか？あるいは自然の摂理のように、生まれ、成長し、繁栄し、次いで、病み、年を取り、衰え、身体不随となり、ついには死んでいくのでしょうか？」



国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所

2005～2006年度 ガバナー 本城 好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL (0955) 75-1371 FAX (0955) 75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



**SERVICE Above Self 超我の奉仕**

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740  
国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



2006.6.1 **VOL. 12**

## ●CONTENTS

本城ガバナーのメッセージ……………1	会員寄稿 宮島傳二郎……………19
ガバナー・ノミニー紹介……………2	新入会員紹介……………20
ガバナー補佐退任挨拶……………3	寄付者紹介……………20
地区委員長退任挨拶……………8	4月会員数・出席報告……………21
アンケート出席委員会活動……………4	文庫通信……………22
第27回 RYLA報告……………18	

## 本城ガバナーのメッセージ

第2740地区ガバナー 本城 好春



皆様、一年間、本当にお世話になりました。  
長いようで短い一年間でした。

ガバナー・エレクト時代からすると丸二年  
間、R・Iと付き合った事になります。

田口厚新ガバナーが後継して頂く事になり、  
私も安心して退任する事が出来ます。

思えば余り見栄えのしない平凡な一人のロ  
ータリアンだった私が、抜擢されてノミニ  
ーになり、エレクトになり、一年間ガバナーを  
勤める事が出来て、自分自身びっくりしてお  
ります。あれよ、あれよという間に事が過ぎ  
て行き、本当に貴重な体験をさせて頂いたと  
感謝しております。

私を支えて呉れた多くのロータリーの友達  
と知り会い、自分の一生の中で、一番忙しか  
ったけれども、幸せな時だったと思い返して  
おります。

ロータリーアンになって36年間、いろん  
な事がありましたが、「Service Above Self」  
(超我の奉仕)、人へのやさしい思いやりが  
出来るようになった自分自身に驚くと共に、  
一番徳をしたのは私自身ではなかったかと思  
えるようになりました。

世の中は、損、得、メリット、デメリット

と、ぎすぎすした感情の摩擦の中で生きて来  
た若い時代から、歳をとり欲望から遠ざかる  
時代に生きる時間が残された事に感謝する気  
持になりました。

「They Profit Most Who Serve Best」  
(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)  
の意味が、経済的な金儲けにしか響かなか  
ったのが、もっと深く深層に届く哲学的、倫  
理的、或いは宗教的な響きに感じられるよう  
になりました。同じ言葉が年齢的、肉体的世代  
によって、理解する意味が異なるのだなあ  
と思える年代になりました。

昨年2月、アナハイムの国際協議会に於いて、  
フランクJ・デブリン ロータリー財団委員  
長が、どうせ死ぬ時は、体一つで、何も持っ  
て行けないのだから、要らない物はみんな財  
団に寄付をして、身軽になって死んだ方が幸  
せだという事を話されました。何だかその意  
味が判るような気がします。短期間で、ロー  
タリー特有の洗脳を受けて、私自身の考えが  
変わったのでしょうか。一種の悟りみたいな  
気がします。この二年間、いろんな事を学び  
ました。

ロータリーに感謝です!!有難う御座いました。

ガバナーノミネー紹介

第2740地区2007～08年

ガバナーノミネー 野口 清

佐賀ロータリークラブ

野口クリニック・(医法)清友会  
野口クリニック院長・(医法)清友会理事長



プロフィール

- 生年月日 1951年1月8日
- 現住所 〒849-0928 佐賀市若楠2-1-6
- 学歴 日本医科大学卒業
- 職歴
  - 1976年-1979年 国立病院肥前療養所勤務
  - 1977年-1979年 佐賀精神病院勤務
  - 1980年-1985年 野口クリニック院長
  - 1985年-1989年 (医法)清友病院院長・理事長
  - 1990年-現在 野口クリニック院長  
(医法)清友会理事長

■ 団体歴

佐賀市医師会会員  
日本精神神経学会専門医、指導医  
精神保健指定医

■ ロータリー歴

- 1986年 佐賀ロータリークラブ入会
- 1990年-1993年 国際青少年交換地区委員
- 1992年-1993年 幹事
- 1993年-1994年 国際青少年交換地区委員長
- 1999年-2000年 第2740地区 地区副幹事
- 2005年-2006年 会長

ポール・ハリス・フェロー(4回) ベネファクター(1回)

## ガバナー補佐退任挨拶



第1グループガバナー補佐

中島 一 峯

(多久RC)

ロータリーは素晴らしい！！

ガバナー補佐という大役をお受けし、1年が終わり、改めてそう思いました。ガバナー補佐という、ガバナーを補佐し、各クラブを支援するという責務につきましても、私自信甚だ疑問ではありますが、皆様方のご支援・ご協力のおかげをもちまして、何とか任務を終える事となりました。

たくさんの方々との出会いに恵まれ、色々な体験が出来たこの1年は、私にとりまして、何ものにもかえがたい宝物になりました。

第2740地区 2005～2006年度地区方針『超我の奉仕』「思いやりと寛容」・識字率向上と教育・水保全の目標達成につきましても、皆様方のご協力で努力できたかと思えます。有難うございました。

最後になりますが、本城ガバナーをはじめ、北島幹事、ガバナー事務局のスタッフの皆様、並びに第1グループの皆様方に、心から御礼を申し上げて退任の挨拶とさせていただきます。



第2グループガバナー補佐

宮地 勝 朗

(神埼RC)

奉仕の原点に回帰した年次テーマ『超我の奉仕』という理想を实践するため、本城好春ガバナーは就任の冒頭、難しく考えず率直に「思いやりと寛容の精神」と理解し、同じ理想や目標を共存する他団体と協力し活動する事を指示され、その方針に従って、第2グループ代表のガバナー補佐としての役割、指定されたクラブの管理運営、クラブが効果的に

機能する支援をする事など、就任以前から本城好春ガバナーの指導を随時受けながら地区チーム研修セミナー、会長エレクトセミナー、地区協議会、7月末のインターアクト大会に出席し、高校生の熱気溢れる活動に接し意を強くした思いがあります。

11月12日13日唐津での地区大会、田中徹夫RI会長代理ご夫妻のもと、篤信彦氏の記念講演を始めとし、各種プログラムに本城好春ガバナーの熱意に感動し、平岡晟大会実行委員長の努力に対し敬意を表し地区大会の大成功にガバナー補佐ロータリアンとしての喜びと誇りを再び認識し、この感動を忘れる事は出来ません。

本年3月にはガバナー補佐最大な責務としての第1グループ・第2グループ、2005～2006年度I・M、我々ロータリアンが21世紀を担う青少年に夢と希望を託し熱い思いを込めて、「ロータリーと青少年」をテーマとし、記念講演に剣道を通じて江島良介先生、青少年育成に多大功績を残しておられます栗林バスターガバナーの基調講演の真髄にうたれ、古川県知事が何時か「青春とは単なる人生の花盛りではなく、来るべき結実の秋への準備である」と提唱された事を青少年に期待し、多久ロータリークラブ中島ガバナー補佐・会長・幹事、神埼RC吉岡大会実行委員長・会長・幹事の熱意が伝わり、有意義なI・M開催であったと誇りに思います。来る6月3日には、我が神埼RC20周年記念大会を奉仕の理想に邁進して20年の歩みをご紹介し、更なる30周年に希望を託しながら小林大会実行委員長のもと会長・幹事を中心に奉仕活動を主眼に準備致しております。

上記ガバナー補佐就任から退任に至る迄を回顧し、数々の活動の中で、恣意浅学非才の僕が、本城好春ガバナーのご指導を受けながらクラブ協議会、ガバナー公式訪問と佐賀西RC、佐賀北RC、佐賀南RC、佐賀空港RC、

会長・幹事・ロータリアンのご協力に感謝し、我が神埼RCのみんなが暖かくガバナー補佐としての職務にご援助いただき感謝申し上げます。次第であります。

今後は、本城好春ガバナーが表現された清水寺 森貫主の相手の喜び悲しみが伝わってくるのが「愛」でありこの言葉はロータリーの理念「Service・Above・Self」に通じると指導を受けた事を肝に銘じロータリアンとして奉仕の活動に傾注する覚悟であります。以上ガバナー補佐退任のご挨拶と致します。



第3グループガバナー補佐

松山 進  
(大町RC)

第3グループガバナー補佐をお引き受けしたものの戸惑うことばかりでしたが、皆様の御厚情に支えられながら任期を終了しようとしております。

顧みますと平素はロータリアンとしての研鑽を積まずに平々凡々と出席するのみでしたが研修会を重ねるにつけ、ロータリーの意義と活動がより理解出来るようになりました。

ことに米山奨学活動にあつては国際的なつながりの深さや、異国で学ぶ奨学生の意欲的な生活態度にはただただ感銘するのみです。私たちロータリアンも彼等に学ぶべき多くのものがあります。

第3グループのI・Mにおいてホストクラブの大町RCは、奨学生や交換学生が見た日本についての討論会を催し、彼等の率直な意見を聞くことが出来た事が印象的でした。大町クラブは全盛期44名の会員を有していましたが、現在22名と激減いたしI・Mを担当しました。それでも少数は少数なりに会員の意識改革があったと思います。それなりに成果があったものと認識いたしました。これから各クラブにおかれましてもより充実した運営が出来ますことを願って、1年間のガバナー補佐としての役目を終わらせて頂きます。

本城ガバナーを始めとしてロータリアンの皆様のご指導を頂き、1年間の良き勉強の時

間を頂きましたことに重ねて感謝を申し上げます。有難う御座いました。



第4グループガバナー補佐

前田 拓郎  
(伊万里RC)

早いものでもうすぐ1年が経過するのですね。ロータリークラブのなかでは、このような形での関わりは初めてでしたが、生まれ故郷の伊万里の、中学校の唐津のロータリアンの皆様に助けていただき、感謝申します。

とくに、卓話など、私の毒舌を柳に風と聞き流していただきました。今の日本の言論は、乱れはてていると思っているのですが、ロータリーの中では、その中でも特に考えなければならぬ政治と宗教がタブー視されていることは、これで良いのでしょうか。小泉マジック、靖国、皇室などの事でも、テレビや新聞がこう言っているから、というのではなくロータリアン各個人の高い識見を期待したいものです。多数意見が正しいということは全くありません。専門家だと称する連中が、真の専門家であることは、めったにありません。少数意見ではあっても、それが優れた、あるべきものが、多数意見に成長していくその過程の成長こそが、真の民主主義だと思っています。皆様方、どうぞ健康に気を配っていただき、又、お会いしましょう。



第5グループガバナー補佐

安福 鴻之助  
(佐世保RC)

ロータリーのルールから言っても、又個人的資質（人格、識見）から見ても資格の無い私が、思いがけずガバナー補佐を務めさせて頂きましたが、早くも1年が経過してしまいました。この間担当した第5グループの各クラブを訪問した折には、どのクラブでも暖かい歓迎を受け恐縮に感じ、大変ありがたく思いました。第1回目の訪問時は卓話（30分）

の準備をしていたので慌てることはありませんでしたが、2回目、3回目は会長、幹事さんとはご挨拶のみとお約束していたにもかかわらず、クラブによってはプログラムの都合で卓話を求められ、とまどったこともありました。

北松浦地区4クラブ合同例会は印象に残る会合でした。会場（今年は松浦市）までかなりの時間を要すクラブ（会員）もあったでしょうが、各クラブとも大変出席率が良く、懇親会は全員参加の余興で、とても盛り上がったものでした。

ロータリーの網領の第一に、奉仕の機会として、知り合いを広めることとあります。

ガバナー補佐を務めさせて頂いたことにより、図らずも私自身がこの網領の第一を実践させて頂いたと感謝しています。

ただ最後に残念なこと、それは今年度末をもって、生月クラブが29年の歴史を閉じ解散するに到ったことです。平成の市町村大合併により生月町が新平戸市に吸収合併され、それにより生じたさまざまな事情で、退会する会員が続出したことによります。クラブの合併を提案しましたが、それもかないませんでした。

しかし幾人かのメンバーは近隣の平戸クラブや北松浦クラブなどに転籍?入会されると聞いています。夫々のクラブでのご活躍を期待したいと思います。



第6グループガバナー補佐

**浦本 忠男**

(佐世保東RC)

昨年7月、クラブ協議会の席上でガバナー補佐の役割はガバナー、地区、そして各クラブの連絡調整にあり、ガバナーと各クラブの間で廻る歯車の潤滑油のようなものです。

何はともあれこの1年、ロータリーが目指す『超我の奉仕』を最大限に理解し最善の奉仕活動に邁進し、折角頂いた役割と責務を十分に果たすことが出来るよう努力したいと抱負を述べています。

そうして、今その任期の1年が終わろうとしています。果たしてガバナー補佐としての責務が果たせたのか・私の力不足ばかりが気に掛り補佐という仕事の難しさをいまさらながら痛感しております。

各クラブ協議会への参加を皮切りに、ガバナーの各クラブ公式訪問、地区大会、そして3クラブ合同のI・M開催とガバナー補佐としては当然のプログラムでしたが各クラブの会長、幹事の皆様方そして各企画委員の方々のプログラムに対する情熱と行動には深く感謝申し上げたところでございます。

所でこの1年振り返ってみると本城ガバナーをはじめガバナー補佐の方々、地区幹事、他多くのロータリアンとの素晴らしい出会いがあり、多くのことを学ぶことが出来ました。私のロータリー人生の中での最良の思い出として残る1年間であったと思います。私にご支援いただいた第6グループ各クラブの会長、幹事、会員各位の皆様本当に有難うございました。心強いバックアップを最後までしてくださったホームクラブの伊藤会長、橋口幹事他会員各位、並びに原事務局の皆様方には格別のお世話になり誠に有難うございました。

お陰さまでガバナー補佐の責務を無事終えることが出来ましたのも、クラブ会員皆様の温かい励ましとご協力の賜と心から感謝し、お礼を申し上げ、退任のご挨拶といたします。



第7グループガバナー補佐

**日向 啓**

(島原南RC)

あっという間の1年でした。なぜ、私がガバナー補佐なのか、人選システムのどこかが間違っていると思いました。

指名された以上やるしかない。どうやっていいのかわかりませんでした。本城ガバナーの方針に沿って頑張るだけ。ガバナーは、肩肘張らなくても良い。できる事をしっかり積み上げてゆけば、それで良いとお話になっているので、それに従ってやったつもりですが、如何でしたか。

まず、各クラブに挨拶回りをしました。次に、クラブ協議会をお願いし、会長・幹事と状況を打ち合わせ、公式訪問でガバナーに報告する大任を無事終えられたのは、会員皆様の温かい友情のお陰だと感謝しております。

その次の大役であるI・Mについては、8地区の鳥山補佐におんぶにだっこ。これまた感謝、ありがとうございました。

周年行事も、大村北、大村東でありましたが、立派なものでした。関係者のご協力の賜物だと思います。

残り2ヶ月、何が出来るのだろうか、せっかくガバナー補佐になったのだから、それらしい事をお話し出来ないかなと、佐古PGの[回首元点]読んでみました。その中で、初期ロータリーと今日的ロータリーへの移行時。この辺りに、問題があり、今日でも解決していないのではないだろうかと思った次第です。

最後に、各クラブの会長・幹事、会員の皆様の温かいお心に感謝申し上げ、退任の挨拶と致します。この一年間ありがとうございました。



第8グループガバナー補佐

鳥山紀男

(諫早RC)

ガバナー補佐の任期も後わずかとなりましたが多くの人々との出逢いを通し、ロータリーの友情を深く心に感じた1年間でした。

昨年7月1日(金)所属する諫早ロータリークラブでの就任挨拶で始まり、平成18年6月30日(金)に退任挨拶をすることとなり、何か運命的な気がしております。7月の始めに各クラブ訪問後、7月下旬から9月中旬にかけてクラブ協議会・公式訪問となり、各クラブとも特徴のある活動を活発にしておられるのに感心しました。又暖かく迎えていただいたことに深く感謝しています。

地区大会も終わり、I・Mの準備に取り掛かりましたが、ホストクラブを就任前から決定していて、第1回目の打ち合わせ後少し不安がありました。打ち合わせを重ねる度に安

心感が増し、ロータリアン1人ひとりの心に灯かりを灯したいとの思いでテーマを「地域社会で子どもたちを守ろう」=ロータリアンはどうかかわることができるか?とし、パネルディスカッションにて知識と認識を深めていただき、ロータリアンとしてのかかわりを、考える場とし、絵本の読み聞かせが、幼児教育の中でも健全な心を育む絶好の手段と考え、絵本作家の宮西達也先生の講演を企画し、3月25日を迎える事となりました。

I・Mが成功裡に終わり第7・グループの会員の皆様、ホストクラブ諫早多良見ロータリークラブの皆様には、心よりお礼申し上げます。

地区大会を始め、I・Mその他各種会議において多くの方々と親交を深め、友情を得たことは、私にとっては、貴重且つ幸せな1年であったと思います。

特に前年度の早田ガバナー補佐には、ご指導いただきありがとうございました。

この1年間ご指導、ご支援いただきました本城ガバナー及び各グループのガバナー補佐の皆様へ感謝申し上げます。退任の挨拶といたします。



第9グループガバナー補佐

渡邊修志

(長崎西RC)

光陰矢の如し、第9グループのガバナー補佐という大役をおおせつかりまして、早くも1年の任期を終わろうとしています。

顧みますと、就任当初の不安と緊張から今は貴重な体験学習を終えたという実感が湧いてきております。私がガバナー補佐として各クラブを訪問させて頂いた時、緊張する私を温かい友情で迎えて頂いた会長、幹事を始めとして、会員皆様方のお陰でなんとかこの大役を果すことが出来たものと思います。

ところで、本城好春ガバナーは自分は地区とRIとのパイプ役であると申されたのを受けて、その補佐役である私はガバナーと各クラブ会長皆様方との間にあって、パイプ役を務

めさせていただきますと各クラブ訪問の際に公言致しましたが、果してその任務を全うすることが出来たかどうか、大変気懸りに思うところであります。

さて、第9・10グループ内でのインターシティ・ミーティング（I・M）開催に当りましては、ホストクラブの長崎出島RC服部会長、岡幹事を筆頭に準備委員会の皆様による精力的、且つ綿密周到な立案企画に始まり、コ・ホストクラブの長崎琴海RCの皆様方の一致協力のもとに、2月18日に開催され、盛会裡に終えることが出来ました。これも偏に御参加の皆様を始めとして、ホスト、コ・ホストクラブの会員の皆様方のご尽力の賜と深く感謝申し上げます。続いて4月16日に第27回RYLAが第10グループの総力のもとに開催されました。ホストクラブの東長崎RC尾上会長、田中幹事を筆頭に地区実行委員会が立ち上げられ、“国際理解と平和～地域を見つめ世界を見渡し平和を語ろう”というテーマのもとに、コ・ホストクラブには長崎北RC、長崎南RC、長崎東RC、長崎中央RC、長崎出島RCの5クラブが全面協力ということで、長崎原爆資料館で開催されました。昨年、戦後60年、被爆60年を迎えた長崎の地で、しかも原爆資料館見学も兼ねて開催されたことは時宜を得たライラ開催であり、東長崎RC尾上会長の熱い思いが実行委員会メンバーの熱情を昇華し、大盛会裡に終了。御参加の皆様を含めて大変御苦勞様でした。

こうして一年が曲がりなりにもガバナー補佐の任を終えることが出来ました。これも偏に本城ガバナーの御指導と各クラブ会長、幹事そして会員の皆様方の温かいご理解とご協力のお陰と感謝申し上げますと共に、ガバナー事務所のスタッフの皆様方に心より御礼申し上げます。退任の挨拶と致します。この一年間本当にありがとうございました。



第10グループガバナー補佐

**西岡 英一**

(東長崎RC)

平成16年7月に、第10グループの前ガバナー補佐である佐々木達也さんが、私が所属する東長崎クラブを訪問して、次期ガバナー補佐を当クラブから出してもらいたい、9月までには決めてほしい旨を当時の古賀豊太郎会長に話をされました。

ガバナー補佐は会長経験者から選ばなければ、ならないと言う事で古賀会長は、一生懸命に会長経験者に打診して回りましたが、なかなか困難しているようでした。

私も会長経験者でしたので、私にも話がきました。

私は古賀会長に「私も受けたくは無い。しかし他の方に全て断られた時は、考えましょう。」と答えました。

9月までに決まらなると他のクラブに迷惑がかかると思ったからです。

受けたあとになって、なぜこんな大役を受けてしまったんだろうと思い悩みましたが、12月18日に唐津で初めて会議があり、本城ガバナーや北島地区幹事や他のガバナー補佐と会って、もう川を渡ってしまったんだ、もう後もどりは出来ないな、と覚悟を決めました。

各クラブ訪問では、大変あたたかくお迎えしていただいて有難うございました。今年2月8日には、出島クラブのホストでI・Mが行なわれ「被爆地長崎ならではの」ライラが出来たのは、コ・ホストクラブをしてくれた他の10グループのクラブの御協力のおかげです。

厚くお礼申し上げます。

私のような者が、大過なく終える事が出来たのは、本当に皆様のおかげです。

有難うございました。

## 地区委員長退任挨拶



クラブ奉仕委員会

**小松 重昭**

(唐津中央RC)

1905年に4人から始まり、紆余曲折の末、100年を経過している。23-34（社会奉仕に関する1923年の声明）がロータリーの基本となり、思想と理論の確立、一業種一会員と例会出席と厳しい制度の結果、ルールが守られて来たからこそだと思います。

ロータリーは社交クラブであるから、入るも自由、出るも自由の中で、全世界で120万余の会員が行動しているのは、そこにロータリーの魅力、ロータリーの良さ、ロータリーの楽しさがあるからだと思っています。

クラブに於いてクラブ奉仕委員会は判りませんが、地区にはクラブ奉仕委員会は有り得ないので、私は敢えてクラブ奉仕部門と致しました。

この1年間というより、前期に集中してしまいましたが、委員会合同による去る9月17日(土)に唐津に於いてのセミナー「ロータリーの今と昔」のテーマで隅田パストガバナーを講師に迎え、145名の参加者で開催致しました。このセミナーを開催するまでに3回程の委員会を開催致しました。どういう形式でやるか、質問時間は、講師は、資料はという事で協議をした結果、中味に重点を置き、ロータリー本来のセミナーはこうあるべきでは無いだろうかという事で開催するという事で決定致しました。

講師、場所、日付等は、スムーズに決まりました。そして資料という事で、手持ちの資料数点から選び「見るから中味を読む」資料という事で作成しました。

会場にあっては、飾り物は一切無しという状態で、今時ロータリーのセミナーでは質素な形式に成りました。質疑応答の時間も余裕

を持って取りました。

これらをふまえて開催して終ってみて、内容に於いても参加者に於いても委員会一同、充実感あふれるセミナーであったと思われま

す。今回のセミナーで出席された会員の皆様がこの形式のセミナーもあるのだと思われて、その中にもロータリーの思想、理論は確実に伝える事が出来たと思われま

す。このセミナーにより、各委員会の案件も少しは入り込んだと思っております。委員会の皆様、1年間御協力誠に有難うございました。



拡大・会員増強委員会

**野村 安伸**

(長崎北東RC)

2003-2004年度に会員増強委員を拝命し、2005-2006年度までの3年間は私のロータリークラブ人生において、まことに大きな財産を頂けました。こうした機会を与えていただいた事に、心より感謝しております。

この3年間に、多くの方々にお世話になり、まがりなりにも大役を終えることができました。また、各クラブにおかれましては会員増強の意義を十分に認識され、新規会員の補強や退会防止に尽力されたことに対し敬意を表するとともに感謝いたしております。

今後とも、クラブの活力とも言える会員増強に力を注いでいただくことを祈念し退任の挨拶とさせていただきます。1年間、大変お世話になりました。

ありがとうございました。



ロータリー女性委員会

金ヶ江 亮子

(多久RC)

2005年～2006年度の国際ロータリーのテーマ『超我の奉仕』を受けて、人への思いやりということで「世界のこどもにワクチンを」をかかげて頑張っていたらユニセフ協会と日本委員会へ使用済み切手と使用済みテレホンカード及び書き損じ葉書等を集めて送ることにしました。皆様方にも色々お手数をかけましたことに感謝申し上げます。

第2740地区の女性委員長を引き受ける時には、ロータリーの経験も浅く、どのような計画を立てればよいのかまったく解らない状態でした。でも、親会であるクラブ奉仕委員長をはじめ、各委員長様からもアドバイスをいただき、肩を張らずに出来ることをやっていたという事で、上記の二つの協会への援助を決めました。いやいやながら引き受けた女性委員長だったのですが、長いようで本当に短い1年だったと思えます。今になって、“もう少し他にも出来なかったな”という感があります。

これからも、あまり肩を張らず男性の方が親睦ゴルフをなさるような感じで、女性も食事をしながら親睦の輪を広げていく事が出来たらなと思っております。皆で楽しい雰囲気を作って互いが触れ合う事が大切ではないかと実感致しております。各クラブの女性会員の方に声をかけ、ハウステンボスのホテルで昼食を取りながら、色々な話に花が咲き楽しく又、有意義な時間を過ごすことができました。参加者が少なかった事を残念に思っております。

最後になりましたが、クラブ奉仕委員長をはじめ、各委員長に大変お世話になりましたことに深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



出席委員会

緒里 勇三郎

(諫早西RC)

2005～2006年の出席委員長をおおせつかり、出席率向上を目標に掲げましたが、何も出来ずに前期を過ぎてしまいました。

この間、12月の出席率は7月より1.7%低下しましたし、前年比でも6ヶ月の平均出席率は85.5%で、前年の86.1%を0.6%低下しました。

この打開策に、委員会の開催も考えましたが時期的に遅すぎたこともあり、現状を把握するのが先決と考え、「出席委員会活動に関するアンケート」を集約し、各クラブにフィードバックする事にいたしました。

アンケートの(1)出席率向上の施策(2)無断欠席の防止策では様々な取り組みがなされていることを知ることが出来ました。各クラブにおかれましては、有用と思われる施策をご検討いただき、今後の委員会活動の一助にしていただければ幸いです。

任期中、出席委員会活動の施策を提示出来ませんでした。幸い、各クラブのご努力により、12月からは出席率は前年よりアップしております。12月0.3% 1月1.0% 2月0.3% 3月2.0%と上昇傾向にあります。

今後更に出席が良くなり、クラブのますますの活性化が図られることを祈念し、退任のご挨拶といたします。



社会奉仕・環境保全委員会

服巻 芳史

(小城RC)

地区社会奉仕部門に3年間先輩諸氏のご指導を仰ぎながら役を受けさせていただきました。当年度は、社会奉仕・環境保全委員会、に構成され、地区委員長として任務を果たすことができ、11月12日に地区大会におきまして、白川十郎委員のご指導のもと、NPO法人伊万里はちがめプラン理事長福田俊明氏、『「生ゴミを宝に」資源循環型社会をめざし

て』と言うタイトルで講演依頼し、実行できました。

その事業活動としては、排出する生ゴミの処理を特に可燃ゴミとして、消却処分するところに疑問を感じ、ゴミ減量化による環境保全と食資源による循環型社会をつくることによって地域の自立を目指し「堆肥化プラント」や「菜の花エコプロジェクト」総合的環境保全事業伊万里『環の里』計画、佐賀大学との共同研究「はちがめエココネット」「タイ国の地域環境に係わる調査事業」などを実施され広く活躍されています。

このような活動は、地域の問題を一緒になって考え環境改善の具体的な行動の場を提供するものだと確信致します。

この3年間を通して、多くの方々との出会いに感謝申し上げ、この経験を生かして、小城クラブでも頑張っていきたいと思えます。



職業奉仕委員会

影 平 薫

(長崎東RC)

断れなくて引き受けてしまった職業奉仕委員長、何とか無事に任期を終えることができました。

さて、今年のRIテーマ『超我の奉仕』は、ロータリー草創期の1911年に採択されたものを、再び採用したということで、大変注目され話題にもなりましたが、ロータリー活動の柱である「職業奉仕」が、とりくみとして採択されたのは更にその1年前のことでした。

昨年9月に実施しました職業奉仕セミナーにおいてロータリーの歴史が「職業奉仕」活動を揚げることによって、飛躍的に発展していった経過がよく理解されました。そのことは、参加された各クラブの職業奉仕担当各位以前に、まずは、私たち地区職業奉仕委員たちこそ、一番勉強したことでした。

「職業奉仕」はその歴史が古いだけではなく、他の奉仕クラブや団体にはない独自の概念であり、ロータリー活動を最も基本的に性格づけるものでもあります。その意味で、こ

れからも「職業奉仕」を更に重視して、とりくみに創意工夫をこらしていくことが大切ではないでしょうか。

この1年間、皆様にはご協力、ご支援いただき大変感謝しております。有難うございました。



国際青少年交流委員会

藤 井 歸 一

(唐津RC)

本委員会活動について、知識不足のまま委員長職をお受けしましたが、ホストクラブ、ホストファミリーの方々を始め、関係の皆様方のご支援、ご協力を賜り、本年度の青少年交換事業も最終コーナーに差しかかりました。

活動内容につきましては、地区ガバナー月信 (Vol. 4,6,7,10,11) で一部報告させていただきました。

ところで、ロータリー青少年交換研究会「長崎会議」が去る5月12・13日、ハウステンボスで開催されました。ホストクラブとして佐世保ロータリークラブ、コ・ホストクラブとしてハウステンボス佐世保ロータリークラブがお引き受けいただき、北は第2500地区帯広西RCから、南は第2730地区鹿児島南RCまで180名が参加して、メインテーマ「平和をつむぐ青少年の国際交流」のもとRI青少年交換プログラムに関する幅広い分科会と意見交換がなされ、実りのある研究会であったと思います。

ステンハマーRI会長からのメッセージに「もし、すべての17歳の青少年が交換学生となれば、この世から戦争は消えてなくなるでしょう」とありました。

ここ数年来の懸案事項であります青少年交換プログラムにおける虐待とハラスメント(嫌がらせ)予防に関するRI指針についても、長崎会議で討議され、RI指針に対する日本版「青少年保護方策」の作成について一応の承認がなされました。この問題は、今後ロータリーが主催する各種の活動、青少年交換に限らず、RYLA (ライラ)、インターアクト。ロータ

ーアクト等のいろいろな危機管理の対応にも波及するものと思われます。

青少年交換事業について、地区内の多くのクラブで参加・協力をいただいておりますが、1年間の「長期交換」と夏休み等に行う「短期交換」があります。これまでの青少年交換事業に携わってないクラブにおかれましても、ご一考いただければと思います。



GSE委員会

### 本田 圭助

(長崎南RC)

3年間の長きに亘るRI6290地区(アメリカ・ミシガン州とカナダ・オンタリオ州の一部で構成)とのGSEプロジェクトも無事終了して、ようやく退任の運びとなりました。

2003年7月から2006年6月までの3年間(準備期間も含む)地区GSE委員長としての任務を何とか果たすことができましたのは、ひとえに安部パストガバナー、栗林パストガバナー及び本城ガバナーのご指導と、当該年度におけるガバナー補佐、地区幹事のご支援並びに地区GSE委員及びガバナー事務局員皆様方のご協力の賜物であります。誠に有難う御座いました。

今回のGSEプロジェクトは、従来1年間で彼我のGSEチームの受け入れと派遣を実施してきたのとは異なり、RI本部の財政の都合で受け入れと派遣をそれぞれ1年ずつ2年間で実施することになり、GSE委員に1年間余分の労力を強いることになりました。

受け入れに際しては、全てのグループがガバナー補佐のご指導のもと、万全の受け入れ体制を敷かれ、又個々のロータリアンの友情ならびにホームステイ先のご家族の心尽くしにより、リーダーMr.Morse、Mr.Gill、Mr.Taylor、Ms.Arntsen、Mrs.Meyerson、の5人のチームは2004年10月24日長崎空港到着から11月21日同空港出発迄の4週間に予期以上の職業研修成果、地域文化の体験、RC例会や地区大会への参加、友情のこもった国際親善など数々の楽しき思い出と経験をもっ

て帰りました。

派遣に関しては、高江洲リーダー(長崎南RC)の素晴らしいリーダーシップのもと、末松さん、樋渡氏、篠崎氏及び山口氏の5人のチームは2005年9月4日ミシガン州 Grand Rapidsに到着以降4週間に亘って、職業研修、文化交流、ロータリアンとの交流・ホームステイや地域社会との親善など予期以上の成果を挙げてきました。以上概要を述べましたが、GSEは若い職業人に国際感覚と自分の職業に対する新しい発見の機会を与えます。今後も3年ごとに実施したら如何でしょう。

この3年間のうちきわめてハードな時期もありましたが、貴重な体験をさせて頂いたと心から感謝しております。

以上



ロータリー財団委員会

### 松尾 英樹

(佐世保中央RC)

今年の6月で、2期目の財団委員長の大役を終え、7月より3期目に入ることになります。この2年間の中で、地区のロータリー財団委員長の職務のマニュアル作りの必要性を感じておりました。その為、次の3項目についてまずは最低限必要な現時点のマニュアルを作ってみました。

- 1.地区補助金の流れのフローチャート
- 2.ロータリー財団の指導者研修セミナーのテキスト
- 3.地区活動資金(D.D.F)の管理台帳

これをもとに、次年度も地区ロータリー財団委員長の任務を全うし、修正の必要あるところは修正を加え、無事に任期3年を終了して、次期委員長へ資料として引き継いでゆきたいと思っています。

この1年間の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



財団奨学・学友委員会

## 田中克憲

(長崎西RC)

財団奨学・学友委員会、大ベテラン横尾和正前委員長の後を受け、久保志郎副委員長、志村宏一委員、久保昌二委員の4名で1年間頑張ってきた。財団奨学・学友委員会の活動は、ロータリー財団国際親善奨学生のための、年3回(7月、12月、4月)の研修会と6月に奨学生の面接選考会を開催しました。

選考会には、ガバナー、ガバナーエレクト、地区幹事、次期地区幹事、地区財団委員長、財団奨学・学友委員会関係では、次年度ガバナー事務所財団奨学・学友委員会担当、次年度地区委員、現地区委員の出席のもとで開催いたしました。

この国際奨学金制度は、夢と希望を持った優秀な若者達が集い、世界に向けて羽ばたくことのできる、民間レベルでは世界最大規模の素晴らしい制度です。

今年度も素晴らしい奨学生5名の内、3名は、アメリカへ人文社会科学、言語学、知的生涯教育の勉強に、2名は、イタリアへ声楽(オペラ)の勉強にと、世界に向けて羽ばたいていきます。

現委員4名の内3名は、次年度自クラブの要職に就任されるということで退任されます。1年間、大変お疲れ様でした。

次年度の、財団奨学・学友委員会にも、ご支援・ご協力いただきますよう、何卒宜しく願いいたします。有難う御座いました。



米山記念奨学委員会

## 前田博憲

(佐賀西RC)

先ずはこの2年間、地区米山委員長として貴重な経験の機会を与えて頂き、幾多のご指導とご協力を賜りました隅田米山奨学理事、栗林PG、本城ガバナーを始めとする地区内ロータリアンの皆様方に厚くお礼を申し上げ

ます。

皆様のご期待に沿える活動が出来たかどうかは甚だ疑問ではありますが、大過なく勤められた事に胸を撫で下ろしております。

さて、日本ロータリーの誇りである、米山奨学事業は、ここ十数年来の我国経済・文化の変遷や日本に留学して来る学生達の国籍や志しの変化と、制度創設時に掲げた理念との間に少なからず乖離が生じ始めており、ある意味で大きな転換期を迎えているように思われます。

米山奨学会では、この様な現状を踏まえ、昨年度より「奨学生の現地採用」や「専門学校などへの採用枠拡大」などの試みが実施され、今後も様々な改正が検討され、より充実した事業として再構築されていく事を期待いたしております。

最後に、次年度より地区委員長をお勤め頂く諫早南RCの高木正隆君並びに各グループの地区委員の皆様には、その手腕を存分に発揮され、地区米山の今後一層の発展にご尽力賜りますことを祈念いたしまして退任のご挨拶とさせていただきます。

誠にありがとうございました。



ライラ委員会

## 吉村正則

(佐賀大和RC)

去る4月19日(日)に第2740地区のRYLAを第10グループの東長崎ロータリークラブにホストクラブを引き受けていただき、長崎北RC、長崎南RC、長崎中央RC、長崎出島RCの5クラブに、コ・ホストクラブとして協力をいただき、長崎原爆資料館で開催いたしました。

まずもって無事盛会の内に終了できましたことに関して、色々とお指導いただきました本城好春ガバナーを始め、関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

今回の登録者はロータリアン208名、IAC31名、RAC26名、一般学生74名の合計339名のもの方に参加いただくことができま

した。心より御礼申し上げます。

さて、「国際理解と平和～地域を見つめ、世界を見渡し平和を語ろう～」のテーマのもと開催されました第27回RYLAは、会場が原爆資料館、そして戦後60年ということもあり、若い世代の人達に戦争の恐ろしさ、悲惨さを知っていただくという実行委員会の意向がございました。

講演会では「輝いて生きるために」というテーマで、実際に被爆体験をされた安井幸子氏に、平和の大切さ、生命の尊さを語っていただき、また、現役高校生の滝川理沙さんには、「高校生一人署名活動について」というテーマで、若い世代を代表して平和を伝えていく活動報告をしていただきました。

長崎市長の伊藤一長氏には、「国際理解と平和」というテーマで、素晴らしい講演をしていただき、いずれの講演にも参加者は夢中で聞き入っておられました。

この3名の講演を聴いた後、各グループに分かれてのディスカッションをおこなったのですが、最初は初めて会う人ばかりで皆、緊張していたようです。しかし時間が経つにつれ活発な意見が出されており、もう少し時間があればより深く青少年達の心の交流ができたのではと反省しております。

私は2年間地区委員として、そして今回は地区委員長という立場でRYLAに参加させていただいたのですが、この3年間多くのロータリアン、青少年と交流することができましたことは私自身にとりまして何よりの財産となりました。

今回のRYLAを開催するにあたりましては、委員長として行き届かぬ点が多々あったかと思えます。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

これからも皆様方の御指導のもとロータリアンと青少年がともに活動し、共有できる環境作りを行って参りたいと思っております。

本当に有り難うございました。



ローターアクト委員会

藤村 昌 憲

(長崎北RC)

この1年間、ローターアクト地区委員長として大過なく在任できましたことは、地区委員の時にご指導頂いた前山口委員長、そして各地区委員の皆様のご支援によるものであり、在任中関わりました全ての皆様に感謝申し上げます。

地区委員も含めてこれまでの3年間、地区内外のローターアクター、そしてローターアクトに関わる数多くのロータリアンと知合いになる経験をさせて頂きましたが、立場は違っても、ローターアクトに対する情熱を非常に強く感じると共に、あらためてこの素晴らしく意義あるプログラムに関わることが出来たことを感謝申し上げます。

とは言え、ロータリーと同様にローターアクトも会員数の減少になかなか歯止めが掛からず、地区の活動に対し十分な応援や指導が出来なかったのではないかと反省もしております。

若い人たちに「他では学べない経験を習得する場」であるローターアクト活動をより一層拡大できるように、一人でも多くのロータリアンに活動の趣旨目的を理解して頂くよう、今後とも何らかの形で応援できれば、と考えています。

最後に、お忙しい中ローターアクトの各行事に参加頂いた本城ガバナー、提唱いただきありがとうございます各ロータリークラブの皆様、御礼申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。

## 地区出席委員会活動に関するアンケート結果

地区出席委員長 緒里 勇三郎

クラブ名	委員	会 員 数			出 席 率			無断 欠席	出席委員会開催			クラブ奉仕部門委員会		
		7月	12月	増減	7月	12月	増減		定期	不定期	無	定期	不定期	無
佐 賀	3	80	75	-5	88.5	81.6	-6.9	有			○		○	
小 城	3	34	33	-1	93.4	86.4	-7	無			○			○
牛 津	3	31	32	1	91.3	89.6	-1.7	無		○			○	
多 久	4	42	43	1	90.4	87	-3.4	無	毎月			毎月		
佐賀大和	3	25	24	-1	91.7	82.7	-9.0	有			○		○	
佐 賀 西	3	56	56	0	75.4	75.5	0.1	有			○		○	
佐 賀 北	4	41	43	2	83	81.8	-1.2	有		○			○	
佐 賀 南	2	41	40	-1	86.6	78.8	-7.8	有			○			○
神 崎	2	28	29	1	85	83.9	-1.1	有		○		毎月		
佐賀空港	2	20	19	-1	63.8	70.6	6.8	無			○			○
有 田	2	33	36	3	79.1	86.3	7.2	無			○		○	
武 雄	3	57	56	-1	87.7	84.8	-2.9	有		○				○
鹿 島	3	41	44	3	90.3	85.8	-4.5	有		○			○	
嬉 野	3	23	24	1	89.5	94.4	4.9	有			○			○
大 町	3	24	22	-2	77	74.5	-2.5	無			○			○
白 石	3	17	17	0	74.5	78.4	3.9	無			○			○
太 良	2	9	10	1	82.5	77.8	-4.7	有			○		○	
唐 津	3	51	54	3	92.5	91	-1.5	有			○		○	
伊 万 里	2	40	40	0	96.3	98.4	2.1	無			○			○
唐 津 東	3	50	52	2	97.3	95.7	-1.6	無			○			○
唐 津 西	3	39	40	1	87.6	84.2	-3.4	有			○			○
伊万里西	4	47	50	3	88.4	82.7	-5.7	有			○		○	
唐津中央	1	41	43	2	92.1	100	7.9	有		○			○	
佐世保	15	84	88	4	99.2	100	0.8	無		○			○	
平 戸	3	41	44	3	89.1	82.2	-6.9	有		○			○	
佐世保西	4	33	31	-2	93.1	98.8	5.7	有		○		毎月		
北 松 浦	4	25	24	-1	88.9	86.7	-2.2	有		○			○	
松 浦	3	37	37	0	94.9	87	-7.9	有			○		○	
生 月	2	19	16	-3	67.7	72.5	4.8	有			○		○	
佐世保南	3	81	79	-2	100	100	0.0	有		○			○	
佐世保東	4	31	32	1	87.7	80.5	-7.2	有		○			○	
佐世保北	3	48	48	0	98.5	98.8	0.3	無		○		毎月		
佐世保中央	4	46	44	-2	100	100	0.0	有		○			○	
佐世保東南	2	23	22	-1	75	75.8	0.8	有		○			○	

クラブ名	委員	会員数			出席率			無断 欠席	出席委員会開催			クラブ奉仕部門委員会		
		7月	12月	増減	7月	12月	増減		定期	不定期	無	定期	不定期	無
HTB佐世保	3	28	27	-1	80.5	61.5	-19.0	有			○			○
大村	1	52	51	-1	96.7	83	-13.7	有			○		○	
島原	2	37	35	-2	82.4	83	0.6	有		○			○	
雲仙	5	34	32	-2	91.4	92.3	0.9	有			○		○	
大村北	2	33	31	-2	100	100	0.0	有		○			○	
島原南	2	21	22	1	76.3	82.3	6.0	有			○		○	
大村東	1	44	44	0	76.5	79.5	3.0	有		○			○	
諫早	3	64	63	-1	95	90	-5.0	有			○			○
諫早北	2	63	64	1	87.5	89.1	1.6	有			○		○	
諫早西	2	46	46	0	96.6	89.1	-7.5	有			○	毎月		
諫早多良見	2	40	39	-1	88.2	78.1	-10.1	有		○		毎月		
諫早南	3	32	33	1	87.5	82.8	-4.7	無		○				○
長崎	4	99	101	2	80.1	76.6	-3.5	無		○			○	
福江	3	40	42	2	83.3	88.9	5.6	有			○		○	
長崎北東	4	58	59	1	96.7	85.9	-10.8	有			○		○	
福江中央	2	37	39	2	93.2	92.3	-0.9	有			○		○	
長崎西	3	65	68	3	78.1	80.4	2.3	有		○			○	
長崎琴海	2	20	23	3	80	77.3	-2.7	有			○		○	
長崎北	3	74	74	0	80.5	73.2	-7.3	無		○			○	
長崎南	3	84	82	-2	72.8	82.3	9.5	有		○			○	
長崎東	2	72	69	-3	98.6	98.6	0.0	有		○			○	
東長崎	2	36	37	1	77.9	80.6	2.7	有			○			○
長崎中央	2	59	59	0	93.2	93.1	-0.1	有			○			○
長崎出島	3	55	59	4	86.7	85.3	-1.4	有		○			○	
合計	3	2,531	2,546	15	87.2	85.5	-1.7		1	26	31	6	37	15

\*会員数、出席率はガバナー月信から転載しました

- 1、会員数（12月末現在） 増加 24クラブ 増減無 9クラブ 減少 25クラブ
- 2、出席率（12月末現在） 向上 20クラブ 同率 4クラブ 低下 34クラブ
- 3、無断欠席の有無 無 14クラブ 有 44クラブ
- 4、出席委員会開催状況 毎月 1クラブ 不定期 26クラブ 開催無 31クラブ
- 5、クラブ奉仕部門委員会開催状況 毎月 6クラブ 不定期 37クラブ 開催無 15クラブ

#### 6、出席率向上の施策

- ① 皆が親睦し、出席したい雰囲気を作る(多久)
- ② 例会を楽しくし、活性化させる(唐津中央・伊万里西・佐世保北・佐世保東南・長崎中央・長崎出島)
- ③ 会員同士の呼びかけ(佐賀大和)
- ④ 例会で会員へ呼びかける(唐津)
- ⑤ 欠席者には電話／f a xによる出席の要請(ハウステンボス佐世保)
- ⑥ 欠席会員に足を運び出席要請(大村)
- ⑦ 例会前日に、例会内容を全員に f a xでお知らせし、出席を呼びかけている(大町)

- ⑧ 欠席者には、出席を促す依頼状を f a x か m a i l で配信(長崎北東)
- ⑨ 例会プログラムを発送の際、欠席の場合は理由を書いて報告するよう求めている(長崎琴海)
- ⑩ 2ヶ月ごとに出席率60%未満の会員に、出席の奨励をしている(長崎南)
- ⑪ 半期毎に個々人の出席率表を配付(長崎北東)
- ⑫ メークアップの促進(佐賀大和・鹿島・松浦)
- ⑬ 欠席者へは、電話・f a x 等でメークアップの依頼(伊万里・佐世保南・佐世保西・佐世保東南・北松浦)
- ⑭ 電話により出席とメークアップの確認(佐世保西)
- ⑮ 第7・8グループの例会一覧表(名刺大)を作成配付、メークアップの一助にしている(雲仙)
- ⑯ 例会で、市内の他クラブの例会開催日を紹介している(メークアップ情報)(大村北)
- ⑰ 欠席者に、電話や次の例会時にメークアップできる日程を聞く(唐津東)
- ⑱ 近隣クラブへのメークアップ費用の補助(諫早多良見)
- ⑲ 地区関係事業出席者への交通費補助(諫早多良見)
- ⑳ 例会毎に出席率の報告(鹿島・佐世保西・大村北・諫早多良見・福江中央)
- ㉑ 月間100%出席者を週報に掲載(諫早多良見)2月毎(長崎南)
- ㉒ グループ内・他クラブの出席率を発表して、出席率向上を求めている(長崎琴海)
- ㉓ 100%出席者の表彰(鹿島・大村・諫早西・長崎西)
- ㉔ 各会員の仕事に結びつくような講師による卓話(唐津中央)
- ㉕ 外部卓話者を多数依頼し、会員卓話を減らす(太良)
- ㉖ 卓話者の事前告知(佐賀北)
- ㉗ 夜の例会を定期的に行っているが、出席率は向上していない(白石)
- ㉘ 親睦の効果を上げるため、出席、親睦活動、会報の合同委員会の開催(鹿島)
- ㉙ 委員会活動への参加(松浦)
- ㉚ 出席率の悪い会員を出席委員に任命(鹿島)

**7. 無断欠席の防止策**

- ① 毎月末、翌月の出、決予定を取っている(佐賀)
- ② 本年度から、例会日前日に全会員へ本人携帯電話へ電話している(有田)
- ③ 例会時、無断欠席をしないよう全会員に周知徹底している(松浦・大村・島原・大村北)
- ④ 当日の10時までに連絡するよう周知している(島原・諫早北・諫早西・大町)
- ⑤ 次回例会の出欠を回覧し、当日欠席や回覧もれ会員には f a x で返事をもらっている(佐賀南)
- ⑥ 年初に欠席の際の連絡ルールを文書にて配付(長崎出島)
- ⑦ 例会時、食事費の無駄を強調している(鹿島・嬉野・伊万里西・長崎中央)
- ⑧ 欠席会員へは、電話・f a x で出席・メークアップの連絡をしている(多久・佐賀大和・唐津・伊万里・北松浦・佐世保東南・長崎西)
- ⑨ 毎週「メークアップのお知らせ」と電話連絡を事務局で実施(佐世保西)
- ⑩ 直接本人へ出席依頼をしている(佐世保南・大村北・福江中央・長崎琴海・武雄)
- ⑪ 特に親しい人から声をかけてもらっている(長崎琴海・東長崎)
- ⑫ 常連者にはスポンサー会員から出席要請(諫早多良見)
- ⑬ 2ヶ月毎に、事前報告を促す依頼状を f a x か m a i l で配信している(長崎北東)
- ⑭ 各個人に出席状況表(無断欠席回数表示有)を配付(平戸)
- ⑮ 例会時無断欠席者名を発表し会員の自覚を促している(雲仙)
- ⑯ 週報に無断欠席者数を掲載(諫早西・諫早多良見)
- ⑰ 報告欄に無断欠席の欄を設けて表している(大村東)
- ⑱ 無断欠席の場合、自主的にスマイルb o x に投入願っている(鹿島・太良)
- ⑲ 規定でニコニコ箱に1,000円を入れることにしている(唐津西)
- ⑳ 規定の中でペナルティー(奉仕活動・卓話など)を課している(神崎)
- ㉑ 罰金制度を提案したが否決(佐賀大和)
- ㉒ 結婚祝・誕生日祝などを持って行って参加を促す(大村東)

## 8. クラブ奉仕部門の委員会開催の効用

- ① 定期的に行うことにより、委員会活動に積極性ができる(多久)
- ② 出席委員会においては、案は出るものの実施にいたらず(佐賀大和)
- ③ 地域に密着できることを全員で提案していくような委員会活動を目指しています(神崎)
- ④ 会員の意識の向上(有田)
- ⑤ 関連委員会やクラブ協議会で出席の再認識を図る(鹿島)
- ⑥ 親睦委員、各人が責任を持って、活発に活動されるようになった(伊万里)
- ⑦ 委員会開催により毎回出席向上を促す(伊万里西)
- ⑧ 例会へ出て皆と顔を合わせるのが基本としている(伊万里西)
- ⑨ 親睦の推進になると思われる(唐津中央)
- ⑩ 各委員会の活動報告を聞くことで、気持ちを新たにできる(松浦)
- ⑪ 委員会の内部の意思疎通(佐世保南)
- ⑫ 新会員とのコミュニケーションの場を提供(佐世保南)
- ⑬ 月1回の委員会が楽しい、他の会員へも反映していると思う(佐世保北)
- ⑭ クラブ奉仕の各部門における意識の向上と奉仕のあり方を勉強する機会になっていると思う  
(佐世保東南)
- ⑮ 一時的にはメイクアップ等で出席率の向上が見られる(雲仙)
- ⑯ 各委員会の相互の意思疎通を図り、魅力ある例会として各会員の出席意欲の向上に寄与するものと考えます(大村北)
- ⑰ 懇親会を設けて、欠席の多い人にはプログラムを案内している(大村東)
- ⑱ 次月のプログラムのスケジュールの調整、確認を行っている為に、プログラムの変更が無いようになった(諫早多良見)
- ⑲ 出席勧奨、会合協力に効果あり(長崎北)
- ⑳ 白石クラブと合同の夜の例会を開催している、マンネリ打破に良いと思う(大町)
- ㉑ 食事の用意、タバコの吸殻の処理等、全員が協力していただけるようになった(太良)
- ㉒ 通常例会及びイベントの例会で親睦し意思疎通が少人数での委員会開催でも大きな成果があった。又委員会開催は会長の本年度の方針である。会長、幹事、副会長も参加されていた。(佐世保)

## 9. 委員会活動で地区に対する要望・提言

- ① 勉強会を開催してください(佐賀北)
- ② 他クラブの各活動の事例を知りたいと思います(神崎)
- ③ 合同例会もマンネリ打破に良いと思う(大町)
- ④ 地区の区長さんとの交流を深め、ロータリークラブの認識を高めていただくと同じに地区からの要望を伺いたい(太良)
- ⑤ 会員増強の良い対策を教えてください、現在24名で頑張っています(北松浦)
- ⑥ ガバナー月信の資料で各クラブの出席率を公表してありますが、実態に合った数字に戻して頂きたい(大村)
- ⑦ 出席率の内容が明確になる資料を標準化して欲しい(長崎北東)
- ⑧ 出席率向上クラブの成功例等の周知をして欲しい(長崎北東)
- ⑨ 出席させるためのアイデア、無断欠席をやめさせるアイデアを教えてください(大村東)
- ⑩ 入会をしてもらう方を責任を持って推薦し、推薦した会員はフォローをしっかりとすることのほうが大切と思う。入会后出席が悪いからどうこう言うのは本末転倒(長崎)
- ⑪ 出席率を厳しく言うと、退会者が続出するのではないのでしょうか。欠席する人も夫々に理由があると思います。”出席しないでおれない”例会作りが肝要かと思う(東長崎)
- ⑫ 地区からの来訪者のお話は、聞き逃した人(欠席者)が「しまった」と思うようなお話であって欲しい  
(長崎出島)

## 第27回

RYLA  
報告ホストクラブ  
長崎北ロータリークラブ

去る4月16日、長崎原爆資料館に於いて、RI第2740地区第27回ロータリー青少年指導者養成セミナーを、吉村正則ライラ地区委員長、ライラ地区委員、松山ライラ実行委員長の連携のもと、ホストクラブ東長崎RC、コ・ホストクラブ長崎北・長崎南・長崎東・長崎中央・長崎出島、計5RCの協力を得て開催致しました。当日は、本城ガバナー代行 田口ガバナーエレクトをはじめ山口新世代地区委員長、インターアクト・ローターアクト地区委員長、ロータリアン203名、青少年127名合計330名という多数のご参加をいただきました。

今回は、“国際理解と平和～地域を見つめ、世界を見渡し、平和を語ろう”というテーマで、三名の方に講演をお願いしました。第一部では、「被爆体験講話～輝いて生きるために」をテーマに、安井幸子様より、原爆投下60年を経てもなお忘れ得ぬ原爆の悲惨さを講演いただきました。第二部では、「高校生一万人活動について」をテーマとし、現在当該活動を実践している滝川理紗さんに、平和そして現在活動していることについて、そして最後の第三部では、講演の総括も併せて長崎市長の伊藤一長氏に、「国際理解と平和」をテーマに、市長としての立場から平和の訴え等について、夫々講演をいただきました。三者の講演で改めて、戦争を知らない若い世代の人達に、体験談や平和活動を通じて、現在の平和についての認識を深め、平和の尊さを実感させ得ることができたものと思います。青少年、ロータリアンとも有意義な一日であったと感じます。

三部講演の後、四分科会に分かれてディスカッションを行い、若い人達の活発で創造的な意見を聞くことができました。「国際理解と平和」という大きなテーマでしたが、被爆地長崎での開催はテーマに添ったものであり、今後のロータリアンと青少年との関わりに、一步前進できたように感じました。我々ロータリアンも今後のロータリー活動の糧として、より活かしてまいりたいと思います。

最後に、今大会の開催にあたり、関係各位にご協力を得て盛会のうちに終了することができましたことに深く感謝致します。誠にありがとうございました。



## 「恩返し」

唐津東RC 宮島傳二郎

### (一) さわやかな転向

「やり残したことはありません」

「小学校1年生のようにワクワクしています」

トリノ、2006年、冬季オリンピックのフィナーレを飾るにふさわしい完璧の演技で、日本国民を魅了した、荒川静香さんのさわやかなプロ転向の発表だった。

続いて、今後は？、の質問に

「チャリティショーなどを通し、一日でも長くスケートの良さを伝え、お世話になったスケート業界に“恩返し”をしたい」と微笑みながら答える。

“恩返し”、最近ほとんど聞かれなくなったこの一言の中に、彼女の周辺の方々への感謝と、スケートへの愛情が滲みでている。

### (二) 恩、報恩

お世話になった「恩」には、いつかは「ご恩返し」をせねばという道徳的な感情は、私たち日本人の心に深く染み込んでいるが、いつ頃からどう育っていったのだろうか。

恩、(めぐみ・いつくしみ)の源は、佛教に由来しているようだ。

佛教は、「一切のものは、因縁(直接的・間接的要因)によって生滅する。」という。従って、自分という存在は、自分だけで存在するのではなく、多くの他者に依存して存在している。そう考えると、すべてのものへの感謝・報恩の気持ちが高まってくる。

四恩という。一には父母の恩、二には衆生の恩、三には国王の恩、四には三宝(佛法僧)の恩がある。とくに衆生の恩とは、道で袖振り合うような無縁の人々でも、実は高いところから見ると、互いにつながっているのだと解すれば、多くの人々への連帯感のようなものが芽生える。

爾来、武士社会における主従関係、徳川に入って、五倫(君臣・親子・夫婦・長幼・朋友の道)五常(仁義礼智信)の儒教の精神とも融けあい、恩、報恩の観念が育まれる。そして、時には、自分の損得を省みず、恩に報いようと懸命に努力する。この心情が、日本人の勤勉、ひいては、職業倫理観を築いていく。

### (三) 縁と恩

縁を尊び、恩に報いる。

この日本人が育てた倫理訓は、せち辛くなった世相の中で、見直されてもよいのではなかろうか。荒川さんの「恩返し」をしたい、とのさわやかな言動は、イナバウアーをより美しく見せてくれる。

## 新入会員紹介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。



佐賀南RC  
中島 信行 君



神崎RC  
合瀬 一男 君



武雄RC  
角 良考 君



唐津西RC  
境 隆 歳 君



松浦RC  
原 修造 君



長崎RC  
大堀 哲 君



長崎西RC  
川瀬 隆史 君



長崎出島RC  
塚本 敏 君

## 寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種 類	氏 名	クラブ名
ベネファクター	佐 藤 一 男	北松浦RC
	安 達 一 蔵	長崎RC
P・H・F	前 田 力 弘	佐世保南RC
	藤 木 博	長崎RC
	河 野 英 雄	長崎中央RC
マルチプル・P・H・F	下 川 孝 之	佐世保南RC
	峯 順 通	佐世保南RC
メモリアルコントリビューター	前 田 治 伸	北松浦RC
米山功労者	御 厨 増 尚	北松浦RC
	高 久 和 也	長崎出島RC
	早 田 和 彦	諫早西RC
	山 本 武	大町RC
米山功労者 (マルチプル)	畑 田 明	佐世保南RC
	宮 脇 秀 展	福江中央RC
準米山功労法人	(医)前田外科	北松浦RC

## 2006年4月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	81.2	80	0	72	0	-8
	小城	4	94.1	34	1	33	1	-1
	牛津	4	84.4	31	0	32	0	1
	多久	4	80.8	42	5	43	5	1
	佐賀大和	4	77.0	25	3	25	4	0
	小計		83.5	212	9	205	10	-7
第2グループ	佐賀西	4	65.3	56	0	57	0	1
	佐賀北	4	77.8	41	3	42	3	1
	佐賀南	4	81.7	41	0	40	0	-1
	神埼	4	84.4	28	0	30	0	2
	佐賀空港	4	46.0	20	0	19	0	-1
	小計		71.1	186	3	188	3	2
第3グループ	有田	4	84.9	33	1	36	2	3
	武雄	4	80.7	57	0	57	0	0
	鹿島	4	84.4	41	2	42	2	1
	嬉野	4	95.8	23	1	24	1	1
	大町	4	74.5	24	0	22	0	-2
	白石	4	76.5	17	0	17	0	0
	太良	4	80.0	9	0	10	1	1
	小計		82.4	204	4	208	6	4
第4グループ	唐津	4	87.5	51	0	55	0	4
	伊万里	4	96.8	40	0	38	0	-2
	唐津東	4	97.6	50	0	53	0	3
	唐津西	4	92.1	39	0	39	0	0
	伊万里西	3	83.3	47	0	50	0	3
	唐津中央	4	88.7	41	4	42	4	1
	小計		91.0	268	4	277	4	9
	第5グループ	佐世保	4	98.5	84	0	86	0
平戸		4	79.5	41	0	41	0	0
佐世保西		4	93.8	33	0	29	0	-4
北松浦		4	89.1	25	0	25	0	0
松浦		4	91.9	37	1	37	1	0
生月		0	0.0	19	2	16	2	-3
小計			75.5	239	3	234	3	-5

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	4	97.4	81	0	77	0	-4
	佐世保東	4	91.9	31	0	32	0	1
	佐世保北	4	98.0	48	0	48	0	0
	佐世保中央	3	100.0	46	0	42	0	-4
	佐世保東南	3	75.4	23	0	23	0	0
	HTB佐世保	4	66.4	28	3	26	3	-2
	小計		88.2	257	3	248	3	-9
第7グループ	大村	4	83.8	52	2	51	2	-1
	島原	4	87.5	37	3	34	3	-3
	雲仙	4	89.7	34	0	32	0	-2
	大村北	4	100.0	33	0	32	0	-1
	島原南	4	79.8	21	1	22	2	1
	大村東	4	89.2	44	1	44	1	0
	小計		88.3	221	7	215	8	-6
第8グループ	諫早	4	87.9	64	0	64	0	0
	諫早北	4	82.9	63	0	65	0	2
	諫早西	4	90.5	46	0	44	0	-2
	諫早多良見	4	75.7	40	0	38	0	-2
	諫早南	4	76.6	32	3	32	4	0
	小計		82.7	245	3	243	4	-2
第9グループ	長崎	4	80.3	99	0	97	0	-2
	福江	4	94.0	40	0	39	0	-1
	長崎北東	4	86.8	58	5	57	5	-1
	福江中央	4	96.0	37	0	37	0	0
	長崎西	4	72.5	65	0	70	0	5
	長崎琴海	4	69.7	20	2	23	3	3
	小計		83.2	319	7	323	8	4
	第10グループ	長崎北	4	73.6	74	0	72	0
長崎南		4	79.0	84	0	80	0	-4
長崎東		3	98.6	72	0	71	0	-1
東長崎		4	84.3	36	0	36	0	0
長崎中央		4	94.1	59	0	59	0	0
長崎出島		4	71.6	55	15	60	15	5
小計			83.5	380	15	378	15	-2
合計			82.9	2531	58	2519	64	-12

# 文庫通信 (224号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## ガバナー月信より

- ◎ 「ロータリーの旅（合同IM基調講演）」  
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー D.2840 月信:2006・1 7p
- ◎ 「有事のロータリー 阪神大震災 ロータリーは何ができたのか？」  
今井 鎮雄 D.2500 月信:2006・3 5p
- ◎ 「識字と教育」 小林 博 D.2510 月信:2006・1 2p
- ◎ 「クラブの活性化とCLP論争」 中村 幸吉 D.2640 月信:2006・2 3p
- ◎ 「ロータリーと否定の論理」 塚原 房樹 D.2510 月信:2006・1 3p
- ◎ 「ロータリーの友・雑誌月間（4月）についてアンケートの結果報告」  
石松憲一郎 D.2740 月信:2006・3 13p
- ◎ 「第2750地区全クラブの職業分類表について—主に女性会員在籍クラブを中心として—」  
D.2750 月信:2005・2 2p
- ◎ 「座談会ロータリーの本質を考える～ロータリーの過去、現在、そして未来～前編・後編」  
D.2700 月信:2006・2,3 11p

[ 上記申込先:ロータリー文庫(コピー) ]

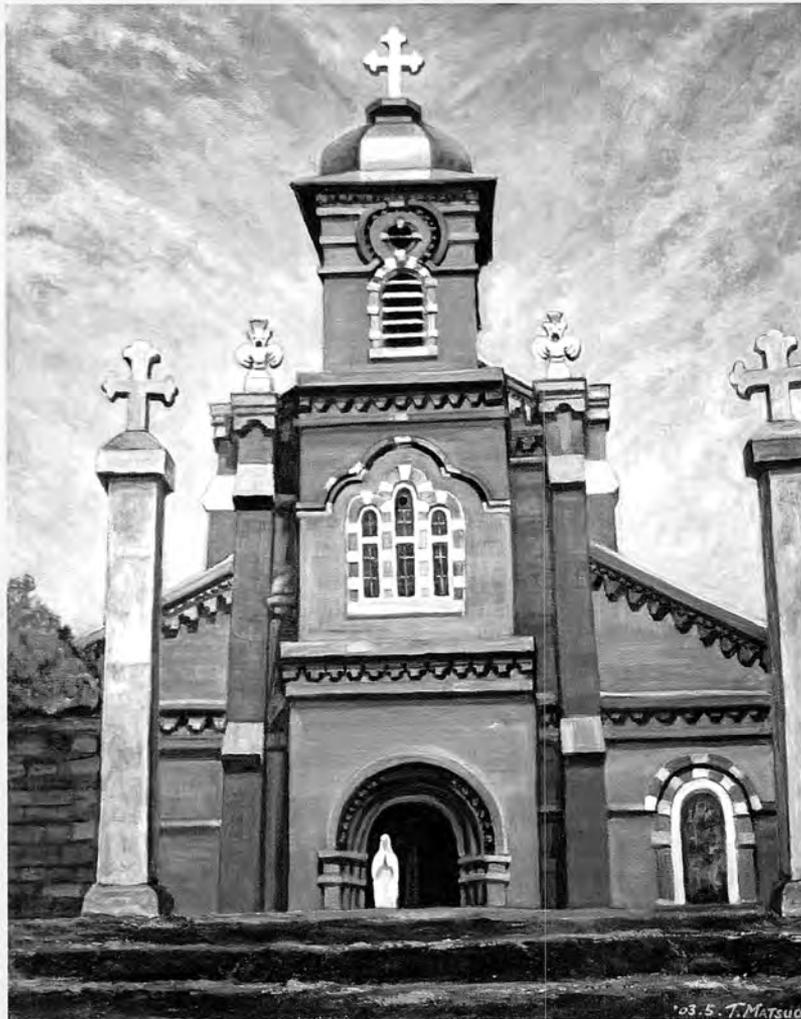
### \* ロータリー文庫 \*

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日



平戸・田平教会 画:松尾武彦(唐津RC会員)

表紙の写真の説明 浜木綿

浜木綿を前影に唐津城を上配して画面構成した。  
白い花と朝の光に映える城で朝の清々しさを表現してみた。

[撮影場所] 唐津市 東町

[撮影者] 唐津在住 宮崎 宏

【編集後記】RI創立101年目のスタートの年度「超我の奉仕」の初心に戻って、月信編集スタッフも気負いと意気込みを1年間持続させようと努力を重ねて参りました。気持ちの上滑りもありましたが、会員の皆様には満足できる月信を提供出来たか、毎月読んで頂いたのか不安な毎月でありました。

最終の月信をお届けするに当たり、原稿や写真をご提供頂きました会員の皆様のご協力とご支援を心より感謝申し上げます次第です。ありがとうございました。

月信編集スタッフ一同



国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所

2005～2006年度 ガバナー 本城 好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL (0955) 75-1371 FAX (0955) 75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2005-2006



**SERVICE Above Self 超我の奉仕**

ガバナー 本城 好春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740  
国際ロータリー第2740地区ガバナー月信



2006.9 **VOL. 13**

## ●CONTENTS

本城ガバナーのメッセージ……………	1	5月会員数・出席報告……………	7
第24回 ローターアクト年次大会を終えて……………	2	6月会員数・出席報告……………	8
第12回 青少年交換研究会「長崎会議」報告…	3	地区資料 CONTENTS……………	9
新入会員紹介……………	4	地区だより……………	37
5月・6月寄付者紹介……………	5		

## 本城ガバナーのメッセージ 「ロータリー新世紀時代を迎えて!!」

第2740地区ガバナー 本城 好春



2006～07年になり愈々ロータリーも創立102年目に入りました。僅か100年間の間に唯4人のロータリー仲間が、全世界168ヶ国、120万人の仲間が増えました。

(I) 現在、世界的に会員の減少が目立ち、特にアメリカと日本が突出しています。それは会員の老化と退会の為で、R I (国際ロータリー) は、今盛んにC・L・Pプランを推奨しているのも、その理由からです。クラブ構造と運営を手直しして、クラブの管理的枠組 (Structure) を変更しようというものです。

目的は(1) 会員基盤の維持拡大(2) 資金の寄付、プログラムの参加を通じての財団支援(3) 地域社会のニーズに沿った成果ある奉仕プロジェクトの実施(4) クラブ、レベルを越えた指導育成です。その為には定款細則の改定とクラブ機構の大幅な変更が必要です。

現行のクラブ細則による機構は(1) クラブ奉仕(2) 職業奉仕(3) 社会奉仕(4) 国際奉仕の四大奉仕部門に分かれておりますが、C・L・Pによる機能別グループ機構は五大部門に分かれております。即ち(1) 会員増強、退会防止(2) 奉仕プロジェクト(3) ロータリー財団(4) ロータリー広報(5) クラブ管理運営です。現行の四大奉仕部門は、(2) 奉仕プロジェクトに一括されてしまい、(1) 会員増強、退会防止(3) ロータリー財団を重視しております。日本では、2005年7月三重県鈴鹿西RCが、このCLPを実施しております。

ガバナー会でも、元R I会長ピチャイ・ラタクルさんからもCLPは、R Iスタッフの提案であり、あくまでOptionだといわれました。一番重要な職業奉仕を(2) 奉仕

プロジェクトに一括されてしまい、ロータリーの理念と云うものが失われております。元R I会長達のボード・メンバーは反対であると云われました。新年度の田口厚ガバナーがどんな方針を示されるか興味ある所です。

(II) 青少年保護の基準(危機・管理)の問題です。

2002年R I理事会で「青少年と接する際の行動規範に関する声明」を採択しました。日本34地区ガバナー及び青少年交換委員長は、本年6月中に日本版の青少年交換認定申請書を提出しなければ、次回からの青少年交換プログラムは実施出来ないようになりました。5月の全国青少年交換委員会(長崎会議)で同意決議がなされました。

年々ロータリーが姿を変えているように見えます。ロータリーの創始者ポール・ハリスは、時代と共にロータリーは変わっていくべきだと云われておりますが、それは外見的名もので、内面のロータリーの真髄は変わっておりません。昨年度のR・Iのテーマは、創立5年目に採択された「Service Above Self」(超我の奉仕)を95年振りに、再び採択された事からも理解出来ます。今年のR・Iのテーマは「Lead the Way」(率先しよう)です。ロータリーの理念は、永久に「人へのやさしい思いやり、人間に対していい事を!!」に変わりありません。見かけだけにまどわされて、動揺する必要はありません。しっかり足元を見て、ロータリーは最初のように、他業種の仲間と共に自分の職業奉仕をする事が、一番大切だと云う事が、一年間、ガバナーを勤めた後の感慨です。

新世紀に向かって、会員の皆さまの御健康と御繁栄をお祈り致します。

「第24回 ローターアクト年次大会を終えて」



唐津東ローターアクトクラブ

会長 緒方 哲哉

平成18年6月3日～4日、国際ロータリー第2740地区ローターアクト第24回年次大会を唐津市にて開催しました。大会テーマを「大漁」と掲げ、テーマ曲の「兄弟船」とともに準備を進めて参りました。地区内外の関係者のご協力により、私どもは、たくさんの魚、友情、等を獲得しテーマ通り「大漁」という結果で大会を終えることができました。

しかし、ここまでの道のりは決して平坦ではありませんでした。軽い気持ちで引き受けた、大会開催の約1年前。最初の難関がやって参りました。第23回年次大会の閉会式で大会テーマを発表しなくてはならなかったのです。もちろん何も考えておりませんでした。記念プログラムを抜けだし、即席で考えました「大漁」の二文字。スーパーの開店に並び、模造紙とペンを購入し横断幕をあわてて作りました。月日の経つのは早いもので、あっという間に平成18年、これまた慌てて案内状を作成しました。それ

れから何かある度にみんなで集まり、知恵を絞りながら「大漁」について煮詰めて参りました。その集大成がこの2日間だったと思います。私共は、お客様には誠に申し訳ないのですが大満足でした。特に打ち上げ花火の中、熱唱？しました「兄弟船」は最高でした。今まで経験したこと無い快感でした。

また、近年では珍しく「奉仕活動」を年次大会に取り込みました。当クラブは当時7人で活動をしておりました。懸命に努力をしておりましたが、地域のためにできることは、とても小さな力しかありませんでした。しかし、2日目参加の皆様（120人）の力をお借りして、清掃活動「ラブアースクリーンアップ」に参加しました。その開会式で唐津市長坂井俊之様より「全国から多数のローターアクトの皆様に参加いただいた」とコメントしていただいたことも大変うれしく思いました。

また今大会を行うにあたり多数の方からの御祝い、寄付をいただきました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。その中から、ささやかな気持ちではありますが、社会福祉協議会へ寄付をさせていただきました。

懸命に取り組んだ年次大会、皆様にとって「大漁」でしたでしょうか。もし大漁で兄弟船でも口ずさんでいただいたら非常に光栄です。

最後にご多忙中にもかかわらずご臨席いただきましたご来賓の皆様を始め、RC、RAC関係の皆様、また様々な方面でご支援いただきました皆様、心より御礼申し上げます。



## 第12回 ロータリー青少年交換研究会「長崎会議」報告



第12回 ロータリー青少年交換研究会「長崎会議」  
 実行委員長 山縣 義道

さる平成18年5月12、13日にハウステンボスに於いて第12回ロータリー青少年交換研究会「長崎会議」が開催されました。テーマは長崎会議にふさわしく「平和をつむぐ青少年の国際交流」です。全国のパスト・ガバナー、ガバナーで構成されているガバナー会の中に青少年交換委員会があり毎年青少年交換について研究会が開催されています。今回ハウステンボスで開催すると決定し、そのホスト・クラブ

を佐世保ロータリー・クラブに、コ・ホストクラブをハウステンボス佐世保ロータリー・クラブで開催するよう本城ガバナーより要請がありました。ロータリーではこのような全国規模の会合をすることはあまりありませんので、ガバナー会、青少年交換委員会、ガバナー事務所等と連絡をとりながら準備を致しました。参加者はガバナー会のメンバー、全国の地区青少年交換委員長、委員、外国からは、RI青少年交換委員会委員長特別代表としてオーストラリアのStuart McDonald氏をはじめ台湾、韓国からも参加されました。特に韓国よりカナダの交換学生が韓国の衣装で参加したのが目をひきました。地区内より73名の参加があり総数180名でした。

12日午後1時よりユトレヒトプラザで開会式を行い、その後弘前RC関場慶博パスト・ガバナーによる「世界はあなたを待っている」と題して基調講演があり、引き続きパネルディスカッション「平和をつむぐ青少年の国際交流」がありました。モデレーターは佐賀新聞社論説委員長富吉賢太郎氏、パネリストは地球市民の会代表古賀武夫氏、聖和女子学院校長服部悦子氏、玄海人クラブ代表俞華濬氏、長崎大学産婦人科医(ROTEX)北島道夫氏で行われました。その後第1分科会「国際交流の歴史に学ぶ」、第2分科会「地域交流に学ぶ」、第3分科会「青少年交換ガイドライン」がユトレヒト3階会議室で行われました。

18時30分よりホテルヨーロッパ、レンブラントホールで懇親会を行いました。翌日早朝より全国委員長情報交換朝食会があり、9時より第4分科会「各国の青少年交換プログラムに学ぶ」、第5分科会「青少年交換事業の費用負担について」、第6分科会「青少年交換事業の今後」がユトレヒト3階会議室で行われました。ユトレヒトプラザで全体会議と閉会式が行われ、前日と直前に開催された分科会の報告とRI指針に対する日本版「青少年保護方策」の決議に向けて、がありました。今回の研究会は青少年交換に関する諸問題解決についての討議でありましたが、特に「青少年保護方策」として取り上げられた「虐待とハラスメント」の問題です。国際ロータリーがハラスメントに関し敗訴したので、国際ロータリーが厳しい条件の指針を認めるよう要求しているのに対し、日本はそれでは青少年交換はできないと日本版の青少年保護方策を作成し、国際ロータリーに提案をすることでありました。研究会後国際ロータリーは日本の主張を認めたとのことでした。ハラスメントは青少年交換だけの問題ではなくローターアクト、インターアクト、ライラなどの青少年についても同じ事です。今回の研究会はハウステンボスで開催いたしましたので、従来と違ってご夫人同伴での参加を呼びかけました。

研究会の間にご夫人に有田ロータリー・クラブにお願いし、有田の窯元めぐりをしていただき、また日本人で最初のロータリアンである福島喜三次氏生誕地を案内しました。翌日はハウステンボスを散策していただきました。今後研究会は各地持ち回りの形では行わないこととなりました。クラブにとって全国規模の会合の実行委員会を担当する良い経験となりました。



# 新入会員紹介

ロータリーの新しい仲間になられました方々をご紹介します。

4月



唐津東RC  
ゆき たけ とし のり  
雪竹俊範君

5月



佐賀大和RC  
まつ なが こう し  
松永光司君



伊万里RC  
い もと ほう み  
井本治見君



唐津西RC  
わた なべ たけ ひさ  
渡辺剛久君



平戸RC  
おく むら たかし  
奥村敬君



福江RC  
なか お かず や  
中尾和也君



福江RC  
やま さき くに ひこ  
山崎邦彦君



長崎北東RC  
ほん だ てつ ろう  
本多哲朗君



長崎北東RC  
さ とう けん じ  
佐藤研二君



長崎西RC  
しま さき よし ただ  
島崎義忠君



長崎南RC  
き わき じゅん  
木脇淳君



小部RC  
こ べ しげ とし  
小部茂俊君



北松浦RC  
まる た こう けん  
丸田光顕君

6月



佐賀RC  
たか はし まさる  
高橋勝君



佐賀RC  
てら しま のり お  
寺島典夫君



佐世保南RC  
まつ お けい すけ  
松尾圭祐君



佐世保東RC  
いり え あき ひこ  
入江昭彦君



佐世保中央RC  
さき やま のぶ ゆき  
崎山信幸君



大村東RC  
くわ はら かず ひこ  
桑原和彦君



諫早北RC  
やま もと しげ たか  
山本繁隆君



諫早北RC  
なか がわ しん や  
中川真也君



諫早多良見RC  
まつ お けん じ  
松尾賢二君



長崎RC  
わ に まさ ひと  
和仁正文君



長崎北RC  
な くら つね あき  
名倉恒昭君



長崎北RC  
み さわ れい いちろう  
三澤礼一郎君



長崎南RC  
にし むら きみ たか  
西村公孝君



長崎南RC  
やま した はじめ  
山下肇君



長崎中央RC  
なる せ たつ ひこ  
成瀬達彦君

## 5月寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種類	氏名	クラブ名
P・H・F	平野 功二郎	唐津東RC
大口寄付者	高木 聡一郎	長崎RC
米山功労者	中山 虎雄	唐津中央RC
	中里 文子	唐津中央RC
	吉澤 裕輔	平戸RC
	安部 重幸	平戸RC
	大神 照彦	長崎RC
	豆谷 耕蔵	福江中央RC
米山功労者 (マルチプル)	河野 浩太	長崎琴海RC
	安達 一蔵	長崎RC

## 6月寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種類	氏名	クラブ名
ベネファクター	井上 洋一郎	唐津東RC
P・H・F	松尾 繁樹	唐津RC
	牧山 隆雄	大村北RC
	金澤 秀三郎	雲仙RC
	西岡 寛行	牛津RC
	宮崎 恒	佐賀大和RC
	山下 恒喜	福江中央RC
	山口 猛	伊万里RC
	南 健二郎	諫早多良見RC
	北島 良樹	諫早多良見RC
	中川 浩司	諫早多良見RC
	園田 嘉生	佐賀南RC
	川本 邦公	平戸RC
	籠手田 恵夫	平戸RC
	田口 満	平戸RC
マルチプル・P・H・F	市瀬 久米嘉	佐世保東RC
	福元 裕二	佐賀北RC
	山口 誠二	佐賀北RC
	馬渡 雅敏	唐津RC
	佐古 亮尊	大村北RC
	藤原 久郎	長崎南RC

種 類	氏 名	クラブ名
マルチプル・P・H・F	長谷川 宏	長崎琴海RC
	井 上 猛 雄	唐津東RC
	樋 渡 徳 美	伊万里RC
	玉 野 哲 雄	佐世保RC
	田 中 洋 介	佐賀南RC
	吉 村 正	佐賀南RC
	橘 高 克 和	佐世保RC
	馬 場 實	小城RC
米山功労者	岩 谷 敏 行	武雄RC
	井 上 東 也	唐津RC
	長 野 眞 知	唐津RC
	武 田 義 憲	諫早北RC
	深 川 寛	諫早北RC
	福 田 宥 晃	雲仙RC
	佐 藤 誠	雲仙RC
	朝 永 春 郎	松浦RC
	瓜 生 俊 之	佐世保南RC
	香 月 孝	佐賀RC
	円 田 靖	佐賀RC
	陣 内 重 泰	佐賀RC
	空 閑 清 高	佐賀RC
	園 田 良 秀	佐賀RC
	織 田 徳 彌	佐賀RC
	森 貞 敏	福江中央RC
	平 龍三郎	佐賀西RC
	森 永 太	佐賀西RC
	隅 康 二	佐賀西RC
	田 中 洋 介	佐賀南RC
	岩 谷 敏 行	武雄RC
	井 手 洋 子	嬉野RC
	山 田 栽 温	平戸RC
米山功労者 (マルチプル)	佐 古 亮 尊	大村北RC
	西 岡 健 次	牛津RC
	林 田 千 年	諫早RC
	坂 井 寅 雄	福江中央RC
	久 保 志 郎	佐賀西RC
	前 田 博 憲	佐賀西RC
	町 田 憲 明	長崎北東RC
石 井 正 剛	佐世保RC	

**2006年5月会員数・出席報告**

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				増減
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	
第1グループ	佐賀	3	79.0	80	0	71	0	-9
	小城	4	95.1	34	1	33	1	-1
	牛津	3	86.5	31	0	32	0	1
	多久	3	88.4	42	5	43	5	1
	佐賀大和	4	74.0	25	3	26	4	1
	小計		84.6	212	9	205	10	-7
第2グループ	佐賀西	4	61.0	56	0	57	0	1
	佐賀北	3	89.2	41	3	42	3	1
	佐賀南	4	82.3	41	0	40	0	-1
	神埼	4	87.1	28	0	30	0	2
	佐賀空港	4	56.6	20	0	19	0	-1
	小計		75.2	186	3	188	3	2
第3グループ	有田	4	78.9	33	1	36	2	3
	武雄	5	81.1	57	0	57	0	0
	鹿島	4	85.9	41	2	41	2	0
	嬉野	3	93.0	23	1	24	1	1
	大町	3	72.3	24	0	22	0	-2
	白石	4	73.5	17	0	17	0	0
	太良	3	76.7	9	0	10	1	1
	小計		80.2	204	4	207	6	3
第4グループ	唐津	4	81.5	51	0	55	0	4
	伊万里	4	98.7	40	0	39	0	-1
	唐津東	3	96.8	50	0	53	0	3
	唐津西	3	85.4	39	0	40	0	1
	伊万里西	3	85.4	47	0	50	0	3
	唐津中央	3	89.4	41	4	41	4	0
	小計		89.5	268	4	278	4	10
	第5グループ	佐世保	4	98.9	84	0	84	0
平戸		3	81.0	41	0	42	0	1
佐世保西		4	93.8	33	0	29	0	-4
北松浦		5	89.8	25	0	26	0	1
松浦		3	77.5	37	1	37	1	0
生月		0	0.0	19	2	16	2	-3
小計			73.5	239	3	234	3	-5

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				増減	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性		
第6グループ	佐世保南	3	100.0	81	0	77	0	-4	
	佐世保東	3	86.2	31	0	32	0	1	
	佐世保北	4	97.3	48	0	48	0	0	
	佐世保中央	3	100.0	46	0	42	0	-4	
	佐世保東南	4	75.0	23	0	23	0	0	
	HTB佐世保	1	61.5	28	3	26	3	-2	
	小計		86.7	257	3	248	3	-9	
第7グループ	大村	4	78.7	52	2	51	2	-1	
	島原	5	78.2	37	3	34	3	-3	
	雲仙	3	91.3	34	0	32	0	-2	
	大村北	4	100.0	33	0	32	0	-1	
	島原南	4	75.0	21	1	22	2	1	
	大村東	5	75.9	44	1	44	1	0	
	小計		83.2	221	7	215	8	-6	
第8グループ	諫早	3	89.7	64	0	64	0	0	
	諫早北	3	85.1	63	0	65	0	2	
	諫早西	4	93.5	46	0	43	0	-3	
	諫早多良見	4	81.1	40	0	37	0	-3	
	諫早南	4	77.4	32	3	32	4	0	
	小計		85.3	245	3	241	4	-4	
第9グループ	長崎	3	82.3	99	0	95	0	-4	
	福江	3	91.0	40	0	41	0	1	
	長崎北東	4	82.6	58	5	59	5	1	
	福江中央	5	93.0	37	0	37	0	0	
	長崎西	4	75.9	65	0	69	0	4	
	長崎琴海	3	75.8	20	2	23	3	3	
	小計		83.4	319	7	324	8	5	
第10グループ	長崎北	4	73.1	74	0	70	0	-4	
	長崎南	4	76.0	84	0	80	0	-4	
	長崎東	3	98.6	72	0	71	0	-1	
	東長崎	4	84.3	36	0	36	0	0	
	長崎中央	4	92.8	59	0	59	0	0	
	長崎出島	3	77.2	55	15	60	15	5	
	小計		83.7	380	15	376	15	-4	
合計				82.5	2531	58	2516	64	-15

2006年6月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第1グループ	佐賀	4	77.2	80	0	69	0	-11
	小城	4	90.4	34	1	32	1	-2
	牛津	5	90.6	31	0	32	0	1
	多久	5	87.9	42	5	43	5	1
	佐賀大和	4	81.2	25	3	25	3	0
	小計		85.5	212	9	201	9	-11
第2グループ	佐賀西	4	78.0	56	0	54	0	-2
	佐賀北	4	82.0	41	3	41	3	0
	佐賀南	4	84.0	41	0	38	0	-3
	神埼	4	80.1	28	0	28	0	0
	佐賀空港	4	56.6	20	0	16	0	-4
	小計		76.1	186	3	177	3	-9
第3グループ	有田	4	76.3	33	1	36	2	3
	武雄	4	84.2	57	0	56	0	-1
	鹿島	4	87.2	41	2	39	1	-2
	嬉野	4	89.1	23	1	23	1	0
	大町	4	82.0	24	0	22	0	-2
	白石	4	78.5	17	0	17	0	0
	太良	5	80.0	9	0	9	1	0
小計		82.5	204	4	202	5	-2	
第4グループ	唐津	4	85.0	51	0	52	0	1
	伊万里	4	98.7	40	0	36	0	-4
	唐津東	5	98.5	50	0	52	0	2
	唐津西	4	86.1	39	0	40	0	1
	伊万里西	5	84.9	47	0	49	0	2
	唐津中央	5	87.8	41	4	39	4	-2
	小計		90.2	268	4	268	4	0
第5グループ	佐世保	4	99.6	84	0	80	0	-4
	平戸	5	80.3	41	0	41	0	0
	佐世保西	4	94.0	33	0	27	0	-6
	北松浦	3	95.5	25	0	25	0	0
	松浦	5	81.7	37	1	32	1	-5
	生月	0	0.0	19	2	0	0	-19
	小計		90.2	239	3	205	1	-34

グループ	クラブ名	例会数	当月末出席率	会員数				
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減
第6グループ	佐世保南	3	100.0	81	0	77	0	-4
	佐世保東	3	81.3	31	0	31	0	0
	佐世保北	4	97.9	48	0	46	0	-2
	佐世保中央	3	100.0	46	0	40	0	-6
	佐世保東南	4	75.0	23	0	23	0	0
	HTB佐世保	1	69.2	28	3	24	3	-4
	小計		87.2	257	3	241	3	-16
	第7グループ	大村	4	97.3	52	2	47	2
島原		4	89.0	37	3	33	3	-4
雲仙		4	89.8	34	0	31	0	-3
大村北		4	100.0	33	0	32	0	-1
島原南		4	82.0	21	1	22	2	1
大村東		4	84.9	44	1	45	1	1
小計			90.5	221	7	210	8	-11
第8グループ	諫早	5	87.4	64	0	60	0	-4
	諫早北	5	91.6	63	0	66	0	3
	諫早西	4	92.3	46	0	43	0	-3
	諫早多良見	4	83.0	40	0	37	0	-3
	諫早南	3	79.8	32	3	31	4	-1
	小計		86.8	245	3	237	4	-8
第9グループ	長崎	5	82.7	99	0	93	0	-6
	福江	5	90.0	40	0	40	0	0
	長崎北東	4	86.3	58	5	53	4	-5
	福江中央	4	96.5	37	0	36	1	-1
	長崎西	4	72.5	65	0	66	0	1
	長崎琴海	5	68.5	20	2	23	3	3
	小計		82.7	319	7	311	8	-8
第10グループ	長崎北	4	82.1	74	0	70	0	-4
	長崎南	4	82.1	84	0	81	0	-3
	長崎東	5	98.6	72	0	66	0	-6
	東長崎	4	80.7	36	0	35	0	-1
	長崎中央	4	92.4	59	0	59	0	0
	長崎出島	5	73.0	55	15	58	15	3
	小計		84.8	380	15	369	15	-11
合計		85.7	2531	58	2421	60	-110	

# 2005～2006年度 地区資料

主な活動実績	10
国際ロータリー第2740地区	
2005～2006年度地区組織図	11
2005～2006年度 会員異動	13
2005～2006年度 出席率推移	14
ロータリー財団クラブ別寄付額	15
ロータリー米山記念奨学会寄付金納入明細表	16
ロータリー財団寄付者	17
ロータリー米山記念奨学会寄付者	19
2007～2008年度	
ロータリー財団国際親善奨学生	21
2008～2009年度	
ロータリー財団国際親善奨学生候補者	
2006年度 ロータリー米山記念奨学生	22
国際青少年交換学生	23
インターアクト	
ローターアクトクラブ一覧	24
年間行事報告	25
2005～2006年度 物故会員	29
〈地区資金一般会計収支決算書〉	30
地区委員会費内訳	31
地区資金『特別会計』収支決算書 ガバナー事務所・月信会計収支決算書	
国際青少年交換資金会計	32
PETS／地区協議会収支決算書 ロータリー米山記念奨学会決算報告書	
地区ローターアクト代表事務局会計報告書	33
第27回 RYLA収支決算書	34
インターアクト年次大会決算書	35
地区大会決算報告	36



**国際ロータリー第2740区 2004～2005年度 地区組織図**

<b>ガバナー指名委員会</b>		<b>諮問委員会</b>		<b>ガバナーエレクト</b>		<b>ガバナー補佐 (前期補佐推薦)</b>	
PG 逸見 嘉彦 (佐世保南)	PG 逸見 嘉彦	PG 逸見 嘉彦	PG 逸見 嘉彦	田口 厚 (長 崎)		第1グループ	佐賀・小城・牛津 多久・佐賀大和
PG 宮島 傳兵衛 (唐津東)	PG 宮島 傳兵衛			<b>地区研修リーダー</b>		第2グループ	佐賀西・佐賀北・佐賀南 神埼・佐賀空港
PG 市瀬 久米嘉 (佐世保東)	PG 市瀬 久米嘉			栗林 英雄 (諫早北)		第3グループ	有田・武雄・鹿島・嬉野 大町・白石・太良
PG 佐古 亮尊 (大村北)	PG 佐古 亮尊			<b>地区拡大委員会</b>		第4グループ	唐津・伊万里・唐津東 唐津西・伊万里西・唐津中央
PG 牟田 勝輔 (武 雄)	PG 牟田 勝輔			隅田 達男 (伊万里)		第5グループ	佐世保・平戸・佐世保西 北松浦・松浦・生月
PG 辻 洋三 (佐世保南)	PG 辻 洋三			安部 直樹 (佐世保)		第6グループ	佐世保南・佐世保東・佐世保北 佐世保中央・佐世保東南・HTB佐世保
PG 野崎 元治 (長 崎)	PG 野崎 元治			栗林 英雄 (諫早北)		第7グループ	大村・島原・雲仙 大村北・島原南・大村東
PG 草場 立太郎 (佐賀西)	PG 草場 立太郎			<b>ロータリーの友</b>		第8グループ	諫早・諫早北・諫早西 諫早多良見・諫早南
PG 武井 洋一 (佐世保)	PG 武井 洋一			石松 憲一郎 (唐 津)		第9グループ	長崎・福江・長崎北東 福江中央・長崎西・長崎琴海
PG 福井 順 (長崎南)	PG 福井 順					第10グループ	長崎北・長崎南・長崎東 東長崎・長崎中央・長崎出島
PG 隅田 達男 (伊万里)	PG 隅田 達男						
PG 安部 直樹 (佐世保)	PG 安部 直樹						
PG 栗林 英雄 (諫早北)	PG 栗林 英雄						
G 本城 好春 (唐 津)							

<b>クラブ奉仕委員会</b>	
委員長 小松 重昭 (唐津中央)	
委員 野村 安伸 (長崎北東)	
委員 金ヶ江 亮子 (多 久)	
委員 緒里 勇三郎 (諫早西)	

<b>拡大・会員増強委員会</b>	
委員長 野村 安伸 (長崎北東)	
委員 溝上 善造 (大 村)	
委員 福園 英智 (佐世保西)	

<b>ロータリー情報・広報委員会</b>	
委員長 小松 重昭 (唐津中央)	
委員 福谷 健吉 (大村北)	
委員 中尾 直弘 (武 雄)	

<b>ロータリー女性委員会</b>	
委員長 金ヶ江 亮子 (多 久)	
委員 助村 房子 (諫早南)	
委員 宇野 久子 (唐津中央)	

<b>出席委員会</b>	
委員長 緒里 勇三郎 (諫早西)	
委員 西村 和郎 (神 埼)	
委員 増本 恒彦 (HTB佐世保)	

<b>社会奉仕委員会</b>	
委員長 服巻 芳史 (小 城)	
委員 白川 十郎 (伊万里)	
委員 川原 俊也 (長崎北)	
委員 野田 弘之 (諫早北)	

<b>ライラ委員会</b>	
委員長 吉村 正則 (佐賀大和)	
委員 枝國 五雄 (佐賀空港)	
委員 高木 栄 (大村東)	
委員 劉 濟昌 (長崎西)	

<b>国際奉仕委員会</b>	
委員長 前田 博憲 (佐賀西)	
委員 松尾 英機 (佐世保中央)	
委員 久保 元治 (諫 早)	
委員 田中 克憲 (長崎西)	
委員 本田 圭助 (長崎南)	

<b>ロータリー財団委員会</b>	
委員長	松尾 英機 (佐世保中央)
委員 (G1)	飯盛 康登 (多 久)
委員 (G2)	正島 隆夫 (佐賀北)
委員 (G3)	木寺 幸生 (武 雄)
委員 (G4)	鈴木 謙一 (唐 津)
委員 (G5)	古賀 誠 (北松浦)
委員 (G6)	井上 亮 (佐世保中央)
委員 (G7)	石坂 和彦 (大 村)
委員 (G8)	柴田 克博 (諫早多良見)
委員 (G9)	友岡 純一 (長崎琴海)
委員 (G10)	高田 昌一郎 (長崎中央)

<b>米山記念奨学委員会</b>	
委員長	前田 博憲 (佐賀西)
委員 (G1)	音成 日佐男 (佐 賀)
委員 (G2)	藤井 義博 (佐賀南)
委員 (G3)	山本 武 (大 町)
委員 (G4)	岩永 龍幸 (伊万里)
委員 (G5)	池田 保明 (佐世保西)
委員 (G6)	牛島 義亮 (佐世保中央)
委員 (G7)	吉田 秀隆 (島 原 南)
委員 (G8)	高木 正隆 (諫早南)
委員 (G9)	島田 靖彦 (長崎西)
委員 (G10)	北郷 雅子 (長崎出島)

## 地区ガバナー (R I役員)

本城 好春

中島 一峯 (多 久)  
 宮地 勝朗 (神 埼)  
 松山 進 (大 町)  
 前田 拓郎 (伊万里)  
 安福 鴻之助 (佐世保)  
 浦本 忠男 (佐世保東)  
 日向 啓 (島原南)  
 烏山 紀男 (諫 早)  
 渡邊 修志 (長崎西)  
 西岡 英一 (東長崎)

## ガバナー事務所

地区幹事 (総 括) 北島 俊郎 (唐 津)  
 副幹事 (庶 務) 戸川 惟継 (唐 津)  
 副幹事 (新 世 代 担 当) 緒方 重利 (唐津東)  
 副幹事 (ク ラ ブ 奉 仕 担 当) 中嶋 泰生 (唐津西)  
 副幹事 (職業奉仕・社会奉仕担当) 川添 信雄 (唐津中央)  
 副幹事 (R財団・米山記念担当) 中島 登志雄 (唐津西)  
 委 員 (国 際) 藤井 歸一 (唐 津)  
 委 員 (情 報 通 信) 一ノ瀬 辰喜 (唐津中央)  
 委 員 (月 信) 松尾 武彦 (唐 津)  
 地区会計長 大串 重幸 (唐 津)  
 副地区会計長 浦田 由紀男 (唐 津)

## 地区チーム研修セミナー実行委員会

委員長 小松 重昭 (唐津中央)  
 幹 事 中山 和義 (唐津中央)

## P E T S 実行委員会

委員長 富田 菊夫 (唐津西)  
 副委員長 和田 正治 (唐津西)

## 地区協議会実行委員会

委員長 太田 善久 (唐津東)  
 副委員長 丸山 茂夫 (唐津東)  
 幹 事 市丸 昌哉 (唐津東)

## 地区大会実行委員会

委員長 平岡 晟 (唐 津)  
 幹 事 篠崎 正之 (唐 津)  
 副幹事 小林 哲 (唐 津)  
 事務局長 川添 晃 (唐 津)  
 SAA 丸田 稔夫 (唐 津)

## 地区委員会

### 国際青少年交換委員会

委員長 藤井 歸一 (唐 津)  
 副委員長 辻 幸徳 (唐 津)  
 委員 (G1) 篠原 裕一 (佐 賀)  
 委員 (G2) 吉岡 励 (神 埼)  
 委員 (G3) 菅田 健一 (嬉 野)  
 委員 (G4) 岩本 岳敏 (唐津西)  
 委員 (G5) 木村 公康 (佐世保)  
 委員 (G6) 中島 洋三 (佐世保南)  
 委員 (G7) 本多 善彦 (雲 仙)  
 委員 (G8) 岩崎 修一 (諫 早北)  
 委員 (G9) 田嶋 英夫 (長崎北東)  
 委員 (G10) 飯田 義則 (東長崎)

### 財団奨学・学友委員会

委員長 田中 克憲 (長崎西)  
 委員 久保 志郎 (佐賀西)  
 委員 志村 宏一 (佐世保南)  
 委員 久保 昌二 (長崎西)

### 職業奉仕委員会

委員長 影平 薫 (長崎東)  
 委員長 梅津 哲夫 (佐賀西)  
 委員長 中島 閔二 (佐世保北)  
 委員長 竹田 健介 (平 戸)

### 新世代委員会

委員長 山口 修二 (鹿 島)  
 委員 吉村 正則 (佐賀大和)  
 委員 大塚 良弘 (佐賀西)  
 委員 藤村 昌憲 (長崎北)

### インターアクト委員会

委員長 大塚 良弘 (佐賀西)  
 委員 江口 武 (牛 津)  
 委員 西田 信行 (佐賀北)  
 委員 田中丸 治樹 (伊万里)  
 委員 天本 俊太 (長 崎)  
 委員 山口 茂行 (有 田)  
 委員 中村 人久 (大 村)

### ローターアクト委員会

委員長 藤村 昌憲 (長崎北)  
 委員 栄田 元信 (諫 早)  
 委員 増本 一也 (佐世保)  
 委員 安達 健蔵 (長 崎)  
 委員 山下 雄司 (佐 賀)  
 委員 折敷瀬 三徳 (鹿 島)  
 委員 山崎 光英 (伊万里西)  
 委員 高木 義和 (島 原)  
 委員 濱崎 芳裕 (長崎東)  
 委員 都市 右太雄 (唐津東)

### 財務委員会

委員長 田尻 徳麿 (伊万里)  
 委員 福田 金治 (佐世保)  
 委員 杉原 宏一 (諫 早北)

### G S E 委員会

委員長 本田 圭助 (長崎南)  
 委員 諸島 貞一 (小 城)  
 委員 原田 恒俊 (嬉 野)  
 委員 東島 秀明 (佐世保北)  
 委員 金澤 秀三郎 (雲 仙)  
 委員 久保 泰正 (諫 早西)  
 委員 西 亮 (長崎北東)  
 委員 山田 晃 (長崎南)

**2005～2006年度 会員異動**

グループ	クラブ名	本年度初 会員数	うち、女性 会員	本年度中 新規会員	うち、女性 会員	本年度中 退会会員	うち、女性 会員	本年度末 会員数	うち、女性 会員	本年 増減 数	年初 比 数	うち、女性 会員
第1グループ	佐賀	80	0	4	0	15	0	69	0	-11	0	0
	小城	34	1	3	0	5	0	32	1	-2	0	0
	牛津	31	0	2	0	1	0	32	0	1	0	0
	多賀大和	42	5	3	1	2	0	43	5	1	0	0
	佐賀小計	25	3	3	1	3	1	25	3	0	0	0
	小計	212	9	15	2	26	1	201	9	-11	0	0
第2グループ	佐賀西北	56	0	5	0	7	0	54	0	-2	0	0
	佐賀北	41	3	3	0	3	0	41	3	0	0	0
	佐賀南	41	0	2	0	5	0	38	0	3	0	0
	神埼	28	0	3	0	3	0	28	0	0	0	0
	佐賀空	20	0	1	0	5	0	16	0	-4	0	0
	小計	186	3	14	0	23	0	177	3	-9	0	0
第3グループ	有田	33	1	5	1	2	0	36	2	3	1	1
	武雄	57	0	1	0	2	0	56	0	-1	0	0
	鹿島	41	2	3	0	5	1	39	1	-2	-1	0
	嬉野	23	1	1	0	1	0	23	1	0	0	0
	大白町	24	0	1	0	3	0	22	0	-2	0	0
	白石	17	0	2	0	2	0	17	0	0	0	0
	太良	9	0	1	0	1	0	9	1	0	0	1
	小計	204	4	14	1	16	1	202	5	-2	1	1
第4グループ	唐津	51	0	5	0	4	0	52	0	1	0	0
	伊万里	40	0	3	0	7	0	36	0	-4	0	0
	唐津東	50	0	7	0	5	0	52	0	2	0	0
	唐津西	39	0	4	0	3	0	40	0	1	0	0
	伊万里西	47	0	3	0	1	0	49	0	2	0	0
	唐津中央	41	4	2	1	4	1	39	4	-2	0	0
	小計	268	4	24	1	24	1	268	4	0	0	0
第5グループ	佐世保	84	0	7	0	11	0	80	0	-4	0	0
	平戸	41	0	5	0	5	0	41	0	0	0	0
	佐世保西	33	0	0	0	6	0	27	0	-6	0	0
	北松浦	25	0	2	0	2	0	25	0	0	0	0
	松浦	37	1	1	0	6	0	32	1	-5	0	0
	生月	19	2	0	0	19	2	0	0	-19	-2	-2
	小計	239	3	15	0	49	2	205	1	-34	-2	-2
第6グループ	佐世保南	81	0	2	0	6	0	77	0	-4	0	0
	佐世保東	31	0	3	0	3	0	31	0	0	0	0
	佐世保北	48	0	1	0	3	0	46	0	-2	0	0
	佐世保中央	46	0	3	0	9	0	40	0	-6	0	0
	佐世保東南	23	0	1	0	1	0	23	0	0	0	0
	HTB佐世保	28	3	1	0	5	0	24	3	-4	0	0
	小計	257	3	11	0	27	0	241	3	-16	0	0
第7グループ	大村	52	2	4	0	9	0	47	2	-5	0	0
	島原	37	3	0	0	4	0	33	3	-4	0	0
	雲仙	34	0	1	0	4	0	31	0	-3	0	0
	大村北	33	0	1	0	2	0	32	0	-1	0	0
	島原南	21	1	2	1	1	0	22	2	1	1	1
	大村東	44	1	2	0	1	0	45	1	1	0	0
	小計	221	7	10	1	21	0	210	8	-11	1	1
第8グループ	諫早	64	0	5	0	9	0	60	0	-4	0	0
	諫早北	63	0	7	0	4	0	66	0	3	0	0
	諫早西	46	0	0	0	3	0	43	0	-3	0	0
	諫早多良見	40	0	2	0	5	0	37	0	-3	0	0
	諫早南	32	3	1	1	2	0	31	4	-1	1	1
		小計	245	3	15	0	23	0	237	4	-8	1
第9グループ	長崎	99	0	6	0	12	0	93	0	-6	0	0
	福江	40	0	5	0	5	0	40	0	0	0	0
	長崎北	58	5	5	0	10	0	53	4	-5	-1	0
	福江中央	37	0	2	0	3	0	36	1	-1	1	1
	長崎西	65	0	8	0	7	0	66	0	1	0	0
	長崎琴海	20	2	3	1	0	0	23	3	3	1	1
	小計	319	7	29	1	37	0	311	8	-8	1	1
第10グループ	長崎北	74	0	5	0	9	0	70	0	-4	0	0
	長崎南	84	0	4	0	7	0	81	0	-3	0	0
	長崎東	72	0	3	0	9	0	66	0	-6	0	0
	東長崎	36	0	1	0	2	0	35	0	-1	0	0
	長崎中央	59	0	7	0	7	0	59	0	0	0	0
	長崎出島	55	15	7	0	4	0	58	15	3	0	0
	小計	380	15	27	0	38	0	369	15	-11	0	0
	合計	2,531	58	174	6	284	5	2,421	60	-110	2	2

2005~2006年度 出席率推移

グループ	クラブ名	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
第1グループ	佐賀	88.5	84.5	83.6	83.6	83.4	81.6	82.0	82.8	85.5	81.2	79.0	77.2	82.7
	小城	93.4	90.4	94.8	92.4	91.7	86.4	90.9	94.9	90.4	94.1	95.1	90.4	92.1
	牛津	91.3	91.7	91.4	93.8	88.3	89.6	83.3	83.6	90.0	84.4	86.5	90.6	88.7
	多久	90.4	86.0	91.6	90.0	89.0	87.0	86.0	89.5	87.7	80.8	88.4	87.9	87.9
	佐賀大和	91.7	84.0	77.0	81.0	82.0	82.7	78.8	77.0	85.3	77.0	74.0	81.2	81.0
小計	91.0	87.3	87.7	88.2	86.9	85.4	84.2	85.5	87.8	83.5	84.6	85.5	86.5	86.5
第2グループ	佐賀西	75.4	81.1	86.5	84.3	84.9	75.5	80.8	81.1	79.2	65.3	61.0	78.0	77.8
	佐賀北	83.0	87.5	80.0	79.9	73.7	81.8	77.6	82.2	82.9	77.8	89.2	82.0	81.5
	佐賀南	86.6	81.1	81.7	82.5	76.3	78.8	86.9	82.3	82.9	81.7	82.3	84.0	82.3
	神埼	85.0	78.8	78.8	75.0	81.3	83.9	79.5	78.6	78.6	84.4	87.1	80.1	80.9
	佐賀空港	63.8	58.2	61.8	61.8	62.0	70.6	76.5	70.6	76.5	46.0	56.6	56.6	63.4
小計	78.8	77.3	77.8	76.7	75.6	78.1	80.2	79.0	80.0	71.1	75.2	76.1	77.2	77.2
第3グループ	有田	79.1	81.8	75.1	73.3	78.1	86.3	83.5	80.5	83.2	84.9	78.9	76.3	80.1
	武雄	87.7	82.0	88.1	83.0	88.8	84.8	85.7	80.4	91.1	80.7	81.1	84.2	84.8
	鹿島	90.3	91.9	87.6	86.6	87.2	85.8	87.4	85.4	84.6	84.4	85.9	87.2	87.0
	嬉野	89.5	93.0	90.6	92.7	80.3	94.4	93.7	91.6	87.4	95.8	93.0	89.1	90.9
	大町	77.0	68.4	67.4	69.3	76.6	74.5	77.0	66.8	72.4	74.5	72.3	82.0	73.2
	白石	75.4	70.6	80.9	76.5	77.9	78.4	72.6	75.0	76.5	76.5	73.5	78.5	76.0
	太良	82.5	67.5	68.0	69.5	63.0	77.8	80.0	75.0	70.0	80.0	76.7	80.0	74.2
小計	83.1	79.3	79.7	78.7	78.9	83.2	82.8	79.2	80.7	82.4	80.2	82.5	80.9	80.9
第4グループ	唐津	92.5	93.9	96.1	96.1	89.5	91.0	88.9	87.2	88.3	87.5	81.5	85.0	89.8
	伊万里	96.3	98.8	97.0	98.2	97.6	98.4	98.2	98.8	98.0	96.8	98.7	98.7	97.9
	唐津東	97.3	98.0	97.4	100.0	95.8	95.7	94.9	96.1	95.8	97.6	96.8	98.5	97.0
	唐津西	87.6	92.2	87.1	92.2	83.8	84.2	86.3	89.0	84.1	92.1	85.4	86.1	87.5
	伊万里西	88.4	90.2	89.9	86.9	86.5	82.7	92.1	86.9	81.4	83.3	85.4	84.9	86.6
	唐津中央	92.1	95.3	93.6	92.4	97.6	100.0	89.5	86.5	91.1	88.7	89.4	87.8	92.0
	小計	92.4	94.7	93.5	94.3	91.8	92.0	91.6	90.7	89.8	91.0	89.5	90.2	91.8
第5グループ	佐世保	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.9	99.6	99.7
	平戸	89.1	78.9	86.4	86.6	88.9	82.2	86.4	78.0	86.2	79.5	81.0	80.3	83.6
	佐世保西	93.1	91.1	89.3	92.6	95.4	98.8	94.2	92.0	93.6	93.8	93.8	94.0	93.5
	北松浦	88.9	86.0	83.3	86.3	88.0	86.7	88.3	80.0	88.9	89.1	89.8	95.5	87.6
	松浦	94.9	88.2	88.9	84.7	91.7	87.0	83.3	84.0	88.3	91.9	77.5	81.7	86.9
	生月	67.7	73.3	69.1	62.5	69.4	72.5	67.5	64.0	62.5	0.0	0.0	0.0	50.7
小計	88.8	86.2	86.2	85.4	88.9	87.9	86.6	83.0	86.6	75.5	73.5	90.2	84.7	84.7
第6グループ	佐世保南	100.0	100.0	97.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.7	97.4	100.0	100.0	99.4
	佐世保東	87.7	86.0	86.3	82.0	85.4	80.5	86.0	87.3	85.2	91.9	86.2	81.3	85.5
	佐世保北	98.5	97.7	97.6	97.6	98.2	98.8	98.3	96.2	98.3	98.0	97.3	97.9	97.9
	佐世保中央	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	佐世保東南	75.0	69.3	67.0	71.8	78.6	75.8	83.3	82.9	77.4	75.4	75.0	75.0	75.5
	HTB佐世保	80.5	75.5	73.1	64.2	68.5	61.5	64.0	62.5	56.4	66.4	61.5	69.2	66.9
小計	90.3	88.1	86.8	85.9	88.4	86.1	88.6	88.1	86.0	88.2	86.7	87.2	87.5	87.5
第7グループ	大村	96.7	85.1	90.1	98.4	84.0	83.0	98.4	91.1	97.8	83.8	78.7	97.3	90.4
	島原	82.4	88.6	82.9	74.3	80.0	83.0	83.3	81.6	79.4	87.5	78.2	89.0	82.5
	雲仙	91.4	92.6	92.6	91.7	85.6	92.3	93.3	91.3	88.8	89.7	91.3	89.8	90.9
	大村北	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	島原南	76.3	77.4	74.0	80.7	72.6	82.3	79.3	81.0	74.0	79.8	75.0	82.0	77.9
	大村東	76.5	82.7	71.5	81.3	74.4	79.5	83.3	80.6	72.1	89.2	75.9	84.9	79.3
	小計	87.2	87.7	85.2	87.7	82.8	86.7	89.6	87.6	85.4	88.3	83.2	90.5	86.8
第8グループ	諫早	95.0	93.0	94.8	92.3	96.0	90.0	93.2	91.5	94.1	87.9	89.7	87.4	92.1
	諫早北	87.5	85.7	85.5	92.8	84.5	89.1	93.0	89.3	83.8	82.9	85.1	91.6	87.6
	諫早西	96.6	95.9	98.3	93.0	88.3	89.1	92.4	94.3	88.2	90.5	93.5	92.3	92.7
	諫早多良見	88.2	85.1	79.9	80.3	80.0	78.1	80.9	79.9	79.8	75.7	81.1	83.0	81.0
	諫早南	87.5	76.6	82.3	74.5	78.0	82.8	76.8	81.1	78.0	76.6	77.4	79.8	79.3
小計	90.9	87.3	88.1	86.6	85.4	85.8	87.3	87.2	84.8	82.7	85.3	86.8	86.5	86.5
第9グループ	長崎	80.1	77.6	80.3	85.2	88.6	76.6	75.6	86.1	80.5	80.3	82.3	82.7	81.3
	福江	93.2	78.7	80.3	89.5	92.8	88.9	86.9	88.5	93.0	94.0	91.0	90.0	88.9
	長崎北東	96.7	92.0	86.8	87.0	86.1	85.9	85.9	92.8	88.7	86.8	82.6	86.3	88.1
	福江中央	83.3	85.4	88.0	92.3	91.3	92.3	90.8	96.7	96.0	96.0	93.0	96.5	91.8
	長崎西	78.1	75.0	76.1	71.6	86.4	80.4	73.0	83.3	75.4	72.5	75.9	72.5	76.7
	長崎海	80.0	75.0	63.0	67.5	81.8	77.3	74.6	83.0	76.1	69.7	75.8	68.5	74.4
小計	85.2	80.6	79.1	82.2	87.8	83.5	81.1	88.4	85.0	83.2	83.4	82.8	83.5	83.5
第10グループ	長崎北	80.5	80.3	76.7	80.2	75.0	73.2	76.9	89.8	74.1	73.6	73.1	82.1	77.9
	長崎南	72.8	77.9	76.0	70.5	82.8	82.3	72.9	87.5	80.6	79.0	76.0	82.1	78.4
	長崎東	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6
	東長崎	77.9	85.0	81.4	82.9	80.6	80.6	81.2	85.7	85.7	84.3	84.3	80.7	82.5
	長崎中央	93.2	91.4	92.2	93.4	91.7	93.1	91.4	97.1	92.4	94.1	92.8	92.4	92.9
	長崎出島	86.7	79.9	74.6	71.8	81.7	85.3	70.8	83.1	69.1	71.6	77.2	73.0	77.1
小計	85.0	85.5	83.3	82.9	85.1	85.5	82.0	90.3	83.4	83.5	83.7	84.8	84.6	84.6
合計	87.3	85.6	84.8	84.1	85.4	83.1	83.2	86.6	84.9	82.9	82.5	85.7	84.7	84.7

## ロータリー財団クラブ別寄付額 (2005年7月1日~2006年6月30日)

(単価:ドル)

クラブ名	会員数	目標額	達成率	一人当たり	年次寄付	使途指定寄付	恒久基金寄付	合計
佐賀	80	7,000.00	124%	108.13	8,650.00	0.00	0.00	8,650.00
小城	34	3,400.00	79%	78.53	2,670.00	0.00	0.00	2,670.00
牛津	31	100.00	3096%	99.87	3,095.94	0.00	0.00	3,095.94
多久	42	4,100.00	98%	95.24	4,000.00	0.00	0.00	4,000.00
佐賀大和	25	2,500.00	79%	79.22	1,980.40	0.00	0.00	1,980.40
佐賀西	56	5,400.00	10%	10.00	560.00	0.00	0.00	560.00
佐賀北	41	4,000.00	31%	29.90	1,225.97	0.00	0.00	1,225.97
佐賀南	41	4,100.00	83%	82.93	3,400.00	0.00	0.00	3,400.00
神埼	28	2,900.00	34%	35.71	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00
佐賀空港	20	1,900.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
有田	34	1,000.00	300%	88.24	3,000.00	0.00	0.00	3,000.00
武雄	57	5,700.00	104%	103.84	5,918.66	0.00	0.00	5,918.66
鹿島	43	4,300.00	156%	155.60	6,690.91	0.00	0.00	6,690.91
嬉野	23	2,400.00	28%	29.57	680.00	0.00	0.00	680.00
大町	24	2,500.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
白石	17	1,800.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
太良	9	1,000.00	90%	100.00	900.00	0.00	0.00	900.00
唐津	51	5,300.00	59%	41.27	2,105.00	0.00	1,000.00	3,105.00
伊万里	40	4,200.00	73%	76.98	3,079.36	0.00	0.00	3,079.36
唐津東	50	106.00	2926%	42.02	2,101.12	0.00	1,000.00	3,101.12
唐津西	39	5,324.00	23%	31.86	1,242.46	0.00	0.00	1,242.46
伊万里西	47	4,900.00	122%	85.11	4,000.00	0.00	2,000.00	6,000.00
唐津中央	41	4,200.00	89%	90.73	3,720.00	0.00	0.00	3,720.00
佐世保	84	13,800.00	42%	62.40	5,242.00	610.78	0.00	5,852.78
平戸	41	1,500.00	200%	73.17	3,000.00	0.00	0.00	3,000.00
佐世保西	33	3,500.00	60%	63.64	2,100.00	0.00	0.00	2,100.00
北松浦	24	3,100.00	68%	4.17	100.00	0.00	2,000.00	2,100.00
松浦	37	3,800.00	116%	100.05	3,701.82	720.00	0.00	4,421.82
生月	18	2,200.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
佐世保南	81	8,600.00	81%	86.42	7,000.00	0.00	0.00	7,000.00
佐世保東	31	3,300.00	151%	128.03	3,969.00	0.00	1,000.00	4,969.00
佐世保北	49	4,800.00	215%	169.96	8,328.00	0.00	2,000.00	10,328.00
佐世保中央	46	5,000.00	65%	70.22	3,230.00	0.00	0.00	3,230.00
佐世保東南	22	1,000.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
HTB佐世保	29	2,800.00	54%	51.72	1,500.00	0.00	0.00	1,500.00
大村	52	5,000.00	104%	100.00	5,200.00	0.00	0.00	5,200.00
島原	37	3,700.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
雲仙	34	3,400.00	65%	64.65	2,198.00	0.00	0.00	2,198.00
大村北	33	3,400.00	98%	100.91	3,330.00	0.00	0.00	3,330.00
島原南	21	2,100.00	73%	72.56	1,523.73	0.00	0.00	1,523.73
大村東	44	4,400.00	68%	68.18	3,000.00	0.00	0.00	3,000.00
諫早	65	6,500.00	87%	71.54	4,650.00	0.00	1,000.00	5,650.00
諫早北	65	6,400.00	57%	56.15	3,650.00	0.00	0.00	3,650.00
諫早西	46	4,700.00	100%	80.22	3,690.00	0.00	1,000.00	4,690.00
諫早多良見	40	4,100.00	178%	182.51	7,300.34	0.00	0.00	7,300.34
諫早南	32	620.00	294%	51.56	1,650.00	170.00	0.00	1,820.00
長崎	99	10,000.00	75%	65.36	6,470.71	0.00	1,000.00	7,470.71
福江	40	4,000.00	50%	50.00	2,000.00	0.00	0.00	2,000.00
長崎北東	58	6,000.00	85%	87.77	5,090.91	0.00	0.00	5,090.91
福江中央	37	4,000.00	118%	100.00	3,700.00	0.00	1,000.00	4,700.00
長崎西	65	7,000.00	96%	88.46	5,750.00	0.00	1,000.00	6,750.00
長崎琴海	20	2,000.00	100%	100.00	2,000.00	0.00	0.00	2,000.00
長崎北	74	8,000.00	102%	109.73	8,120.00	9.09	0.00	8,129.09
長崎南	84	9,680.00	113%	117.86	9,900.00	0.00	1,000.00	10,900.00
長崎東	72	7,800.00	165%	41.67	3,000.00	9,900.00	0.00	12,900.00
東長崎	36	3,900.00	43%	46.94	1,689.85	0.00	0.00	1,689.85
長崎中央	59	5,600.00	39%	35.74	2,108.72	50.00	0.00	2,158.72
長崎出島	56	6,490.00	117%	117.86	6,600.00	0.00	1,000.00	7,600.00
2740					5,161.07			5,161.07
合計	2537	250,320.00	89%		195,973.97	11,459.87	16,000.00	223,433.84

米山記念奨学会寄付金明細表 (2005年7月1日～2006年6月30日)

(単価:円)

クラブ名	普通寄付金 単価(年額)	2005/7月—2006/6月			会員数 (1月1日)	一人当たり 平均寄付額	過去累計額		
		普通寄付金	特別寄付金	合計			普通寄付金	特別寄付金	合計
佐賀	6,000	462,000	600,000	1,062,000	75	14,160	9,183,000	14,610,000	23,793,000
小城	3,000	100,500	494,500	595,000	33	18,030	2,833,750	3,265,000	6,098,750
牛津	3,000	94,500	300,000	394,500	32	12,328	2,344,750	7,300,000	9,644,750
多久	3,000	127,500	0	127,500	43	2,965	1,825,500	3,800,000	5,625,500
佐賀大和	2,500	61,250	400,000	461,250	24	19,218	829,750	4,400,000	5,229,750
佐賀西	6,000	336,000	500,000	836,000	56	14,928	6,612,650	10,550,000	17,162,650
佐賀北	3,000	126,000	250,000	376,000	43	8,744	4,618,250	5,750,000	10,368,250
佐賀南	3,000	120,000	100,000	220,000	40	5,500	1,726,500	3,223,000	4,949,500
神埼	3,000	85,500	0	85,500	29	2,948	1,510,500	2,300,000	3,810,500
佐賀空港	6,000	117,000	0	117,000	19	6,157	328,500	328,500	328,500
有田	3,000	102,000	30,000	132,000	36	3,666	3,654,000	1,620,000	5,274,000
武雄	4,000	226,000	167,000	393,000	56	7,017	5,928,650	4,640,950	10,569,600
鹿島	3,000	130,500	0	130,500	44	2,965	4,458,950	4,270,000	8,728,950
嬉野	2,000	47,000	100,000	147,000	24	6,125	2,314,500	1,480,000	3,794,500
大町	1,500	34,000	30,000	64,000	22	2,909	3,040,500	2,730,000	5,770,500
白石	2,000	34,000	0	34,000	17	2,000	2,150,000	1,260,000	3,410,000
太良	2,000	19,000	0	19,000	10	1,900	441,000	2,000,000	2,441,000
唐津	2,500	131,250	300,000	431,250	54	7,986	5,281,320	7,400,000	12,681,320
伊万里	4,000	162,000	420,000	582,000	40	14,550	4,970,700	6,420,000	11,390,700
唐津東	2,000	102,000	0	102,000	52	1,961	4,074,750	6,135,000	10,209,750
唐津西	4,000	158,000	100,000	258,000	40	6,450	3,832,500	6,300,000	10,132,500
伊万里西	4,500	219,000	254,000	473,000	50	9,460	4,504,000	5,704,000	10,208,000
唐津中央	2,000	84,000	370,000	454,000	43	10,558	1,245,000	3,630,000	4,875,000
佐世保	3,000	258,000	1,661,000	1,919,000	88	21,806	7,448,800	69,786,000	77,234,800
平戸	4,000	176,000	300,000	476,000	44	10,818	3,712,450	10,152,435	13,864,885
佐世保西	2,000	64,000	200,000	264,000	31	8,516	4,271,450	16,300,000	20,571,450
北松浦	4,000	96,000	200,000	296,000	24	12,333	3,787,500	9,666,370	13,453,870
松浦	3,000	109,500	200,000	309,500	36	8,597	2,604,700	4,536,221	7,140,921
生月	4,000	64,000	0	64,000	16	4,000	2,251,000	883,000	3,134,000
佐世保南	2,000	160,000	600,000	760,000	79	9,620	6,918,300	30,848,846	37,767,146
佐世保東	2,000	63,000	489,000	552,000	32	17,250	5,460,500	15,091,679	20,552,179
佐世保北	2,000	97,000	800,000	897,000	48	18,687	2,334,250	23,400,000	25,734,250
佐世保中央	2,000	90,000	200,000	290,000	44	6,590	2,144,000	4,300,000	6,444,000
佐世保東南	2,000	44,000	0	44,000	22	2,000	551,500	1,200,000	1,751,500
HTB佐世保	4,000	112,000	1,000,000	1,112,000	27	41,185	1,172,000	3,750,000	4,922,000
大村	3,000	154,500	0	154,500	51	3,029	4,184,350	3,650,000	7,834,350
島原	3,000	111,000	30,000	141,000	35	4,028	3,686,550	1,570,000	5,256,550
雲仙	5,000	165,000	100,000	265,000	32	8,281	3,466,250	4,209,500	7,675,750
大村北	3,000	96,000	300,000	396,000	31	12,774	2,644,000	5,290,000	7,934,000
島原南	3,000	63,000	0	63,000	22	2,863	1,313,000	700,000	2,013,000
大村東	3,000	132,000	600,000	732,000	44	16,636	1,377,000	2,680,000	4,057,000
諫早	1,500	97,500	350,000	447,500	63	7,103	5,267,750	9,600,000	14,867,750
諫早北	4,000	258,000	300,000	558,000	64	8,718	5,343,000	15,160,000	20,503,000
諫早西	2,500	115,000	200,000	315,000	46	6,847	2,076,000	3,900,000	5,976,000
諫早多良見	3,000	117,000	463,998	580,998	39	14,897	1,497,500	2,776,918	4,274,418
諫早南	5,000	162,500	100,000	262,500	33	7,954	994,000	1,000,000	1,994,000
長崎	5,000	501,000	770,000	1,271,000	101	12,584	12,328,850	25,678,658	38,007,508
福江	3,000	123,000	100,000	223,000	42	5,309	4,601,250	11,763,949	16,365,199
長崎北東	5,000	290,000	610,000	900,000	59	15,254	5,322,000	21,187,500	26,509,500
福江中央	2,000	75,000	470,000	545,000	39	13,974	4,016,500	13,557,647	17,574,147
長崎西	3,000	195,000	596,000	791,000	68	11,632	3,825,000	11,720,000	15,545,000
長崎琴海	2,000	43,000	70,000	113,000	23	4,913	848,500	3,995,000	4,843,500
長崎北	4,000	296,000	500,000	796,000	74	10,756	8,430,500	19,650,000	28,080,500
長崎南	4,000	332,000	896,000	1,228,000	82	14,975	9,549,050	21,519,000	31,068,050
長崎東	5,000	357,500	900,000	1,257,500	69	18,224	8,686,100	18,755,000	27,441,100
東長崎	3,000	109,500	100,000	209,500	37	5,662	2,686,250	7,030,000	9,716,250
長崎中央	3,000	177,000	300,000	477,000	59	8,084	2,502,500	7,294,000	9,796,500
長崎出島	2,000	115,000	613,000	728,000	59	12,338	12,338	4,356,000	5,191,000
その他	0	0	0	0	0		0	4,277,500	4,277,500
合計		8,498,000	18,434,498	26,932,498	2,545	10,583	215,846,370	520,023,173	735,869,543

**ロータリー財団寄付者**

◆ポールハリスフェロー (56名)

氏名	クラブ名
赤坂 幹雄	佐賀RC
木下 博行	佐賀RC
大坪 恵介	佐賀RC
馬場 實	小城RC
西岡 寛行	牛津RC
白石 公太郎	牛津RC
相浦 封哉	多久RC
可児 健治	多久RC
宮原 博文	多久RC
宮崎 恒	佐賀大和RC
園田 嘉生	佐賀南RC
福田 雅信	有田RC
福田 羊子	有田RC
中尾 廣次	鹿島RC
松尾 繁樹	唐津RC
山口 猛	伊万里RC
平野 功二郎	唐津東RC
平尾 邦利	伊万里西RC
牟田 昭人	伊万里西RC
米田 均	唐津中央RC
高崎 繁行	唐津中央RC
川本 邦公	平戸RC
籠手田 恵夫	平戸RC
田口 満	平戸RC
濱崎 堯行	松浦RC
前田 力弘	佐世保南RC
深町 等	佐世保北RC
藤井 憲二	佐世保北RC
野村 和義	佐世保中央RC
馬場 貴博	佐世保中央RC
村岡 一孝	大村RC
金澤 秀三郎	雲仙RC
牧山 隆雄	大村北RC
吉川 幸太	大村東RC
里脇 岩男	大村東RC
岩崎 真佐士	諫早RC
村田 省三	諫早RC
廣渡 雅也	諫早RC
日高 正朗	諫早西RC

氏名	クラブ名
馬渡 信也	諫早西RC
山崎 大介	諫早西RC
宮崎 正浩	諫早多良見RC
南 健二郎	諫早多良見RC
北島 良樹	諫早多良見RC
中川 浩司	諫早多良見RC
樋口 茂樹	諫早南RC
藤木 博	長崎RC
北島 博志	福江RC
中村 吉廣	福江RC
神之浦 潔	福江中央RC
山下 恒喜	福江中央RC
渡辺 力	長崎琴海RC
中村 知也	長崎北RC
松尾 龍彦	東長崎RC
河野 英雄	長崎中央RC
岡 万里子	長崎出島RC

◆マルチプルポールハリスフェロー (61名)

Stone	氏名	クラブ名
3	野口 清	佐賀RC
1	嬉野 勝利	佐賀RC
4	池田 實	佐賀RC
4	本島 慶次	佐賀RC
1	馬場 實	小城RC
1	丸山 忠宏	多久RC
3	堤 和之	佐賀大和RC
1	福元 裕二	佐賀北RC
1	山口 誠二	佐賀北RC
1	田中 洋介	佐賀南RC
1	吉村 正	佐賀南RC
1	岩谷 敏行	武雄RC
1	辻野 正勝	鹿島RC
1	馬渡 雅敏	唐津RC
1	樋渡 徳美	伊万里RC
1	井上 猛雄	唐津東RC
2	川副 敏郎	伊万里西RC
1	内山 陽一	伊万里西RC
1	中里 文子	唐津中央RC
1	山縣 義道	佐世保RC

Stone	氏名	クラブ名
8	田中丸 善保	佐世保RC
2	玉野 哲雄	佐世保RC
2	橘 高克和	佐世保RC
2	飯田 清	佐世保西RC
3	圓田 治	佐世保南RC
1	岡崎 公一	佐世保南RC
2	奥 和馬	佐世保南RC
1	池 富幸男	佐世保南RC
1	下川 孝之	佐世保南RC
3	峯 順通	佐世保南RC
1	伊藤 正春	佐世保東RC
3	松尾 辰次郎	佐世保北RC
3	緒方 信行	佐世保北RC
5	豊島 揆一	佐世保北RC
1	南部 建	佐世保中央RC
1	池 永隆司	佐世保中央RC
1	小榘 利之	佐世保中央RC
1	村上 英世	HTB佐世保RC
1	有吉 伸二	HTB佐世保RC
1	松尾 京子	HTB佐世保RC
1	本田 嘉彦	大村RC
1	貞松 俊弘	大村RC
6	南野 健	大村北RC
4	佐古 亮尊	大村北RC
1	烏山 紀男	諫早RC
2	杉原 宏一	諫早北RC
3	岩永 信昭	長崎北東RC
2	亀田 純輔	長崎北東RC
2	浦 繁郎	福江中央RC
1	山本 憲嗣	福江中央RC
3	田中 克憲	長崎西RC
3	森 信興	長崎西RC
3	宮本 誠	長崎東RC
1	長谷川 宏	長崎琴海RC
1	梅木 誠一	長崎北RC
4	福島 建一	長崎北RC
1	上田 惠三	長崎北RC
3	藤本 茂樹	長崎北RC
3	松山 要	長崎北RC
1	崎 永剛	長崎北RC
2	藤原 久郎	長崎南RC
2	野口 道生	長崎出島RC

◆大口寄付者 (9名)

氏名	クラブ名
山口 信義	唐津中央RC
福田 金治	佐世保RC
田中 純智男	佐世保東RC
市瀬 久米嘉	佐世保東RC
福田 俊郎	佐世保北RC
栗林 英雄	諫早北RC
西村 金造	長崎RC
高木 聰一郎	長崎RC
高木 聡一郎	長崎RC

◆ベネファクター (15名)

氏名	クラブ名
北島 俊郎	唐津RC
井上 洋一郎	唐津東RC
太田 明二	伊万里西RC
西岡 榮一	伊万里西RC
西尾 弘毅	北松浦RC
佐藤 一男	北松浦RC
浦本 忠男	佐世保東RC
二ノ宮 健	佐世保北RC
烏山 紀男	諫早RC
宮本 峻光	諫早西RC
安達 一蔵	長崎RC
郡家 信晴	福江中央RC
渡邊 修志	長崎西RC
蒔本 恭	長崎南RC
服部 一弘	長崎出島RC

◆メモリアルコントリビューター (5名)

氏名	クラブ名
福田 雅信	有田RC <small>父藤田泰作 おためし</small>
馬場 正人	唐津西RC
前田 治伸	北松浦RC
日向 啓	島原南RC <small>母スマの為に</small>
高木 宏隆	長崎西RC

◆100%ポールハリスフェロークラブ

佐世保北ロータリークラブ

## 米山記念奨学会寄付者

### ◆米山功労者 (57名)

氏名	クラブ名
北島俊郎	唐津RC
伊藤正春	佐世保東RC
木村千秋	長崎東RC
松尾豊明	長崎東RC
田尻徳磨	伊万里RC
牧文春	長崎西RC
小川一貴	佐世保北RC
湯口純二	佐世保北RC
大川内克俊	佐世保南RC
内山陽一	伊万里西RC
山口正憲	伊万里西RC
森由有	諫早西RC
岩隈弘	長崎南RC
比良孝蔵	大村北RC
田雑豪裕	佐世保中央RC
牛島義亮	佐世保中央RC
有田信一	長崎中央RC
原田尚紀	長崎中央RC
藤瀬直男	長崎東RC
木村輝夫	長崎東RC
栗原賢太郎	長崎東RC
阿部芳男	長崎北RC
岡崎公一	佐世保南RC
太田善郎	佐賀北RC
山下正則	諫早多良見RC
本田文昭	長崎中央RC
北郷雅子	長崎出島RC
今村茂雄	長崎出島RC
田中直孝	長崎琴海RC
井上弘	長崎西RC
尾上重道	東長崎RC
三宅清兵衛	佐世保RC
早田和彦	諫早西RC
御厨増尚	北松浦RC
中山虎雄	唐津中央RC
中里文子	唐津中央RC
吉澤裕輔	平戸RC

氏名	クラブ名
大神照彦	長崎RC
井上東也	唐津RC
長野眞知	唐津RC
円田靖	佐賀RC
織田徳彌	佐賀RC
陣内重泰	佐賀RC
園田良秀	佐賀RC
田中洋介	佐賀南RC
森永太	佐賀西RC
隅康二	佐賀西RC
平龍三郎	佐賀西RC
岩谷敏行	武雄RC
井手洋子	嬉野RC
森眞敏	福江中央RC
山田栽温	平戸RC
深川寛	諫早北RC
武田義憲	諫早北RC
瓜生俊之	佐世保南RC
福田宥晃	雲仙RC
佐藤誠	雲仙RC

### ◆米山功労者 (マルチプル) (54名)

回数	氏名	クラブ名
2	梅田裕一	諫早多良見RC
2	井上良久	唐津中央RC
2	犬尾修三	諫早多良見RC
2	諸岡洋三	諫早多良見RC
2	近藤竜一	佐世保北RC
2	永尾良致	諫早RC
2	菅原眞博	諫早RC
2	山口賢也	諫早南RC
2	青崎伊佐雄	松浦RC
2	山下尚登	佐世保RC
2	宮脇秀展	福江中央RC
2	高久和也	長崎出島RC
2	豆谷耕蔵	福江中央RC
2	安部重幸	平戸RC
2	林田千年	諫早RC

回数	氏名	クラブ名
2	町田 憲明	長崎北東RC
2	石井 正剛	佐世保RC
3	前川 貞良	大村東RC
3	為永 伸夫	大村東RC
3	浦本 忠男	佐世保東RC
3	安福 鴻之助	佐世保RC
3	松本 英介	佐世保RC
3	井手 孝邦	佐世保RC
3	大原 玉瑞	長崎北東RC
3	安達 一蔵	長崎RC
3	西岡 健次	牛津RC
4	烏山 紀男	諫早RC
4	田代 祐照	佐賀大和RC
4	島田 靖彦	長崎西RC
4	越智 和博	佐世保北RC
4	鈴木 正昭	佐世保北RC
4	上田 恵三	長崎北RC
4	森 信興	長崎西RC
4	梅村 良輔	佐世保RC
4	松尾 勝美	佐世保東RC
4	畑田 明	佐世保南RC
4	空閑 清高	佐賀RC
4	前田 博憲	佐賀西RC
4	坂井 寅雄	福江中央RC
4	佐古 亮尊	大村北RC
5	樋口 勉	佐世保東RC
5	圓田 治	佐世保南RC
5	山口 信義	唐津中央RC
6	馬場 政廣	長崎東RC
6	朝永 春郎	松浦RC
7	松永 清	佐世保東RC
7	南野 健	大村北RC
7	久保 志郎	佐賀西RC
8	永田 幸人	長崎東RC
8	永田 武義	佐世保北RC
8	柿川 純正	長崎東RC
8	白川 十郎	伊万里RC
9	馬場 正人	唐津西RC
9	北川 正吉	長崎RC

**◆米山功労者（メジャードナー）（12名）**

回数	氏名	クラブ名
10	山下 登	佐世保RC
10	金子 卓也	佐世保南RC
10	香月 孝	佐賀RC
12	福田 俊郎	佐世保北RC
13	嵩 則雄	福江RC
14	福田 金治	佐世保RC
21	堤 和之	佐賀大和RC
22	西沢 茂	佐世保北RC
22	江頭 泰幸	佐賀北RC
29	栗林 英雄	諫早北RC
36	築城 士郎	長崎北RC
39	田中 紀男	長崎北東RC

**◆米山功労クラブ（16クラブ）**

ハウステンボス佐世保ロータリークラブ
長崎東ロータリークラブ
小城ロータリークラブ
佐世保北ロータリークラブ
長崎ロータリークラブ
長崎南ロータリークラブ
大村北ロータリークラブ
長崎中央ロータリークラブ
佐世保ロータリークラブ
佐世保東ロータリークラブ
諫早南ロータリークラブ
東長崎ロータリークラブ
長崎北東ロータリークラブ
長崎出島ロータリークラブ
平戸ロータリークラブ
諫早北ロータリークラブ

《 2006～2007年度 ロータリー財団国際親善奨学生 》

◆ 一学年度国際親善奨学申請者（アカデミック・イヤー）

氏名	留学国	指定志望教育機関	研究分野	スポンサークラブ
新ヶ江 章 友	アメリカ	サンフランシスコ州立大学	人文社会科学	佐賀南RC
谷 川 晋 一	アメリカ	メリーランド大学	言語学	長崎琴海RC
山 崎 風 美	アメリカ	公立ノースカロライナー大学	知的障害教育	佐賀大和RC

◆ 二学年度国際親善奨学申請者（マルチ・イヤー）

氏名	留学国	指定志望教育機関	出身校・専攻科目	推薦RC
柿 本 貴 子	イタリア	国立ピアチェンツァ ジュゼッペ・ニコリーニ音楽院	声 楽	長崎出島RC
吉 川 友 理	イタリア	国立ラティーナ オットリーノ・レスピーギ音楽院	声 楽	長崎RC

《2007～2008年度 ロータリー財団国際親善奨学生候補者》

◆ 一学年度（アカデミック・イヤー）

氏名	留学国	研究分野	推薦RC
山 本 初 美	アメリカ	英米文学	佐賀北RC
石 司 真由美	オランダ	国際人道法	長崎RC
村 田 真理子	フランス	クラシック音楽	長崎西RC
池 田 祥 規	イギリス	平和学／開発学	佐賀西RC
下 村 安 代	オランダ	教育学（教育政策）	諫早北RC

## 《 2006年度 米山記念奨学生 》

氏名(漢字)	氏名(カナ)	性別	国籍	大学名	専攻	課程	奨学金種別	世話クラブ
達慶紅	タケイコ	女	中国	佐賀大学	学校教育	修士 1	YM	佐賀
伍怡	ウイ	女	中国	佐賀大学	企業経営	修士 2	YM	佐賀西
孫琳琳	ソンリン	女	中国	佐賀大学	教科教育	修士 2	YM	神埼
韓艶雯	カンエンブン	女	中国	佐賀大学	教科教育	修士 2	YM	佐賀北
モビ・ムー・ペイ		女	マレーシア	佐賀大学	文化教育	学部 4	YU	佐賀大和
任萍	ニンメイ	女	中国	佐賀大学	教科教育	修士 1	YM	佐賀南
程継中	テイケイチュウ	男	中国	長崎大学	経済経営政策	修士 2	YM	長崎
関曉麗	カンギョウレイ	女	中国	長崎大学	システム科学	博士 3	YD	北松浦
鄭爽鎬	チョンソクホ	男	韓国	長崎大学	物質科学	博士 2	YD	長崎西
李伝浩	リデンコウ	男	中国	長崎大学	環境科学	博士 2	YD	長崎南
金斗卿	キムトウキョウ	男	韓国	長崎県立大学	産業経済・経済開発	修士 2	YM	佐世保中央
李瑞玉	リズイキョク	女	中国	長崎国際大学	観光学	修士 2	YM	大村
嚴詠怡	ガンエイイ	女	英国	長崎国際大学	国際観光学	学部 4	YU	佐世保南
郝苗苗	カウミョウミョウ	女	中国	長崎純心大学	人間文化	修士 2	YM	長崎琴海
テオ・チュイン		女	マレーシア	長崎総合科学大学	経営システム工学	学部 3	YU	諫早西
王鳳儀	ワンフォンイ	女	台湾	長崎総合科学大学	環境文化学	学部 4	YU	長崎出島
アロヨ・モラ・デイシー・クリスティナ		女	コスタリカ	長崎大学	海洋生産化学	博士 2	YD	諫早南
チュオン・トゥイ・タイン		女	ベトナム	長崎総合科学大学	環境文化学	学部 3	YU	長崎東

《 国際青少年交換学生 》

◆ 2005～2006年度 来日学生

	氏名	ニックネーム	出身国	ホストクラブ
1	Pawel Majenka	Pawel	ドイツ	佐賀
2	Bernardo Oliveira	Bernardo	ブラジル	佐賀北
3	Morgane Ritz	Morgane	フランス	武雄
4	Maria Falomir Hasimoto	Maria	メキシコ	佐世保
5	Evan Bosch	Evan	アメリカ	佐世保北
6	Katherine Louise Hyde	Katherine	オーストラリア	佐世保中央
7	Jonathan Reginald Peters	Jonathan	カナダ	諫早
8	Thomas McGill	Tom	アメリカ・ミネソタ	長崎
9	Daniel Ruhiman	Dan	アメリカ	長崎中央
10	Sieczka Zasta Lidia	Zasta	オーストラリア	唐津

◆ 2005～2006年度 派遣学生

	氏名	在籍校	派遣国	ホストクラブ
1	百武 紘司	佐賀大付属中	ドイツ	佐賀
2	古賀 陽平	神埼高校	ブラジル	佐賀北
3	北川 あゆみ	武雄高校	フランス	武雄
4	平子 咲	聖和女子学院	メキシコ	佐世保
5	平田 稔人	佐世保商業高校	アメリカ	佐世保北
6	田代 かおる	佐世保北高校	オーストラリア	佐世保中央
7	竹下 理子	長崎西高校	カナダ	諫早
8	有田 奈央	長崎北高校	アメリカ	長崎中央

◆ 2006～2007年度 派遣学生

	氏名	在籍校	派遣国	ホストクラブ
1	對馬 あづみ	致遠館高等学校	ドイツ	佐賀
2	平川 知明	佐賀西高等学校	カナダ	佐賀北
3	飯田 千織	唐津西高等学校	オーストラリア	唐津
4	松永 夕加	九州文化学院	台湾	佐世保
5	中島 綾子	諫早高等学校	フランス	諫早多良見
6	松谷 啓介	長崎南高校	アメリカ・ミネソタ	長崎

## インターアクトクラブ一覧

IAC名	提唱RC	創立	会員数	例会日時	事務所住所
大村工業高校	大村北	1963.11.30	30	火・金 16:00	〒856-0815 大村市森園町1079-3
有田工業高校	有田	1965. 2.24	14	火or木 15:50	〒844-0018 佐賀県西松浦郡有田町中部丙954-9 大有田焼会館3F 有田RC
佐賀工業高校	佐賀西	1965. 6.10	21	火曜日 15:45	〒840-0841 佐賀市緑小路1-1
武雄高校	武雄	1967.12.13	11	月・火 16:30~	〒843-0024 武雄市武雄町大字富岡7719 武雄商工会議所内 武雄RC
唐津西高校	唐津	1969.11.10	11	水or金 17:00~	〒847-0012 唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5F 唐津RC
敬徳高校	伊万里	1970. 4.25	32	不定 不定	〒848-0027 伊万里市立花町86
向陽高校	大村	1971. 6.22	12	第2・4金 12:25	〒856-0825 大村市西三城町16
佐賀清和高校	佐賀	1972. 7.27	4	月 12:45	〒840-0047 佐賀市与賀町78
塩田工業高校	嬉野	1976. 1. 8	3	火・金 16:00	〒849-1411 佐賀県藤津郡塩田町大字馬場下甲1418
聖和女子学院	佐世保南	1976. 1.27	42	金 13:10	〒857-0015 佐世保市松山町495
長崎女子商業高校	長崎南	1976. 2.24	28	水 16:15	〒850-0875 長崎市栄町2-10
島原中央高校	島原	1978. 5.20	13	不定期 不定	〒855-8550 島原市高島2-7217 島原商工会議所内 島原RC
佐賀女子高校	佐賀北	1978. 9.19	8	第1土 12:30	〒840-0047 佐賀市与賀町153
長崎女子高校	長崎	1979. 1.16	29	木曜日 16:40	〒850-0033 長崎市万才町6-38 明治生命長崎ビル4F 長崎RC
諫早農業高校瑞穂寮	諫早	1979. 2.21	41	第3水 20:00	〒854-0043 諫早市立石町1003
西海学園高校	佐世保	1980.10.20	0		〒857-0011 佐世保市春日町29-22
牛津高校	牛津	1982. 7.18	15	木曜日 16:00	〒849-0303 佐賀県小城市牛津町牛津274
長崎北陽台高校	長崎北東	1984. 5.12	4	水曜日 16:00	〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷3672
五島高校	福江中央	1985. 3.24	21	1・3月 16:00	〒853-0018 五島市池田町1-1
鎮西学院高校	諫早北	1985. 5.21	45	第3水 16:00	〒854-0081 諫早市栄田町1057
E.J.キングスクール	佐世保南	1989. 5. 1	7	不定期 放課後	〒857-0056 佐世保市平瀬町 米海軍佐世保基地内
海星学園	長崎西	1997. 1.18	25	第1・3土 13:30	〒850-8586 長崎市東山手町5-3
長崎県立大村城南高校	大村東	2001 4.23	15	水 13:30	〒856-0835 大村市久原1-416
活水中学高等学校	長崎出島	2001. 9.12	32	第3火曜 12:30~	〒852-8016 長崎市宝栄町15-11

## ローターアクトクラブ一覧

RAC名	提唱RC	創立	会員数	例会日時	事務所住所
佐賀	佐賀・西・北	1968.12.12	18	水 19:30	〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館3階 ロータリー合同事務所
佐世保	佐世保	1969.12.17	9	第1・3水 19:30	〒857-0806 佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 佐世保RC
長崎北	長崎北	1970. 5.20	11	第1・3木 19:15	〒850-0033 長崎市万才町6-38 明治安田生命長崎ビル 長崎北RC
諫早	諫早	1970. 5.29	9	第2・4木 19:30	〒854-0016 諫早市高城町5-10 諫早商工会議所 諫早RC
長崎	長崎	1971. 2. 4	11	第1・3火 19:30	〒850-0033 長崎市万才町6-38 明治安田生命長崎ビル 長崎RC
唐津東	唐津東	1973.10.18	8	第2・4火 19:30	〒847-0012 唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階 唐津東RC
佐世保東	佐世保東	1974. 4. 9	7	第1・3火 19:30	〒859-3215 佐世保市早岐2-16-10 佐世保東RC
島原	島原	1981. 4.10	8	第1・3水 19:30	〒855-8550 島原市高島2-7217 島原商工会議所内 島原RC
鹿島	鹿島	1981. 5.20	11	第2・4水 20:00	〒849-1311 鹿島市大字高津原4296-41 鹿島商工会館2階 鹿島RC
長崎東	長崎東	1983. 3.11	12	第2・4水 19:15	〒850-0033 長崎市万才町3-13 千代田生命長崎ビル8階 長崎東RC
伊万里西	伊万里西	1987. 3.15	6	第1・3月 19:30	〒848-0041 伊万里市新天町663 伊万里商工会館3階 伊万里西RC
長崎国際大学	佐世保	2005. 3.13	16	第2・4水 15:00	〒857-0806 佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 佐世保RC

**年 間 行 事 報 告**

7月	1(金)	ガバナー事務所開設	
		青少年交換委員全国会議 打合せ会	有田
	2(土)	第1回 ガバナー補佐会	佐世保
	3(日)	R財団・米山記念奨学合同セミナー	武雄
	9(土)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	東京
	10(日)	インターアクト指導者講習会	武雄
	14(木)	第1回 諮問委員会	唐津
	17(日)	青少年交換学生選考会	唐津
	19(火)	鹿島RC 公式訪問	鹿島
		佐賀南RC 公式訪問	佐賀
	21(木)	大町RC 公式訪問	大町
		太良RC 公式訪問	太良
	22(金)	福江RC 公式訪問	五島
		福江中央RC 公式訪問	五島
	24(日)	R財団地域セミナー	東京
		R財団奨学・学友委員会	長崎
	27(水)	小城RC 公式訪問	小城
		佐賀北RC 公式訪問	佐賀
	28(木)	伊万里RC・伊万里西RC 公式訪問	伊万里
	29(金)	嬉野RC 公式訪問	嬉野
29(金)	牛津RC 公式訪問	牛津	
30~31日	インターアクト年次大会	佐賀	
8月	2(日)	有田RC 公式訪問	有田
		神埼RC 公式訪問	神埼
	3(水)	佐世保RC・佐世保西RC 公式訪問	佐世保
	4(木)	諫早北RC 公式訪問	諫早
	6(土)	青少年交換研究会「長崎会議」打合せ	佐世保
	8(月)	武雄RC 公式訪問	武雄
		佐世保北RC 公式訪問	佐世保
	9(火)	島原RC・島原南RC 公式訪問	島原

	10(水)	佐賀空港RC 公式訪問	佐賀
	11(木)	多久RC 公式訪問	多久
		佐賀RC 公式訪問	佐賀
	17(水)	GSEチーム壮行会	唐津
	19(金)	長崎東RC・長崎出島RC 公式訪問	長崎
	20~22日	第1回 青少年交換 オリエンテーション	伊万里
	22(月)	長崎北RC・長崎中央RC 公式訪問	長崎
	23(火)	HTB佐世保RC 公式訪問	佐世保
		佐賀大和RC 公式訪問	佐賀
	25(木)	平戸RC 公式訪問	平戸
	25(木)	生月RC 公式訪問	生月
	26(金)	諫早RC・諫早南RC 公式訪問	諫早
	29(月)	大村東RC 公式訪問	大村
	30(火)	北松浦RC 公式訪問	北松浦
		米山奨学評議委員会	東京
	31(水)	唐津西RC 公式訪問	唐津
9月	3(土)	雲仙RC 公式訪問	雲仙
	4日~	GSEチーム派遣	
	7(水)	長崎南RC・東長崎RC 公式訪問	長崎
	8(木)	佐世保東RC 公式訪問	佐世保
		佐世保中央RC 公式訪問	佐世保
	9(金)	佐世保南RC・佐世保東南RC 公式訪問	佐世保
	11(日)	GETS	東京
		米山の集い	唐津
	14(水)	諫早西RC 公式訪問	諫早
		大村北RC 公式訪問	大村
	15(木)	唐津東RC 公式訪問	唐津
	16(金)	松浦RC 公式訪問	松浦
		唐津中央RC 公式訪問	唐津
17(土)	クラブ奉仕部門セミナー	唐津	

	20(火)	諫早多良見RC 公式訪問	諫早
		大村RC 公式訪問	大村
	21(水)	白石RC 公式訪問	白石
	22(木)	長崎RC・長崎琴海RC 公式訪問	長崎
	24(土)	職業奉仕部門セミナー	武雄
	25(日)	青少年交換委員会	嬉野
	26(月)	佐賀西RC 公式訪問	佐賀
	27(火)	長崎西RC・長崎北東RC	長崎
10月	4(火)	唐津RC 公式訪問	唐津
	6(木)	第2回 諮問委員会	佐世保
	8(土)	第2回 ガバナー補佐会	嬉野
	21~22日	全国青少年交換委員長会議	名古屋
	22(土)	小城RC 創立40周年 記念式典	小城
	28(金)	佐世保RC 創立55周年 記念式典	佐世保
	29(土)	第2回 青少年交換 オリエンテーション	伊万里
11月	11(金)	地区大会 13日まで	唐津
	20(日)	鹿島RC 40周年	鹿島
	24~27日	R財団セミナー・ロータリーゾーン研究会	東京
12月	4(日)	R財団奨学生研修会	長崎
		全国青少年交換委員長会議	東京
	10(土)	女性委員会	佐世保
	11(日)	青少年交換委員会 クリスマス会	佐賀
1月	14(土)	第3回 ガバナー補佐会	佐賀
	21(土)	青少年交換委員会	唐津
	25(水)	「長崎会議」 正副委員長会議	佐世保
	26(木)	第3回 諮問委員会	佐世保
2月	5(日)	米山奨学生選考会	長崎
	8(水)	インターアクト委員会	佐賀
	9(木)	「長崎会議」 連絡会議	武雄
	18(土)	第9.10グループIM	長崎

	19(日)	大村北RC 創立30周年 記念式典	大村
3月	4(土)	第1.2グループIM	佐賀
		地区チーム研修セミナー	長崎
	5(日)	米山記念奨学生終了式・歓送会	長崎
	18(土)	第3グループIM	大町
	19(日)	PETS	長崎
	25(土)	第7.8グループIM	諫早
第3回 青少年交換 オリエンテーション		武雄	
4月	2(日)	鹿島ローターアクト25周年 記念式典	鹿島
	8(土)	4・5・6グループIM	伊万里
	9(日)	R財団奨学生壮行会	長崎
	11(火)	「長崎会議」実行委員会	佐世保
	15(土)	クラブ奉仕部門委員長会議	唐津
	16(日)	第27回 ライラ	長崎
	22(土)	大村東RC 創立10周年 記念式典	大村
	22(土)	ガバナー会	京都
	23(日)	地区ローターアクトリーダーシップ フォーラム	
5月	12~13日	第12回 ロータリー青少年交換研究会『長崎会議』	佐世保
	20(土)	長崎ローターアクトクラブ 35周年記念式典	長崎
	21(日)	地区協議会	長崎
	25(木)	第4回 諮問委員会	佐世保
	27(土)	米山奨学オリエンテーション	佐賀
	28(日)	鹿島ガタリンピック	鹿島
		島原ローターアクトクラブ 25周年記念式典	島原
6月	3(土)	ローターアクト年次大会 4日まで	唐津
		神埼RC 20周年 記念式典	佐賀
	4(日)	R財団親善奨学生選考会	長崎
	11(土)	国際大会 14日まで	コペンハーゲン
	17(土)	新旧ガバナー補佐会	長崎
	24(土)	第4回 青少年交換オリエンテーション・歓送会	唐津

**2005-06年度 物故会員**

七 田 勝 良	佐賀西 R C	2005. 7. 1 逝去	享年102才
藤 崎 三起男	佐賀大和RC	2005. 7.21 逝去	享年55才
入 江 輝 夫	長崎西 R C	2005. 7. 7 逝去	享年61才
古 瀬 英 治	佐賀南 R C	2005. 9.11 逝去	享年58才
江 越 虎 雄	小 城 R C	2005. 9.20 逝去	享年79才
橋 本 亨	長崎北 R C	2005. 9. 4 逝去	享年70才
斉 藤 裕	長崎中央RC	2005.10.29 逝去	享年62才
江 口 才 二	佐世保 R C	2005.11. 2 逝去	享年76才
吉 川 宗 文	大 村 R C	2006.12.17 逝去	享年45才
平 野 郷 吾	唐 津 R C	2006. 2.10 逝去	享年70才
日 下 良 一	諫早多良見RC	2006. 3.25 逝去	享年55才
浜 田 和 明	佐世保西RC	2006. 3.31 逝去	享年52才
田中丸 善 計	伊万里 R C	2006. 3.10 逝去	享年66才
吉 富 敬 次	伊万里 R C	2006. 3.21 逝去	享年86才

※対象期間 2005.7.1～2006.6.30で各クラブからの報告に基づき作成しました。

**地区委員会費内訳**

(単価:円)

地区委員会	予算	決算	地区委員会	予算	決算
クラブ奉仕委員会	100,000	120,246	インターアクト委員会	450,000	371,014
出席委員会	100,000	49,005	ライラ委員会	100,000	0
拡大・会員増強委員会	100,000	16,840	国際奉仕委員会	100,000	100,000
ロータリー情報・広報委員会	100,000	67,430	ロータリー財団委員会	500,000	369,024
ロータリー女性委員会	100,000	17,644	米山記念奨学委員会	400,000	191,410
職業奉仕委員会	350,000	391,795	財団奨学・学友委員会	400,000	505,378
社会奉仕・環境保全委員会	150,000	128,910	国際青少年交換委員会	1,300,000	995,169
新世代委員会	100,000	91,765	G S E 委員会	100,000	100,000
ローターアクト委員会	550,000	230,610	小 計	3,350,000	2,631,995
小 計	1,650,000	1,114,245	合 計	5,000,000	3,746,240

**地区資金「特別会計」収支決算書**

(単価:円)

◆GSE資金会計			
	決算	備考	
収入の部	GSE活動資金 (特別会計より繰入)	5,128,513	
	GSE活動資金 (2005-06年度)	1,270,500	前期 250*2537 後期 250*2545
	その他	112,000	R財団より語学研修費補助
	収入合計(A)	6,511,013	
支出の部	会議費	188,376	
	派遣費	804,667	
	派遣報告費	499,660	
	予備費	11,340	
	支出合計(B)	1,504,043	
収支差額(A - B)		5,006,970	
次期繰越金		5,006,970	

◆世界社会奉仕資金			
年度	繰入	支出	残高
01~02年度	1,065,060	0	5,054,810
02~03年度	1,022,220	0	6,077,030
03~04年度	974,700	0	7,051,730
04~05年度	945,540	0	7,997,270
05~06年度	914,760	0	8,912,030

◆規程審議会積立金			
年度	繰入	支出	残高
01~02年度	200,000	0	200,000
02~03年度	200,000	0	400,000
03~04年度	200,000	600,000	0
04~05年度	200,000	0	200,000
05~06年度	200,000	0	400,000

**ガバナー事務所・月信会計収支決算書**

(単価:円)

	予算	決算	予算対比	
収入の部	G事務所分担金@3200×人数	8,640,000	8,131,200	-508,800
	月信費@1900×人数	5,130,000	4,609,400	-520,600
	R I 補助金	1,500,000	2,232,473	732,473
	雑収入	0	266	266
	一般会計繰入金		134,064	
	収入合計(A)	15,270,000	15,107,403	-162,597
支出の部	公式訪問旅費	400,000	487,577	87,577
	人件費	2,900,000	2,850,000	-50,000
	月信費	5,100,000	5,096,900	-3,100
	通信費	900,000	895,198	-4,802
	消耗品費	1,200,000	1,078,071	-121,929
	室料および会議費	1,200,000	1,151,236	-48,764
	旅費交通費	400,000	401,590	1,590
	ガバナーノミー費	3,000,000	3,000,840	840
	直前ガバナー費	100,000	100,000	0
	予備費	70,000	45,991	-24,009
支出合計(B)	15,270,000	15,107,403	-162,597	
収支差額(A - B)		0	0	
前期繰越金		0	0	
次期繰越金		0	0	

**国際青少年交換資金会計**

(単価:円)

	予 算	決 算	予算対比	
収入の部	国際青少年交換資金	5,400,000	5,082,000	-318,000
	地区資金より補助	1,300,000	995,169	-304,831
	その他		0	0
	クラブ負担収入	640,000	640,000	0
	来日学生負担分	640,000	638,312	-1,688
	収入合計	7,980,000	7,355,481	-624,519
	支出の部	学生滞在費補助	2,900,000	2,406,300
学生合同旅行		2,380,000	1,998,606	-381,394
オリエンテーション費用		1,400,000	1,335,894	-64,106
学生歓迎会費他		80,000	0	-80,000
委員会・全国委員会		600,000	717,956	117,956
印刷費他		200,000	169,516	-30,484
通信費		300,000	181,479	-118,521
予備費		120,000	545,730	425,730
支出合計	7,980,000	7,355,481	-624,519	

以上の通りご報告申し上げます。

2006年8月30日

ガバナー 本城 好春  
地区会計長 大串 重幸  
監査(税理士) 小林 哲

**PETS決算書/地区協議会収支決算書**

(単価:円)

	科 目	P E T S	地区協議会
収入の部	登録費	696,000	4,740,000
	地区補助金	253,787	269,523
	合 計	949,787	5,009,523
支出の部	資料/記録誌作成費	230,100	1,123,500
	会場 懇親会費	634,037	3,120,525
	雑費	85,650	765,498
	合 計	949,787	5,009,523

以上の通りご報告申し上げます。

2006年7月28日

PETS実行委員長 富田 菊夫  
地区協議会実行委員長 太田 善久

**米山記念奨学会決算報告書**

(単価:円)

項 目	前年度繰越金	期中総収入	期中総支出	次期繰越金
奨学生生活動費	0	700,000	860,817	0
研修会補助費	0	52,500	103,320	0
選考試験補助費	0	390,000	178,370	0
雑 収 入	0		7	0
合 計	0	1,142,507	1,142,507	0

以上の通りご報告申し上げます。

2006年8月30日

地区米山記念奨学委員長 前田 博憲

**国際ロータリー第2740地区 ローターアクト代表事務局  
2005～2006年度 決算報告書**

**【収入の部】**

(単価:円)

科 目	予算金額	決算金額	備 考
1.年会費	0	0	
2.入会金	0	0	
3.提唱ロータリー助成金	0	0	
4.アクト活動収入	0	0	
5.雑収入	0	756,006	通帳開設時、手出し分・E17行事負担金戻し・過剰入金・受取利子・過剰支出分戻し・登録料返金・年次大会残金預かり
6.特別収入	2,936,000	3,406,900	
年次大会助成金	800,000	800,000	ガバナー事務所より年次大会助成金として
代表事務局活動費	1,380,000	1,270,000	前期 60,000×11クラブ 国際大 60,000 後期 50,000×11クラブ
地区情報誌製作費	220,000	175,000	@1,000×220部
名簿製作費	176,000	146,400	@800×220部
地区行事負担金	240,000	240,000	@5,000×4地区行事×12クラブ
年次大会広報支援金	120,000	120,000	年次大会 ホストRACより
他地区年次大会各クラブ徴収	0	655,500	他地区年次大会登録料に準ずる
7.前年度繰越金	325,665	325,665	前年度代表事務局より
合 計	3,261,665	4,488,571	

**【支出の部】**

科 目	予算金額	決算金額	備 考
1.例会費	0	0	
2.負担金	350,000	350,000	
地区行事負担金	240,000	240,000	@5,000×4地区行事×12クラブ
全国RA研修会負担金	50,000	50,000	一律@50,000
北エリア行事負担金	30,000	30,000	一泊研修会
南エリア行事負担金	30,000	30,000	7地区スポーツ大会
3.登録料	687,000	1,079,500	
周年登録料	90,000	40,000	@5,000×4人×2クラブ
全国RA研修会	64,000	81,000	@18,000×4人,@3,000×3人(出席義務者)
7地区会	48,000	10,500	@3,500×4人(出席義務者)
7地区スポーツ大会	77,000	76,000	@12000×5人,@8000×1人,@4000×2人
他地区年次大会	288,000	167,500	他地区年次大会登録料に準ずる
年次大会広報費	120,000	0	@20,000×6地区
他地区年次大会(各クラブ)	0	704,500	他地区年次大会登録料に準ずる
4.事業費	260,000	116,636	
友好地区交流費	40,000	0	2690地区との交流
地区情報誌製作費	220,000	116,636	印刷費・記録費・会議費などを含む。
5.諸経費	825,800	1,930,386	
事務用品費	5,000	0	
会議費	20,000	2,345	事務局会議費用
通信費	55,000	50,860	切手代、幹事手当@3000×12ヶ月
印刷費	206,000	295,225	コピー代、名簿印刷代など
交通費	475,000	673,503	地区内外有料道路・駐車場代など
記録費	5,000	0	フィルム代、現像代など
慶弔費	10,000	11,161	祝電他
保険料	4,800	0	@600×8人(直前代表)ボランティア保険
年次大会記念品	30,000	44,480	賞状、記念品、卒業者用アルバム
雑費	15,000	852,812	振込み手数料、仮払金、過剰入金分返金・次年度年次大会ホストクラブへ入金、各クラブへの返金として(12,000円×11クラブ、国際大6,000円)
6.積立金	200,000	0	
7.予備費	138,865	0	
8.特別支出	800,000	800,000	唐津東RACへ
9.次年度繰越金	0	212,049	次年度代表事務局へ
合 計	3,261,665	4,488,571	

以上の通りご報告申し上げます。

2006年8月30日

地区ロータリーアクト委員長 藤村 昌憲

## 第27回 RYLA収支報告

## 【収入の部】

(単価:円)

費 目	決 算	備 考
前期繰越金	972,132	入金額(¥954,043) + 前年度繰越費用
地区補助金	300,000	
クラブ負担金	1,740,000	30,000円×58クラブ
登録料(RC会員)	406,000	2,000円×203名
登録料(青少年)	127,000	1,000円×127名
雑 収 入	10,003	御祝金、預金利息
<b>収 入 合 計</b>	<b>3,555,135</b>	

## 【支出の部】

(単価:円)

費 目	決 算	備 考
会場設営費	633,249	会場費、付属設備使用料、看板類、司会料
登録関係費	641,165	名札、リボン、案内状、ガイドブック
講演関係費	113,000	講師謝礼
意見交換会費	70,405	修了証書、消耗品
食事代	479,031	昼食代、飲み物
見学費	26,960	原爆資料館観覧料
駐車場関係費	277,530	駐車料、送迎、案内板、警備員
記念誌代	598,500	記念誌印刷発送
写真代	9,505	写真、録音、ビデオ撮影
会議費	385,543	準備会議費、編集会議費
通信費	38,455	案内状、記念誌送料、送金手数料
事務費	55,171	事務消耗品、コピー代
前年度繰越費用	18,089	前年度決算報告後の記録誌送料等支出金
次年度繰越金	208,532	
<b>支 出 合 計</b>	<b>3,555,135</b>	

以上の通りで報告申し上げます。

2006年8月30日

地区ライラ委員長

吉村 正則

**インターアクト年次大会 決算書**

**【収入の部】**

(単価:円)

項 目	予 算	決 算	増減 (△)
登 録 料	3,255,000	3,282,000	27,000
（RC会員 15,000円×102名	（ 975,000	1,530,000	555,000
顧問教師 8,000円× 36名	280,000	288,000	8,000
（LA 8,000円×183名	（2,000,000	1,464,000	△536,000
弁 当 代	0	151,800	151,800
雑 収 入	0	25,159	25,159
地区補助金	700,000	700,000	0
提唱クラブ協力金 70,000円×19RC	1,400,000	1,330,000	△70,000
コ・ホストクラブ援助金 100,000円×3RC	300,000	300,000	0
ホストRC援助金	150,000	150,000	0
利 息	0	7	7
合 計	5,805,000	5,938,966	133,966

**【支出の部】**

(単価:円)

項 目	予 算	決 算	増減 (△)
会 場 費	175,000	175,000	0
会場設営費	300,000	324,600	△24,600
交 流 会 費	1,400,000	1,200,000	200,000
宿 泊 費	1,760,000	1,447,850	312,150
特別講演費	200,000	200,000	0
印 刷 費	550,000	811,470	△261,470
記念品・賞状	180,000	101,845	78,155
参加記念品	350,000	81,585	268,415
会 議 費	200,000	720,477	△520,477
事 務 費	450,000	197,816	255,393
予 備 費	240,000	105,750	134,250
弁 当 代	0	151,800	△151,800
寄付金(佐賀善意銀行)	0	300,000	△300,000
合 計	5,805,000	5,818,193	△13,193

収入 ¥5,938,966－支出 ¥5,818,193＝剰余金 ¥120,773

以上の通りご報告申し上げます。

2006年8月30日

地区インターアクト委員長 大塚 良弘

**国際ロータリー第2740地区 2005～2006年度  
地区大会決算報告**

収入の部			支出・剰余金の部	
項目	決算	備考	項目	決算
大会登録料	14,095,000		大会事務局	8,519,561
		会 員 10,000 円×1,376 人 13,760,000	大会S A A	2,591,415
		青少年 5,000 円× 67 人 335,000	会場設営委員会	2,903,237
歓迎晩餐会登録料	2,990,000		総務委員会	7,392,435
		会 員 20,000 円× 115 人 2,300,000	登録・受付委員会	651,870
		家 族 15,000 円× 46 人 690,000	広報・記録委員会	3,234,800
記念懇親会登録料	3,264,000		交通対策委員会	425,570
		会 員 8,000 円× 384 人 3,072,000	救護委員会	20,000
		家 族 8,000 円× 24 人 192,000	懇親委員会	7,985,970
ゴルフ登録料	395,000	5,000 円× 79 人 395,000	接待委員会	1,263,171
大会人頭分担金	15,402,000	6,000 円×2,567 人 15,402,000	エクスカージョン委員会	265,065
雑収入	1,110,006	ご祝儀 1,100,000	記念ゴルフ委員会	414,550
		利息他 10,006	支出の部合計	35,667,644
			剰余金	1,588,362
収入の部合計	37,256,006		支出・剰余金の部合計	37,256,006

剰余金 1,588,362円

剰余金1,588,362円は、1,000,000円を『第12回ロータリー青少年交換研究会「長崎会議」』へ、  
588,362円をロータリー財団に寄付いたしました。

上記の通りご報告申し上げます。

2005年12月16日

国際ロータリー第2740地区  
ガバナー 本城 好春  
大会実行委員長 平岡 晟  
大会会計 宮崎 邦夫

嬉野RC

## 地区だより

### 新市誕生を記念し、少年野球大会開催

4月16日、嬉野・塩田両町合併による嬉野市誕生を記念し、少年野球を通じて健全な明るい子どもの育成と市の活性化を図るため市内7チームによる第1回親睦少年野球大会を主催した。好プレー、珍プレーありの楽しい、爽やかな一日を満喫し、親睦の輪を広げて頂いた。



平戸RC

4月20日、通常例会に佐賀ロータリークラブより佐賀医科大学名誉教授の香月武先生をお招きして、卓話を賜りましたので、紹介致します。

私はロータリー財団の大学教官として2回、発展途上国に手術の指導に行きましたので、それを中心に医療技術指導の話をいたします。

ロータリー財団の大学教官というのは、相手国からの招聘があった場合、各地区の財団に申請すると、大学奨学生と同様の選考があって、それに合格すると、行く事が出来ます。

発展途上国というのは、GDPが年間6200ドル以下の国だそうです。そして3~6ヶ月で12500ドル、6~12ヶ月では22500ドルの資金が提供されます。これには渡航費、滞在費、保険料などすべてが含まれていますので、決して豊かな支給とはいえません。私の場合、すでに大学は退職していますので、大学教官として外国にいる間は、パートタイムの仕事が出来ないために、ロータリー財団から支給される資金ではかなりの赤字となりました。かつて数回JICAの依頼で発展途上国で仕事をしましたが、その場合は渡航費、滞在費、日当などと項目別に資金が提供されるので、赤字になることがなく仕事が出来ました。

大学教官として行った先は、最初がスリランカ、2回目がチェニアで、どちらも2000年頃から年1回の割合で、10日間に亘って手術の指導に行きましたが、そのたびごとに、もっと長い期間滞在して、手術の指導をしてくれと頼まれるので、ロータリーの大学教官の制度で3ヶ月間行くことを決断した訳です。

スリランカの場合は島国ですので、周りに影響はないのですが、チェニアは陸続きの国があるので、周りの国からも手術を勉強に来る人があり、これからアルジェリア、リビア、モロッコなどの北部アフリカに活動を拡大しなければならなくなりそうです。しかし、治安の悪い国もあるので、日本大使からはくれぐれも用心するように注意されています。

アフリカでの活動が拡大した場合、2740地区からの私に対する支援が増すことを期待いたします。



佐賀医科大学名誉教授  
香月 武先生

松浦RC

職場訪問



不老山を花いっぱい!



柚木川内キャンプ場清掃



バーベキュー



★5月26日（金）第12回 職場訪問

住商エアバック・システムズ(株) (自動車用サイドカーテンエアバックの設計および製造)

車事故から身の安全を守ってくれるエアバックを生産されている会社で、人間尊重を基本とし、高品質で信頼性の高い健全な事業活動を通じて、豊かさと夢を実現するよう頑張っておられます。

職業奉仕委員会

★6月9日（金）花壇整備

不老山総合公園

チューリップの球根取りとひまわりの種まきを、まつうら幼稚園の園児といっしょに行いました。

社会奉仕委員会

★6月18日（日）第19回 キャンプ場整備

柚木川内キャンプ場

松浦市民の休養施設であるキャンプ場を利用開始（7月1日）を前に、きれいにしてお客様を迎えようと、当クラブが毎年実施して今年で19年目を迎えました。会員と家族、市職員、地域住民約60人参加で2時間、バンガローやトイレの掃除、除草作業などに取り組み、さわやかな汗を流しました。その後、みんなでバーベキューを楽しみました。

社会奉仕委員会

＊お詫びと訂正＊

『ガバナー月信』vol.12掲載記事に間違いがありましたので、訂正をし、謹んで深くお詫びを申し上げます。

● P18 第27回 RYLA報告 ホストクラブ名

(誤) 長崎北ロータリークラブ → (正) 東長崎ロータリークラブ



長崎・崇福寺 画:松尾武彦(唐津RC会員)

表紙の写真の説明

一年間の大任を万事終えられ、安堵感の本城バスターガバナーとバトンを受けられ責任感の重さを覚悟されながら笑顔で大役を受けられた田口ガバナーとの確かな握手風景です。

田口ガバナーのご活躍を期待致します。

【編集後記】昨年、月信編集委員を受けました私共は、やれるだろうかと心配で、新緑の頃、諫早RCまでご指導を請けに出かけましたところ、懇切丁寧な指導のお陰で今回最後の月信編集となりました。

毎月どれ程の原稿が来るだろうかと悩んだものですが、『案ずるより産むが安し』の喩え通りでした。この一年間、本城バスターガバナーをはじめ、「地区だより」では特に松浦RCから沢山(8回)頂き、唐津東RCの宮島傳二郎氏には無理なお願いで寄稿して頂きました。又、地区役員の皆様には何かとお世話になりました。

それにつけても月信編集委員やガバナー事務局の片桐さん、お疲れ様でした。

委員長 松尾 武彦



国際ロータリー第2740地区 2005-2006 ガバナー事務所

2005~2006年度 ガバナー 本城 好春

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階

TEL (0955) 75-1371 FAX (0955) 75-1372

[E-mail] ri2740y-honjo@sirius.ocn.ne.jp [URL] <http://www.d2740.jp/>